令和８年度

小学部
年間指導計画

沖縄県立八重山特別支援学校

令和8年度　小学部　１年（Ⅱ課程Ａ）　生活科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
340	1年生	當山仁菜	絵本・教育動画等

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活に必要な習慣や技能を身に付けるようにする。（小１段階） (思判表力)自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて理解し、考えたことを表現することができるようにする。（小１段階） (学･人)自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりする態度を養う。（小１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	120	(知及技) 身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付ける。 (思判表力) 自分自身や身の回りの生活のことなどに関心をもつ。 (学・人) 自分のことや身近な人々に感心をもち、意欲をもって取り組む。	(知・技) 身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付けようとする。 (思・判・表) 自分自身や身の回りの生活のことなどに関心をもとうとする。 (主・学) 自分のことや身近な人々に感心をもち、意欲をもって取り組もうとする。	「見通しのある毎日の生活」 (ウ　日課・予定) 「やってみよう」 (ア　基本的生活習慣)	ウ　日課・予定 日課に沿って教師と共にする学習活動を行う。 (ア) 身の回りの簡単な日課に気付き教師と一緒に日課に沿って行動しようとする。 (イ) 簡単な日課について関心をもつ。 ア　基本的生活習慣 食事や用便等の生活習慣に関わる初歩的な学習活動を行う。 (ア)簡単な身辺処理に気付き、教師と一緒に行おうとする。 (イ)簡単な身辺処理に関する初歩的な知識や技能を身に付ける。
		(知及技) 自分自身や身近な人々、社会に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付ける。 (思判表力) 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて関心をもつ。 (学・人) 自分のことや身近な人々や社会に感心をもち、意欲をもって取り組む。	(知・技) 自分自身や身近な人々、社会に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付けようとする。 (思・判・表) 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて関心をもとうとする。 (主・学) 自分のことや身近な人々や社会に感心をもち、意欲をもって取り組もうとする。	「いろいろな場所を知ろう」 (コ　社会の仕組みと公共施設) 「ルールを考えて一緒に遊ぼう」 (エ　遊び)	コ　社会の仕組みと公共施設 身の回りの公共施設(各教室など)に関わる学習活動を行う。 (ア)(イ) 身の回りにある公共施設(各教室など)に気付き、場所を覚えたり、使い方などについて関心をもつ。 エ　遊び 自分で好きな遊びをすることに関わる学習活動を行う。 (ア) 身の回りの遊びに気付き、教師や友達と同じ場所で遊ぼうとする。 (イ) 身の回りの遊びや遊び方について関心をもつ。
		(知及技) 自分自身や身近な人々、社会、自然に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付ける。 (思判表力) 自分自身や身近な人々、社会、自然との関わりについて関心をもつ。 (学・人) 自分のことや身近な人々や社会、自然に感心をもち、意欲をもって取り組む。	(知・技) 自分自身や身近な人々、社会、自然に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付けようとする。 (思判表力) 自分自身や身近な人々、社会、自然との関わりについて関心をもとうとする。 (学・人) 自分のことや身近な人々や社会、自然に感心をもち、意欲をもって取り組もうとする。	「身近な生き物や自然を知ろう」 (サ　生命・自然)	サ　生命・自然 教師と一緒に(校庭)や公園、野山などの自然に触れることや生き物に興味や関心をもつことなどに関わる学習活動を行う。 (ア) 身の回りにある生命や自然に触れることで気付くことができる。 (イ) 身の回りの生命や自然について関心を持つ。

		(知及技) 自分自身や身近な人々、社会、自然に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付ける。 (思判表力) 自分自身や身近な人々、社会、自然との関わりについて関心をもつ。 (学・人) 自分のことや身近な人々や社会、自然に感心をもち、意欲をもって取り組む。	(知・技) 自分自身や身近な人々、社会、自然に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付けようとする。 (思判表力) 自分自身や身近な人々、社会、自然との関わりについて関心をもとうとする。 (学・人) 自分のことや身近な人々や社会、自然に感心をもち、意欲をもって取り組もうとする。	「安全のためにきまりを守ろう」 (イ　安全)	イ　安全 危ないことや危険な場所等における安全に関わる初歩的な学習活動を行う。 (ア) 身の回りの安全に気付き、教師と一緒に安全な生活に取り組もうとする。 (イ) 安全に関わる初歩的な知識や技能を身に付ける。
2学期	150	(知及技) 自分自身や身近な人々、社会に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付ける。 (思判表力) 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて関心をもつ。 (学・人) 自分のことや身近な人々や社会に感心をもち、意欲をもって取り組む。	(知・技) 自分自身や身近な人々、社会に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付けようとする。 (思・判・表) 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて関心をもとうとする。 (主・学) 自分のことや身近な人々や社会に感心をもち、意欲をもって取り組もうとする。	「一緒にやってみよう」 (自分の係活動に取り組む) (カ　役割)	カ　役割 学級等の集団における役割などに関わる学習活動を行う。 (ア) 身の回りの集団に気付き、教師と一緒に参加しようとする。 (イ) 集団の中での役割に関心をもつ。
		(知及技) 自分自身や身近な人々、社会に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付ける。 (思判表力) 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて関心をもつ。 (学・人) 自分のことや身近な人々や社会に感心をもち、意欲をもって取り組む。	(知・技) 自分自身や身近な人々、社会に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付けようとする。 (思・判・表) 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて関心をもとうとする。 (主・学) 自分のことや身近な人々や社会に感心をもち、意欲をもって取り組もうとする。	「気持ちを伝えよう」 (オ　人との関わり)	オ　人との関わり 小さな集団の中での学習活動を行う。 (ア) 教師や身の回りの人に気付き、教師と一緒に簡単な挨拶や返事等をしようとする。 (イ) 身の回りの人との関わり方に関心をもつ。
		(知及技) 自分自身や身近な人々、社会に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付ける。 (思判表力) 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて関心をもつ。 (学・人) 自分のことや身近な人々や社会に感心をもち、意欲をもって取り組む。	(知・技) 自分自身や身近な人々、社会に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付けようとする。 (思・判・表) 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて関心をもとうとする。 (主・学) 自分のことや身近な人々や社会に感心をもち、意欲をもって取り組もうとする。	「公共施設を知ろう」 (コ　社会の仕組みと公共施設)	コ　社会の仕組みと公共施設 身の回りの公園や公共施設に関わる学習活動を行う。 (ア) 身の回りにある社会の仕組みや公共施設に気付き、それを教師と一緒に伝えようとする。 (イ) 身の回りの社会の仕組みや公共施設について関心をもつ。
		(知及技) 自分自身や身近な人々、社会に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付ける。 (思判表力) 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて関心をもつ。 (学・人) 自分のことや身近な人々や社会に感心をもち、意欲をもって取り組む。	(知・技) 自分自身や身近な人々、社会に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付けようとする。 (思・判・表) 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて関心をもとうとする。 (主・学) 自分のことや身近な人々や社会に感心をもち、意欲をもって取り組もうとする。	「買い物をしてみよう」 (ク　金銭の扱い)	ク　金銭の扱い 簡単な買い物や金銭を大切に扱うことなどに関わる学習活動を行う。 (ア) 身の回りの生活の中で、教師と一緒に金銭を扱おうとする。 (イ) 金銭の扱い方などに関心をもつ。

3 学 期	70	(知及技) 自分自身や身近な人々、社会に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付ける。 (思判表力) 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて関心をもつ。 (学・人) 自分のことや身近な人々や社会に感心をもち、意欲をもって取り組む。	(知・技) 自分自身や身近な人々、社会に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付けようとする。 (思・判・表) 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて関心をもとうとする。 (主・学) 自分のことや身近な人々や社会に感心をもち、意欲をもって取り組もうとする。	「いろいろな遊び」 (昔遊びをしよう) (エ　遊び)	エ　遊び 自分で好きな遊びをすることに関わる学習活動を行う。 (ア) 身の回りの遊びに気付き、教師や友達と同じ場所で遊ぼうとする。 (イ) 身の回りの遊びや遊び方について関心をもつ。
		(知及技) 自分自身や身近な人々、社会、自然に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付ける。 (思判表力) 自分自身や身近な人々、社会、自然との関わりについて関心をもつ。 (学・人) 自分のことや身近な人々や社会、自然に感心をもち、意欲をもって取り組む。	(知・技) 自分自身や身近な人々、社会、自然に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付けようとする。 (思判表力) 自分自身や身近な人々、社会、自然との関わりについて関心をもとうとする。 (学・人) 自分のことや身近な人々や社会、自然に感心をもち、意欲をもって取り組もうとする。	「身近な生き物や自然を知ろう」 (育ててみよう) (サ　生命・自然)	サ　生命・自然 教師と一緒に(校庭)や公園、野山などの自然に触れることや生き物に興味や関心をもつことなどに関わる学習活動を行う。 (ア) 身の回りにある生命や自然に触れることで気付くことができる。 (イ) 身の回りの生命や自然について関心を持つ。
		(知及技) 自分自身や身近な人々、社会に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付ける。 (思判表力) 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて関心をもつ。 (学・人) 自分のことや身近な人々や社会に感心をもち、意欲をもって取り組む。	(知・技) 自分自身や身近な人々、社会に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付けようとする。 (思・判・表) 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて関心をもとうとする。 (主・学) 自分のことや身近な人々や社会に感心をもち、意欲をもって取り組もうとする。	「友達と協力して係活動をしよう」 (大掃除をしよう) (キ　手伝い・仕事)	キ　手伝い・仕事 教師と一緒に身の回りの簡単な手伝いなどに関わる学習活動を行う。 (ア) 身の回りの簡単な手伝いや仕事を教師や友達と一緒にしようとする。 (イ) 簡単な手伝いや仕事に関心を持つ。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 小学部　1年（Ⅱ課程Ａ）　国語科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
34	1年生	祖平みの	こくご☆ 絵本・パネルシアター等

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 日常生活に必要な身近な言葉が分かり使うようになるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができるようにする。（小１段階） (思判表力)言葉をイメージしたり、言葉による関わりを受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。（小１段階） (学･人)言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。（小１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技)身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じることができる。 (思判表力) 身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすることができる。 (学・人)表情や身振り、音声や発語等によって、意思を伝えようとしたりすることができる。	(知・技)身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じようとしている。 (思・判・表)身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりしようとしている。 (主学)表情や身振り、音声や発語等によって、意思を伝えようとしたりしている。	「学校のことを話そう」 （A　聞くこと・話すこと） 学校生活、朝の会、係、自己紹介	・身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じること。【ア-（ア）】 ・身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすること。【A-イ】
		(知及技)挿絵を用いて日常生活に必要な挨拶や動作、感情を表す言葉を場面に応じて聞いたり、模倣したりして、言葉の関わりに意識を向けることができる。 (思判表力)身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすることができる。 (学・人)表情や身振り、音声や発語等によって、意思を伝えようとしたりすることができる。	(知・技)挿絵を用いて日常生活に必要な挨拶や動作、感情を表す言葉を場面に応じて聞いたり、模倣したりして、言葉の関わりに意識を向けようとしている。 (思・判・表)身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりしようとしている。 (主学)表情や身振り、音声や発語等によって、意思を伝えようとしたりしている。	「いろいろな言葉」 (A　聞くこと・話すこと) 学校生活、返事、あいさつ 自己紹介	・身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすること。【A-イ】 ・伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すこと。【A-ウ】
		(知及技)身近な人からの話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じることができる。 (思判表力)絵や写真、簡単な記号などが表す意味を感覚的に識別し、選択したり、行動したりすることができる。 (学・人)自分なりの表現で、話をしようとしたり、意思を伝えようとしたりする意欲を高めたりすることができる。	(知・技)身近な人からの話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じようとしている。 (思・判・表)絵や写真、簡単な記号などが表す意味を感覚的に識別し、選択したり、行動したりしようとしている。 (主学)自分なりの表現で、話をしようとしたり、意思を伝えようとしたりする意欲を高めたりしようとしている。	「しるし」 (A　聞くこと・話すこと) 絵カード (C　読むこと) 「○」「→」など簡単な記号、絵カード	・身近な人からの話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じること。【A-ア(ア)】 ・絵や矢印などの記号で表された意味に応じ、行動すること。【C-ウ】
		(知及技)身近なクレヨン、ペン、鉛筆等を使って書くことに気付き、慣れることができる。 (思判表力)文字に興味をもち、書こうとすることができる。 (学・人)書くことに親しみ、書いて表現することへの興味・関心を高めることができる。	(知・技)身近なクレヨン、ペン、鉛筆等を使って書くことに気付き、慣れようとしている。 (思・判・表)文字に興味をもち、書こうとしている。 (主学)書くことに親しみ、書いて表現することへの興味・関心を高めようとしている。	「いろいろな筆記用具を使ってみよう」 (B　書くこと) かいてみよう	・いろいろな筆記用具に触れ、書くことを知ること。 【イ-(ウ)㋐】 ・筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ること。【イ-(ウ)㋑】

2学期	15	(知及技)具体物を使って身近な事物の名前や動作を繰り返すことで、遊びの中で言葉と事物を一致させることができる。 (思判表力)絵本などを見て、次の場面を楽しみにしたり、登場人物の動きなどを模倣したりすることができる。 (学・人)声や言葉を使った遊びや関わりを通して、言葉の響きやリズムを体感したり楽しんだりすることができる。	(知・技)具体物を使って身近な事物の名前や動作を繰り返すことで、遊びの中で言葉と事物を一致させようとしている。 (思・判・表)絵本などを見て、次の場面を楽しみにしたり、登場人物の動きなどを模倣したりしようとしている。 (学・人)声や言葉を使った遊びや関わりを通して、言葉の響きやリズムを体感したり楽しんだりしようとしている。	「言葉で遊ぼう 何が出てくるかな」 (A 聞くこと・話すこと) (C 読むこと) まほうのはこ	・身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じること。【ア-(ア)】 ・遊びを通して、言葉のもつ楽しさに触れること。【イ-(イ)】 ・絵本などを見て、次の場面を楽しみにしたり、登場人物の動きなどを模倣したりすること。【C-エ】
		(知及技)昔話などについて、読み聞かせを聞くなどして親しむことができる。 (思判表力)音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりすることができる。 (学・人)物語の一場面を身振りや音声、簡単な言葉で表現したり、動作化したりして親しむことができる。	(知・技)昔話などについて、読み聞かせを聞くなどして親しもうとしている。 (思・判・表)音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりしようとしている。 (主学)物語の一場面を身振りや音声、簡単な言葉で表現したり、動作化したりして親しもうとしている。	「やり取りを楽しもう」 (A 聞くこと・話すこと) (C 読むこと) お話し集会に向けて	・身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすること。【A-イ】 ・伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すこと。【A-ウ】 ・教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目すること。【C-ア】 ・絵本などを見て、次の場面を楽しみにしたり、登場人物の動きなどを模倣したりすること。【C-エ】
		(知及技)音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりすることができる。 (思判表力)絵などを見て登場人物の動きや言葉などを模倣することができる。 (学・人)物語の一場面を身振りや音声、簡単な言葉で表現したり、動作化したりして親しむことができる。	(知・技)音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりすることができる。 (思・判・表)絵などを見て登場人物の動きや言葉などを模倣しようとしている。 (主学)物語の一場面を身振りや音声、簡単な言葉で表現したり、動作化したりして親しもうとしている。	「お話を演じてみよう」 (A 聞くこと・話すこと) (C 読むこと) お話し集会に向けて	・教師の話や読み聞かせに応じ、音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりすること。【A-ア】 ・身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすること。【A-イ】 ・伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すこと。【A-ウ】 ・絵本などを見て、次の場面を楽しみにしたり、登場人物の動きなどを模倣したりすること。【C-エ】
		(知及技)筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ることができる。 (思判表力)文字に興味をもち、書こうとすることができる。(学・人)書くことに親しみ、書いて表現することへの興味・関心を高めることができる。	(知・技)筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ることができる。 (思・判・表)文字に興味をもち、書こうとすることができる。 (主学)書くことに親しみ、書いて表現することへの興味・関心を高めることができる。	「年賀状やクリスマスカードを書こう」 「自分の名前」 (B 書くこと)	・いろいろな筆記用具に触れ、書くことを知ること。【イ-(ウ)㋐】 ・筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ること。【イ-(ウ)㋑】 ・身近な人との関わりや出来事について、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすること。【B-ア】 ・文字に興味をもち、書こうとすること。【B-イ】

3学期	7	(知及技)筆や墨を使って書くことができる。 (思判表力)文字に興味をもち､書こうとすることができる。 (学・人)書くことに親しみ、書いて表現することへの興味・関心を高めることができる。	(知・技)筆や墨を使って書くことができる。 (思・判・表)文字に興味をもち､書こうとすることができる。 (主学)書くことに親しみ、書いて表現することへの興味・関心を高めることができる。	「書き初めをしよう」 (B　書くこと) 「言葉で遊ぼう～かるたあそびをしよう～」 (A　聞くこと・話すこと)	・いろいろな筆記用具に触れ、書くことを知ること。 【イ-(ウ)㋐】 ・筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ること。【イ-(ウ)㋑】 ・言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすること。【ｱ-（ｲ）】
		(知及技)具体物や絵を見て言葉と結びつけることができる。材料集めから､でき上がりを振る舞うまでの流れの中で言葉が表す事物やイメージを実感することができる。 (思判表力)伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すことができる。 (学・人)気持ちを身振りや音声、言葉で表現したり伝えたりすることができる。	(知・技)具体物や絵を見て言葉と結びつけようとしている。材料集めから､でき上がりを振る舞うまでの流れの中で言葉が表す事物やイメージを実感しようとしている。 (思・判・表)伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表そうとしている。 (主学)気持ちを身振りや音声、言葉で表現したり伝えたりしようとしている。	「作り方をみんなで話してみよう」 (A　聞くこと・話すこと) (C　読むこと) ほっとけーき	・身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じること。 【ア-（ア）】 ・言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすること。【ア-（ｲ）】 ・身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすること。 【A-イ】 ・伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すこと。【A-ウ】 ・絵本などを見て、知っている事物や出来事などを指さしなどで表現すること。 【C-イ】
		(知及技)筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ることができる。 (思判表力)正しい書写の姿勢で文字をなぞったり、真似て書いたりして、メッセージや1年の思い出などを書くことができる。 (学・人)書くことに親しみ、書いて表現することへの興味・関心を高めることができる。	(知・技)筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ることができる。 (思・判・表)正しい書写の姿勢で文字をなぞったり、真似て書いたりして、メッセージや1年の思い出などを書くことができる。 (主学)書くことに親しみ、書いて表現することへの興味・関心を高めることができる。	「メッセージや1年の思い出を書こう」 「自分の名前」 (B　書くこと)	・いろいろな筆記用具に触れ、書くことを知ること。 【イ-(ウ)㋐】 ・筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ること。【イ-(ウ)㋑】 ・身近な人との関わりや出来事について、伝えたいことを思い浮かべたり､選んだりすること。【B-ｱ】 ・文字に興味をもち､書こうとすること。 【B-イ】
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 小学部　１年（Ⅱ課程Ａ）　算数科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
34	1年生	朝倉千陽美	絵本・パズル・具体物等

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標

(知及技) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けるようにする。

(思判表力)日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・明確に表したり柔軟に表したりする力を養う。

(学･人)数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結びつけてよりよく問題を理解しようとする態度、算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	A 数量の基礎 (知及技) 身の回りのものに気付き、対応させたり、組み合わせたりすることなどについてわかる。 (思判表力) 身の回りにあるもの同士を対応させたり、組み合わせたりするなど、数量に関心を持つ。 (学・人) 数量や図形に気付き、算数の学習に関心を持って取り組む。	(知・技) 身の回りのものに気付き、対応させたり、組み合わせたりすることなどについてわかろうとする。 (思・判・表) 身の回りにあるもの同士を対応させたり、組み合わせたりするなど、数量に関心を持とうとする。 (主学) 数量や図形(もの)に気付き、算数の学に関心を持って取り組もうとしている。	「一つずつあわせてみよう」 (A　数量の基礎　イ　ものとものとの対応) ・自分のマークを覚えて、生活で使う物の場所を確認できるようにする。	ア　具体物に関わる数学的活動について (ア) ㋐具体物に気付いて指を指したり、つかもとしたり、目で追ったりする。 (イ) ㋐対象物に注意を向け、対象物の存在に注目し、諸感覚を協応させながら捉える。 イ　ものとものとを対応させることに関わる数学的活動にういて (イ) ㋐ものとものとを関連付けることに注意を向け、ものの属性に注目し、仲間であることを判断したり、表現したりすること。
		A 数量の基礎 (知及技) 身の回りのものに気付き、対応させたり、組み合わせたりすることなどについてわかる。 (思判表力) 身の回りにあるもの同士を対応させたり、組み合わせたりするなど、数量に関心を持つ。 (学・人) 数量や図形に気付き、算数の学習に関心を持って取り組む。	(知・技) 身の回りのものに気付き、対応させたり、組み合わせたりすることなどについてわかろうとする。 (思・判・表) 身の回りにあるもの同士を対応させたり、組み合わせたりするなど、数量に関心を持とうとする。 (主・学) 数量や図形(もの)に気付き、算数の学に関心を持って取り組もうとしている。	「パズルをやってみよう」 (A　数量の基礎　イ　ものとものとの対応) ・いろいろなパズルをやってみよう	ア　具体物に関わる数学的活動について (ア) ㋐具体物に気付いて指を指したり、つかもとしたり、目で追ったりする。 (イ) ㋐対象物に注意を向け、対象物の存在に注目し、諸感覚を協応させながら捉える。 イ　ものとものとを対応させることに関わる数学的活動にういて (ア) ㋑分割した絵カードを組み合わせること。 ㋒関連の深い絵カードを組み合わせること。
		C　図形 (知及技) 身の回りのものの上下や前後、形の違いに気付き、違いに応じて関わることについてわかる。 (思判表力) 身の回りのものの形に注目し、同じ形を捉えたり、形の違いを捉えたりする。 (学・人) 図形に気付き、算数の学習に関心を持って取り組む。	(知・技) 身の回りのものの上下や前後、形の違いに気付き、違いに応じて関わることについてわかろうとする。 (思・判・表) 身の回りのものの形に注目し、同じ形を捉えたり、形の違いを捉えようとする。 (主学) 図形に気付き、算数の学習に関心を持って取り組もうとしている。	「おなじものをあわせよう」 (C　図形　ア　) ・形、色などの具体物を通して、同じ物を集めたりする。	ア　ものの類別や分類・整理に関わることについて (ア) ㋐具体物に気付いて指を指したり、つかもとしたり、目で追ったりする。 ㋑形を観点に区別する。 ㋒形が同じものを選ぶ。 ㋓似ている二つのものを結びつける。 ㋔関連の深い一対のものや絵カードを組み合わせる。 ㋕同じもの同士の集合づくりをする。 (イ) ㋐対象物に注意を向け、対象物の存在に気付き、諸感覚を協応させながら具体物を捉える。 ㋑ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付き、日常生活の中で関心を持つ。 ㋒ものとものとの関係に注意を向け、ものの属性に気付き、関心を持って対応しながら、表現する仕方を見つけ出し、日常生活で生かす。

		B　数と計算 (知及技) ものの有無や３までの数的要素に気付き、身の回りのものの数に関心をもって関わる。 (思判表力) 身の回りのものの有無や数的要素に注目し、数を直感的に捉えたり、数を用いて表現したりする。 (学・人) 数量に気付き、算数の学習に関心をもって取り組む。	(知・技) ものの有無や３までの数的要素に気付き、身の回りのものの数に関心をもって関わろうとする。 (思・判・表) 身の回りのものの有無や数的要素に注目し、数を直感的に捉えたり、数を用いて表現しようとする。 (主学) 数量に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとする。	「かぞえてみよう」 (B　数と計算　ア　数えることの基礎) ・数字を歌や視覚的支援を通して数字のイメージを持たせる。	ア　数えることの基礎に関わる数学的活動について (ア) ㋐ものの有無に気付く。 ㋓３までの範囲で具体物を取る。 (イ) ㋐数詞とものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活に生かす。
２学期	15	B　数と計算 (知及技) ものの有無や３までの数的要素に気付き、身の回りのものの数に関心をもって関わる。 (思判表力) 身の回りのものの有無や数的要素に注目し、数を直感的に捉えたり、数を用いて表現したりする。 (学・人) 数量に気付き、算数の学習に関心をもって取り組む。	(知・技) ものの有無や３までの数的要素に気付き、身の回りのものの数に関心をもって関わろうとする。 (思・判・表) 身の回りのものの有無や数的要素に注目し、数を直感的に捉えたり、数を用いて表現しようとする。 (主・学) 数量に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとする。	「かぞえてみよう」 (B　数と計算　ア　数えることの基礎) ・１～５までの数を歌や視覚的支援を通して覚えられるようにする。	ア　数えることの基礎に関わる数学的活動について ㋐ものの有無に気付く。 ㋑目の前のものを、１個、２個、たくさんで表す。 ㋒５までの範囲で数唱をする。 ㋕形や色、位置が変わっても、数は変わらないことについて気付く。
		B　数と計算 (知及技) ものの有無や３までの数的要素に気付き、身の回りのものの数に関心をもって関わる。 (思判表力) 身の回りのものの有無や数的要素に注目し、数を直感的に捉えたり、数を用いて表現したりする。 (学・人) 数量に気付き、算数の学習に関心をもって取り組む。	(知・技) ものの有無や３までの数的要素に気付き、身の回りのものの数に関心をもって関わろうとする。 (思・判・表) 身の回りのものの有無や数的要素に注目し、数を直感的に捉えたり、数を用いて表現しようとする。 (主・学) 数量に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとする。	「すうじをよもう」 (B　数と計算　ア　数えることの基礎) ・１～３までの具体物等を通して数える。	ア　数えることの基礎に関わる数学的活動について ㋐ものの有無に気付く。 ㋑目の前のものを、１個、２個、たくさんで表す。 ㋓３までの範囲で具体物を取る。 ㋔対応させてものを配る。
		C　図形 (知及技) 身の回りのものの上下や前後、形の違いに気付き、違いに応じて関わることについてわかる。 (思判表力) 身の回りのものの形に注目し、同じ形を捉えたり、形の違いを捉えたりする。 (学・人) 図形に気付き、算数の学習に関心を持って取り組む。	(知・技) 身の回りのものの上下や前後、形の違いに気付き、違いに応じて関わることについてわかろうとする。 (思・判・表) 身の回りのものの形に注目し、同じ形を捉えたり、形の違いを捉えようとする。 (主学) 図形に気付き、算数の学習に関心を持って取り組もうとしている。	「いろいろな形をみつけよう」 (C　図形　ア　ものの種別) ・いろいろな具体物を通して形の特徴をとらえる。	ア　ものの類別や分類・整理に関わることについて (ア) ㋐具体物に気付いて指を指したり、つかもとしたり、目で追ったりする。 ㋑形を観点に区別する。 ㋒形が同じものを選ぶ。 ㋓似ている二つのものを結びつける。 ㋔関連の深い一対のものや絵カードを組み合わせる。 ㋕同じもの同士の集合づくりをする。 (イ) ㋐対象物に注意を向け、対象物の存在に気付き、諸感覚を協応させながら具体物を捉える。 ㋑ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付き、日常生活の中で関心を持つ。 ㋒ものとものとの関係に注意を向け、ものの属性に気付き、関心を持って対応しながら、表現する仕方を見つけ出し、日常生活で生かす。

		C　図形 (知及技) 身の回りのものの上下や前後、形の違いに気付き、違いに応じて関わることについてわかる。 (思判表力) 身の回りのものの形に注目し、同じ形を捉えたり、形の違いを捉えたりする。 (学・人) 図形に気付き、算数の学習に関心を持って取り組む。	(知・技) 身の回りのものの上下や前後、形の違いに気付き、違いに応じて関わることについてわかろうとする。 (思・判・表) 身の回りのものの形に注目し、同じ形を捉えたり、形の違いを捉えようとする。 (主学) 図形に気付き、算数の学習に関心を持って取り組もうとしている。	「まる、さんかく、しかく」 (B　図形　イ　身の回りにあるものの形) ・○△□の具体物を通して、形の違いに気付く。	ア　ものの類別や分類・整理に関わることについて (ア) ㋐具体物に気付いて指を指したり、つかもとしたり、目で追ったりする。 ㋑形を観点に区別する。 ㋒形が同じものを選ぶ。 ㋓似ている二つのものを結びつける。 ㋔関連の深い一対のものや絵カードを組み合わせる。 ㋕同じもの同士の集合づくりをする。 (イ) ㋐対象物に注意を向け、対象物の存在に気付き、諸感覚を協応させながら具体物を捉える。 ㋑ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付き、日常生活の中で関心を持つ。 ㋒ものとものとの関係に注意を向け、ものの属性に気付き、関心を持って対応しながら、表現する仕方を見つけ出し、日常生活で生かす。
3学期	7	D　測定 (知及技) 身の回りにあるものの量の大きさに気付き、量の違いについての感覚を養うとともに、量に関わる。 (思判表力) 身の回りにあるものの大きさや長さなどの量の違いに注目し、量の大きさにより区別する力をつける。 (学・人) 数量や図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組む。	(知・技) 身の回りにあるものの量の大きさに気付き、量の違いについての感覚を養うとともに、量に関わろうとする。 (思・判・表) 身の回りにあるものの大きさや長さなどの量の違いに注目し、量の大きさにより区別する力をつけようとする。 (主学) 数量や図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとする。	「大きさのちがうものを分けてみよう」 (D　測定　ア　身の回りにある具体物のもつ大きさ) ・「大きい」「小さい」を知り、具体物を比べて分ける。	ア　身の回りにある具体物のもつ大きさに関わる数学的活動について (ア) ㋐大きさや長さなどを、基準に対して同じか違うかによって区別する。 ㋑ある・ない、大きい・小さい、多い・少ない、などの用語に注目して表現する。
		D　測定 (知及技) 身の回りにあるものの量の大きさに気付き、量の違いについての感覚を養うとともに、量に関わる。 (思判表力) 身の回りにあるものの大きさや長さなどの量の違いに注目し、量の大きさにより区別する力をつける。 (学・人) 数量や図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組む。	(知・技) 身の回りにあるものの量の大きさに気付き、量の違いについての感覚を養うとともに、量に関わろうとする。 (思・判・表) 身の回りにあるものの大きさや長さなどの量の違いに注目し、量の大きさにより区別する力をつけようとする。 (主学) 数量や図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとする。	「見た目の大きさで分けてみよう」 (D　測定　ア　身の回りにある具体物のもつ大きさ) ・いくつかの大きいもの、小さいものをわける。	ア　身の回りにある具体物のもつ大きさに関わる数学的活動について (ア) ㋐大きさや長さなどを、基準に対して同じか違うかによって区別する。 ㋑ある・ない、大きい・小さい、多い・少ない、などの用語に注目して表現する。 (イ) ㋐大小や多少等で区別することに関心をもち、量の大きさを表す用語に注目して表現する。
		D　測定 (知及技) 身の回りにあるものの量の大きさに気付き、量の違いについての感覚を養うとともに、量に関わる。 (思判表力) 身の回りにあるものの大きさや長さなどの量の違いに注目し、量の大きさにより区別する力をつける。 (学・人) 数量や図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組む。	(知・技) 身の回りにあるものの量の大きさに気付き、量の違いについての感覚を養うとともに、量に関わろうとする。 (思・判・表) 身の回りにあるものの大きさや長さなどの量の違いに注目し、量の大きさにより区別する力をつけようとする。 (主学) 数量や図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとする。	「比べる言葉」 (D　測定　ア　身の回りにある具体物のもつ大きさ) ・「大きい」「小さい」を知り、具体物を比べて分ける。	ア　身の回りにある具体物のもつ大きさに関わる数学的活動について (ア) ㋐大きさや長さなどを、基準に対して同じか違うかによって区別する。 ㋑ある・ない、大きい・小さい、多い・少ない、などの用語に注目して表現する。 (イ) ㋐大小や多少等で区別することに関心をもち、量の大きさを表す用語に注目して表現する。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 小学部　1年（Ⅱ課程Ａ）　音楽科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
68	1年生	當山仁菜	音楽動画・音声教材

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 曲名や曲想と簡単な音楽のつくりについて気付くとともに、感じたことを音楽表現するために必要な技能を身に付けることができる。（小２段階） (思判表力)感じたことを表現することや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら、音や音楽の楽しさを味わって聴くことができる。（小２段階） (学･人)音や音楽に楽しく関わり、教師や友達と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、身の回りの様々な音楽に親しんだり、豊かな情操を育んだりすることができる。（小２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	(知及技) 音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かすことができる。 (思判表力) 好きな歌や旋律の一部分を自分なりに歌いたいと思うことができる。 (学･人) 音楽活動に興味を持ち、楽しみながら学習に取り組むことができる。	(知・技) 音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かしている。 (思･判･表) 好きな歌や旋律の一部分を自分なりに歌おうとしている。 (主学) 音楽活動に興味を持ち、楽しみながら学習に取り組もうとしている。	「春を感じよう」 「歌で仲良しになろう」 「音を出してみよう」 「からだを動かそう」	【歌唱・共通事項】 ・校歌 ・はるがきた 【器楽・共通事項】 ・どんぐりさんのおうち ・パンパン 【音楽づくり・共通事項】 ・お返事しよう 【身体表現・共通事項】 ・ドラえもん ・口笛吹きと子犬 【鑑賞・共通事項】 ・こいのぼり
		(知及技) 器 拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。 (思判表力)鑑 身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴くことができる。 (学･人) 拍に合わせて楽器を鳴らし、いろいろなリズムに興味を持つことができる。	(知・技) 拍や曲の特徴的なリズムに気付こうとしている。 (思･判･表) 身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴いている。 (主学) 拍に合わせて楽器を鳴らし、いろいろなリズムに興味を持とうとしている。	「声を合わせて」 「打楽器にちょうせん」 「まねてみよう」 「耳をすませて」	【歌唱・共通事項】 ・かえるの合唱 ・ともだちになるために 【器楽・共通事項】 ・とけいのうた ・ぶんぶんぶん 【音楽づくり・共通事項】 ・かえるの音あそび 【身体表現・共通事項】 ・手をつなぎましょう ・まねっこどうぶつ 【鑑賞・共通事項】 ・いろんな音 ・おどるこねこ
		(知及技) 歌 教師や友達と一緒に歌うことができる。 (思判表力)音 声や身の回りの様々なものを用いて、音を出そうとすることができる。 (学･人) 教師をよく見て、合図に合わせて発声したり、部分的に歌ったりすることができる。	(知・技) 教師や友達と一緒に歌おうとしている。 (思･判･表) 声や身の回りの様々なものを用いて、音を出そうとしている。 (主学) 教師をよく見て、合図に合わせて発声したり、部分的に歌おうとしている。	「交流会に向けて」 「音の高さを感じて」 「リズムにのって」 「ようすをおもいうかべて」	【歌唱・共通事項】 ・シャボン玉 ・白保と八特の子どもたち 【器楽・共通事項】 ・かえるの合唱 【音楽づくり・共通事項】 ・ペットボトルでメロディーづくり 【身体表現・共通事項】 ・はしの上で 【鑑賞・共通事項】 ・月桃 ・海の歌を歌おう
		(知及技) 音 音のつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さに気付くことができる。 (思判表力)身 簡単なリズムの特徴を感じ取り、身体を動かそうとすることができる。 (学･人) 教師や友達とのやりとりを楽しみながら、身体表現や音楽づくりに取り組むことができる。	(知・技) 音のつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さに気付いている。 (思･判･表) 簡単なリズムの特徴を感じ取り、身体を動かそうとしている。 (主学) 教師や友達とのやりとりを楽しみながら、身体表現や音楽づくりに取り組もうとしている。	「夏を感じよう」 「音の高さを感じて」 「声をききあおう」 「歌に合わせて身体を動かそう」	【歌唱・共通事項】 ・南の島のはめはめは大王 【器楽・共通事項】 ・きらきらぼし 【音楽づくり・共通事項】 ・なまえあそび 【身体表現・共通事項】 ・エビカニックス 【鑑賞・共通事項】 ・ほしにねがいを ・ヤッホッホ夏休み

2学期	30	(知及技) 歌 範唱を聴いて、曲の一部を模唱することができる。 (思判表力)器 身近な打楽器に親しみ、音を出そうとすることができる。 (学･人) 郷土の音楽や楽器に親しみを持ち、進んで身体表現したり、歌ったりすることができる。	(知・技) 範唱を聴いて、曲の一部を模唱しようとしている。 (思･判･表) 身近な打楽器に親しみ、音を出そうとしている。 (主学) 郷土の音楽や楽器に親しみを持ち、進んで身体表現したり、歌ったりしようとしている。	「秋を感じよう」 「まつりを楽しもう」 「声を聞き合おう」 「拍を感じて」	【歌唱・共通事項】 ・やまびこごっこ ・ゆうやけこやけ 【器楽・共通事項】 ・エイサー ・マミードーマ、唐船ドーイ 【音楽づくり・共通事項】 ・やまびこあそび 【身体表現・共通事項】 ・たぬきのたいこ 【鑑賞・共通事項】 ・つき ・三線の音色を聞こう
		(知及技) 器 楽器の音色の違いに気付くことができる。 (思判表力)音 音遊びを通して、音の面白さに気付くことができる。 (学･人) 好きな歌詞や登場人物を見つけ、役割を分担しながら、教師や友達と一緒に歌唱や身体表現に取り組むことができる。	(知・技) 楽器の音色の違いに気付いている。 (思･判･表) 音遊びを通して、音の面白さに気付いている。 (主学) 好きな歌詞や登場人物を見つけ、役割を分担しながら、教師や友達と一緒に歌唱や身体表現に取り組もうとしている。	「歌のまねっこで遊ぼう」 「ひびきあいを楽しもう」 「拍を感じて」 「音楽に合わせて身体を動かそう」 「物語の音楽を楽しもう」	【歌唱・共通事項】 ・カレーライス 【器楽・共通事項】 ・虫のこえ 【音楽づくり・共通事項】 ・音あてあそび 【身体表現・共通事項】 ・きのこ 【鑑賞・共通事項】 ・おおきなかぶ ・シンコペーテッドクロック
		(知及技) 身 曲に合わせて教師や友達と一緒に体を動かすことができる。 (思判表力)歌 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌の一部分を自分なりに歌おうとすることができる。 (学･人) テンポや音量の違いを感じ、工夫して歌ったり、身体全体を動かしたりすることができる。	(知・技) 曲に合わせて教師や友達と一緒に体を動かそうとしている。 (思･判･表) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌の一部分を自分なりに歌おうとしている。 (主学) テンポや音量の違いを感じ、工夫して歌ったり、身体全体を動かそうとしている。	「みぶりをつけてみんなで歌おう」 「リズムで遊ぼう」 「拍を感じて」 「みんなでつながろう」 「耳をすまそう」	【歌唱・共通事項】 ・ふしぎなポケット 【器楽・共通事項】 ・おもちゃのチャチャチャ 【音楽づくり・共通事項】 ・口でいろんな音を出そう 【身体表現・共通事項】 ・かもつれっしゃ 【鑑賞・共通事項】 ・おもちゃの兵隊 ・ぼうがいっぽんあったとさ
		(知及技) 歌 自分の歌声に注意を向けて歌うことができる。 (思判表力)器 身近な打楽器などに親しみ、自ら音を出そうとすることができる。 (学･人) 身近な打楽器を用いて、曲の簡単なリズムやパターンの特徴の面白さなどに気付くことができる。	(知・技) 自分の歌声に注意を向けて、歌おうとしている。 (思･判･表) 身近な打楽器などに親しみ、自ら音を出そうとしている。 (主学) 身近な打楽器を用いて、曲の簡単なリズムやパターンの特徴の面白さなどに気付こうとしている。	「様子を思いうかべながら歌おう」 「リズムにのって音を出してみよう」 「音を当てよう」 「楽しくダンス」 「季節の雰囲気を感じよう」	【歌唱・共通事項】 ・やぎさんゆうびん 【器楽・共通事項】 ・あわてんぼうのサンタクロース 【音楽づくり・共通事項】 ・音の出し方いろいろ 【身体表現・共通事項】 ・ハッピークリスマス ・こいぬのビンゴ 【鑑賞・共通事項】 ・サンタが町にやってくる

3 学 期	14	(知及技) 鑑 身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見つけることができる。 (思判表力)音 音遊びを通して音の面白さに気付き、自ら音や音楽で表現しようとすることができる。 (学･人) わらべうたの良さや面白さを感じとり、教師や友達と一緒に身体を動かしたり、歌ったりする学習に親しみ、他のわらべうたにも関心を持ったりすることができる。	(知・技) 身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見つけようとしている。 (思･判･表) 音遊びを通して音の面白さに気付き、自ら音や音楽で表現しようとしている。 (主学) わらべうたの良さや面白さを感じとり、教師や友達と一緒に身体を動かしたり、歌ったりする学習に親しみ、他のわらべうたにも関心を持とうとしている。	「冬を感じよう」 「音を合わせて楽しもう」 「日本のしらべにのって」 「耳をすまして」	【歌唱・共通事項】 ・北風小僧の寒太郎 ・とんくるりんぱんくるりん 【器楽・共通事項】 ・ゆきのおどり 【音楽づくり・共通事項】 ・らくらく打楽器メロディ 【身体表現・共通事項】 ・はないちもんめ ・おちゃらかほい 【鑑賞・共通事項】 ・スケーターズワルツ
		(知及技) 歌 曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉に気付くことができる。 (思判表力)身 簡単なリズムの特徴を感じ取り、自ら体を動かそうとすることができる。 (学･人) 歌声や楽器の音色に気をつけながら、曲想にあった表現を工夫したり、歌声と楽器の音を合わせて演奏する楽しさに気付いたりすることができる。	(知・技) 曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉に気付いている。 (思･判･表) 簡単なリズムの特徴を感じ取り、自ら体を動かそうとしている。 (主学) 歌声や楽器の音色に気をつけながら、曲想にあった表現を工夫したり、歌声と楽器の音を合わせて演奏する楽しさに気付こうとしている。	「卒業式に向けて」 「音を合わせて楽しもう」 「いろんな音を見つけよう」 「曲に合わせて身体を動かそう」 「季節の雰囲気を感じよう」	【歌唱・共通事項】 ・てのひらをたいように ・卒業式の歌 【器楽・共通事項】 ・とんくるりんぱんくるりん 【音楽づくり・共通事項】 ・ことばでリズム 【身体表現・共通事項】 ・おにのパンツ ・双頭の鷲の旗の下で 【鑑賞・共通事項】 ・白鳥 ・うれしいひなまつり
		(知及技) 音 教師や友達と一緒に簡単な音や音楽を作ることができる。 (思判表力)鑑 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴くことができる。 (学･人) 一年間を振り返り、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱や身体表現、音楽づくりや器楽、鑑賞などの活動に取り組むことができる。	(知・技) 教師や友達と一緒に簡単な音や音楽を作ろうとしている。 (思･判･表) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴いている。 (主学) 一年間を振り返り、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱や身体表現、音楽づくりや器楽、鑑賞などの活動に取り組もうとしている。	「卒業式に向けて」 「音を合わせて楽しもう」 「いろんな音を見つけよう」 「曲に合わせて身体を動かそう」 「一年間を振り返ろう」	【歌唱・共通事項】 ・卒業式の歌 【器楽・共通事項】 ・とんくるりんぱんくるりん 【音楽づくり・共通事項】 ・ことばでリズム 【身体表現・共通事項】 ・双頭の鷲の旗の下で 【鑑賞・共通事項】 ・思い出のアルバム
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 小学部　1年（Ⅱ課程Ａ）　図画工作科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
68	1年生	祖平みの	

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとするようにする。（小１段階） (思判表力)表したいことを思い付いたり、作品を見たりできるようにする。（小１段階） (学･人)進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとする態度を養う。（小１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	(知及技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとすることができる。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりすることができる。 (学・人) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとする。	(知・技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとする。 (思・判・表) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりしようとする。 (主学) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとしている。	「誕生日表」 「お母さんの絵」 「母の日のプレゼント」 (A　表現　B　鑑賞　共通事項)	・材料などから、表したいことを思いつくこと。【A-ア(ｱ)】 ・身の回りにあるものなどを見ること。【B-ア(ｱ)】 ・自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などについて気付くこと。【共通事項-ア(ｱ)】
		(知及技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとすることができる。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりすることができる。 (学・人) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとする。	(知・技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとする。 (思・判・表) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりしようとする。 (主学) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとしている。	「こいのぼり」 「ぬたくりあそび」 (A　表現　B　鑑賞　共通事項)	・材料などから、表したいことを思いつくこと。【A-ア(ｱ)】 ・身の回りにあるものなどを見ること。【B-ア(ｱ)】 ・自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などについて気付くこと。【共通事項-ア(ｱ)】
		(知及技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとすることができる。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりすることができる。 (学・人) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとする。	(知・技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとする。 (思・判・表) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりしようとする。 (主学) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとしている。	「父の日のプレゼント」 「色水あそび」 (A　表現　B　鑑賞　共通事項)	・身の回りの自然物などに触れながらかく、切る、ぬる、はるなどをすること。【A-ア(ｲ)】 ・身の回りにあるものなどを見ること。【B-ア(ｱ)】 ・形や色などを基に、自分のｲﾒｰｼﾞを持つこと。【共通事項-ア(ｲ)】
		(知及技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとすることができる。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりすることができる。 (学・人) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとする。	(知・技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとする。 (思・判・表) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりしようとする。 (主学) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとしている。	「七夕飾り」 「感触あそび」 (A　表現　B　鑑賞　共通事項)	・材料などから、表したいことを思いつくこと。【A-ア(ｱ)】 ・身の回りにあるものなどを見ること。【B-ア(ｱ)】 ・形や色などを基に、自分のｲﾒｰｼﾞを持つこと。【共通事項-ア(ｲ)】

2学期	30	（知及技） 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとすることができる。 （思判表力） 表したいことを思い付いたり、作品を見たりすることができる。 （学・人） 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとする。	（知・技） 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとする。 （思・判・表） 表したいことを思い付いたり、作品を見たりしようとする。 （主学） 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとしている。	「敬老の日のプレゼント」 「運動会のポスター作り」 (A　表現　B　鑑賞　共通事項)	・材料などから、表したいことを思いつくこと。【A-ア(ｱ)】 ・身の回りにあるものなどを見ること。【B-ア(ｱ)】 ・自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などについて気付くこと。【共通事項-ア(ｱ)】
		（知及技） 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとすることができる。 （思判表力） 表したいことを思い付いたり、作品を見たりすることができる。 （学・人） 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとする。	（知・技） 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとする。 （思・判・表） 表したいことを思い付いたり、作品を見たりしようとする。 （主学） 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとしている。	「ハロウィンの装飾作り」 (A　表現　B　鑑賞　共通事項)	・材料などから、表したいことを思いつくこと。【A-ア(ｱ)】 ・身の回りにあるものなどを見ること。【B-ア(ｱ)】 ・形や色などを基に、自分のｲﾒｰｼﾞを持つこと。【共通事項-ア(ｲ)】
		（知及技） 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとすることができる。 （思判表力） 表したいことを思い付いたり、作品を見たりすることができる。 （学・人） 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとする。	（知・技） 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとする。 （思・判・表） 表したいことを思い付いたり、作品を見たりしようとする。 （主学） 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとしている。	「粘土あそび」 「勤労感謝の日のプレゼント」 (A　表現　B　鑑賞　共通事項)	・材料などから、表したいことを思いつくこと。【A-ア(ｱ)】 ・身の回りにあるものなどを見ること。【B-ア(ｱ)】 ・形や色などを基に、自分のｲﾒｰｼﾞを持つこと。【共通事項-ア(ｲ)】
		（知及技） 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとすることができる。 （思判表力） 表したいことを思い付いたり、作品を見たりすることができる。 （学・人） 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとする。	（知・技） 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとする。 （思・判・表） 表したいことを思い付いたり、作品を見たりしようとする。 （主学） 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとしている。	版画あそび」 「クリスマス装飾作り」 「お正月飾り作り」 (A　表現　B　鑑賞　共通事項)	・身の回りの自然物などに触れながらかく、切る、ぬる、はるなどをすること。【A-ア(ｲ)】 ・身の回りにあるものなどを見ること。【B-ア(ｱ)】 ・形や色などを基に、自分のｲﾒｰｼﾞを持つこと。【共通事項-ア(ｲ)】

3学期	14	（知及技） 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとすることができる。 （思判表力） 表したいことを思い付いたり、作品を見たりすることができる。 （学・人） 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとする。	（知・技） 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとする。 （思・判・表） 表したいことを思い付いたり、作品を見たりしようとする。 （主学） 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとしている。	「鬼のお面」 (A　表現　B　鑑賞　共通事項)	・材料などから、表したいことを思いつくこと。【A-ア(ア)】 ・身の回りにあるものなどを見ること。【B-ア(ア)】 ・自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などについて気付くこと。【共通事項-ア(ア)】
		（知及技） 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとすることができる。 （思判表力） 表したいことを思い付いたり、作品を見たりすることができる。 （学・人） 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとする。	（知・技） 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとする。 （思・判・表） 表したいことを思い付いたり、作品を見たりしようとする。 （主学） 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとしている。	「ひな祭り装飾作り」 (A　表現　B　鑑賞共通事項)	・材料などから、表したいことを思いつくこと。【A-ア(ア)】 ・身の回りにあるものなどを見ること。【B-ア(ア)】 ・自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などについて気付くこと。【共通事項-ア(ア)】
		（知及技） 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとすることができる。 （思判表力） 表したいことを思い付いたり、作品を見たりすることができる。 （学・人） 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとする。	（知・技） 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとする。 （思・判・表） 表したいことを思い付いたり、作品を見たりしようとする。 （主学） 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとしている。	「作品入れ作り」 「プレゼントカード作り」 (A　表現　B　鑑賞　共通事項)	・材料などから、表したいことを思いつくこと。【A-ア(ア)】 ・身の回りにあるものなどを見ること。【B-ア(ア)】 ・自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などについて気付くこと。【共通事項-ア(ア)】
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 小学部　１年（Ⅱ課程Ａ）　体育科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
68	1年生	朝倉千陽美	

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 遊びや基本的な運動の行い方及び身近な生活における健康について知るとともに、基本的な動きや健康な生活に必要な事柄を身に付ける。（小２段階） (思判表力)遊びや基本的な運動及び健康についての自分の課題に気付き、その解決に向けて自ら考え行動し、他者に伝える力を身に付ける。（小２段階） (学･人)遊びや基本的な運動に親しむことや健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営むことができる。（小２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	(知及技) 教師の支援を受けながら、横歩きや四つ這い、高這いをすることができる。 (思判表力) リズムに合わせて、ゆっくり歩いたり、速く走ったりすることができる。 (学･人) 簡単な合図や指示に従って、友達と一緒にゲームを行うことができる。	(知・技) 教師の支援を受けながら、横歩きや四つ這い、高這いをしようとしている。 (思･判･表) リズムに合わせて、ゆっくり歩いたり、速く走ったりしようとしている。 (主学) 簡単な合図や指示に従って、友達と一緒にゲームを行おうとしている。	「レッツ！ダンス」 (F 表現運動)	・歩く、走る ・横歩き、後ろ歩き ・アヒル歩き、四つ這い、高這い ・スキップ、ギャロップ ・縄跳び ・簡単なゲーム（あつまりっこ、台風の目、玉入れ、しっぽ取りゲーム、玉入れ、大玉転がし等）
		(知及技) 教師の支援を受けて、体力テストを行うことができる。 (思判表力) どうやったら記録が伸びるか、教師の支援を受けて取り組むことができる。 (学･人) 昨年の自分の記録と比較し、成長した様子や記録の違いを感じることができる。	(知・技) 教師の支援を受けて、体力テストを行おうとしている。 (思･判･表) どうやったら記録が伸びるか、教師の支援を受けて、取り組もうとしている。 (主学) 昨年の自分の記録と比較し、成長した様子や記録の違いを感じようとしている。	「体力テスト」 (A 体つくり運動)	・握力 ・上体起こし ・長座体前屈 ・ソフトボール投げ ・５０ｍ走 ・立ち幅とび ・反復横跳び ・２０ｍシャトルラン
		(知及技) 教師の支援を受けて、顔や頭を水面につけたり、水中に入れたりすることができる。 (思判表力) 水の抵抗を感じながら、歩いたり走ったりしながら遊ぶことができる。 (学･人) 簡単な決まりを守り、友達や教師と一緒に安全に楽しく遊ぶことができる。	(知・技) 教師の支援を受けて、顔や頭を水面につけようとしたり、水中に入れようとすることができる。 (思･判･表) 水の中で歩いたり走ったりしながら遊ぼうとしている。 (主学) 簡単な決まりを守り、友達や教師と一緒に安全に楽しく遊ぼうとしている。	「水遊び・プール学習」 (D 水あそび) 「水遊び・プール学習」 (D 水あそび)	・水遊び（じょうろ、ホース、シャワー、水鉄砲、バケツ、ペットボトル、しゃぼん玉遊び等） ・手足バタバタ★水に慣れよう ・ふりこ（スイング、ドルフィン） ・水中歩き、ワニ歩き ・宝さがし、輪くぐり、汽車ポッポ ・バブリング、ボビング、息継ぎ ・伏し浮き、け伸び、バタ足 ・体の力を抜いて、浮いてみよう！ ・平泳ぎ、クロール

2学期	30	(知及技) 教師の支援を受けながら、楽しく器械・器具を使って基本的な運動を行うことができる。 (思判表力) 器械・器具を使っての基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを自分なりの方法で表現することができる。 (学・人) 簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく安全に、器械・器具を使って運動を行うことができる。	(知・技) 教師の支援を受けながら、楽しく器械・器具を使って基本的な運動を行おうとしている。 (思・判・表) 器械・器具を使っての基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを自分なりの方法で表現しようとしている。 (主学) 簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく安全に、器械・器具を使って運動を行おうとしている。	「レッツ！サーキット」 (B 器械・器具を使っての運動遊び) (C 走・跳の運動遊び) 「レッツ！サーキット」 (B 器械・器具を使っての運動遊び) (C 走・跳の運動遊び)	・三輪車 ・平均台（渡り歩き、跳び下り等） ・跳び箱（よじ登り、跳び下り、またぎ乗り、またぎ下り等） ・マット運動（横転がり、ゆりかご、前転がり、後ろ転がり等） ・ブランコ、トランポリン ・かけっこ、折り返しリレー ・幅跳び遊び ・ケンパー跳び遊び ・ゴム跳び遊び
		(知及技) 教師の支援を受けながら、楽しく走ったり、低いハードルをまたいだり、跳んだりすることができる。 (思判表力) 教師の支援を受けて、決められた距離を自分なりの方法で、最後まで歩いたり、走ったりすることができる。 (学・人) 簡単なきまりを守り、友達と一緒に楽しく走ったり、跳んだりすることができる。	(知・技) 教師の支援を受けながら、楽しく走ったり、低いハードルをまたいだり、跳ぼうとしたりしている。 (思・判・表) 教師の支援を受けて、決められた距離を自分なりの方法で、最後まで歩いたり、走ろうとしている。 (主学) 簡単なきまりを守り、友達と一緒に楽しく走ったり、跳ぼうとしたりしている。	「かけっこ・持久走」 (C 走・跳の運動遊び) 「かけっこ・持久走」 (C 走・跳の運動遊び)	・目標決め ・かけっこ ・ミニハードル ・持久走
3学期	14	(知及技) 教師の支援を受けながら、音楽に合わせて何かになりきったり、自由に踊ったり、楽しく体を動かしたりすることができる。 (思判表力) 音楽やリズムに合わせて歩いたり、走ったり、弾んだり、回ったりすることができる。 (学・人) 簡単なきまりを守り、意欲的に表現運動に取り組むことができる。	(知・技) 教師の支援を受けながら、音楽に合わせて何かになりきったり、自由に踊ったり、楽しく体を動かそうとしている。 (思・判・表) 音楽やリズムに合わせて歩いたり、走ったり、弾んだり、回ったりしようとしている。 (主学) 簡単なきまりを守り、意欲的に表現運動に取り組もうとしている。	「リズムにのって、1・2・3」 (F 表現運動)	・まねっこ動き ・なりきり動き ・自由にダンス ・リズムにのってダンス
		(知及技) 教師の支援を受けながら、ボールを使った基本的な運動やゲームを楽しく行うことができる。 (思判表力) ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさや感じたことを自分なりの方法で表現することができる。 (学・人) 簡単なきまりを守り、友達と一緒に安全に、ボールを使って運動やゲームを行うことができる。	(知・技) 教師の支援を受けながら、ボールを使った基本的な運動やゲームを楽しく行おうとしている。 (思・判・表) ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさや感じたことを自分なりの方法で表現しようとしている。 (主学) 簡単なきまりを守り、友達と一緒に安全に、ボールを使って運動やゲームを行おうとしている。	「ボールで遊ぼう」 (E ボール遊び) 「ボールで遊ぼう」 (E ボール遊び)	・転がす、投げる、蹴る、捕る ・的当てゲーム ・ボウリング ・ボッチャ ・ボール運びゲーム ・ティーベースボール ・大玉ドッチボール ・シュートゲーム等

年間を通して		(知及技) 教師の支援を受けながら、ウォーミングアップやラジオ体操を行うことができる。 (思判表力)集合・整列では、自分の学年に並ぶことができる。 (学･人)教師の言葉かけや簡単な指示で、準備や後片付けを行うことができる。	(知・技) 教師の支援を受けながら、ウォーミングアップやラジオ体操を行おうとしている。 (思･判･表)集合・整列では、自分の学年に並ぼうとしている。 (主学)教師の言葉かけや簡単な指示で、準備や後片付けを行おうとしている。	「はじまるよ」 (A 体つくり運動遊び)	・ウォーミングアップ ・集合、整列 ・ラジオ体操 ・準備、後片付け
		(知及技) 音楽を感じながら、自由に楽しく体を動かすことができる。 (思判表力)音楽に合わせて、体を動かすことの楽しさや感じたことを自分なりの方法で表現することができる。 (学･人)教師の支援を受けながら、進んで音楽に合わせて体を動かすことができる。	(知・技) 音楽を感じながら、自由に楽しく体を動かそうとしている。 (思･判･表)音楽に合わせて、体を動かすことの楽しさや感じたことを自分なりの方法で表現しようとしている。 (主学)教師の支援を受けながら、進んで音楽に合わせて体を動かそうとしている。	「レッツ！ダンス」 (F 表現運動)	・ダンス ・エイサー
		(知及技) 教師と一緒に感染症予防について学び、うがいやマスク、手洗い等、基本的な対策を行うことができる。 (思判表力)体調が悪いときや怪我をして痛いときには教師に知らせたり、手が汚れているときには、その状態を見て、手洗いを行ったりすることができる。 (学･人)身体計測による体重や身長の変化に興味、関心を持つことができる。	(知・技) 感染症予防として、うがいやマスク、手洗い等を行おうとしている。 (思･判･表)体調が悪いときや怪我をして痛いときには教師に知らせようとしたり、手が汚れているときには、その状態を見て、手を洗おうとすることができる。 (主学)昨年と比べて、体重や身長が変化していることを知り、自分の成長を感じることができる。	「健康な生活」 (G 保健)	・大切な体 ・手洗い、うがい、水分補給、着替え ・身体測定 ・感染症予防対策 ・プライベートゾーン
留意点 引継ぎ等		・(A 体つくり運動遊び) ウォーミングアップ、集合・整列は、年間を通して指導する。 ・(F 表現運動) ラジオ体操、ダンスは、年間を通して指導する。 ・(G 保健) 健康な生活は、年間を通して指導する ・単元は、児童の興味・関心、実態に応じて精選、入れ替え、変更等、柔軟性を持って取り扱う。			

令和8年度 小学部　1年（Ⅱ課程Ａ）　道徳科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
34	1年生	朝倉千陽美	

年間目標	・自分でできることは、自ら取り組み、よいこと悪いことをよく考えて行動する態度を養う。 ・友達と仲良くし、助け合う心を育てるとともに、あいさつや動作などの礼儀を身に付ける。 ・約束やきまりを守り、集団生活における自分の役割がわかり、最後までがんばる意欲を育てる。 ・身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接する態度を育てる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	・気持ちのよいあいさつ、言葉遣いを心掛け、明るく接しようとする心情を育てる。 ・友達の気持ちを考え、だれとでも仲よく助け合っていこうとする心情を育てる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【Ｂ　礼儀】 ・いろいろな挨拶（１） 【Ｂ　友情、信頼】 ・友達と仲よく	・学級開き ・「おはよう」「いただきます」「ありがとう」等 ・春の遠足
		・父母を敬愛し、進んで家族の役に立とうとする態度を養う。 ・自分がやらなければならない勉強や仕事はしっかりと行おうとする態度を養う。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【Ｃ　家庭生活の充実】 ・家族 【Ａ　希望と勇気、努力と強い意志】 ・自分の仕事	・母の日、父の日 ・お手伝い
		・物を大切にし、身の回りを整え、気持ちよく生活をしようとする態度を養う。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【Ａ　節度、節制】 ・わがままをしない	・自分の持ち物 ・整理整頓 ・清掃
		・教師や友達、他学年の友達に親しみ、学校生活を楽しもうとする心情を育てる。 ・身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接しようとする心情を育てる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【Ｃ　よりよい学校生活、集団生活の充実】 ・学校は楽しいね（１） 【Ｄ　自然愛護】 ・自然の中で（１）	・集団でのルール ・草花の栽培、観察
2学期	15	・教師や友達、他学年の友達に親しみ、学校生活を楽しもうとする心情を育てる。 ・身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接しようとする心情を育てる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【Ｃ　よりよい学校生活、集団生活の充実】 ・学校は楽しいね（２） 【Ｄ　自然愛護】 ・自然の中で（２）	・友達と一緒に ・草花の栽培、観察
		・時間を守り、みんなが使う物を大切にしようとする態度を養う。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【Ｃ　規則の尊重】 ・きまりを守って	・公共施設でのマナー ・遊ぶときの約束
		・生命がもつたくましさやすばらしさに気づき、かけがえのない生命を大切にしようとする。 ・働くことの良さを感じて、みんなのために働こうとする心情を育てる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【Ｄ　生命の尊さ】 ・生命がもつ力 【Ｃ　公共の尊重】 ・働くことのよさ	・けがをしたとき ・防災について ・当番の役割

		・気持ちのよいあいさつ、言葉遣いを心掛け、明るく接しようとする心情を育てる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【B　礼儀】 ・いろいろな挨拶(２)	・場面に合わせたあいさつ ・人との関わり
３学期	7	・うそをついたりごまかしをしたりしないで、素直に伸び伸び生活しようとする態度を養う。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【A　正直、誠実】 ・いつも素直に	・素直に ・どんなきもち
		・よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行おうとする態度を養う。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【A　善悪の判断、自律、自由と責任】 ・よいと思うことをすすんで	・良いこと、悪いこと
		・身近にいる人に温かい心で接し、親切にしようとする心情を育てる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【B　親切、思いやり】 ・温かい心で親切に	・優しいきもち ・お手紙を書こう ・もうすぐ○年生
年間を通して		・自分の成長に気付いたり、友達の成長を祝う気持ちを持つ。 ・草花や野菜のお世話をしたり、観察をしたりして成長を見る。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【D　生命の尊さ】 ・誕生日を祝おう 【D　自然愛護】 ・草花や野菜を育てよう	・誕生会 ・キャリアパスポート ・草花の栽培
留意点 引継ぎ等					

令和8年度　小学部　１年（Ⅱ課程Ａ）　特別活動　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	1年生	當山仁菜	

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解する。 (思判表力)集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができる。 (学･人)自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	11	･学級で目標を決める大切さを知り、意見を出し合って学級目標を作ることができる。（知及技） ･自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。（学･人） ･自分の好きなことや将来について考えることができる。（思判表力） ･同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。（学･人） ･一学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。（思判表力） ･夏休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。（知及技）	･学級で目標を決める大切さを知り、意見を出し合って学級目標を作ろうとしている。（知・技） ･自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。（主学） ･自分の好きなことや将来について考えようとしている。（思･判･表） ･同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。（主学） ･一学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。（思･判･表） ･夏休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいか自分で考えようとしている。（知・技）	･学年、学級開き ･一学期頑張ろう会 ･学級目標作り ･係活動を決めよう ･キャリアパスポート作り ･一学期の目標 ･学校間交流（･居住地校交流） ･キャリアパスポートの活用 ･一学期頑張った会 ･夏休みに向けて	・新しい学級の友達や先生を知る。 ・一学期頑張ろう会に参加する。 ・一学期の行事の確認 ・学級目標を決めて、書いて教室に貼る。 ・一学期の係活動を決める。 ・一学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、選んだりして発表する。 ・交流会の日時を知る。 ・異学年や他校の友達と歌を歌ったり、簡単なゲームしたりして交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・一学期頑張った会に参加する。 ・夏休みの過ごし方を考えたり話し合ったりする。
2学期	13	･２学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知及技） ･自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。（学･人） ･自分の好きなことや将来について考えることができる。（思判表力） ･集団で活動するよさを知り、集団での活動に参加することができる。（知及技） ･同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。（学･人） ･二学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。（思判表力） ･冬休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。（知及技）	･２学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知・技） ･自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。（主学） ･自分の好きなことや将来について考えようとしている。（思･判･表） ･集団で活動するよさを知り、集団での活動に参加することができる。（知・技） ･同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。（主学） ･二学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。（思･判･表） ･冬休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。（知・技）	･二学期頑張ろう会 ･キャリアパスポート作り ･二学期の目標 ･係活動を決めよう ･学校間交流（･居住地校交流） ･キャリアパスポートの活用 ･二学期頑張った会 ･冬休みに向けて	・二学期頑張ろう会に参加する。 ・二学期の行事の確認 ・二学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、イラスト等を貼ったりする。 ・二学期の係活動を決める。 ・児童集会に参加する。 ・異学年や他校の友達と歌を歌ったり、簡単なゲームしたりして交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・二学期頑張った会に参加する。 ・冬休みの過ごし方を考えたり話し合ったりする。

3学期	4	・3学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知及技） ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。（学・人） ・自分の好きなことや将来について考えることができる。（思・判・表） ・集団での活動に参加することができる。（学・人） ・生年者のこれまでの成長の記録を見聞きし、自分自身のことについて振り返ることができる。（学・人） ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。（学・人） ・一年間を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。（思・判・表） ・進級する学年・学部が現在と違いがあることを知り、今後の行事や学習について希望を持つ。（知及技）	・3学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知・技） ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。（主学） ・自分の好きなことや将来について考えようとしている。（思・判・表） ・集団での活動に参加しようとしている。（主学） ・生年者のこれまでの成長の記録を見聞きし、自分自身のことについて振り返ろうとしている。（主学） ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。（主学） ・一年間を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。（思・判・表） ・進級する学年・学部が現在と違いがあることを知り、今後の行事や学習について希望を持ち、伝えようとしている。（知・技）	・三学期頑張ろう会 ・キャリアパスポート作り ・三学期の目標 ・係活動を決めよう ・生年祝い ・学校間交流（・居住地校交流） ・キャリアパスポートの活用 ・三学期頑張った会 ・進級学年・学部について	・三学期頑張ろう会に参加する。 ・三学期の行事の確認 ・三学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、イラスト等を貼ったりする。 ・三学期の係活動を決める。 ・あおぞら集会に参加する。 ・生年祝いの運営 ・生年祝いに参加し、生年者とともに成長の喜びを感じる。 ・他学年の児童と交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・三学期頑張った会に参加する。 ・次の学年や学部について考える。
留意点 引継ぎ等					

あおぞら会（幼児児童生徒会）

学期	時数	活動の目標	活動・単元名	指導・活動内容
1学期	2	異年齢の生徒同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営をすることに自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標（特別活動全体の目標）に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	・第1回あおぞら集会 ・第2回あおぞら集会	・新役員紹介 ・年間活動計画 ・令和8年度幼児児童生徒総会
2学期	2		・第3回あおぞら集会 ・特体連報告放送	・特体連選手激励会 ・特体連激励放送 ・特体連報告放送
3学期	3		・第4回あおぞら集会 ・第5回あおぞら集会 ・第6回あおぞら集会	・あおぞら役員選挙告示（選挙の内容の説明） ・立会演説会 ・体育館で投票 ・新役員の任命式及び引き継ぎ式 ・当選セレモニー ・当選証書授与

※あおぞら（幼児児童生徒）集会のある週の水曜日にあおぞら（幼児児童生徒）役員会を設定する（役員のみ）。
なお、各学部と調整して柔軟に日程は変更する。
※あおぞら会と学級活動の時数を合わせて、1学期13回、2学期15回、3学期7回の時数となる。

学校行事

学期	時数	活動の目標	活動・単元名	指導・活動内容
1学期	10	全校又は学年の児童で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、第1の目標（特別活動全体の目標）に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	・1学期　始業式 ・身体測定 ・地震火災津波避難訓練 ・内科検診、歯科検診、心電図	・先生の話を聞く。 ・自分の成長を知る。 ・安全に気をつけて行動することができる。 ・検査に落ち着いて受けることができる。 ・月ごとの振り返り
2学期	13		・2学期始業式、終業式 ・火災避難訓練 ・全校作業	・先生の話を聞く。 ・安全に気をつけて行動することができる。 ・月ごとの振り返り ・各行事の準備などの取り組み
3学期	5		・3学期始業式、修了式 ・全校作業 ・卒業式準備	・先生の話を聞く。 ・行事に意欲的に参加できる。 ・月ごとの振り返り ・各行事の準備などの取り組み

令和8年度　小学部　２年（Ⅱ課程Ａ）　生活科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
340	2年生	當山仁菜	絵本・教育動画等

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標

(知及技) 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活に必要な習慣や技能を身に付けるようにする。（小１段階）

(思判表力)自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて理解し、考えたことを表現することができるようにする。（小１段階）

(学･人)自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりする態度を養う。（小１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	120	(知及技) 身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付ける。 (思判表力) 自分自身や身の回りの生活のことなどに関心をもつ。 (学・人) 自分のことや身近な人々に感心をもち、意欲をもって取り組む。	(知・技) 身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付けようとする。 (思・判・表) 自分自身や身の回りの生活のことなどに関心をもとうとする。 (主・学) 自分のことや身近な人々に感心をもち、意欲をもって取り組もうとする。	「見通しのある毎日の生活」 (ウ　日課・予定) 「やってみよう」 (ア　基本的生活習慣)	ウ　日課・予定 日課に沿って教師と共にする学習活動を行う。 (ア) 身の回りの簡単な日課に気付き教師と一緒に日課に沿って行動しようとする。 (イ) 簡単な日課について関心をもつ。 ア　基本的生活習慣 食事や用便等の生活習慣に関わる初歩的な学習活動を行う。 (ア)簡単な身辺処理に気付き、教師と一緒に行おうとする。 (イ)簡単な身辺処理に関する初歩的な知識や技能を身に付ける。
		(知及技) 自分自身や身近な人々、社会に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付ける。 (思判表力) 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて関心をもつ。 (学・人) 自分のことや身近な人々や社会に感心をもち、意欲をもって取り組む。	(知・技) 自分自身や身近な人々、社会に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付けようとする。 (思・判・表) 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて関心をもとうとする。 (主・学) 自分のことや身近な人々や社会に感心をもち、意欲をもって取り組もうとする。	「いろいろな場所を知ろう」 (コ　社会の仕組みと公共施設) 「ルールを考えて一緒に遊ぼう」 (エ　遊び)	コ　社会の仕組みと公共施設 身の回りの公共施設(各教室など)に関わる学習活動を行う。 (ア)(イ) 身の回りにある公共施設(各教室など)に気付き、場所を覚えたり、使い方などについて関心をもつ。 エ　遊び 自分で好きな遊びをすることに関わる学習活動を行う。 (ア) 身の回りの遊びに気付き、教師や友達と同じ場所で遊ぼうとする。 (イ) 身の回りの遊びや遊び方について関心をもつ。
		(知及技) 自分自身や身近な人々、社会、自然に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付ける。 (思判表力) 自分自身や身近な人々、社会、自然との関わりについて関心をもつ。 (学・人) 自分のことや身近な人々や社会、自然に感心をもち、意欲をもって取り組む。	(知・技) 自分自身や身近な人々、社会、自然に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付けようとする。 (思判表力) 自分自身や身近な人々、社会、自然との関わりについて関心をもとうとする。 (学・人) 自分のことや身近な人々や社会、自然に感心をもち、意欲をもって取り組もうとする。	「身近な生き物や自然を知ろう」 (サ　生命・自然)	サ　生命・自然 教師と一緒に(校庭)や公園、野山などの自然に触れることや生き物に興味や関心をもつことなどに関わる学習活動を行う。 (ア) 身の回りにある生命や自然に触れることで気付くことができる。 (イ) 身の回りの生命や自然について関心を持つ。

		(知及技) 自分自身や身近な人々、社会、自然に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付ける。 (思判表力) 自分自身や身近な人々、社会、自然との関わりについて関心をもつ。 (学・人) 自分のことや身近な人々や社会、自然に感心をもち、意欲をもって取り組む。	(知・技) 自分自身や身近な人々、社会、自然に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付けようとする。 (思判表力) 自分自身や身近な人々、社会、自然との関わりについて関心をもとうとする。 (学・人) 自分のことや身近な人々や社会、自然に感心をもち、意欲をもって取り組もうとする。	「安全のためにきまりを守ろう」 (イ　安全)	イ　安全 危ないことや危険な場所等における安全に関わる初歩的な学習活動を行う。 (ア) 身の回りの安全に気付き、教師と一緒に安全な生活に取り組もうとする。 (イ) 安全に関わる初歩的な知識や技能を身に付ける。
2学期	150	(知及技) 自分自身や身近な人々、社会に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付ける。 (思判表力) 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて関心をもつ。 (学・人) 自分のことや身近な人々や社会に感心をもち、意欲をもって取り組む。	(知・技) 自分自身や身近な人々、社会に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付けようとする。 (思・判・表) 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて関心をもとうとする。 (主・学) 自分のことや身近な人々や社会に感心をもち、意欲をもって取り組もうとする。	「一緒にやってみよう」 (自分の係活動に取り組む) (カ　役割)	カ　役割 学級等の集団における役割などに関わる学習活動を行う。 (ア) 身の回りの集団に気付き、教師と一緒に参加しようとする。 (イ) 集団の中での役割に関心をもつ。
		(知及技) 自分自身や身近な人々、社会に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付ける。 (思判表力) 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて関心をもつ。 (学・人) 自分のことや身近な人々や社会に感心をもち、意欲をもって取り組む。	(知・技) 自分自身や身近な人々、社会に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付けようとする。 (思・判・表) 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて関心をもとうとする。 (主・学) 自分のことや身近な人々や社会に感心をもち、意欲をもって取り組もうとする。	「気持ちを伝えよう」 (オ　人との関わり)	オ　人との関わり 小さな集団の中での学習活動を行う。 (ア) 教師や身の回りの人に気付き、教師と一緒に簡単な挨拶や返事等をしようとする。 (イ) 身の回りの人との関わり方に関心をもつ。
		(知及技) 自分自身や身近な人々、社会に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付ける。 (思判表力) 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて関心をもつ。 (学・人) 自分のことや身近な人々や社会に感心をもち、意欲をもって取り組む。	(知・技) 自分自身や身近な人々、社会に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付けようとする。 (思・判・表) 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて関心をもとうとする。 (主・学) 自分のことや身近な人々や社会に感心をもち、意欲をもって取り組もうとする。	「公共施設を知ろう」 (コ　社会の仕組みと公共施設)	コ　社会の仕組みと公共施設 身の回りの公園や公共施設に関わる学習活動を行う。 (ア) 身の回りにある社会の仕組みや公共施設に気付き、それを教師と一緒に伝えようとする。 (イ) 身の回りの社会の仕組みや公共施設について関心をもつ。
		(知及技) 自分自身や身近な人々、社会に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付ける。 (思判表力) 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて関心をもつ。 (学・人) 自分のことや身近な人々や社会に感心をもち、意欲をもって取り組む。	(知・技) 自分自身や身近な人々、社会に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付けようとする。 (思・判・表) 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて関心をもとうとする。 (主・学) 自分のことや身近な人々や社会に感心をもち、意欲をもって取り組もうとする。	「買い物をしてみよう」 (ク　金銭の扱い)	ク　金銭の扱い 簡単な買い物や金銭を大切に扱うことなどに関わる学習活動を行う。 (ア) 身の回りの生活の中で、教師と一緒に金銭を扱おうとする。 (イ) 金銭の扱い方などに関心をもつ。

3 学 期	70	(知及技) 自分自身や身近な人々、社会に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付ける。 (思判表力) 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて関心をもつ。 (学・人) 自分のことや身近な人々や社会に感心をもち、意欲をもって取り組む。	(知・技) 自分自身や身近な人々、社会に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付けようとする。 (思・判・表) 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて関心をもとうとする。 (主・学) 自分のことや身近な人々や社会に感心をもち、意欲をもって取り組もうとする。	「いろいろな遊び」 (昔遊びをしよう) (エ　遊び)	エ　遊び 自分で好きな遊びをすることに関わる学習活動を行う。 (ア) 身の回りの遊びに気付き、教師や友達と同じ場所で遊ぼうとする。 (イ) 身の回りの遊びや遊び方について関心をもつ。
		(知及技) 自分自身や身近な人々、社会、自然に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付ける。 (思判表力) 自分自身や身近な人々、社会、自然との関わりについて関心をもつ。 (学・人) 自分のことや身近な人々や社会、自然に感心をもち、意欲をもって取り組む。	(知・技) 自分自身や身近な人々、社会、自然に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付けようとする。 (思判表力) 自分自身や身近な人々、社会、自然との関わりについて関心をもとうとする。 (学・人) 自分のことや身近な人々や社会、自然に感心をもち、意欲をもって取り組もうとする。	「身近な生き物や自然を知ろう」 (育ててみよう) (サ　生命・自然)	サ　生命・自然 教師と一緒に(校庭)や公園、野山などの自然に触れることや生き物に興味や関心をもつことなどに関わる学習活動を行う。 (ア) 身の回りにある生命や自然に触れることで気付くことができる。 (イ) 身の回りの生命や自然について関心を持つ。
		(知及技) 自分自身や身近な人々、社会に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付ける。 (思判表力) 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて関心をもつ。 (学・人) 自分のことや身近な人々や社会に感心をもち、意欲をもって取り組む。	(知・技) 自分自身や身近な人々、社会に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付けようとする。 (思・判・表) 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて関心をもとうとする。 (主・学) 自分のことや身近な人々や社会に感心をもち、意欲をもって取り組もうとする。	「友達と協力して係活動をしよう」 (大掃除をしよう) (キ　手伝い・仕事)	キ　手伝い・仕事 教師と一緒に身の回りの簡単な手伝いなどに関わる学習活動を行う。 (ア) 身の回りの簡単な手伝いや仕事を教師や友達と一緒にしようとする。 (イ) 簡単な手伝いや仕事に関心を持つ。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 小学部　2年（Ⅱ課程Ａ）　国語科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
68	2年生	祖平みの	こくご☆ 絵本・パネルシアター等

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 日常生活に必要な身近な言葉が分かり使うようになるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができるようにする。（小１段階） (思判表力)言葉をイメージしたり、言葉による関わりを受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。（小１段階） (学･人)言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。（小１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	(知及技)身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じることができる。 (思判表力) 身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすることができる。 (学・人)表情や身振り、音声や発語等によって、意思を伝えようとしたりすることができる。	(知・技)身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じようとしている。 (思・判・表)身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりしようとしている。 (主学)表情や身振り、音声や発語等によって、意思を伝えようとしたりしている。	「学校のことを話そう」 （A　聞くこと・話すこと） 学校生活、朝の会、係、自己紹介	・身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じること。【ア-（ア）】 ・身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすること。【A-イ】
		(知及技)挿絵を用いて日常生活に必要な挨拶や動作、感情を表す言葉を場面に応じて聞いたり、模倣したりして、言葉の関わりに意識を向けることができる。 (思判表力)身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすることができる。 (学・人)表情や身振り、音声や発語等によって、意思を伝えようとしたりすることができる。	(知・技)挿絵を用いて日常生活に必要な挨拶や動作、感情を表す言葉を場面に応じて聞いたり、模倣したりして、言葉の関わりに意識を向けようとしている。 (思・判・表)身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりしようとしている。 (主学)表情や身振り、音声や発語等によって、意思を伝えようとしたりしている。	「いろいろな言葉」 (A　聞くこと・話すこと) 学校生活、返事、あいさつ 自己紹介	・身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすること。【A-イ】 ・伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すこと。【A-ウ】
		(知及技)身近な人からの話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じることができる。 (思判表力)絵や写真、簡単な記号などが表す意味を感覚的に識別し、選択したり、行動したりすることができる。 (学・人)自分なりの表現で、話をしようとしたり、意思を伝えようとしたりする意欲を高めたりすることができる。	(知・技)身近な人からの話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じようとしている。 (思・判・表)絵や写真、簡単な記号などが表す意味を感覚的に識別し、選択したり、行動したりしようとしている。 (主学)自分なりの表現で、話をしようとしたり、意思を伝えようとしたりする意欲を高めたりしようとしている。	「しるし」 (A　聞くこと・話すこと) 絵カード (C　読むこと) 「○」「→」など簡単な記号、絵カード	・身近な人からの話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じること。【A-ア(ア)】 ・絵や矢印などの記号で表された意味に応じ、行動すること。【C-ウ】
		(知及技)身近なクレヨン、ペン、鉛筆等を使って書くことに気付き、慣れることができる。 (思判表力)文字に興味をもち、書こうとすることができる。 (学・人)書くことに親しみ、書いて表現することへの興味・関心を高めることができる。	(知・技)身近なクレヨン、ペン、鉛筆等を使って書くことに気付き、慣れようとしている。 (思・判・表)文字に興味をもち、書こうとしている。 (主学)書くことに親しみ、書いて表現することへの興味・関心を高めようとしている。	「いろいろな筆記用具を使ってみよう」 (B　書くこと) かいてみよう	・いろいろな筆記用具に触れ、書くことを知ること。 【イ-(ウ)㋐】 ・筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ること。【イ-(ウ)㋑】

2学期	30	(知及技)具体物を使って身近な事物の名前や動作を繰り返すことで、遊びの中で言葉と事物を一致させることができる。 (思判表力)絵本などを見て、次の場面を楽しみにしたり、登場人物の動きなどを模倣したりすることができる。 (学・人)声や言葉を使った遊びや関わりを通して、言葉の響きやリズムを体感したり楽しんだりすることができる。	(知・技)具体物を使って身近な事物の名前や動作を繰り返すことで、遊びの中で言葉と事物を一致させようとしている。 (思・判・表)絵本などを見て、次の場面を楽しみにしたり、登場人物の動きなどを模倣したりしようとしている。 (学・人)声や言葉を使った遊びや関わりを通して、言葉の響きやリズムを体感したり楽しんだりしようとしている。	「言葉で遊ぼう 　何が出てくるかな」 (A　聞くこと・話すこと) (C　読むこと) まほうのはこ	・身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じること。【ア-(ア)】 ・遊びを通して、言葉のもつ楽しさに触れること。【イ-(イ)】 ・絵本などを見て、次の場面を楽しみにしたり、登場人物の動きなどを模倣したりすること。【C-エ】
		(知及技)昔話などについて、読み聞かせを聞くなどして親しむことができる。 (思判表力)音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりすることができる。 (学・人)物語の一場面を身振りや音声、簡単な言葉で表現したり、動作化したりして親しむことができる。	(知・技)昔話などについて、読み聞かせを聞くなどして親しもうとしている。 (思・判・表)音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりしようとしている。 (主学)物語の一場面を身振りや音声、簡単な言葉で表現したり、動作化したりして親しもうとしている。	「やり取りを楽しもう」 (A　聞くこと・話すこと) (C　読むこと) お話し集会に向けて	・身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすること。【A-イ】 ・伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すこと。【A-ウ】 ・教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目すること。【C-ア】 ・絵本などを見て、次の場面を楽しみにしたり、登場人物の動きなどを模倣したりすること。【C-エ】
		(知及技)音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりすることができる。 (思判表力)絵などを見て登場人物の動きや言葉などを模倣することができる。 (学・人)物語の一場面を身振りや音声、簡単な言葉で表現したり、動作化したりして親しむことができる。	(知・技)音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりすることができる。 (思・判・表)絵などを見て登場人物の動きや言葉などを模倣しようとしている。 (主学)物語の一場面を身振りや音声、簡単な言葉で表現したり、動作化したりして親しもうとしている。	「お話を演じてみよう」 (A　聞くこと・話すこと) (C　読むこと) お話し集会に向けて	・教師の話や読み聞かせに応じ、音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりすること。【A-ア】 ・身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすること。【A-イ】 ・伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すこと。【A-ウ】 ・絵本などを見て、次の場面を楽しみにしたり、登場人物の動きなどを模倣したりすること。【C-エ】
		(知及技)筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ることができる。 (思判表力)文字に興味をもち、書こうとすることができる。(学・人)書くことに親しみ、書いて表現することへの興味・関心を高めることができる。	(知・技)筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ることができる。 (思・判・表)文字に興味をもち、書こうとすることができる。 (主学)書くことに親しみ、書いて表現することへの興味・関心を高めることができる。	「年賀状やクリスマスカードを書こう」 「自分の名前」 (B　書くこと)	・いろいろな筆記用具に触れ、書くことを知ること。【イ-(ウ)㋐】 ・筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ること。【イ-(ウ)㋑】 ・身近な人との関わりや出来事について、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすること。【B-ア】 ・文字に興味をもち、書こうとすること。【B-イ】

3学期	14	(知及技)筆や墨を使って書くことができる。 (思判表力)文字に興味をもち､書こうとすることができる。 (学・人)書くことに親しみ、書いて表現することへの興味・関心を高めることができる。	(知・技)筆や墨を使って書くことができる。 (思・判・表)文字に興味をもち､書こうとすることができる。 (主学)書くことに親しみ、書いて表現することへの興味・関心を高めることができる。	「書き初めをしよう」 (B　書くこと) 「言葉で遊ぼう～かるたあそびをしよう～」 (A　聞くこと・話すこと)	・いろいろな筆記用具に触れ、書くことを知ること。 【イ-(ウ)㋐】 ・筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ること。【イ-(ウ)㋑】 ・言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすること。【ｱ-（ｲ）】
		(知及技)具体物や絵を見て言葉と結びつけることができる。材料集めから､でき上がりを振る舞うまでの流れの中で言葉が表す事物やイメージを実感することができる。 (思判表力)伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すことができる。 (学・人)気持ちを身振りや音声、言葉で表現したり伝えたりすることができる。	(知・技)具体物や絵を見て言葉と結びつけようとしている。材料集めから､でき上がりを振る舞うまでの流れの中で言葉が表す事物やイメージを実感しようとしている。 (思・判・表)伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表そうとしている。 (主学)気持ちを身振りや音声、言葉で表現したり伝えたりしようとしている。	「作り方をみんなで話してみよう」 (A　聞くこと・話すこと) (C　読むこと) ほっとけーき	・身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じること。 【ア-（ア）】 ・言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすること。【ア-（ｲ）】 ・身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすること。 【A-イ】 ・伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すこと。【A-ウ】 ・絵本などを見て、知っている事物や出来事などを指さしなどで表現すること。 【C-イ】
		(知及技)筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ることができる。 (思判表力)正しい書写の姿勢で文字をなぞったり、真似て書いたりして、メッセージや1年の思い出などを書くことができる。 (学・人)書くことに親しみ、書いて表現することへの興味・関心を高めることができる。	(知・技)筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ることができる。 (思・判・表)正しい書写の姿勢で文字をなぞったり、真似て書いたりして、メッセージや1年の思い出などを書くことができる。 (主学)書くことに親しみ、書いて表現することへの興味・関心を高めることができる。	「メッセージや1年の思い出を書こう」 「自分の名前」 (B　書くこと)	・いろいろな筆記用具に触れ、書くことを知ること。 【イ-(ウ)㋐】 ・筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ること。【イ-(ウ)㋑】 ・身近な人との関わりや出来事について、伝えたいことを思い浮かべたり､選んだりすること。【B-ｱ】 ・文字に興味をもち､書こうとすること。 【B-イ】
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 小学部　2年（Ⅱ課程Ａ）　算数科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
68	2年生	朝倉千陽美	絵本・パズル・具体物等

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けるようにする。 (思判表力)日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・明確に表したり柔軟に表したりする力を養う。 (学･人)数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結びつけてよりよく問題を理解しようとする態度、算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	A 数量の基礎 (知及技) 身の回りのものに気付き、対応させたり、組み合わせたりすることなどについてわかる。 (思判表力) 身の回りにあるもの同士を対応させたり、組み合わせたりするなど、数量に関心を持つ。 (学・人) 数量や図形に気付き、算数の学習に関心を持って取り組む。	(知・技) 身の回りのものに気付き、対応させたり、組み合わせたりすることなどについてわかろうとする。 (思・判・表) 身の回りにあるもの同士を対応させたり、組み合わせたりするなど、数量に関心を持とうとする。 (主学) 数量や図形(もの)に気付き、算数の学に関心を持って取り組もうとしている。	「一つずつあわせてみよう」 (A　数量の基礎　イ　ものとものとの対応) ・自分のマークを覚えて、生活で使う物の場所を確認できるようにする。	ア　具体物に関わる数学的活動について (ア) ㋐具体物に気付いて指を指したり、つかもとしたり、目で追ったりする。 (イ) ㋐対象物に注意を向け、対象物の存在に注目し、諸感覚を協応させながら捉える。 イ　ものとものとを対応させることに関わる数学的活動にういて (イ) ㋐ものとものとを関連付けることに注意を向け、ものの属性に注目し、仲間であることを判断したり、表現したりすること。
		A 数量の基礎 (知及技) 身の回りのものに気付き、対応させたり、組み合わせたりすることなどについてわかる。 (思判表力) 身の回りにあるもの同士を対応させたり、組み合わせたりするなど、数量に関心を持つ。 (学・人) 数量や図形に気付き、算数の学習に関心を持って取り組む。	(知・技) 身の回りのものに気付き、対応させたり、組み合わせたりすることなどについてわかろうとする。 (思・判・表) 身の回りにあるもの同士を対応させたり、組み合わせたりするなど、数量に関心を持とうとする。 (主・学) 数量や図形(もの)に気付き、算数の学に関心を持って取り組もうとしている。	「パズルをやってみよう」 (A　数量の基礎　イ　ものとものとの対応) ・いろいろなパズルをやってみよう	ア　具体物に関わる数学的活動について (ア) ㋐具体物に気付いて指を指したり、つかもとしたり、目で追ったりする。 (イ) ㋐対象物に注意を向け、対象物の存在に注目し、諸感覚を協応させながら捉える。 イ　ものとものとを対応させることに関わる数学的活動にういて (ア) ㋑分割した絵カードを組み合わせること。 ㋒関連の深い絵カードを組み合わせること。
		C　図形 (知及技) 身の回りのものの上下や前後、形の違いに気付き、違いに応じて関わることについてわかる。 (思判表力) 身の回りのものの形に注目し、同じ形を捉えたり、形の違いを捉えたりする。 (学・人) 図形に気付き、算数の学習に関心を持って取り組む。	(知・技) 身の回りのものの上下や前後、形の違いに気付き、違いに応じて関わることについてわかろうとする。 (思・判・表) 身の回りのものの形に注目し、同じ形を捉えたり、形の違いを捉えようとする。 (主学) 図形に気付き、算数の学習に関心を持って取り組もうとしている。	「おなじものをあわせよう」 (C　図形　ア　) ・形、色などの具体物を通して、同じ物を集めたりする。	ア　ものの類別や分類・整理に関わることについて (ア) ㋐具体物に気付いて指を指したり、つかもとしたり、目で追ったりする。 ㋑形を観点に区別する。 ㋒形が同じものを選ぶ。 ㋓似ている二つのものを結びつける。 ㋔関連の深い一対のものや絵カードを組み合わせる。 ㋕同じもの同士の集合づくりをする。 (イ) ㋐対象物に注意を向け、対象物の存在に気付き、諸感覚を協応させながら具体物を捉える。 ㋑ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付き、日常生活の中で関心を持つ。 ㋒ものとものとの関係に注意を向け、ものの属性に気付き、関心を持って対応しながら、表現する仕方を見つけ出し、日常生活で生かす。

		B　数と計算 (知及技) ものの有無や３までの数的要素に気付き、身の回りのものの数に関心をもって関わる。 (思判表力) 身の回りのものの有無や数的要素に注目し、数を直感的に捉えたり、数を用いて表現したりする。 (学・人) 数量に気付き、算数の学習に関心をもって取り組む。	(知・技) ものの有無や３までの数的要素に気付き、身の回りのものの数に関心をもって関わろうとする。 (思・判・表) 身の回りのものの有無や数的要素に注目し、数を直感的に捉えたり、数を用いて表現しようとする。 (主学) 数量に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとする。	「かぞえてみよう」 (B　数と計算　ア　数えることの基礎) ・数字を歌や視覚的支援を通して数字のイメージを持たせる。	ア　数えることの基礎に関わる数学的活動について (ア) ㋐ものの有無に気付く。 ㋓３までの範囲で具体物を取る。 (イ) ㋐数詞とものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活に生かす。
２学期	30	B　数と計算 (知及技) ものの有無や３までの数的要素に気付き、身の回りのものの数に関心をもって関わる。 (思判表力) 身の回りのものの有無や数的要素に注目し、数を直感的に捉えたり、数を用いて表現したりする。 (学・人) 数量に気付き、算数の学習に関心をもって取り組む。	(知・技) ものの有無や３までの数的要素に気付き、身の回りのものの数に関心をもって関わろうとする。 (思・判・表) 身の回りのものの有無や数的要素に注目し、数を直感的に捉えたり、数を用いて表現しようとする。 (主・学) 数量に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとする。	「かぞえてみよう」 (B　数と計算　ア　数えることの基礎) ・１～５までの数を歌や視覚的支援を通して覚えられるようにする。	ア　数えることの基礎に関わる数学的活動について ㋐ものの有無に気付く。 ㋑目の前のものを、１個、２個、たくさんで表す。 ㋒５までの範囲で数唱をする。 ㋕形や色、位置が変わっても、数は変わらないことについて気付く。
		B　数と計算 (知及技) ものの有無や３までの数的要素に気付き、身の回りのものの数に関心をもって関わる。 (思判表力) 身の回りのものの有無や数的要素に注目し、数を直感的に捉えたり、数を用いて表現したりする。 (学・人) 数量に気付き、算数の学習に関心をもって取り組む。	(知・技) ものの有無や３までの数的要素に気付き、身の回りのものの数に関心をもって関わろうとする。 (思・判・表) 身の回りのものの有無や数的要素に注目し、数を直感的に捉えたり、数を用いて表現しようとする。 (主・学) 数量に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとする。	「すうじをよもう」 (B　数と計算　ア　数えることの基礎) ・１～３までの具体物等を通して数える。	ア　数えることの基礎に関わる数学的活動について ㋐ものの有無に気付く。 ㋑目の前のものを、１個、２個、たくさんで表す。 ㋓３までの範囲で具体物を取る。 ㋔対応させてものを配る。
		C　図形 (知及技) 身の回りのものの上下や前後、形の違いに気付き、違いに応じて関わることについてわかる。 (思判表力) 身の回りのものの形に注目し、同じ形を捉えたり、形の違いを捉えたりする。 (学・人) 図形に気付き、算数の学習に関心を持って取り組む。	(知・技) 身の回りのものの上下や前後、形の違いに気付き、違いに応じて関わることについてわかろうとする。 (思・判・表) 身の回りのものの形に注目し、同じ形を捉えたり、形の違いを捉えようとする。 (主学) 図形に気付き、算数の学習に関心を持って取り組もうとしている。	「いろいろな形をみつけよう」 (C　図形　ア　ものの種別) ・いろいろな具体物を通して形の特徴をとらえる。	ア　ものの類別や分類・整理に関わることについて (ア) ㋐具体物に気付いて指を指したり、つかもとしたり、目で追ったりする。 ㋑形を観点に区別する。 ㋒形が同じものを選ぶ。 ㋓似ている二つのものを結びつける。 ㋔関連の深い一対のものや絵カードを組み合わせる。 ㋕同じもの同士の集合づくりをする。 (イ) ㋐対象物に注意を向け、対象物の存在に気付き、諸感覚を協応させながら具体物を捉える。 ㋑ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付き、日常生活の中で関心を持つ。 ㋒ものとものとの関係に注意を向け、ものの属性に気付き、関心を持って対応しながら、表現する仕方を見つけ出し、日常生活で生かす。

		C　図形 (知及技) 身の回りのものの上下や前後、形の違いに気付き、違いに応じて関わることについてわかる。 (思判表力) 身の回りのものの形に注目し、同じ形を捉えたり、形の違いを捉えたりする。 (学・人) 図形に気付き、算数の学習に関心を持って取り組む。	(知・技) 身の回りのものの上下や前後、形の違いに気付き、違いに応じて関わることについてわかろうとする。 (思・判・表) 身の回りのものの形に注目し、同じ形を捉えたり、形の違いを捉えようとする。 (主学) 図形に気付き、算数の学習に関心を持って取り組もうとしている。	「まる、さんかく、しかく」 (B　図形　イ　身の回りにあるものの形) ・○△□の具体物を通して、形の違いに気付く。	ア　ものの類別や分類・整理に関わることについて (ア) ㋐具体物に気付いて指を指したり、つかもとしたり、目で追ったりする。 ㋑形を観点に区別する。 ㋒形が同じものを選ぶ。 ㋓似ている二つのものを結びつける。 ㋔関連の深い一対のものや絵カードを組み合わせる。 ㋕同じもの同士の集合づくりをする。 (イ) ㋐対象物に注意を向け、対象物の存在に気付き、諸感覚を協応させながら具体物を捉える。 ㋑ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付き、日常生活の中で関心を持つ。 ㋒ものとものとの関係に注意を向け、ものの属性に気付き、関心を持って対応しながら、表現する仕方を見つけ出し、日常生活で生かす。
3学期	14	D　測定 (知及技) 身の回りにあるものの量の大きさに気付き、量の違いについての感覚を養うとともに、量に関わる。 (思判表力) 身の回りにあるものの大きさや長さなどの量の違いに注目し、量の大きさにより区別する力をつける。 (学・人) 数量や図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組む。	(知・技) 身の回りにあるものの量の大きさに気付き、量の違いについての感覚を養うとともに、量に関わろうとする。 (思・判・表) 身の回りにあるものの大きさや長さなどの量の違いに注目し、量の大きさにより区別する力をつけようとする。 (主学) 数量や図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとする。	「大きさのちがうものを分けてみよう」 (D　測定　ア　身の回りにある具体物のもつ大きさ) ・「大きい」「小さい」を知り、具体物を比べて分ける。	ア　身の回りにある具体物のもつ大きさに関わる数学的活動について (ア) ㋐大きさや長さなどを、基準に対して同じか違うかによって区別する。 ㋑ある・ない、大きい・小さい、多い・少ない、などの用語に注目して表現する。
		D　測定 (知及技) 身の回りにあるものの量の大きさに気付き、量の違いについての感覚を養うとともに、量に関わる。 (思判表力) 身の回りにあるものの大きさや長さなどの量の違いに注目し、量の大きさにより区別する力をつける。 (学・人) 数量や図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組む。	(知・技) 身の回りにあるものの量の大きさに気付き、量の違いについての感覚を養うとともに、量に関わろうとする。 (思・判・表) 身の回りにあるものの大きさや長さなどの量の違いに注目し、量の大きさにより区別する力をつけようとする。 (主学) 数量や図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとする。	「見た目の大きさで分けてみよう」 (D　測定　ア　身の回りにある具体物のもつ大きさ) ・いくつかの大きいもの、小さいものをわける。	ア　身の回りにある具体物のもつ大きさに関わる数学的活動について (ア) ㋐大きさや長さなどを、基準に対して同じか違うかによって区別する。 ㋑ある・ない、大きい・小さい、多い・少ない、などの用語に注目して表現する。 (イ) ㋐大小や多少等で区別することに関心をもち、量の大きさを表す用語に注目して表現する。
		D　測定 (知及技) 身の回りにあるものの量の大きさに気付き、量の違いについての感覚を養うとともに、量に関わる。 (思判表力) 身の回りにあるものの大きさや長さなどの量の違いに注目し、量の大きさにより区別する力をつける。 (学・人) 数量や図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組む。	(知・技) 身の回りにあるものの量の大きさに気付き、量の違いについての感覚を養うとともに、量に関わろうとする。 (思・判・表) 身の回りにあるものの大きさや長さなどの量の違いに注目し、量の大きさにより区別する力をつけようとする。 (主学) 数量や図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとする。	「比べる言葉」 (D　測定　ア　身の回りにある具体物のもつ大きさ) ・「大きい」「小さい」を知り、具体物を比べて分ける。	ア　身の回りにある具体物のもつ大きさに関わる数学的活動について (ア) ㋐大きさや長さなどを、基準に対して同じか違うかによって区別する。 ㋑ある・ない、大きい・小さい、多い・少ない、などの用語に注目して表現する。 (イ) ㋐大小や多少等で区別することに関心をもち、量の大きさを表す用語に注目して表現する。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 小学部　2年（Ⅱ課程Ａ）　音楽科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
68	2年生	當山仁菜	音楽動画・音声教材

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標

(知及技) 曲名や曲想と簡単な音楽のつくりについて気付くとともに、感じたことを音楽表現するために必要な技能を身に付けることができる。（小２段階）

(思判表力)感じたことを表現することや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら、音や音楽の楽しさを味わって聴くことができる。（小２段階）

(学･人)音や音楽に楽しく関わり、教師や友達と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、身の回りの様々な音楽に親しんだり、豊かな情操を育んだりすることができる。（小２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	(知及技) 音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かすことができる。 (思判表力) 好きな歌や旋律の一部分を自分なりに歌いたいと思うことができる。 (学･人) 音楽活動に興味を持ち、楽しみながら学習に取り組むことができる。	(知・技) 音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かしている。 (思･判･表) 好きな歌や旋律の一部分を自分なりに歌おうとしている。 (主学) 音楽活動に興味を持ち、楽しみながら学習に取り組もうとしている。	「春を感じよう」 「歌で仲良しになろう」 「音を出してみよう」 「からだを動かそう」	【歌唱・共通事項】 ・校歌 ・はるがきた 【器楽・共通事項】 ・どんぐりさんのおうち ・パンパン 【音楽づくり・共通事項】 ・お返事しよう 【身体表現・共通事項】 ・ドラえもん ・口笛吹きと子犬 【鑑賞・共通事項】 ・こいのぼり
		(知及技) 器 拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。 (思判表力)鑑 身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴くことができる。 (学･人) 拍に合わせて楽器を鳴らし、いろいろなリズムに興味を持つことができる。	(知・技) 拍や曲の特徴的なリズムに気付こうとしている。 (思･判･表) 身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴いている。 (主学) 拍に合わせて楽器を鳴らし、いろいろなリズムに興味を持とうとしている。	「声を合わせて」 「打楽器にちょうせん」 「まねてみよう」 「耳をすませて」	【歌唱・共通事項】 ・かえるの合唱 ・ともだちになるために 【器楽・共通事項】 ・とけいのうた ・ぶんぶんぶん 【音楽づくり・共通事項】 ・かえるの音あそび 【身体表現・共通事項】 ・手をつなぎましょう ・まねっこどうぶつ 【鑑賞・共通事項】 ・いろんな音 ・おどるこねこ
		(知及技) 歌 教師や友達と一緒に歌うことができる。 (思判表力)音 声や身の回りの様々なものを用いて、音を出そうとすることができる。 (学･人) 教師をよく見て、合図に合わせて発声したり、部分的に歌ったりすることができる。	(知・技) 教師や友達と一緒に歌おうとしている。 (思･判･表) 声や身の回りの様々なものを用いて、音を出そうとしている。 (主学) 教師をよく見て、合図に合わせて発声したり、部分的に歌おうとしている。	「交流会に向けて」 「音の高さを感じて」 「リズムにのって」 「ようすをおもいうかべて」	【歌唱・共通事項】 ・シャボン玉 ・白保と八特の子どもたち 【器楽・共通事項】 ・かえるの合唱 【音楽づくり・共通事項】 ・ペットボトルでメロディーづくり 【身体表現・共通事項】 ・はしの上で 【鑑賞・共通事項】 ・月桃 ・海の歌を歌おう
		(知及技) 音 音のつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さに気付くことができる。 (思判表力)身 簡単なリズムの特徴を感じ取り、身体を動かそうとすることができる。 (学･人) 教師や友達とのやりとりを楽しみながら、身体表現や音楽づくりに取り組むことができる。	(知・技) 音のつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さに気付いている。 (思･判･表) 簡単なリズムの特徴を感じ取り、身体を動かそうとしている。 (主学) 教師や友達とのやりとりを楽しみながら、身体表現や音楽づくりに取り組もうとしている。	「夏を感じよう」 「音の高さを感じて」 「声をききあおう」 「歌に合わせて身体を動かそう」	【歌唱・共通事項】 ・南の島のはめはめは大王 【器楽・共通事項】 ・きらきらぼし 【音楽づくり・共通事項】 ・なまえあそび 【身体表現・共通事項】 ・エビカニックス 【鑑賞・共通事項】 ・ほしにねがいを ・ヤッホッホ夏休み

2学期	30	(知及技) 歌 範唱を聴いて、曲の一部を模唱することができる。 (思判表力)器 身近な打楽器に親しみ、音を出そうとすることができる。 (学･人) 郷土の音楽や楽器に親しみを持ち、進んで身体表現したり、歌ったりすることができる。	(知・技) 範唱を聴いて、曲の一部を模唱しようとしている。 (思･判･表) 身近な打楽器に親しみ、音を出そうとしている。 (主学) 郷土の音楽や楽器に親しみを持ち、進んで身体表現したり、歌ったりしようとしている。	「秋を感じよう」 「まつりを楽しもう」 「声を聞き合おう」 「拍を感じて」	【歌唱・共通事項】 ・やまびこごっこ ・ゆうやけこやけ 【器楽・共通事項】 ・エイサー ・マミードーマ、唐船ドーイ 【音楽づくり・共通事項】 ・やまびこあそび 【身体表現・共通事項】 ・たぬきのたいこ 【鑑賞・共通事項】 ・つき ・三線の音色を聞こう
		(知及技) 器 楽器の音色の違いに気付くことができる。 (思判表力)音 音遊びを通して、音の面白さに気付くことができる。 (学･人) 好きな歌詞や登場人物を見つけ、役割を分担しながら、教師や友達と一緒に歌唱や身体表現に取り組むことができる。	(知・技) 楽器の音色の違いに気付いている。 (思･判･表) 音遊びを通して、音の面白さに気付いている。 (主学) 好きな歌詞や登場人物を見つけ、役割を分担しながら、教師や友達と一緒に歌唱や身体表現に取り組もうとしている。	「歌のまねっこで遊ぼう」 「ひびきあいを楽しもう」 「拍を感じて」 「音楽に合わせて身体を動かそう」 「物語の音楽を楽しもう」	【歌唱・共通事項】 ・カレーライス 【器楽・共通事項】 ・虫のこえ 【音楽づくり・共通事項】 ・音あてあそび 【身体表現・共通事項】 ・きのこ 【鑑賞・共通事項】 ・おおきなかぶ ・シンコペーテッドクロック
		(知及技) 身 曲に合わせて教師や友達と一緒に体を動かすことができる。 (思判表力)歌 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌の一部分を自分なりに歌おうとすることができる。 (学･人) テンポや音量の違いを感じ、工夫して歌ったり、身体全体を動かしたりすることができる。	(知・技) 曲に合わせて教師や友達と一緒に体を動かそうとしている。 (思･判･表) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌の一部分を自分なりに歌おうとしている。 (主学) テンポや音量の違いを感じ、工夫して歌ったり、身体全体を動かそうとしている。	「みぶりをつけてみんなで歌おう」 「リズムで遊ぼう」 「拍を感じて」 「みんなでつながろう」 「耳をすまそう」	【歌唱・共通事項】 ・ふしぎなポケット 【器楽・共通事項】 ・おもちゃのチャチャチャ 【音楽づくり・共通事項】 ・口でいろんな音を出そう 【身体表現・共通事項】 ・かもつれっしゃ 【鑑賞・共通事項】 ・おもちゃの兵隊 ・ぼうがいっぽんあったとさ
		(知及技) 歌 自分の歌声に注意を向けて歌うことができる。 (思判表力)器 身近な打楽器などに親しみ、自ら音を出そうとすることができる。 (学･人) 身近な打楽器を用いて、曲の簡単なリズムやパターンの特徴の面白さなどに気付くことができる。	(知・技) 自分の歌声に注意を向けて、歌おうとしている。 (思･判･表) 身近な打楽器などに親しみ、自ら音を出そうとしている。 (主学) 身近な打楽器を用いて、曲の簡単なリズムやパターンの特徴の面白さなどに気付こうとしている。	「様子を思いうかべながら歌おう」 「リズムにのって音を出してみよう」 「音を当てよう」 「楽しくダンス」 「季節の雰囲気を感じよう」	【歌唱・共通事項】 ・やぎさんゆうびん 【器楽・共通事項】 ・あわてんぼうのサンタクロース 【音楽づくり・共通事項】 ・音の出し方いろいろ 【身体表現・共通事項】 ・ハッピークリスマス ・こいぬのビンゴ 【鑑賞・共通事項】 ・サンタが町にやってくる

3 学 期	14	(知及技) 鑑 身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見つけることができる。 (思判表力)音 音遊びを通して音の面白さに気付き、自ら音や音楽で表現しようとすることができる。 (学･人) わらべうたの良さや面白さを感じとり、教師や友達と一緒に身体を動かしたり、歌ったりする学習に親しみ、他のわらべうたにも関心を持ったりすることができる。	(知・技) 身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見つけようとしている。 (思･判･表) 音遊びを通して音の面白さに気付き、自ら音や音楽で表現しようとしている。 (主学) わらべうたの良さや面白さを感じとり、教師や友達と一緒に身体を動かしたり、歌ったりする学習に親しみ、他のわらべうたにも関心を持とうとしている。	「冬を感じよう」 「音を合わせて楽しもう」 「日本のしらべにのって」 「耳をすまして」	【歌唱・共通事項】 ・北風小僧の寒太郎 ・とんくるりんぱんくるりん 【器楽・共通事項】 ・ゆきのおどり 【音楽づくり・共通事項】 ・らくらく打楽器メロディ 【身体表現・共通事項】 ・はないちもんめ ・おちゃらかほい 【鑑賞・共通事項】 ・スケーターズワルツ
		(知及技) 歌 曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉に気付くことができる。 (思判表力)身 簡単なリズムの特徴を感じ取り、自ら体を動かそうとすることができる。 (学･人) 歌声や楽器の音色に気をつけながら、曲想にあった表現を工夫したり、歌声と楽器の音を合わせて演奏する楽しさに気付いたりすることができる。	(知・技) 曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉に気付いている。 (思･判･表) 簡単なリズムの特徴を感じ取り、自ら体を動かそうとしている。 (主学) 歌声や楽器の音色に気をつけながら、曲想にあった表現を工夫したり、歌声と楽器の音を合わせて演奏する楽しさに気付こうとしている。	「卒業式に向けて」 「音を合わせて楽しもう」 「いろんな音を見つけよう」 「曲に合わせて身体を動かそう」 「季節の雰囲気を感じよう」	【歌唱・共通事項】 ・てのひらをたいように ・卒業式の歌 【器楽・共通事項】 ・とんくるりんぱんくるりん 【音楽づくり・共通事項】 ・ことばでリズム 【身体表現・共通事項】 ・おにのパンツ ・双頭の鷲の旗の下で 【鑑賞・共通事項】 ・白鳥 ・うれしいひなまつり
		(知及技) 音 教師や友達と一緒に簡単な音や音楽を作ることができる。 (思判表力)鑑 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴くことができる。 (学･人) 一年間を振り返り、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱や身体表現、音楽づくりや器楽、鑑賞などの活動に取り組むことができる。	(知・技) 教師や友達と一緒に簡単な音や音楽を作ろうとしている。 (思･判･表) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴いている。 (主学) 一年間を振り返り、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱や身体表現、音楽づくりや器楽、鑑賞などの活動に取り組もうとしている。	「卒業式に向けて」 「音を合わせて楽しもう」 「いろんな音を見つけよう」 「曲に合わせて身体を動かそう」 「一年間を振り返ろう」	【歌唱・共通事項】 ・卒業式の歌 【器楽・共通事項】 ・とんくるりんぱんくるりん 【音楽づくり・共通事項】 ・ことばでリズム 【身体表現・共通事項】 ・双頭の鷲の旗の下で 【鑑賞・共通事項】 ・思い出のアルバム
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 小学部　2年（Ⅱ課程Ａ）　図画工作科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
68	2年生	祖平みの	

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとするようにする。（小１段階） (思判表力)表したいことを思い付いたり、作品を見たりできるようにする。（小１段階） (学･人)進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとする態度を養う。（小１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	（知及技） 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとすることができる。 （思判表力） 表したいことを思い付いたり、作品を見たりすることができる。 （学・人） 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとする。	（知・技） 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとする。 （思・判・表） 表したいことを思い付いたり、作品を見たりしようとする。 （主学） 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとしている。	「誕生日表」 「お母さんの絵」 「母の日のプレゼント」 (A　表現　B　鑑賞　共通事項)	・材料などから、表したいことを思いつくこと。【A-ア(ｱ)】 ・身の回りにあるものなどを見ること。【B-ア(ｱ)】 ・自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などについて気付くこと。【共通事項-ア(ｱ)】
		（知及技） 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとすることができる。 （思判表力） 表したいことを思い付いたり、作品を見たりすることができる。 （学・人） 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとする。	（知・技） 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとする。 （思・判・表） 表したいことを思い付いたり、作品を見たりしようとする。 （主学） 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとしている。	「こいのぼり」 「ぬたくりあそび」 (A　表現　B　鑑賞　共通事項)	・材料などから、表したいことを思いつくこと。【A-ア(ｱ)】 ・身の回りにあるものなどを見ること。【B-ア(ｱ)】 ・自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などについて気付くこと。【共通事項-ア(ｱ)】
		（知及技） 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとすることができる。 （思判表力） 表したいことを思い付いたり、作品を見たりすることができる。 （学・人） 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとする。	（知・技） 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとする。 （思・判・表） 表したいことを思い付いたり、作品を見たりしようとする。 （主学） 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとしている。	「父の日のプレゼント」 「色水あそび」 (A　表現　B　鑑賞　共通事項)	・身の回りの自然物などに触れながらかく、切る、ぬる、はるなどをすること。【A-ア(ｲ)】 ・身の回りにあるものなどを見ること。【B-ア(ｱ)】 ・形や色などを基に、自分のｲﾒｰｼﾞを持つこと。【共通事項-ア(ｲ)】
		（知及技） 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとすることができる。 （思判表力） 表したいことを思い付いたり、作品を見たりすることができる。 （学・人） 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとする。	（知・技） 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとする。 （思・判・表） 表したいことを思い付いたり、作品を見たりしようとする。 （主学） 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとしている。	「七夕飾り」 「感触あそび」 (A　表現　B　鑑賞　共通事項)	・材料などから、表したいことを思いつくこと。【A-ア(ｱ)】 ・身の回りにあるものなどを見ること。【B-ア(ｱ)】 ・形や色などを基に、自分のｲﾒｰｼﾞを持つこと。【共通事項-ア(ｲ)】

2学期	30	（知及技） 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとすることができる。 （思判表力） 表したいことを思い付いたり、作品を見たりすることができる。 （学・人） 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとする。	（知・技） 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとする。 （思・判・表） 表したいことを思い付いたり、作品を見たりしようとする。 （主学） 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとしている。	「敬老の日のプレゼント」 「運動会のポスター作り」 (A　表現　B　鑑賞　共通事項)	・材料などから、表したいことを思いつくこと。【A-ア(ｱ)】 ・身の回りにあるものなどを見ること。【B-ア(ｱ)】 ・自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などについて気付くこと。【共通事項-ア(ｱ)】
		（知及技） 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとすることができる。 （思判表力） 表したいことを思い付いたり、作品を見たりすることができる。 （学・人） 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとする。	（知・技） 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとする。 （思・判・表） 表したいことを思い付いたり、作品を見たりしようとする。 （主学） 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとしている。	「ハロウィンの装飾作り」 (A　表現　B　鑑賞　共通事項)	・材料などから、表したいことを思いつくこと。【A-ア(ｱ)】 ・身の回りにあるものなどを見ること。【B-ア(ｱ)】 ・形や色などを基に、自分のｲﾒｰｼﾞを持つこと。【共通事項-ア(ｲ)】
		（知及技） 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとすることができる。 （思判表力） 表したいことを思い付いたり、作品を見たりすることができる。 （学・人） 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとする。	（知・技） 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとする。 （思・判・表） 表したいことを思い付いたり、作品を見たりしようとする。 （主学） 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとしている。	「粘土あそび」 「勤労感謝の日のプレゼント」 (A　表現　B　鑑賞　共通事項)	・材料などから、表したいことを思いつくこと。【A-ア(ｱ)】 ・身の回りにあるものなどを見ること。【B-ア(ｱ)】 ・形や色などを基に、自分のｲﾒｰｼﾞを持つこと。【共通事項-ア(ｲ)】
		（知及技） 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとすることができる。 （思判表力） 表したいことを思い付いたり、作品を見たりすることができる。 （学・人） 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとする。	（知・技） 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとする。 （思・判・表） 表したいことを思い付いたり、作品を見たりしようとする。 （主学） 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとしている。	版画あそび」 「クリスマス装飾作り」 「お正月飾り作り」 (A　表現　B　鑑賞　共通事項)	・身の回りの自然物などに触れながらかく、切る、ぬる、はるなどをすること。【A-ア(ｲ)】 ・身の回りにあるものなどを見ること。【B-ア(ｱ)】 ・形や色などを基に、自分のｲﾒｰｼﾞを持つこと。【共通事項-ア(ｲ)】

3学期	14	（知及技） 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとすることができる。 （思判表力） 表したいことを思い付いたり、作品を見たりすることができる。 （学・人） 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとする。	（知・技） 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとする。 （思・判・表） 表したいことを思い付いたり、作品を見たりしようとする。 （主学） 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとしている。	「鬼のお面」 (A　表現　B　鑑賞　共通事項)	・材料などから、表したいことを思いつくこと。【A-ア(ア)】 ・身の回りにあるものなどを見ること。【B-ア(ア)】 ・自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などについて気付くこと。【共通事項-ア(ア)】
		（知及技） 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとすることができる。 （思判表力） 表したいことを思い付いたり、作品を見たりすることができる。 （学・人） 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとする。	（知・技） 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとする。 （思・判・表） 表したいことを思い付いたり、作品を見たりしようとする。 （主学） 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとしている。	「ひな祭り装飾作り」 (A　表現　B　鑑賞共通事項)	・材料などから、表したいことを思いつくこと。【A-ア(ア)】 ・身の回りにあるものなどを見ること。【B-ア(ア)】 ・自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などについて気付くこと。【共通事項-ア(ア)】
		（知及技） 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとすることができる。 （思判表力） 表したいことを思い付いたり、作品を見たりすることができる。 （学・人） 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとする。	（知・技） 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとする。 （思・判・表） 表したいことを思い付いたり、作品を見たりしようとする。 （主学） 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとしている。	「作品入れ作り」 「プレゼントカード作り」 (A　表現　B　鑑賞　共通事項)	・材料などから、表したいことを思いつくこと。【A-ア(ア)】 ・身の回りにあるものなどを見ること。【B-ア(ア)】 ・自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などについて気付くこと。【共通事項-ア(ア)】
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 小学部　２年（Ⅱ課程Ａ）　体育科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
68	2年生	朝倉千陽美	

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 遊びや基本的な運動の行い方及び身近な生活における健康について知るとともに、基本的な動きや健康な生活に必要な事柄を身に付ける。（小２段階） (思判表力)遊びや基本的な運動及び健康についての自分の課題に気付き、その解決に向けて自ら考え行動し、他者に伝える力を身に付ける。（小２段階） (学･人)遊びや基本的な運動に親しむことや健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営むことができる。（小２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	(知及技) 教師の支援を受けながら、横歩きや四つ這い、高這いをすることができる。 (思判表力) リズムに合わせて、ゆっくり歩いたり、速く走ったりすることができる。 (学･人) 簡単な合図や指示に従って、友達と一緒にゲームを行うことができる。	(知・技) 教師の支援を受けながら、横歩きや四つ這い、高這いをしようとしている。 (思･判･表) リズムに合わせて、ゆっくり歩いたり、速く走ったりしようとしている。 (主学) 簡単な合図や指示に従って、友達と一緒にゲームを行おうとしている。	「レッツ！ダンス」 (F 表現運動)	・歩く、走る ・横歩き、後ろ歩き ・アヒル歩き、四つ這い、高這い ・スキップ、ギャロップ ・縄跳び ・簡単なゲーム（あつまりっこ、台風の目、玉入れ、しっぽ取りゲーム、玉入れ、大玉転がし等）
		(知及技) 教師の支援を受けて、体力テストを行うことができる。 (思判表力) どうやったら記録が伸びるか、教師の支援を受けて取り組むことができる。 (学･人) 昨年の自分の記録と比較し、成長した様子や記録の違いを感じることができる。	(知・技) 教師の支援を受けて、体力テストを行おうとしている。 (思･判･表) どうやったら記録が伸びるか、教師の支援を受けて、取り組もうとしている。 (主学) 昨年の自分の記録と比較し、成長した様子や記録の違いを感じようとしている。	「体力テスト」 (A 体つくり運動)	・握力 ・上体起こし ・長座体前屈 ・ソフトボール投げ ・５０ｍ走 ・立ち幅とび ・反復横跳び ・２０ｍシャトルラン
		(知及技) 教師の支援を受けて、顔や頭を水面につけたり、水中に入れたりすることができる。 (思判表力) 水の抵抗を感じながら、歩いたり走ったりしながら遊ぶことができる。 (学･人) 簡単な決まりを守り、友達や教師と一緒に安全に楽しく遊ぶことができる。	(知・技) 教師の支援を受けて、顔や頭を水面につけようとしたり、水中に入れようとすることができる。 (思･判･表) 水の中で歩いたり走ったりしながら遊ぼうとしている。 (主学) 簡単な決まりを守り、友達や教師と一緒に安全に楽しく遊ぼうとしている。	「水遊び・プール学習」 (D 水あそび) 「水遊び・プール学習」 (D 水あそび)	・水遊び（じょうろ、ホース、シャワー、水鉄砲、バケツ、ペットボトル、しゃぼん玉遊び等） ・手足バタバタ★水に慣れよう ・ふりこ（スイング、ドルフィン） ・水中歩き、ワニ歩き ・宝さがし、輪くぐり、汽車ポッポ ・バブリング、ボビング、息継ぎ ・伏し浮き、け伸び、バタ足 ・体の力を抜いて、浮いてみよう！ ・平泳ぎ、クロール

2学期	30	(知及技) 教師の支援を受けながら、楽しく器械・器具を使って基本的な運動を行うことができる。 (思判表力) 器械・器具を使っての基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを自分なりの方法で表現することができる。 (学・人) 簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく安全に、器械・器具を使って運動を行うことができる。	(知・技) 教師の支援を受けながら、楽しく器械・器具を使って基本的な運動を行おうとしている。 (思・判・表) 器械・器具を使っての基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを自分なりの方法で表現しようとしている。 (主学) 簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく安全に、器械・器具を使って運動を行おうとしている。	「レッツ！サーキット」 (B 器械・器具を使っての運動遊び) (C 走・跳の運動遊び) 「レッツ！サーキット」 (B 器械・器具を使っての運動遊び) (C 走・跳の運動遊び)	・三輪車 ・平均台（渡り歩き、跳び下り等） ・跳び箱（よじ登り、跳び下り、またぎ乗り、またぎ下り等） ・マット運動（横転がり、ゆりかご、前転がり、後ろ転がり等） ・ブランコ、トランポリン ・かけっこ、折り返しリレー ・幅跳び遊び ・ケンパー跳び遊び ・ゴム跳び遊び
		(知及技) 教師の支援を受けながら、楽しく走ったり、低いハードルをまたいだり、跳んだりすることができる。 (思判表力) 教師の支援を受けて、決められた距離を自分なりの方法で、最後まで歩いたり、走ったりすることができる。 (学・人) 簡単なきまりを守り、友達と一緒に楽しく走ったり、跳んだりすることができる。	(知・技) 教師の支援を受けながら、楽しく走ったり、低いハードルをまたいだり、跳ぼうとしたりしている。 (思・判・表) 教師の支援を受けて、決められた距離を自分なりの方法で、最後まで歩いたり、走ろうとしている。 (主学) 簡単なきまりを守り、友達と一緒に楽しく走ったり、跳ぼうとしたりしている。	「かけっこ・持久走」 (C 走・跳の運動遊び) 「かけっこ・持久走」 (C 走・跳の運動遊び)	・目標決め ・かけっこ ・ミニハードル ・持久走
3学期	14	(知及技) 教師の支援を受けながら、音楽に合わせて何かになりきったり、自由に踊ったり、楽しく体を動かしたりすることができる。 (思判表力) 音楽やリズムに合わせて歩いたり、走ったり、弾んだり、回ったりすることができる。 (学・人) 簡単なきまりを守り、意欲的に表現運動に取り組むことができる。	(知・技) 教師の支援を受けながら、音楽に合わせて何かになりきったり、自由に踊ったり、楽しく体を動かそうとしている。 (思・判・表) 音楽やリズムに合わせて歩いたり、走ったり、弾んだり、回ったりしようとしている。 (主学) 簡単なきまりを守り、意欲的に表現運動に取り組もうとしている。	「リズムにのって、1・2・3」 (F 表現運動)	・まねっこ動き ・なりきり動き ・自由にダンス ・リズムにのってダンス
		(知及技) 教師の支援を受けながら、ボールを使った基本的な運動やゲームを楽しく行うことができる。 (思判表力) ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさや感じたことを自分なりの方法で表現することができる。 (学・人) 簡単なきまりを守り、友達と一緒に安全に、ボールを使って運動やゲームを行うことができる。	(知・技) 教師の支援を受けながら、ボールを使った基本的な運動やゲームを楽しく行おうとしている。 (思・判・表) ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさや感じたことを自分なりの方法で表現しようとしている。 (主学) 簡単なきまりを守り、友達と一緒に安全に、ボールを使って運動やゲームを行おうとしている。	「ボールで遊ぼう」 (E ボール遊び) 「ボールで遊ぼう」 (E ボール遊び)	・転がす、投げる、蹴る、捕る ・的当てゲーム ・ボウリング ・ボッチャ ・ボール運びゲーム ・ティーベースボール ・大玉ドッチボール ・シュートゲーム等

年間を通して		(知及技) 教師の支援を受けながら、ウォーミングアップやラジオ体操を行うことができる。 (思判表力)集合・整列では、自分の学年に並ぶことができる。 (学･人)教師の言葉かけや簡単な指示で、準備や後片付けを行うことができる。	(知・技) 教師の支援を受けながら、ウォーミングアップやラジオ体操を行おうとしている。 (思･判･表)集合・整列では、自分の学年に並ぼうとしている。 (主学)教師の言葉かけや簡単な指示で、準備や後片付けを行おうとしている。	「はじまるよ」 (A 体つくり運動遊び)	・ウォーミングアップ ・集合、整列 ・ラジオ体操 ・準備、後片付け
		(知及技) 音楽を感じながら、自由に楽しく体を動かすことができる。 (思判表力)音楽に合わせて、体を動かすことの楽しさや感じたことを自分なりの方法で表現することができる。 (学･人)教師の支援を受けながら、進んで音楽に合わせて体を動かすことができる。	(知・技) 音楽を感じながら、自由に楽しく体を動かそうとしている。 (思･判･表)音楽に合わせて、体を動かすことの楽しさや感じたことを自分なりの方法で表現しようとしている。 (主学)教師の支援を受けながら、進んで音楽に合わせて体を動かそうとしている。	「レッツ！ダンス」 (F 表現運動)	・ダンス ・エイサー
		(知及技) 教師と一緒に感染症予防について学び、うがいやマスク、手洗い等、基本的な対策を行うことができる。 (思判表力)体調が悪いときや怪我をして痛いときには教師に知らせたり、手が汚れているときには、その状態を見て、手洗いを行ったりすることができる。 (学･人)身体計測による体重や身長の変化に興味、関心を持つことができる。	(知・技) 感染症予防として、うがいやマスク、手洗い等を行おうとしている。 (思･判･表)体調が悪いときや怪我をして痛いときには教師に知らせようとしたり、手が汚れているときには、その状態を見て、手を洗おうとすることができる。 (主学)昨年と比べて、体重や身長が変化していることを知り、自分の成長を感じることができる。	「健康な生活」 (G 保健)	・大切な体 ・手洗い、うがい、水分補給、着替え ・身体測定 ・感染症予防対策 ・プライベートゾーン
留意点 引継ぎ等		・(A 体つくり運動遊び) ウォーミングアップ、集合・整列は、年間を通して指導する。 ・(F 表現運動) ラジオ体操、ダンスは、年間を通して指導する。 ・(G 保健) 健康な生活は、年間を通して指導する ・単元は、児童の興味・関心、実態に応じて精選、入れ替え、変更等、柔軟性を持って取り扱う。			

令和8年度 小学部　2年（Ⅱ課程Ａ）　道徳科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
34	2年生	朝倉千陽美	

年間目標	・自分でできることは、自ら取り組み、よいこと悪いことをよく考えて行動する態度を養う。 ・友達と仲良くし、助け合う心を育てるとともに、あいさつや動作などの礼儀を身に付ける。 ・約束やきまりを守り、集団生活における自分の役割がわかり、最後までがんばる意欲を育てる。 ・身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接する態度を育てる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	・気持ちのよいあいさつ、言葉遣いを心掛け、明るく接しようとする心情を育てる。 ・友達の気持ちを考え、だれとでも仲よく助け合っていこうとする心情を育てる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【Ｂ　礼儀】 ・いろいろな挨拶（１） 【Ｂ　友情、信頼】 ・友達と仲よく	・学級開き ・「おはよう」「いただきます」「ありがとう」等 ・春の遠足
		・父母を敬愛し、進んで家族の役に立とうとする態度を養う。 ・自分がやらなければならない勉強や仕事はしっかりと行おうとする態度を養う。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【Ｃ　家庭生活の充実】 ・家族 【Ａ　希望と勇気、努力と強い意志】 ・自分の仕事	・母の日、父の日 ・お手伝い
		・物を大切にし、身の回りを整え、気持ちよく生活をしようとする態度を養う。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【Ａ　節度、節制】 ・わがままをしない	・自分の持ち物 ・整理整頓 ・清掃
		・教師や友達、他学年の友達に親しみ、学校生活を楽しもうとする心情を育てる。 ・身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接しようとする心情を育てる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【Ｃ　よりよい学校生活、集団生活の充実】 ・学校は楽しいね（１） 【Ｄ　自然愛護】 ・自然の中で（１）	・集団でのルール ・草花の栽培、観察
2学期	15	・教師や友達、他学年の友達に親しみ、学校生活を楽しもうとする心情を育てる。 ・身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接しようとする心情を育てる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【Ｃ　よりよい学校生活、集団生活の充実】 ・学校は楽しいね（２） 【Ｄ　自然愛護】 ・自然の中で（２）	・友達と一緒に ・草花の栽培、観察
		・時間を守り、みんなが使う物を大切にしようとする態度を養う。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【Ｃ　規則の尊重】 ・きまりを守って	・公共施設でのマナー ・遊ぶときの約束
		・生命がもつたくましさやすばらしさに気づき、かけがえのない生命を大切にしようとする。 ・働くことの良さを感じて、みんなのために働こうとする心情を育てる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【Ｄ　生命の尊さ】 ・生命がもつ力 【Ｃ　公共の尊重】 ・働くことのよさ	・けがをしたとき ・防災について ・当番の役割

		・気持ちのよいあいさつ、言葉遣いを心掛け、明るく接しようとする心情を育てる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【B　礼儀】 ・いろいろな挨拶(２)	・場面に合わせたあいさつ ・人との関わり
３学期	7	・うそをついたりごまかしをしたりしないで、素直に伸び伸び生活しようとする態度を養う。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【A　正直、誠実】 ・いつも素直に	・素直に ・どんなきもち
		・よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行おうとする態度を養う。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【A　善悪の判断、自律、自由と責任】 ・よいと思うことをすすんで	・良いこと、悪いこと
		・身近にいる人に温かい心で接し、親切にしようとする心情を育てる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【B　親切、思いやり】 ・温かい心で親切に	・優しいきもち ・お手紙を書こう ・もうすぐ○年生
年間を通して		・自分の成長に気付いたり、友達の成長を祝う気持ちを持つ。 ・草花や野菜のお世話をしたり、観察をしたりして成長を見る。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【D　生命の尊さ】 ・誕生日を祝おう 【D　自然愛護】 ・草花や野菜を育てよう	・誕生会 ・キャリアパスポート ・草花の栽培
留意点 引継ぎ等					

令和8年度　小学部　２年（Ⅱ課程Ａ）　特別活動　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	2年生	當山仁菜	

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	(知及技) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解する。 (思判表力)集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができる。 (学･人)自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	11	･学級で目標を決める大切さを知り、意見を出し合って学級目標を作ることができる。（知及技） ･自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。（学･人） ･自分の好きなことや将来について考えることができる。（思判表力） ･同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。（学･人） ･一学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。（思判表力） ･夏休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。（知及技）	･学級で目標を決める大切さを知り、意見を出し合って学級目標を作ろうとしている。（知・技） ･自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。（主学） ･自分の好きなことや将来について考えようとしている。（思･判･表） ･同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。（主学） ･一学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。（思･判･表） ･夏休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいか自分で考えようとしている。（知・技）	･学年、学級開き ･一学期頑張ろう会 ･学級目標作り ･係活動を決めよう ･キャリアパスポート作り ･一学期の目標 ･学校間交流（･居住地校交流） ･キャリアパスポートの活用 ･一学期頑張った会 ･夏休みに向けて	・新しい学級の友達や先生を知る。 ・一学期頑張ろう会に参加する。 ・一学期の行事の確認 ・学級目標を決めて、書いて教室に貼る。 ・一学期の係活動を決める。 ・一学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、選んだりして発表する。 ・交流会の日時を知る。 ・異学年や他校の友達と歌を歌ったり、簡単なゲームしたりして交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・一学期頑張った会に参加する。 ・夏休みの過ごし方を考えたり話し合ったりする。
2学期	13	･２学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知及技） ･自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。（学･人） ･自分の好きなことや将来について考えることができる。（思判表力） ･集団で活動するよさを知り、集団での活動に参加することができる。（知及技） ･同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。（学･人） ･二学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。（思判表力） ･冬休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。（知及技）	･２学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知・技） ･自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。（主学） ･自分の好きなことや将来について考えようとしている。（思･判･表） ･集団で活動するよさを知り、集団での活動に参加することができる。（知・技） ･同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。（主学） ･二学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。（思･判･表） ･冬休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。（知・技）	･二学期頑張ろう会 ･キャリアパスポート作り ･二学期の目標 ･係活動を決めよう ･学校間交流（･居住地校交流） ･キャリアパスポートの活用 ･二学期頑張った会 ･冬休みに向けて	・二学期頑張ろう会に参加する。 ・二学期の行事の確認 ・二学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、イラスト等を貼ったりする。 ・二学期の係活動を決める。 ・児童集会に参加する。 ・異学年や他校の友達と歌を歌ったり、簡単なゲームしたりして交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・二学期頑張った会に参加する。 ・冬休みの過ごし方を考えたり話し合ったりする。

3学期	4	・3学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知及技） ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。（学・人） ・自分の好きなことや将来について考えることができる。（思・判・表） ・集団での活動に参加することができる。（学・人） ・生年者のこれまでの成長の記録を見聞きし、自分自身のことについて振り返ることができる。（学・人） ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。（学・人） ・一年間を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。（思・判・表） ・進級する学年・学部が現在と違いがあることを知り、今後の行事や学習について希望を持つ。（知及技）	・3学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知・技） ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。（主学） ・自分の好きなことや将来について考えようとしている。（思・判・表） ・集団での活動に参加しようとしている。（主学） ・生年者のこれまでの成長の記録を見聞きし、自分自身のことについて振り返ろうとしている。（主学） ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。（主学） ・一年間を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。（思・判・表） ・進級する学年・学部が現在と違いがあることを知り、今後の行事や学習について希望を持ち、伝えようとしている。（知・技）	・三学期頑張ろう会 ・キャリアパスポート作り ・三学期の目標 ・係活動を決めよう ・生年祝い ・学校間交流（・居住地校交流） ・キャリアパスポートの活用 ・三学期頑張った会 ・進級学年・学部について	・三学期頑張ろう会に参加する。 ・三学期の行事の確認 ・三学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、イラスト等を貼ったりする。 ・三学期の係活動を決める。 ・あおぞら集会に参加する。 ・生年祝いの運営 ・生年祝いに参加し、生年者とともに成長の喜びを感じる。 ・他学年の児童と交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・三学期頑張った会に参加する。 ・次の学年や学部について考える。
留意点 引継ぎ等					

あおぞら会（幼児児童生徒会）

学期	時数	活動の目標	活動・単元名	指導・活動内容
1学期	2	異年齢の生徒同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営をすることに自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標（特別活動全体の目標）に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	・第1回あおぞら集会 ・第2回あおぞら集会	・新役員紹介 ・年間活動計画 ・令和8年度幼児児童生徒総会
2学期	2		・第3回あおぞら集会 ・特体連報告放送	・特体連選手激励会 ・特体連激励放送 ・特体連報告放送
3学期	3		・第4回あおぞら集会 ・第5回あおぞら集会 ・第6回あおぞら集会	・あおぞら役員選挙告示（選挙の内容の説明） ・立会演説会 ・体育館で投票 ・新役員の任命式及び引き継ぎ式 ・当選セレモニー ・当選証書授与

※あおぞら（幼児児童生徒）集会のある週の水曜日にあおぞら（幼児児童生徒）役員会を設定する（役員のみ）。
なお、各学部と調整して柔軟に日程は変更する。
※あおぞら会と学級活動の時数を合わせて、1学期13回、2学期15回、3学期7回の時数となる。

学校行事

学期	時数	活動の目標	活動・単元名	指導・活動内容
1学期	10	全校又は学年の児童で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、第1の目標（特別活動全体の目標）に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	・1学期　始業式 ・身体測定 ・地震火災津波避難訓練 ・内科検診、歯科検診、心電図	・先生の話を聞く。 ・自分の成長を知る。 ・安全に気をつけて行動することができる。 ・検査に落ち着いて受けることができる。 ・月ごとの振り返り
2学期	13		・2学期始業式、終業式 ・火災避難訓練 ・全校作業	・先生の話を聞く。 ・安全に気をつけて行動することができる。 ・月ごとの振り返り ・各行事の準備などの取り組み
3学期	5		・3学期始業式、修了式 ・全校作業 ・卒業式準備	・先生の話を聞く。 ・行事に意欲的に参加できる。 ・月ごとの振り返り ・各行事の準備などの取り組み

令和 年度 小学部　3年（Ⅱ課程A）　生活科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
10/350	小学部３年	篠原辰典	文部科学省著作教科書　せいかつ☆☆

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）活動や体験の過程において，自分自身，身近な人々，社会及び自然の特徴や変化に気付くとともに，身近な生活において必要な習慣や技能を身に付けるようにする。（小２段階） (思判表力）自分自身や身の回りの生活のことや，身近な人々，社会及び自然と自分との関わりについて気付き，感じたことを表現しようとする。（小２段階） (学･人）自分のことに取り組もうとしたり，身近な人々，社会及び自然に自ら働きかけようとしたり，意欲や自信をもって学んだり，生活に生かそうとしたりする態度を養う。（小２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して	20	(知及技）身近な生活に必要な身辺処理に関する基礎的な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力)必要な身辺処理が分かり、身近な生活に役立てようとすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技）身近な生活に必要な身辺処理に関する基礎的な知識や技能を身に付けようとしている。 (思･判･表)必要な身辺処理が分かり、身近な生活に役立てようとしている。 (学・人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【ア　基本的生活習慣】 「じぶんでもやってみよう」 「しょくじのマナー」	【食事】 ・食事のマナーや態度について分かるようになる。（食事中は立ち歩かない、こぼさず食べるなど） 【用便】 ・一連の流れと共に基本的な方法や態度を身に付ける。（男女の便所を区別する、鍵をかけるなど） 【寝起き】 ・規則正しい生活を意識する。（定時に寝起きする、寝床の準備や片付けをするなど） 【清潔】 ・身体各部や衣服の汚れが理解できる。（汚れた衣服を着替えるなど） 【身の回りの整理】 ・整理の仕方や収納場所や収納の方法などが分かる。（ハンガーに掛けるなど） 【身なり】 ・身なりについて自分で気付く。（衣服の前後や裏表が分かる、着脱後の簡単な確認をするなど）
	35	(知及技）身近な日課・予定について知ることができる。 (思判表力)身近な日課・予定が分かり、教師の援助を求めながら、日課に沿って行動しようとすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技）身近な日課・予定について知ろうとしている。 (思・判・表)身近な日課・予定が分かり、教師の援助を求めながら、日課に沿って行動しようとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【ウ　日課・予定】 「つぎのじゅぎょうはなにかな」	【日課・予定】 ・教師の言葉掛けを聞いたり、次の行動を絵や写真で示したカード等を見たりして、次に何をするのかが分かり、できるだけ一人で日課に沿って行動できるようにする。 ・予定については、下校後は何をするのか、また、明日の予定などを取り扱うことで、児童が身近な予定が分かり見通しを持って過ごすことができるようにする。
	15	(知及技）身近な人との接し方などについて知ることができる。 (思判表力)身近な人を知り、教師の援助を求めながら挨拶や話などをすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技）身近な人との接し方などについて知ろうとしている。 (思・判・表)身近な人を知り、教師の援助を求めながら挨拶や話などをしようとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【オ　人との関わり】 「わたしとかぞく」 「おきゃくさんだよ」 「ありがとう、ごめんなさい」 「せんせい・ともだち」	【自分自身と家族】 ・家族の名前が分かり紹介したり、家族の名前を尋ねられたときに応じたりする。 【身近な人との関わり】 ・担任教師や友達の名前を言ったり、自分から「おはようございます」、「さようなら」などの挨拶をしたりする。 ・教師等に見聞きしたことや遊んだことを話す。 【気持ちを伝える応対】 ・適切な場面で「ありがとう」や「ごめんなさい」などをできるだけ言葉で言う。
	20	(知及技）簡単な係活動などの役割について知ることができる。 (思判表力)身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技）簡単な係活動などの役割について知ろうとしている。 (思・判・表)身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【カ　集団】 「かかりのしごと」 「ちいきのぎょうじ」	【集団の参加や集団内での役割】 ・集団活動で簡単な係活動を果たす。 【地域の行事への参加】 ・地域の行事に参加し、簡単な買い物をしたり、地域の人たちと一緒に活動したりする。 【共同での作業と役割分担】 ・友達と一緒に作業に取り組む際には互いに協力して楽しく活動に取り組める。

	35	(知及技）簡単な手伝いや仕事について知ることができる。 (思判表力)教師の援助を求めながら身近で簡単な手伝いや仕事をしようとすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技）簡単な手伝いや仕事について知ろうとしている。 (思・判・表)教師の援助を求めながら身近で簡単な手伝いや仕事をしようとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【キ　手伝い・仕事】 「せんせいのおてつだいをしよう」 「そうじをしよう」	【手伝い】 ・できるだけ自分で、印刷物を配ることや教室へ教材の運搬の手伝いをする。 ・簡単な道具や器具を教師と一緒に使用して、作業の手伝いをする。 【整理整頓】 ・できるだけ自分で机やロッカーなどの中を整理することのほか、友達が使った物や学級の備品についても整理する。 【戸締まり】 ・扉や窓の開閉と同時に施錠方法を知り、どのようなときに開け、どのようなときに閉めるのかを理解する。 【掃除】 ・掃除用具の名称や使い方が分かり、できるだけ一人で、簡単な掃除をする。 【後片付け】 ・使用した道具の片付けをする。 ・友達からの言葉掛けでも片付けることができる。 ・友達と協力しながら片付ける。
	15	(知及技）簡単なきまりやマナーについて知ることができる。（ (思判表力)身近で簡単なきまりやマナーに気付き、それらを守って行動しようとすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技）簡単なきまりやマナーについて知ろうとしている。 (思・判・表)身近で簡単なきまりやマナーに気付き、それらを守って行動しようとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【ケ　きまり】 「じぶんやみんなのもの・みんなのばしょ」 「せいかつのきまり」 「がっこうのきまり」 「しょくじのマナー」	【自分の物と他人の物の区別】 ・他人の物や学校の物品を無断で持ち出さない。 【学校のきまり】 ・学校生活では、廊下の右側通行、靴を履き替える場所、登校時刻や下校時刻など様々なきまりがあることに気付くとともに、それを守る。 【日常生活のきまり】 ・信号を守って横断する、停留所や駅などでは並んで順番を待つ、順番を守って乗り物の乗降をする、決められた場所で遊ぶなど。 【マナー】 ・正しい姿勢で食事をする、食事中は席に座っている、口に食物が入っているときは話さないなど、身近な生活におけるマナーを、実際に守る。
1学期	22	(知及技）安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力)身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技）安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表)身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【イ　安全】 〇あんぜんにつかおう 「つくろう」 「あそぼう」 〇きをつけて　あるこう 「おうだんほどう」 〇さいがいや　じこからじぶんをまもろう 「じしんがきたら」 「かじになったら」 「わたしたちをまもってくれるところ」	【危険防止】 ・身近な生活にある遊具・器具（はさみ、穴開けパンチ等）の安全な使い方を知る。 【交通安全】 ・歩行者用信号機の意味を知る。 ・安全な歩行の仕方（横断歩道、歩道、手を上げる）が分かる。 【避難訓練】 ・避難について知る。 ・災害（地震、火事）時の適切な行動について知り、教師と一緒に安全に避難する。 【防災】 ・自分たちの生活を見守り、事件や事故から自分たちを守ってくれる人や場所（交番、消防署、こども110番、地域パトロール等）があることを知る。
	15	（知及技）簡単なきまりのある遊びについて知ることができる。 (思判表力)身近な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びをしたり、遊びを工夫しようとしたりすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	（知・技)簡単なきまりのある遊びについて知ろうとしている。 (思･判･表)身近な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びをしたり、遊びを工夫しようとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【エ　遊び】 〇いっしょにあそぼう ・みんなでゆうぐあそび ・みんなでおにごっこ ・かたづけできるかな ・もっとあそびたいな （せいかつ☆☆）	【いろいろな遊び】 ・友達や教師と一緒にいろいろな遊具で遊ぶ。 （エアートランポリン、雲梯棒、滑り台、ブランコ、ジャングルジムなど） ・友達や教師と一緒に簡単なルールのある遊びをする。 （おにごっこ、椅子取りゲーム、かくれんぼ、じゃんけん列車、おもちゃ遊びなど） 【遊具の片付け】 ・友達と協力して、使った道具を元の場所に片付ける。
	10	(知及技）金銭の扱い方などを知ることができる。 (思判表力)身近な生活の中で、教師に援助を求めながら買い物をし、金銭の大切さや必要性について気付くことができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技）金銭の扱い方などを知ろうとしている。 (思・判・表)身近な生活の中で、教師に援助を求めながら買い物をし、金銭の大切さや必要性について気付こうとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【ク　金銭の扱い】 〇おかねはたいせつ 「おこづかいをもらったら」 〇かいもの 「れんしゅうをしてみよう」 〇なにをかおうかな 「どうやってかうのかな」 （自動販売機）	【金銭の扱い】 ・実際に金銭を支払い、金銭の価値を徐々に理解する。 ・お年玉やお小遣いなど、自分の金銭を財布や貯金箱に大切に保管することやその使い方を知る。 【買い物】 ・買い物ごっこで買い物の練習をする。 ・少しの支援で買い物をする。 【自動販売機の利用】 ・できるだけ一人で自動販売機に金銭を入れ、商品を選んでボタンを押し、品物を取り出すことで、およその使い方を知り、徐々に一人で操作できるようにする。

	13	(知及技) 身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知ることができる。 (思判表力)教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技)身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知ろうとしている。 (思・判・表)教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【コ　社会の仕組みと公共施設】 「わたしのまわりのひとたち」 ・かぞくのやくわり ・あいにいこう（がっこうではたりくひとたち） 「わたしたちのまち」 「いってみよう」	【家族・親戚・近所の人】 ・家族がそれぞれ役割をもっていることに気付くことや、身近な地域で働く人などに対して関心を広げる。 【学校】 ・学校にある教室の名称や主な用途が分かる。 ・学校で働く様々な人に関心をもつことができる。 【いろいろな店】 ・教師と一緒に買い物に行き、いろいろな種類の店やそこで販売している商品に関心をもつ 【社会の様子】 ・自分の住む町の公共施設やいろいろな商店、河川や山、公園などの様子に関心をもつ。
	22	(知及技) 身近な生命や自然について知ることができる。 (思判表力)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技)身近な生命や自然について知ろうとしている。 (思・判・表)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【サ　生命・自然】 〇みつけにいこう！はる・なつ・あき・ふゆ 〇いきものとなかよし 「どうぶつにあいにいこう」 〇そらとてんき 「きょうのてんき・あしたのてんき」 「ひる・よる」	【自然との触れ合い】 ・季節によって自然が変化することに気づく。 【動物の飼育・植物の栽培】 ・動物園等（子どもの国等）で動物に触れたり、餌やりをしたりし興味関心をもつ。 ・植物を栽培し育てる。（キャベツ、あさがお等） 【季節の変化と生活】 ・天候の変化に関心をもつ。（晴れ、くもり、雨） ・昼と夜の違いに気づく。（昼は太陽、明るい、影ができる。夜は月、星、暗いなど）
2学期	15	（知及技）簡単なきまりのある遊びについて知ることができる。 (思判表力)身近な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びをしたり、遊びを工夫しようとしたりすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	（知・技)簡単なきまりのある遊びについて知ろうとしている。 (思･判･表)身近な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びをしたり、遊びを工夫しようとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【エ　遊び】 〇いっしょにあそぼう ・みんなでゆうぐあそび ・みんなでおにごっこ ・かたづけできるかな ・もっとあそびたいな （せいかつ☆☆）	【いろいろな遊び】 ・友達や教師と一緒にいろいろな遊具で遊ぶ。 （エアートランポリン、雲梯棒、滑り台、ブランコ、ジャングルジムなど） ・友達や教師と一緒に簡単なルールのある遊びをする。 （おにごっこ、椅子取りゲーム、かくれんぼ、じゃんけん列車、おもちゃ遊びなど） 【遊具の片付け】 ・友達と協力して、使った道具を元の場所に片付ける。
	10	(知及技) 金銭の扱い方などを知ることができる。 (思判表力)身近な生活の中で、教師に援助を求めながら買い物をし、金銭の大切さや必要性について気付くことができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技) 金銭の扱い方などを知ろうとしている。 (思・判・表)身近な生活の中で、教師に援助を求めながら買い物をし、金銭の大切さや必要性について気付こうとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【ク　金銭の扱い】 〇おかねはたいせつ 「おこづかいをもらったら」 〇かいもの 「れんしゅうをしてみよう」 〇なにをかおうかな 「どうやってかうのかな」 （自動販売機）	【金銭の扱い】 ・実際に金銭を支払い、金銭の価値を徐々に理解する。 ・お年玉やお小遣いなど、自分の金銭を財布や貯金箱に大切に保管することやその使い方を知る。 【買い物】 ・買い物ごっこで買い物の練習をする。 ・少しの支援で買い物をする。 【自動販売機の利用】 ・できるだけ一人で自動販売機に金銭を入れ、商品を選んでボタンを押し、品物を取り出すことで、およその使い方を知り、徐々に一人で操作できるようにする。
	15	(知及技) 身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知ることができる。 (思判表力)教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技)身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知ろうとしている。 (思・判・表)教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【コ　社会の仕組みと公共施設】 「わたしのまわりのひとたち」 「わたしたちのまち」 「いってみよう」 「のってみよう」 「せいかつのきまり」 「わたしのまわりのひとたち」	【家族・親戚・近所の人】 ・家族がそれぞれ役割をもっていることに気付くことや、身近な地域で働く人などに対して関心を広げる。 【学校】 ・学校にある教室の名称や主な用途が分かる。 ・学校で働く様々な人に関心をもつことができる。
	12	(知及技) 身近な生命や自然について知ることができる。 (思判表力)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとすることができる。（ (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技)身近な生命や自然について知ろうとしている。 (思・判・表)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【サ　生命・自然】 〇みつけにいこう！はる・なつ・あき・ふゆ 〇いきものとなかよし 「どうぶつにあいにいこう」 〇そらとてんき 「きょうのてんき・あしたのてんき」 「ひる・よる」	【自然との触れ合い】 ・季節によって自然が変化することに気づく。 【動物の飼育・植物の栽培】 ・動物園等（子どもの国等）で動物に触れたり、餌やりをしたりし興味関心をもつ。 ・植物を栽培し育てる。（キャベツ、あさがお等） 【季節の変化と生活】 ・天候の変化に関心をもつ。（晴れ、くもり、雨） ・昼と夜の違いに気づく。（昼は太陽、明るい、影ができる。夜は月、星、暗いなど）

	10	(知及技）安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力)身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技）安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表)身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【イ　安全】 ○あんぜんにつかおう 「つくろう」 「あそぼう」 ○きをつけて　あるこう 「おうだんほどう」 ○さいがいや　じこから　じぶんをまもろう 「じしんがきたら」 「かじになったら」 「わたしたちをまもってくれるところ」	【危険防止】 ・身近な生活にある遊具・器具（はさみ、穴開けパンチ等）の安全な使い方を知る。 【交通安全】 ・歩行者用信号機の意味を知る。 ・安全な歩行の仕方（横断歩道、歩道、手を上げる）が分かる。 【避難訓練】 ・避難について知る。 ・災害（地震、火事）時の適切な行動について知り、教師と一緒に安全に避難する。 【防災】 ・自分たちの生活を見守り、事件や事故から自分たちを守ってくれる人や場所（交番、消防署、こども110番、地域パトロール等）があることを知る。
3学期	15	(知及技）簡単なきまりのある遊びについて知ることができる。 (思判表力)身近な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びをしたり、遊びを工夫しようとしたりすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技）簡単なきまりのある遊びについて知ろうとしている。 (思・判・表)身近な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びをしたり、遊びを工夫しようとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【エ　遊び】 「いっしょにあそぼう」	【いろいろな遊び】 ・遊びの場や遊具を友達と共有したり、簡単なルールのある遊びを一緒にしたりすることにより、関わりを広げていく。（教師や友達と、鬼ごっこなどの簡単なルールのある遊び、大きく身体活動ができる遊具を活用した遊びなど） 【遊具の後片付け】 （自分で使った遊具を片付ける、友達と一緒に大きな物を協力しながら運び収納するなど）
	15	(知及技）身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知ることができる。 (思判表力)教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技)身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知ろうとしている。 (思・判・表)教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【コ　社会の仕組みと公共施設】 「わたしのまわりのひとたち」③ 「わたしたちのまち」 「いってみよう」 「のってみよう」 「せいかつのきまり」 「わたしのまわりのひとたち」	【いろいろな店】 ・教師と一緒に買い物に行き、いろいろな種類の店やそこで販売している商品に関心をもつ 【社会の様子】 ・自分の住む町の公共施設やいろいろな商店、河川や山、公園などの様子に関心をもつ。 【公共施設の利用】 ・図書館、体育館、児童館などの身近な公共施設を適切に利用し、そのおよその働きが分かる。 【交通機関の利用】 ・電車やバスなどを利用し、切符を購入したり料金を支払ったりすることに慣れるとともに、いろいろな交通機関があることを知る。
	10	(知及技）金銭の扱い方などを知ることができる。 (思判表力)身近な生活の中で、教師に援助を求めながら買い物をし、金銭の大切さや必要性について気付くことができる。（ (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技）金銭の扱い方などを知ろうとしている。 (思・判・表)身近な生活の中で、教師に援助を求めながら買い物をし、金銭の大切さや必要性について気付こうとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【ク　金銭の取り扱い】 「おかねはたいせつ」③ 「かいもの」③ 「なにをかおうかな」③	【金銭の扱い】 ・実際に金銭を支払い、金銭の価値を徐々に理解する。 ・お年玉やお小遣いなど、自分の金銭を財布や貯金箱に大切に保管することやその使い方を知る。 【買い物】 ・できるだけ自分で買い物をし、「これ、ください」など、買い物に必要な言葉を使うこと、決まった額の買い物をすること、商店などで品物を選んで買うことができる。 【自動販売機の利用】 ・できるだけ一人で自動販売機に金銭を入れ、商品を選んでボタンを押し、品物を取り出すことで、およその使い方を知り、徐々に一人で操作できるようにする。
	10	(知及技）身近な生命や自然について知ることができる。 (思判表力)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技)身近な生命や自然について知ろうとしている。 (思・判・表)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【サ　生命・自然】 ○みつけにいこう！はる・なつ・あき・ふゆ ○いきものとなかよし 「どうぶつにあいにいこう」 ○そらとてんき 「きょうのてんき・あしたのてんき」 「ひる・よる」	【自然との触れ合い】 ・季節によって自然が変化することに気づく。 【動物の飼育・植物の栽培】 ・動物園等（子どもの国等）で動物に触れたり、餌やりをしたりし興味関心をもつ。 ・植物を栽培し育てる。（キャベツ、あさがお等） 【季節の変化と生活】 ・天候の変化に関心をもつ。（晴れ、くもり、雨） ・昼と夜の違いに気づく。（昼は太陽、明るい、影ができる。夜は月、星、暗いなど）
	16	(知及技）身近にあるものの仕組みや働きについて知ることができる。 (思判表力)身近にあるものの仕組みや働きが分かり、それらを表現しようとすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技）身近にあるものの仕組みや働きについて知ろうとしている。 (思・判・表)身近にあるものの仕組みや働きが分かり、それらを表現しようとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	○もののおもさ 「おもさくらべ（もつ）」 ○かぜやゴムのちから 「かぜのちから」 「かぜでうごかそう」	【物と重さ】 ・物には重い物と軽い物があることに気付く。 ・身近にある物を実際に持って比べる。（例：水の入ったバケツ、厚さの違う本、机と椅子、量の違うビー玉等） 【風やゴムの力の働き】 ・風の力は、物を動かすことができることに気付く。 ・風車、風鈴、凧、おもちゃのヨット等
留意点 引継ぎ等					

令和８年度 小学部３年（Ⅱ課程Ａ）　国語科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
105	３学年	手登根　真実子	こくご☆ 絵本・パネルシアター等

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 日常生活に必要な身近な言葉が分かり使うようになるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができるようにする。（小１段階） (思判表力)言葉をイメージしたり、言葉による関わりを受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。（小１段階） (学･人)言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。（小１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	35	(知及技)挿絵を用いて日常生活に必要な挨拶や動作、感情を表す言葉を場面に応じて聞いたり、模倣したりして、言葉の関わりに意識を向けることができる。 (思判表力)身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすることができる。 (学・人)表情や身振り、音声や発語等によって、意思を伝えようとしたりすることができる。	(知・技)挿絵を用いて日常生活に必要な挨拶や動作、感情を表す言葉を場面に応じて聞いたり、模倣したりして、言葉の関わりに意識を向けようとしている。 (思・判・表)身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりしようとしている。 (主学)表情や身振り、音声や発語等によって、意思を伝えようとしたりしている。	「いろいろな言葉」 (A　聞くこと・話すこと) 学校生活、返事、あいさつ 自己紹介 (C　読むこと) 「まほうのはこ」	・身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすること。【A-イ】 ・伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すこと。【A-ウ】 ・絵本などを見て、次の場面を楽しみにしたり、登場人物の動きなどを模倣したりすること。【C-エ】
		(知及技)身近な人からの話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じることができる。 (思判表力)絵や写真、簡単な記号などが表す意味を感覚的に識別し、選択したり、行動したりすることができる。 (学・人)自分なりの表現で、話をしようとしたり、意思を伝えようとしたりする意欲を高めたりすることができる。	(知・技)身近な人からの話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じようとしている。 (思・判・表)絵や写真、簡単な記号などが表す意味を感覚的に識別し、選択したり、行動したりしようとしている。 (主学)自分なりの表現で、話をしようとしたり、意思を伝えようとしたりする意欲を高めたりしようとしている。	「しるし」 (A　聞くこと・話すこと) 絵カード (C　読むこと) 「○」「→」など簡単な記号、絵カード	・身近な人からの話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じること。【A-ア(ｱ)】 ・絵や矢印などの記号で表された意味に応じ、行動すること。【C-ウ】
		(知及技)具体物を使って身近な事物の名前や動作を繰り返すことで、遊びの中で言葉と事物を一致させることができる。 (思判表力)絵本などを見て、次の場面を楽しみにしたり、登場人物の動きなどを模倣したりすることができる。 (学・人)声や言葉を使った遊びや関わりを通して、言葉の響きやリズムを体感したり楽しんだりすることができる。	(知・技)具体物を使って身近な事物の名前や動作を繰り返すことで、遊びの中で言葉と事物を一致させようとしている。 (思・判・表)絵本などを見て、次の場面を楽しみにしたり、登場人物の動きなどを模倣したりしようとしている。 (学・人)声や言葉を使った遊びや関わりを通して、言葉の響きやリズムを体感したり楽しんだりしようとしている。	「言葉で遊ぼう 　何が出てくるかな」 (A　聞くこと・話すこと) (C　読むこと) 「ほっとけーき」	・身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じること。【ｱ-（ｱ）】 ・遊びを通して、言葉のもつ楽しさに触れること。【ｲ-（ｲ）】 ・絵本などを見て、次の場面を楽しみにしたり、登場人物の動きなどを模倣したりすること。【C-エ】

2学期	40	(知及技)昔話などについて、読み聞かせを聞くなどして親しむことができる。 (思判表力)音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりすることができる。 (学・人)物語の一場面を身振りや音声、簡単な言葉で表現したり、動作化したりして親しむことができる。	(知・技)昔話などについて、読み聞かせを聞くなどして親しもうとしている。 (思・判・表)音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりしようとしている。 (主学)物語の一場面を身振りや音声、簡単な言葉で表現したり、動作化したりして親しもうとしている。	「やり取りを楽しもう」 (A　聞くこと・話すこと) (C　読むこと) 「くまさんくまさん」	・身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすること。【A-イ】 ・伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すこと。【A-ウ】 ・教師と一緒に絵本などを見て､示された身近な事物や生き物などに気付き、注目すること。【C-ア】 ・絵本などを見て､次の場面を楽しみにしたり､登場人物の動きなどを模倣したりすること。【C-エ】
		(知及技)音声を模倣したり、表情や身振り､簡単な話し言葉などで表現したりすることができる。 (思判表力)絵などを見て登場人物の動きや言葉などを模倣することができる。 (学・人)物語の一場面を身振りや音声、簡単な言葉で表現したり、動作化したりして親しむことができる。	(知・技)音声を模倣したり、表情や身振り､簡単な話し言葉などで表現したりすることができる。 (思・判・表)絵などを見て登場人物の動きや言葉などを模倣しようとしている。 (主学)物語の一場面を身振りや音声、簡単な言葉で表現したり、動作化したりして親しもうとしている。	「お話を演じてみよう」 (A　聞くこと・話すこと) (C　読むこと) 「あなたはだあれ」	・教師の話や読み聞かせに応じ､音声を模倣したり､表情や身振り､簡単な話し言葉などで表現したりすること。【A-ア】 ・身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすること。【A-イ】 ・伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すこと。【A-ウ】
3学期	30	(知及技)具体物や絵を見て言葉と結びつけることができる。 (思判表力)伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すことができる。 (学・人)気持ちを身振りや音声、言葉で表現したり伝えたりすることができる。	(知・技)具体物や絵を見て言葉と結びつけようとしている。 (思・判・表)伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表そうとしている。 (主学)気持ちを身振りや音声、言葉で表現したり伝えたりしようとしている。	「作り方をみんなで話してみよう」 (A　聞くこと・話すこと) (C　読むこと) 「はるなつあきふゆ」	・身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じること。【ア-（ア）】 ・言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすること。【ア-（イ）】 ・身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすること。【A-イ】 ・伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すこと。【A-ウ】 ・絵本などを見て、知っている事物や出来事などを指さしなどで表現すること。【C-イ】 ・絵本などを見て､次の場面を楽しみにしたり､登場人物の動きなどを模倣したりすること。【C-エ】
		(知及技)身近なクレヨン、ペン、鉛筆等を使って書くことに気付き、慣れることができる。 (思判表力)文字に興味をもち、書こうとすることができる。 (学・人)書くことに親しみ、書いて表現することへの興味・関心を高めることができる。	(知・技)身近なクレヨン、ペン、鉛筆等を使って書くことに気付き、慣れようとしている。 (思・判・表)文字に興味をもち、書こうとしている。 (主学)書くことに親しみ、書いて表現することへの興味・関心を高めようとしている。	「いろいろな筆記用具を使ってみよう」 (B　書くこと) かいてみよう	・いろいろな筆記用具に触れ、書くことを知ること。 【イ-(ウ)㋐】 ・筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ること。【イ-(ウ)㋑】
留意点 引継ぎ等					

令和８年度 小学部３年（Ⅱ課程A）算数　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	３年生	篠原辰典	さんすう☆

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 　数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに，日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けることができる。 (思判表力) 　日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力，基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりする力を身につけることができる。 (学･人) 　数学的活動の楽しさに気付き，関心や興味をもち，学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度，算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	14	(知及技) ・ものとものとを対応させて配ることができる。 (思判表力) ・ものとものとを関連付けることに注意を向け，ものの属性に注目し，仲間であることを判断したり，表現したりすることができる。 (学･人) ・数量や図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	(知・技) ・ものとものとを対応させて配ろうとしている。 (思･判･表) ・ものとものとを関連付けることに注意を向け，ものの属性に注目し，仲間であることを判断したり，表現したりしようとしている。 (主学) ・数量や図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとしている。	A数量の基礎イ ・おなじまーくは，どれでしょう ・じぶんのまーくは，どこでしょう	【おなじまーくは，どれでしょう／じぶんのまーくは，どこでしょう】 　特別な物（自分のもの）を他と見分ける。 【みんなに くばりましょう】 　一人に一つのもの，一つのものに他の一つのものを対応する。
	14	(知及技) ・分割した絵カードを組み合わせることができる。 ・関連深い絵カードを組み合わせることができる。 (思判表力) ・ものとものとを関連付けることに注意を向け，ものの属性に注目し，仲間であることを判断したり，表現したりすることができる。 (学･人) ・数量や図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	(知・技) ・分割した絵カードを組み合わせようとしている。 ・関連深い絵カードを組み合わせようとしている。 (思･判･表) ・ものとものとを関連付けることに注意を向け，ものの属性に注目し，仲間であることを判断したり，表現したりしようとしている。 (主学) ・数量や図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとしている。	A数量の基礎イ ・あわせましょう①② ・なかまをあつめましょう	【あわせましょう①②】 　切り離した絵のそれぞれの絵カードから情報を読み取り，読み取った情報を基に，一枚の絵を完成させる。 【なかまをあつめましょう】 　身近でなじみのある食べ物を集める，動物を集めるなど，指定された属性の中で，関連深い絵カードを集める。
2学期	14	(知及技) ・目の前のものを，１個，２個，たくさんで表すことができる。 ・５までの範囲で数唱をすることができる。 ・３までの範囲で具体物を取ることができる。 ・対応させてものを配ることができる。 ・形や色，位置が変わっても，数は変わらないことに気付くことができる。 (思判表力) ・数詞とものの関係に注目し，数のまとまりや数え方に気付き，それらを学習や生活で生かすことができる。 (学･人) ・数量に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	(知・技) ・目の前のものを，１個，２個，たくさんで表そうとしている。 ・５までの範囲で数唱をしようとしている。 ・３までの範囲で具体物を取ろうとしている。 ・対応させてものを配ろうとしている。 ・形や色，位置が変わっても，数は変わらないことに気付くことができる。 (思･判･表) ・数詞とものの関係に注目し，数のまとまりや数え方に気付き，それらを学習や生活で生かそうとしている。 (主学) ・数量に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとしている。	B数と計算ア ・いち，に，たくさん ・いち，に，さん，し，ご ・とりましょう ・まーくに，あわせて，ならべましょう ・ぜんぶ「さん」	【いち，に，たくさん】 　①左右の手に一つずつ具体物を持ち，それでもまだ両手には持てないほどの具体物がある状況，自分の手では持てないほどの量があることを体感する。 　②「１個，２個，たくさん」と表現することに気付く。 【いち，に，さん，し，ご】 　５までの範囲で数を唱える。 【とりましょう】 　３までの数の具体物を取る。 【まーくに，あわせて，ならべましょう】 　ボウリングのピンを準備する場面を捉え，マークを手掛かりに，必要な数のピンを置く（配る）。 【ぜんぶ「さん」】 　様々な具体物やイラストなどを操作する，指差すなどの動きを伴う活動を通して，形や色が違う具体物でも数が変わらないこと，間隔や置き方などの位置が変わっても数が変わらないことに気付く。
	14	(知及技) ・似ている二つのものを結びつけることができる。 ・関連の深い一対のものや絵カードを組み合わせることができる。 ・同じもの同士の集合作りをすることができる。 (思判表力) ・ものの属性に着目し，様々な情報から同質なものや類似したものに気付き，日常生活の中で関心を持つことができる。 ・ものとものとの関係に注意を向け，ものの属性に気付き，関心をもって対応しながら，表現する仕方を見つけ出し，日常生活で生かすことができる。 (学･人) ・図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	(知・技) ・似ている二つのものを結びつけようとしている。 ・関連の深い一対のものや絵カードを組み合わせようとしている。 ・同じもの同士の集合を作ろうとしている。 (思･判･表) ・ものの属性に着目し，様々な情報から同質なものや類似したものに気付き，日常生活の中で関心を持とうとしている。 ・ものとものとの関係に注意を向け，ものの属性に気付き，関心をもって対応しながら，表現する仕方を見つけ出し，日常生活で生かそうとしている。 (主学) ・図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとしている。	C図形ア ・にているものを，みつけましょう ・そろえましょう ・おなじかたちを，あつめましょう	【にているものを，みつけましょう】 　①形をおおまかに捉える。 　②形が同じであるか，同じでないかを区別する。 　③似ていることを捉える。 【そろえましょう】 　①様々な刺激の中から，ものとものとを関連付けるために必要な情報として，形を取り出す。 　②仲間であることを判断する。 　③対にすることでそれを表現する。 【おなじかたちを，あつめましょう】 　①形に着目する。 　②形を捉える。 　③同じ形と認識する。 　④同じ形を選択し，一つのところに集める。

3 学 期	14	(知及技) ・大きさや長さなどを，基準に対して同じか違うかによって区別することができる。 ・ある・ない，大きい・小さい，多い・少ないなどの用語に注目して表現することができる。 (思判表力) ・大小や多少等で区別することに関心を持ち，量の大きさを表す用語に注目して表現することができる。 (学･人) ・数量や図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	(知・技) ・大きさや長さなどを，基準に対して同じか違うかによって区別しようとしている。 ・ある・ない，大きい・小さい，多い・少ないなどの用語に注目して表現しようとしている。 (思･判･表) ・大小や多少等で区別することに関心を持ち，量の大きさを表す用語に注目して表現しようとしている。 (主学) ・数量や図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとしている。	D測定ア ・おなじ，ちがう ・おおきい，ちいさい①② ・おおい，すくない①② ・ながい，みじかい	【おなじ，ちがう】 ①児童が直接働きかける具体物を観察する。 ②基準に対して，同じであるか，同じでないかを区別する。 ③「同じ」「違う」という用語を用いる。 【おおきい，ちいさい①】 ①児童が直接働きかける具体物を観察する。 ②具体物の大きさに注目して，それを「大きい」か「大きくない」か決める。 ③大きさの異なる二つの具体物を「大きい」と「小さい」に区別する。 ④「大きい」「小さい」という用語を用いる。 【おおきい，ちいさい②】 ①二つの大きさの違いに注目する。 ②二つの大きさのいずれかに働きかけて同じ大きさにする。 【おおい，すくない①】 ①児童が直接働きかける対象などを観察する。 ②かさ等に注目して，それを「多い」と「少ない」に区別する。 ③かさ等の異なる二つの量を「多い」と「少ない」に区別する。 ④「多い」「少ない」という用語を用いる。 【おおい，すくない②】 ①二つのかさに注目して，それらを「多い」と「少ない」にわける。 ②「多い」「少ない」という用語を用いる。 【ながい，みじかい】 ①具体物の長さに注目する。 ②基準に対して，同じであるか，同じでないかを区別する。
留意点 引継ぎ等					

令和８年度 小学部３年（Ⅱ課程Ａ）　音楽科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	Ⅱ課程Ａの児童	重森　誠仁	音楽動画・音声教材

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）曲名や曲想と簡単な音楽のつくりについて気付くとともに、感じたことを音楽表現するために必要な技能を身に付けることができる。（小２段階） (思判表力)感じたことを表現することや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら、音や音楽の楽しさを味わって聴くことができる。（小２段階） (学･人)音や音楽に楽しく関わり、教師や友達と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、身の回りの様々な音楽に親しんだり、豊かな情操を育んだりすることができる。（小２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	26	(知及技）音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かすことができる。 (思判表力)好きな歌や旋律の一部分を自分なりに歌いたいと思うことができる。 (学･人)音楽活動に興味を持ち、楽しみながら学習に取り組むことができる。	(知・技）音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かしている。 (思･判･表)好きな歌や旋律の一部分を自分なりに歌おうとしている。 (主学)音楽活動に興味を持ち、楽しみながら学習に取り組もうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童が投票で選んだ楽曲で踊る） 【歌唱・共通事項】 ・4月の歌（春の小川等） 【器楽・共通事項】 ・タンブリン、カスタネット、キーボード、木琴 【鑑賞・共通事項】 ・4月に関する曲 ・クラシック、歌謡曲、民謡等
		(知及技）拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。 (思判表力)身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴くことができる。 (学･人)拍に合わせて楽器を鳴らし、いろいろなリズムに興味を持つことができる。	(知・技）拍や曲の特徴的なリズムに気付こうとしている。 (思･判･表)身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴いている。 (主学)拍に合わせて楽器を鳴らし、いろいろなリズムに興味を持とうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童が投票で選んだ楽曲で踊る） 【歌唱・共通事項】 ・5月の歌（こいのぼり等） 【器楽・共通事項】 ・タンブリン、カスタネット、キーボード、木琴 【鑑賞・共通事項】 ・5月に関する曲 ・クラシック、歌謡曲、民謡等
		(知及技）教師や友達と一緒に歌うことができる。 (思判表力)声や身の回りの様々なものを用いて、音を出そうとすることができる。 (学･人)教師をよく見て、合図に合わせて発声したり、部分的に歌ったりすることができる。	(知・技）教師や友達と一緒に歌おうとしている。 (思･判･表)声や身の回りの様々なものを用いて、音を出そうとしている。 (主学)教師をよく見て、合図に合わせて発声したり、部分的に歌おうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童が投票で選んだ楽曲で踊る） 【歌唱・共通事項】 ・6月の歌（月桃等） ・白保と八特の子どもたち 【器楽・共通事項】 ・タンブリン、カスタネット、キーボード、木琴 【鑑賞・共通事項】 ・6月に関する曲 ・クラシック、歌謡曲、民謡等
		(知及技）音のつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さに気付くことができる。 (思判表力)簡単なリズムの特徴を感じ取り、身体を動かそうとすることができる。 (学･人)教師や友達とのやりとりを楽しみながら、身体表現や音楽づくりに取り組むことができる。	(知・技）音のつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さに気付いている。 (思･判･表)簡単なリズムの特徴を感じ取り、身体を動かそうとしている。 (主学)教師や友達とのやりとりを楽しみながら、身体表現や音楽づくりに取り組もうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童が投票で選んだ楽曲で踊る） 【歌唱・共通事項】 ・7月の歌（ヤッホッホ夏休み等） ・白保と八特の子どもたち 【器楽・共通事項】 ・タンブリン、カスタネット、キーボード、木琴 【鑑賞・共通事項】 ・7月に関する曲 ・クラシック、歌謡曲、民謡等

2学期	30	(知及技) 範唱を聴いて、曲の一部を模唱することができる。 (思判表力)身近な打楽器に親しみ、音を出そうとすることができる。 (学･人)郷土の音楽や楽器に親しみを持ち、進んで身体表現したり、歌ったりすることができる。	(知・技) 範唱を聴いて、曲の一部を模唱しようとしている。 (思･判･表)身近な打楽器に親しみ、音を出そうとしている。 (主学)郷土の音楽や楽器に親しみを持ち、進んで身体表現したり、歌ったりしようとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童が投票で選んだ楽曲で踊る） 【歌唱・共通事項】 ・9月の歌（つき等） 【器楽・共通事項】 ・タンブリン、カスタネット、キーボード、木琴 【鑑賞・共通事項】 ・9月に関する曲 ・クラシック、歌謡曲、民謡等
		(知及技) 楽器の音色の違いに気付くことができる。 (思判表力)音遊びを通して、音の面白さに気付くことができる。 (学･人)好きな歌詞や登場人物を見つけ、役割を分担しながら、教師や友達と一緒に歌唱や身体表現に取り組むことができる。	(知・技) 楽器の音色の違いに気付いている。 (思･判･表)音遊びを通して、音の面白さに気付いている。 (主学)好きな歌詞や登場人物を見つけ、役割を分担しながら、教師や友達と一緒に歌唱や身体表現に取り組もうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童が投票で選んだ楽曲で踊る） 【歌唱・共通事項】 ・10月の歌（虫の声等） 【器楽・共通事項】 ・タンブリン、カスタネット、キーボード、木琴 【鑑賞・共通事項】 ・10月に関する曲 ・クラシック、歌謡曲、民謡等
		(知及技) 曲に合わせて教師や友達と一緒に体を動かすことができる。 (思判表力)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌の一部分を自分なりに歌おうとすることができる。 (学･人)テンポや音量の違いを感じ、工夫して歌ったり、身体全体を動かしたりすることができる。	(知・技) 曲に合わせて教師や友達と一緒に体を動かそうとしている。 (思･判･表)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌の一部分を自分なりに歌おうとしている。 (主学)テンポや音量の違いを感じ、工夫して歌ったり、身体全体を動かそうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童が投票で選んだ楽曲で踊る） 【歌唱・共通事項】 ・11月の歌（ゆうやけこやけ等） 【器楽・共通事項】 ・タンブリン、カスタネット、キーボード、木琴 【鑑賞・共通事項】 ・11月に関する曲 ・クラシック、歌謡曲、民謡等
		(知及技) 自分の歌声に注意を向けて歌うことができる。 (思判表力)身近な打楽器などに親しみ、自ら音を出そうとすることができる。 (学･人)身近な打楽器を用いて、曲の簡単なリズムやパターンの特徴の面白さなどに気付くことができる。	(知・技) 自分の歌声に注意を向けて、歌おうとしている。 (思･判･表)身近な打楽器などに親しみ、自ら音を出そうとしている。 (主学)身近な打楽器を用いて、曲の簡単なリズムやパターンの特徴の面白さなどに気付こうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童が投票で選んだ楽曲で踊る） 【歌唱・共通事項】 ・12月の歌（あわてんぼうのサンタクロース等） 【器楽・共通事項】 ・タンブリン、カスタネット、キーボード、木琴 【鑑賞・共通事項】 ・12月に関する曲 ・クラシック、歌謡曲、民謡等
3学期	14	(知及技) 身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見つけることができる。 (思判表力)音遊びを通して音の面白さに気付き、自ら音や音楽で表現しようとすることができる。 (学･人)わらべうたの良さや面白さを感じとり、教師や友達と一緒に身体を動かしたり、歌ったりする学習に親しみ、他のわらべうたにも関心を持ったりすることができる。	(知・技) 身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見つけようとしている。 (思･判･表)音遊びを通して音の面白さに気付き、自ら音や音楽で表現しようとしている。 (主学)わらべうたの良さや面白さを感じとり、教師や友達と一緒に身体を動かしたり、歌ったりする学習に親しみ、他のわらべうたにも関心を持とうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童が投票で選んだ楽曲で踊る） 【歌唱・共通事項】 ・1月の歌（お正月等） 【器楽・共通事項】 ・タンブリン、カスタネット、キーボード、木琴 【鑑賞・共通事項】 ・1月に関する曲 ・クラシック、歌謡曲、民謡等
		(知及技) 曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉に気付くことができる。 (思判表力)簡単なリズムの特徴を感じ取り、自ら体を動かそうとすることができる。 (学･人)歌声や楽器の音色に気をつけながら、曲想にあった表現を工夫したり、歌声と楽器の音を合わせて演奏する楽しさに気付いたりすることができる。	(知・技) 曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉に気付いている。 (思･判･表)簡単なリズムの特徴を感じ取り、自ら体を動かそうとしている。 (主学)歌声や楽器の音色に気をつけながら、曲想にあった表現を工夫したり、歌声と楽器の音を合わせて演奏する楽しさに気付こうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童が投票で選んだ楽曲で踊る） 【歌唱・共通事項】 ・2月の歌（おにのパンツ等） 【器楽・共通事項】 ・タンブリン、カスタネット、キーボード、木琴 【鑑賞・共通事項】 ・2月に関する曲 ・クラシック、歌謡曲、民謡等

		(知及技）教師や友達と一緒に簡単な音や音楽を作ることができる。 (思判表力)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴くことができる。 (学･人)一年間を振り返り、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱や身体表現、音楽づくりや器楽、鑑賞などの活動に取り組むことができる。	(知・技）教師や友達と一緒に簡単な音や音楽を作ろうとしている。 (思･判･表)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴いている。 (主学)一年間を振り返り、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱や身体表現、音楽づくりや器楽、鑑賞などの活動に取り組もうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童が投票で選んだ楽曲で踊る） 【歌唱・共通事項】 ・3月の歌（卒業式用歌唱曲等） 【器楽・共通事項】 ・タンブリン、カスタネット、キーボード、木琴 【鑑賞・共通事項】 ・3月に関する曲 ・クラシック、歌謡曲、民謡等
留意点 引継ぎ等					

令和８年度 小学部3年（Ⅱ課程Ａ）　図画工作科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	3学年	篠原　辰典 手登根　真実子 譜久嶺　明香	自作教材、絵本等

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 形や色などの違いに気付き、表したいことを基に材料や用具を使い、表し方を工夫してつくるようにする。（小２段階） (思判表力)表したいことを思い付いたり、作品などの面白さや楽しさを感じ取ったりすることができるようにする。（小２段階） (学･人)進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。（小２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	26	(知及技) 形の面白さや色の違いに気づき、身近な材料や用具を使ってかいたり、形をつくったりすることができる。 (思判表力) 材料や感じたこと、想像したこと、みたことから表したいことを思いつき、表現することができる。 (学・人) 表現や鑑賞の活動を通して、つくりだす楽しさや喜びに気づき、興味関心をもって学習に取り組むことができる。	(知・技) 形の面白さや色の違いに気づき、身近な材料や用具を使ってかいたり、形をつくったりすることができる。 (思・判・表) 材料や感じたこと、想像したこと、みたことから表したいことを思いつき、表現することができる。 (主学) 表現や鑑賞の活動を通して、つくりだす楽しさや喜びに気づき、興味関心をもって学習に取り組むことができる。	「かいてみよう」 ・お父さん・お母さんの絵 ・遠足の思い出 ・音楽に合わせて心の線を描こう 「やってみよう」 ・色で遊ぼう ・スタンプ 「つくってみよう」 ・季節の製作 ・粘土 「みてみよう」 ・鑑賞	・材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付くこと。【Aーア（ア）】 ・身近にあるものなどの形や色の面白さについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げること。【Bーア（ア）】 ・形や色などを基に、自分のイメージをもつこと。【共通事項（イ）】
2学期	30	(知及技) 形の面白さや色の違いに気づき、身近な材料や用具を使ってかいたり、形をつくったりすることができる。 (思判表力) 材料や感じたこと、想像したこと、みたことから表したいことを思いつき、表現することができる。 (学・人) 表現や鑑賞の活動を通して、つくりだす楽しさや喜びに気づき、興味関心をもって学習に取り組むことができる。	(知・技) 形の面白さや色の違いに気づき、身近な材料や用具を使ってかいたり、形をつくったりすることができる。 (思・判・表) 材料や感じたこと、想像したこと、みたことから表したいことを思いつき、表現することができる。 (主学) 表現や鑑賞の活動を通して、つくりだす楽しさや喜びに気づき、興味関心をもって学習に取り組むことができる。	「かいてみよう」 ・読書感想画 「やってみよう」 ・切ってつなげて ・粘土 「つくってみよう」 ・季節の製作 ・紙版画 ・勤労感謝の日プレゼント 「みてみよう」 ・夏休み作品展 ・鑑賞	・材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付くこと。【Aーア（ア）】 ・身近にあるものなどの形や色の面白さについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げること。【Bーア（ア）】 ・自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などの違いに気付くこと。【共通事項（ア）】
3学期	14	(知及技) 形の面白さや色の違いに気づき、身近な材料や用具を使ってかいたり、形をつくったりすることができる。 (思判表力) 材料や感じたこと、想像したこと、みたことから表したいことを思いつき、表現することができる。 (学・人) 表現や鑑賞の活動を通して、つくりだす楽しさや喜びに気づき、興味関心をもって学習に取り組むことができる。	(知・技) 形の面白さや色の違いに気づき、身近な材料や用具を使ってかいたり、形をつくったりすることができる。 (思・判・表) 材料や感じたこと、想像したこと、みたことから表したいことを思いつき、表現することができる。 (主学) 表現や鑑賞の活動を通して、つくりだす楽しさや喜びに気づき、興味関心をもって学習に取り組むことができる。	「やってみよう」 ・並べて並べて 「つくってみよう」 ・季節の製作 ・卒業式壁面・プレゼント ・作品集 「みてみよう」 ・1年間の活動の振り返り ・鑑賞	・材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付くこと。【Aーア（ア）】 ・身近にあるものなどの形や色の面白さについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げること。【Bーア（ア）】 ・形や色などを基に、自分のイメージをもつこと。【共通事項（イ）】

令和８年度 小学部３年（Ⅱ課程Ａ）　体育科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	Ⅱ課程Ａの児童	荷川取　優	

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）遊びや基本的な運動の行い方及び身近な生活における健康について知るとともに、基本的な動きや健康な生活に必要な事柄を身に付ける。（小２段階） (思判表力)遊びや基本的な運動及び健康についての自分の課題に気付き、その解決に向けて自ら考え行動し、他者に伝える力を身に付ける。（小２段階） (学･人)遊びや基本的な運動に親しむことや健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営むことができる。（小２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
４月	26時間	【知及技】 基本的な体の動き（伸ばす・曲げる・回すなど）を身につけることができる。 【思判表力】 体を動かす心地よさを感じ、進んで運動に取り組もうとする。 【学・人】 友だちや教師と関わりながら運動する楽しさを味わうことができる。	【知・技】 基本的な体の動き（伸ばす・曲げる・回すなど）を身につけようとしている。 【思・判・表】 体を動かす心地よさを感じ、進んで運動に取り組もうとしている。 【主学】 友だちや教師と関わりながら運動する楽しさを味わおうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「みんなで楽しく」 A体つくり運動遊び	・ラジオ体操 ・簡単なゲーム 台風の目 大玉転がし 玉入れ 風船バレー かけっこ 等 ※4月下旬の春の遠足で行うレクの練習としてもよい。
５月		【知及技】 基本的な体の動き（伸ばす・曲げる・回すなど）を身につけることができる。 【思判表力】 体を動かす心地よさを感じ、進んで運動に取り組もうとする。 【学・人】 友だちや教師と関わりながら運動する楽しさを味わうことができる。	【知・技】 基本的な体の動き（伸ばす・曲げる・回すなど）を身につけようとしている。 【思・判・表】 体を動かす心地よさを感じ、進んで運動に取り組もうとしている。 【主学】 友だちや教師と関わりながら運動する楽しさを味わおうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「みんなで楽しく」 A体つくり運動遊び	・ラジオ体操 ・簡単なゲーム 台風の目 大玉転がし 玉入れ 風船バレー かけっこ 等
６月		(知及技) 顔つけ・浮く・進むなどの基本的な動きを体験する。 (思判表力) 水に慣れ、水中での活動に安心して参加したり、水の抵抗	(知・技) 顔つけ・浮く・進むなどの基本的な動きを体験しようとしている (思･判･表) 水に慣れ、水中での活動に安心	「水遊び・プール学習」 （D 水あそび）	○水慣れ・水中歩行 ・じゃんけん水かけっこ（じゃんけんで勝ったら水をかけるなど、楽しみながら顔に水がかかることに慣れる） ・水中電車ごっこ、鬼ごっこ（水中を歩いたり、走ったり、止まったり、ジャンプし

7月		を感じながら、歩いたり走ったりして遊ぶことができる。 (学･人) 簡単な決まりを守り安全に気を付けながら活動することができる。	して参加したり、水の抵抗を感じながら、歩いたり走ったりして遊ぶことができる。 (主学) 簡単な決まりを守り安全に気を付けながら活動しようとしている。	「水遊び・プール学習」 (D 水あそび)	たりして抵抗を感じる) ・まねっこ遊び(カニ、ワニなどの動きを真似て水中を移動) ・フープくぐり ○潜る・浮く・呼吸 ・だるま浮き・くらげ浮き(背浮きや膝を抱えて浮く感覚を身につける) ・スーパーマン・けのび(ビート板を使って、または使わずに水中をまっすぐ進む) ・宝探し(水底に沈んだリングや碁石を拾う) ・「ぶくぶくパッ」の練習
9月 10月	30時間	(知及技) 転がる・支える・渡るなどの基礎的な動きを身につけることができる。 (思判表力) 器具を使った運動に慣れ、安全に気を付けて取り組んだり、その楽しさや感じたことを自分なりの方法で表現することができる。 (学･人) 成功体験を通して自信をもち、繰り返し挑戦しようとすることができる。	(知・技) 転がる・支える・渡るなどの基礎的な動きを身につけようとしている。 (思･判･表) 器具を使った運動に慣れ、安全に気を付けて取り組んだり、その楽しさや感じたことを自分なりの方法で表現しようとしている。 (主学) 成功体験を通して自信をもち、繰り返し挑戦しようとしている。	「レッツ！サーキット」 (B 器械・器具を使っての運動遊び) (C 走・跳の運動遊び) 「レッツ！サーキット」 (B 器械・器具を使っての運動遊び) (C 走・跳の運動遊び)	・三輪車 ・平均台(渡り歩き、跳び下り等) ・跳び箱(よじ登り、跳び下り、またぎ乗り、またぎ下り等) ・マット運動(横転がり、ゆりかご、前転がり、後ろ転がり等) ・トランポリン ・かんぱっくり ・フラフープ ・バランスボール ・竹馬 ・滑り台 ・ミニハードル ・風船キープ(バギー・車イスの児童) ・ミュージックマット(バギー・車イスの児童) ・ガタガタ道(バギー・車イスの児童)
11月 12月		(知及技) 楽しく走ったり、低いハードルをまたいだり、跳んだりすることができる。 (思判表力) 自分で決めた距離を自分なりの方法で、最後まで歩いたり走ったりすることができる。 (学･人) 簡単なきまりを守り、友達と一緒に楽しく走ったり、跳んだりすることができる。	(知・技) 楽しく走ったり、低いハードルをまたいだり、跳んだりしようとしている。 (思･判･表) 自分で決めた距離を自分なりの方法で、最後まで歩いたり走ったりすることができる。 (主学) 簡単なきまりを守り、友達と一緒に楽しく走ったり、跳ぼうとしたりしている。	「かけっこ・持久走」 (C 走・跳の運動遊び) 「かけっこ・持久走」 (C 走・跳の運動遊び)	・目標決め ・かけっこ ・ミニハードル ・持久走 ※12月上旬の持久走チャレンジ会に向けての練習となる。
1月		【知及技】 模倣や簡単な表現活動を通して自己表現を行ったり、いろいろな表現方法について知ることができる。 【思判表力】 音楽やリズムに合わせて体を動かす楽しさを味わい、自分なりの方法で表現することができる。 【学・人】 友だちや教師と一緒に動きを合わせる経験をすることができる。	【知・技】 模倣や簡単な表現活動を通して自己表現を行ったり、いろいろな表現方法について知ろうとしている。 【思・判・表】 音楽やリズムに合わせて体を動かす楽しさを味わい、自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 友だちや教師と一緒に動きを合わせようとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「題材と動き」 「リズムと動き」 (F 表現遊び)	(題材と動き) ・鳥、昆虫、恐竜、動物園の動物、飛行機、遊園地の乗り物、おもちゃなど特徴が捉えやすい動きを多く含む物の真似をすること (リズムと動き) ・軽快なリズムの曲や児童が日常的に親しんでいる曲にのって、弾む、回る、ねじるなど自由に踊ること ・音楽やリズムに合わせて歩く、走る、弾む、回る、ねじるなどの運動をする

2 月	14 時 間	(知及技) ボールを使った基本操作（投げる・取る・蹴る）や簡単なルールのあるゲームを楽しく行うことができる。 (思判表力) ボールを使った基本操作（投げる・取る・蹴る）に慣れ、その楽しさや感じたことを自分なりの方法で表現することができる。 (学･人) 簡単なルールのあるボール遊びやゲームを友達と一緒に行うことができる。	(知・技) ボールを使った基本操作（投げる・取る・蹴る）や簡単なルールのあるゲームを楽しく行おうとしている。 (思･判･表) ボールを使った基本操作（投げる・取る・蹴る）に慣れ、その楽しさや感じたことを自分なりの方法で表現しようとしている。 (主学) 簡単なルールのあるボール遊びやゲームを友達と一緒に行おうとしている。	「ボールで遊ぼう」 （E ボール遊び）	・転がす、投げる、蹴る、捕る ・的当てゲーム ・ボウリング ・ボッチャ ・ボール運びゲーム ・ティーベースボール ・大玉ドッチボール ・シュートゲーム等
3 月		【知及技】 感染症予防について学び、うがいやマスク、手洗い等、基本的な対策を行うことができる。 【思判表力】 体調が悪いときや怪我をして痛いときには教師に知らせたり、手が汚れているときには、その状態を見て、手洗いを行ったりすることができる。 【学・人】 身体計測による体重や身長の変化に興味、関心を持つことができる。	【知・技】 感染症予防について学び、うがいやマスク、手洗い等、基本的な対策を行おうとしている。 【思・判・表】 体調が悪いときや怪我をして痛いときには教師に知らせようとしたり、手が汚れているときには、その状態を見て、手を洗おうとしている。 【主学】 昨年と比べて、体重や身長が変化していることを知り、自分の成長を感じることができる。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「健康な生活」 （G 保健）	・大切な体 ・手洗い、うがい、水分補給、着替え ・身体測定 ・感染症予防対策 ・プライベートゾーン ・命の授業（赤ちゃんの誕生）
年間を通して		(知及技）教師の支援を受けて、ウォーミングアップやラジオ体操を行うことができる。 (思判表力)集合・整列では、自分の学年に並ぶことができる。 (学･人)教師の言葉かけや簡単な指示で、準備や後片付けを行うことができる。	(知・技）教師の支援を受けて、ウォーミングアップやラジオ体操を行おうとしている。 (思･判･表)集合・整列では、自分の学年に並ぼうとしている。 (主学)教師の言葉かけや簡単な指示で、準備や後片付けを行おうとしている。	「はじまるよ」 （A 体つくり運動遊び）	・ウォーミングアップ ・集合、整列 ・ラジオ体操 ・準備、後片付け
留意点 引継ぎ等		・（A 体つくり運動遊び）ウォーミングアップ、集合・整列は、年間を通して指導する。 ・（F 表現運動）ラジオ体操、ダンスは、年間を通して指導する。 ・（G 保健）健康な生活は、年間を通して指導する ・単元は、児童の興味・関心、実態に応じて精選、入れ替え、変更等、柔軟性を持って取り扱う。			

令和８年度 小学部３年（Ⅱ課程A）　道徳科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	３ 年生	手登根　真実子	自作教材・絵本

年間目標	・自分でできることは、 自ら取り組み、 よいこと悪いことをよく考えて行動する態度を養う。 ・友達と仲良くし、助けあう心を育てるとともに、あいさつや動作などの礼儀を身につける。 ・約束やきまりを守り、集団生活における自分の役割が分かり、最後までがんばる意欲を育てる。 ・身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接する態度を育てる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	13	・教師や友達、他学年の友達に親しみ、学校生活を楽しもうとする心情を育てる。 ・身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接しようとする心情を育てる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C　よりよい学校生活、集団生活の充実】 ・学校は楽しいね 【D　自然愛護】 ・自然の中で	・学級開き ・新転入生を迎える会 ・草花の栽培、観察
		・挨拶の大切さに気づき、場に応じた言葉づかいや気持ちのよい挨拶をしようとする。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【B　礼儀】 ・挨拶の相手 ・挨拶の仕方	・場に応じた挨拶 ・母の日、父の日 ・お手伝い
		・家族の愛情や家族の一員としての役割について家族に対する愛情をいっそう深め、積極的に家族と関わり、生活しようとすることができる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C　家族愛、家庭生活の充実】 ・家族の一員として ・家族のために 【B　感謝】 ・周囲への感謝 ・家族への感謝	・母の日、父の日 ・お手伝い
		・仲間はずれをしないことの大切さを理解し、誰に対しても公正、公平に接しようとすることができる。 ・戦争や平和について関心をもち、自分や友達の命を大切にしようとする気持ちを育てる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C　公正、公平、社会正義】 ・分け隔てなく	・公正、公平な態度 ・慰霊の日
[illegible]	15	・友達と仲良くし助け合うことの大切さがわかり、よりよい友達関係を築こうとする。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【B　友情、信頼】 ・友達の気持ちになって ・友達の立場になって	・人との関わり ・どんなきもち
		・物事のよいことと悪いことについて考え、よいと思うことをすすんで行おうとすることができる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【A　個性の伸長】 ・よさを伸ばす 【A　善悪の判断、自律、自由と責任】 ・よいことをすすんで ・心の強さ	・良いこと、悪いこと

2学期		・相手から喜ばれたり感謝されたりすることが働く喜びにつながることに気づき、すすんでみんなの役に立とうとする心情や実践意欲と態度を育てる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C　勤労、公共の精神】 ・働く喜び ・みんなの役に立ちたい	・色々な職業
		・約束やきまりの大切さに気づき、きまりを守って生活しようとすることができる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C　規則の尊重】 ・きまりを守って ・みんなのものを大切に	・公共施設でのマナー ・約束
3学期	7	・自分の生命が多くの人によって大切にされ、支えられていることに気付き、生命を大切にして生活しようとすることができる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【D　生命の尊さ】 ・私たちの命 ・命を見つめる 【D　自然愛護】 ・自然に親しむ ・自然とふれ合う	・自分の成長を振り返る ・家族への感謝
		・地域のよさについて考え、国や郷土に親しもうとすることができる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C　伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】 ・国やふるさとのよさ 【C　国際理解、国際親善】 ・世界の国々	・校外学習 ・地域の人々 ・世界の文化、人々の暮らし
		・言葉の大切さを理解し、相手が笑顔になるような言葉を使おうとする実践意欲と態度を育てる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C　公正、公平、社会正義】 ・うれしくなる言葉	・お父さんお母さんへ、卒業生へ、先生へ
年間を通して		・草花や野菜のお世話をしたり、観察をしたりして成長を見る。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【D　自然愛護】 ②草花や野菜を育てよう	・キャリアパスポート ・草花の栽培
留意点 引継ぎ等					

令和８年度 小学部３年（Ⅱ課程Ａ）　外国語活動　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35時間	Ⅱ課程Ａの児童	荷川取　優	音楽動画・音声教材

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標

(知及技）外国語を用いた体験的な活動を通して、日本語と外国語の音声の違いなどに気付き、外国語の音声に慣れ親しむようにする。

(思判表力)身近で簡単な事柄について、外国語に触れ、自分の気持ちを伝え合う力の素地を養う。

(学･人)外国語を通して、外国の文化などに触れながら、言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
１学期	13時間	（知及技）日本と外国の言語や文化について、英語の歌や日常生活になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しむことができる。 （思判表力）外国語を用いた動画や音声等の教材から再生される映像や音声に、興味や関心をもって見たり聞いたりすることができる。 （学・人）外国語の授業に安心して参加することができる。	（知・技）日本と外国の言語や文化について、英語の歌や日常生活になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しもうとしている。 （思・判・表）外国語を用いた動画や音声等の教材から再生される映像や音声に、興味や関心をもって見たり聞いたりしようとしている。 （主学）外国語の授業に安心して参加しようとしている。	「自己紹介をしよう」 「挨拶をしよう」 「What color?」 ・色 「いろいろな英語を知ろう」 ・曜日、天気 「what do you like?」 ・好きな色 ・好きな野菜 「いろいろな英語を知ろう」 ・好きな果物	・言語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさを知ること。【(1)ア】 ・既に知っている活動や場面で、英語の挨拶や語などを聞き取る活動【(3)ア】 ・歌やダンス、ゲームで、簡単な語や身振りなどを使って表現する活動。【(3)①イ(ｲ)】
２学期	15時間	（知及技）日本と外国の言語や文化について、外国の生活や行事などに触れ、日本と外国の生活や違いを知ることができる。 （思判表力）コミュニケーションの相手や外国語を用いた動画や音声等の教材から再生される映像や音声に、興味や関心をもって見たり聞いたりすることができる。 （学・人）授業や学校生活の中で、外国の文化に気付いたり、言語への関心を高めたりすることができる。	（知・技）日本と外国の言語や文化について、外国の生活や行事などに触れ、日本と外国の生活や違いを知ろうとしている。 （思・判・表）コミュニケーションの相手や外国語を用いた動画や音声等の教材から再生される映像や音声に、興味や関心をもって見たり聞いたりしようとしている。 （主学）授業や学校生活の中で、外国の文化に気付いたり、言語への関心を高めたりしようとしている。	「アルファベットを探そう」 「外国の文化についてしろう」 ・ハロウィン 「ゲームをしよう」 「外国の文化についてしろう」 ・クリスマス	・英語の歌や日常生活になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しむこと。【(1)イ(ｱ)】 ・外国の生活や行事などに触れ、日本と外国の生活や違いを知ること。【(1)イ(ｲ)】 ・歌やダンス、ゲームで、簡単な語や身振りなどを使って表現する活動。【(3)①イ(ｲ)】
３学期	7時間	（知及技）具体的な言語の使用場面や状況における活動を通して、言語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさを知ることができる。 （思判表力）教師や友達が話している英語を真似て話そうとしたり、相手の質問や要求に応じようとしたりすることができる。 （学・人）言葉やジェスチャー、指さしなどで、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。	（知・技）具体的な言語の使用場面や状況における活動を通して、言語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさを知ろうとしている。 （思・判・表）教師や友達が話している英語を真似て話そうとしたり、相手の質問や要求に応じようとしたりしている。 （主学）言葉やジェスチャー、指さしなどで、進んでコミュニケーションを図ろうとしている。	「新年の過ごし方」 「お店ごっこをしよう」 「一年間のまとめをしよう」	・既に知っている物や事柄に関する語などを聞き、それが表す内容を実物や写真などと結び付ける活動。【(3)①ア(ｲ)】 ・言語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさを知ること。【(1)ア】 ・歌やダンス、ゲームで、簡単な語や身振りなどを使って表現する活動。【(3)①イ(ｲ)】

留意点 引継ぎ等	

令和８年度　小学部　３年（Ⅱ課程Ａ）　特別活動　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	３学年	手登根真実子	自作教材・イラスト・写真

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解する。 (思判表力)集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができる。 (学･人)自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	13	･学級で目標を決める大切さを知り、意見を出し合って学級目標を作ることができる。（知及技） ･自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。（学･人） ･自分の好きなことや将来について考えることができる。（思判表力） ･同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。（学･人） ･一学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。（思判表力） ･夏休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。（知及技）	･学級で目標を決める大切さを知り、意見を出し合って学級目標を作ろうとしている。（知・技） ･自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。（主学） ･自分の好きなことや将来について考えようとしている。（思･判･表） ･同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。（主学） ･一学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。（思･判･表） ･夏休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいか自分で考えようとしている。（知・技）	･学年、学級開き ･一学期頑張ろう会 ･学級目標作り ･係活動を決めよう ･キャリアパスポート作り ･一学期の目標 ･学校間交流（･居住地校交流） ･キャリアパスポートの活用 ･一学期頑張った会 ･夏休みに向けて	・新しい学級の友達や先生を知る。 ・一学期頑張ろう会に参加する。 ・一学期の行事の確認 ・学級目標を決めて、書いて教室に貼る。 ・一学期の係活動を決める。 ・一学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、選んだりして発表する。 ・交流会の日時を知る。 ・異学年や他校の友達と歌を歌ったり、簡単なゲームしたりして交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・一学期頑張った会に参加する。 ・夏休みの過ごし方を考えたり話し合ったりする。
2学期	15	･２学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知及技） ･自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。（学･人） ･自分の好きなことや将来について考えることができる。（思判表力） ･集団で活動するよさを知り、集団での活動に参加することができる。（知及技） ･同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。（学･人） ･二学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。（思判表力） ･冬休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。（知及技）	･２学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知・技） ･自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。（主学） ･自分の好きなことや将来について考えようとしている。（思･判･表） ･集団で活動するよさを知り、集団での活動に参加することができる。（知・技） ･同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。（主学） ･二学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。（思･判･表） ･冬休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいか答えることができる。（知・技）	･二学期頑張ろう会 ･キャリアパスポート作り ･二学期の目標 ･係活動を決めよう ・修学旅行 ･学校間交流（･居住地校交流） ･キャリアパスポートの活用 ･二学期頑張った会 ･冬休みに向けて	・二学期頑張ろう会に参加する。 ・二学期の行事の確認 ・二学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、イラスト等を貼ったりする。 ・二学期の係活動を決める。 ・児童集会に参加する。 ・学校や住んでいる地域では体験できないことを学習し、見聞を広げる。 ・異学年や他校の友達と歌を歌ったり、簡単なゲームしたりして交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・二学期頑張った会に参加する。 ・冬休みの過ごし方を考えたり話し合ったりする。

3学期	7	・3学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知及技） ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。（学・人） ・自分の好きなことや将来について考えることができる。（思判表力） ・集団での活動に参加することができる。（学・人） ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。（学・人） ・一年間を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。（思判表力） ・進級する学年・学部が現在と違いがあることを知り、今後の行事や学習について希望を持つ。（知及技）	・3学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知・技） ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。（主学） ・自分の好きなことや将来について考えようとしている。（思・判・表） ・集団での活動に参加しようとしている。（主学） ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。（主学） ・一年間を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。（思・判・表） ・進級する学年・学部が現在と違いがあることを知り、今後の行事や学習について希望を持ち、伝えようとしている。（知・技）	・三学期頑張ろう会 ・キャリアパスポート作り ・三学期の目標 ・係活動を決めよう ・学校間交流（・居住地校交流） ・キャリアパスポートの活用 ・三学期頑張った会 ・進級学年・学部について	・三学期頑張ろう会に参加する。 ・三学期の行事の確認 ・三学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、イラスト等を貼ったりする。 ・三学期の係活動を決める。 ・あおぞら集会に参加する。 ・他学年の児童と交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・三学期頑張った会に参加する。 ・次の学年や学部について考える。
留意点 引継ぎ等					

あおぞら会（幼児児童生徒会）

学期	時数	活動の目標	活動・単元名	指導・活動内容
1学期	2	異年齢の生徒同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営をすることに自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標（特別活動全体の目標）に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	・第1回あおぞら集会 ・第2回あおぞら集会	・新役員紹介 ・年間活動計画 ・令和8年度幼児児童生徒総会
2学期	1		・第3回あおぞら集会 ・特体連報告放送	・特体連選手激励会 ・特体連激励放送 ・特体連報告放送
3学期	3		・第4回あおぞら集会 ・第5回あおぞら集会 ・第6回あおぞら集会	・あおぞら役員選挙告示（選挙の内容の説明） ・立会演説会 ・体育館で投票 ・新役員の任命式及び引き継ぎ式 ・当選セレモニー ・当選証書授与

※あおぞら（幼児児童生徒）集会のある週の水曜日にあおぞら（幼児児童生徒）役員会を設定する（役員のみ）。

なお、各学部と調整して柔軟に日程は変更する。

※あおぞら会と学級活動の時数を合わせて、1学期13回、2学期15回、3学期7回の時数となる。

学校行事

学期	時数	活動の目標	活動・単元名	指導・活動内容
1学期	10	全校又は学年の児童で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、第1の目標（特別活動全体の目標）に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	・1学期　始業式、終業式 ・身体測定 ・地震津波避難訓練 ・内科検診、歯科検診、心電図	・先生の話を聞く。 ・自分の成長を知る。 ・安全に気をつけて行動することができる。 ・検査に落ち着いて受けることができる。 ・月ごとの振り返り
2学期	13		・2学期始業式、終業式 ・火災避難訓練 ・全校作業	・先生の話を聞く。 ・安全に気をつけて行動することができる。 ・月ごとの振り返り ・各行事の準備などの取り組み
3学期	5		・3学期始業式、修了式 ・全校作業 ・卒業式準備	・先生の話を聞く。 ・行事に意欲的に参加できる。 ・月ごとの振り返り ・各行事の準備などの取り組み

令和 年度 小学部　3年（Ⅱ課程B）　生活科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
6/210	小学部３年	篠原辰典	文部科学省著作教科書　せいかつ☆☆

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）活動や体験の過程において，自分自身，身近な人々，社会及び自然の特徴や変化に気付くとともに，身近な生活において必要な習慣や技能を身に付けるようにする。（小２段階） (思判表力）自分自身や身の回りの生活のことや，身近な人々，社会及び自然と自分との関わりについて気付き，感じたことを表現しようとする。（小２段階） (学･人）自分のことに取り組もうとしたり，身近な人々，社会及び自然に自ら働きかけようとしたり，意欲や自信をもって学んだり，生活に生かそうとしたりする態度を養う。（小２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して	5	(知及技）身近な生活に必要な身辺処理に関する基礎的な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力)必要な身辺処理が分かり、身近な生活に役立てようとすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技）身近な生活に必要な身辺処理に関する基礎的な知識や技能を身に付けようとしている。 (思･判･表)必要な身辺処理が分かり、身近な生活に役立てようとしている。 (学・人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【ア　基本的生活習慣】 「じぶんでもやってみよう」 「しょくじのマナー」	【食事】 ・食事のマナーや態度について分かるようになる。（食事中は立ち歩かない、こぼさず食べるなど） 【用便】 ・一連の流れと共に基本的な方法や態度を身に付ける。（男女の便所を区別する、鍵をかけるなど） 【寝起き】 ・規則正しい生活を意識する。（定時に寝起きする、寝床の準備や片付けをするなど） 【清潔】 ・身体各部や衣服の汚れが理解できる。（汚れた衣服を着替えるなど） 【身の回りの整理】 ・整理の仕方や収納場所や収納の方法などが分かる。（ハンガーに掛けるなど） 【身なり】 ・身なりについて自分で気付く。（衣服の前後や裏表が分かる、着脱後の簡単な確認をするなど）
	5	(知及技）身近な日課・予定について知ることができる。 (思判表力)身近な日課・予定が分かり、教師の援助を求めながら、日課に沿って行動しようとすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技）身近な日課・予定について知ろうとしている。 (思・判・表)身近な日課・予定が分かり、教師の援助を求めながら、日課に沿って行動しようとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【ウ　日課・予定】 「つぎのじゅぎょうはなにかな」	【日課・予定】 ・教師の言葉掛けを聞いたり、次の行動を絵や写真で示したカード等を見たりして、次に何をするのかが分かり、できるだけ一人で日課に沿って行動できるようにする。 ・予定については、下校後は何をするのか、また、明日の予定などを取り扱うことで、児童が身近な予定が分かり見通しを持って過ごすことができるようにする。
	5	(知及技）身近な人との接し方などについて知ることができる。 (思判表力)身近な人を知り、教師の援助を求めながら挨拶や話などをすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技）身近な人との接し方などについて知ろうとしている。 (思・判・表)身近な人を知り、教師の援助を求めながら挨拶や話などをしようとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【オ　人との関わり】 「わたしとかぞく」 「おきゃくさんだよ」 「ありがとう、ごめんなさい」 「せんせい・ともだち」	【自分自身と家族】 ・家族の名前が分かり紹介したり、家族の名前を尋ねられたときに応じたりする。 【身近な人との関わり】 ・担任教師や友達の名前を言ったり、自分から「おはようございます」、「さようなら」などの挨拶をしたりする。 ・教師等に見聞きしたことや遊んだことを話す。 【気持ちを伝える応対】 ・適切な場面で「ありがとう」や「ごめんなさい」などをできるだけ言葉で言う。
	20	(知及技）簡単な係活動などの役割について知ることができる。 (思判表力)身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技）簡単な係活動などの役割について知ろうとしている。 (思・判・表)身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【カ　集団】 「かかりのしごと」 「ちいきのぎょうじ」	【集団の参加や集団内での役割】 ・集団活動で簡単な係活動を果たす。 【地域の行事への参加】 ・地域の行事に参加し、簡単な買い物をしたり、地域の人たちと一緒に活動したりする。 【共同での作業と役割分担】 ・友達と一緒に作業に取り組む際には互いに協力して楽しく活動に取り組める。

	29	(知及技）簡単な手伝いや仕事について知ることができる。 (思判表力)教師の援助を求めながら身近で簡単な手伝いや仕事をしようとすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技）簡単な手伝いや仕事について知ろうとしている。 (思・判・表)教師の援助を求めながら身近で簡単な手伝いや仕事をしようとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【キ　手伝い・仕事】 「せんせいのおてつだいをしよう」 「そうじをしよう」	【手伝い】 ・できるだけ自分で、印刷物を配ることや教室へ教材の運搬の手伝いをする。 ・簡単な道具や器具を教師と一緒に使用して、作業の手伝いをする。 【整理整頓】 ・できるだけ自分で机やロッカーなどの中を整理することのほか、友達が使った物や学級の備品についても整理する。 【戸締まり】 ・扉や窓の開閉と同時に施錠方法を知り、どのようなときに開け、どのようなときに閉めるのかを理解する。 【掃除】 ・掃除用具の名称や使い方が分かり、できるだけ一人で、簡単な掃除をする。 【後片付け】 ・使用した道具の片付けをする。 ・友達からの言葉掛けでも片付けることができる。 ・友達と協力しながら片付ける。
	15	(知及技）簡単なきまりやマナーについて知ることができる。 (思判表力)身近で簡単なきまりやマナーに気付き、それらを守って行動しようとすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技）簡単なきまりやマナーについて知ろうとしている。 (思・判・表)身近で簡単なきまりやマナーに気付き、それらを守って行動しようとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【ケ　きまり】 「じぶんやみんなのもの・みんなのばしょ」 「せいかつのきまり」 「がっこうのきまり」 「しょくじのマナー」	【自分の物と他人の物の区別】 ・他人の物や学校の物品を無断で持ち出さない。 【学校のきまり】 ・学校生活では、廊下の右側通行、靴を履き替える場所、登校時刻や下校時刻など様々なきまりがあることに気付くとともに、それを守る。 【日常生活のきまり】 ・信号を守って横断する、停留所や駅などでは並んで順番を待つ、順番を守って乗り物の乗降をする、決められた場所で遊ぶなど。 【マナー】 ・正しい姿勢で食事をする、食事中は席に座っている、口に食物が入っているときは話さないなど、身近な生活におけるマナーを、実際に守る。
1学期	10	(知及技）安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力)身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技）安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表)身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【イ　安全】 〇あんぜんにつかおう 「つくろう」 「あそぼう」 〇きをつけて　あるこう 「おうだんほどう」 〇さいがいや　じこからじぶんをまもろう 「じしんがきたら」 「かじになったら」 「わたしたちをまもってくれるところ」	【危険防止】 ・身近な生活にある遊具・器具（はさみ、穴開けパンチ等）の安全な使い方を知る。 【交通安全】 ・歩行者用信号機の意味を知る。 ・安全な歩行の仕方（横断歩道、歩道、手を上げる）が分かる。 【避難訓練】 ・避難について知る。 ・災害（地震、火事）時の適切な行動について知り、教師と一緒に安全に避難する。 【防災】 ・自分たちの生活を見守り、事件や事故から自分たちを守ってくれる人や場所（交番、消防署、こども110番、地域パトロール等）があることを知る。
	5	（知及技）簡単なきまりのある遊びについて知ることができる。 (思判表力)身近な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びをしたり、遊びを工夫しようとしたりすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	（知・技)簡単なきまりのある遊びについて知ろうとしている。 (思･判･表)身近な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びをしたり、遊びを工夫しようとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【エ　遊び】 〇いっしょにあそぼう ・みんなでゆうぐあそび ・みんなでおにごっこ ・かたづけできるかな ・もっとあそびたいな （せいかつ☆☆）	【いろいろな遊び】 ・友達や教師と一緒にいろいろな遊具で遊ぶ。 （エアートランポリン、雲梯棒、滑り台、ブランコ、ジャングルジムなど） ・友達や教師と一緒に簡単なルールのある遊びをする。 （おにごっこ、椅子取りゲーム、かくれんぼ、じゃんけん列車、おもちゃ遊びなど） 【遊具の片付け】 ・友達と協力して、使った道具を元の場所に片付ける。
	5	(知及技）金銭の扱い方などを知ることができる。 (思判表力)身近な生活の中で、教師に援助を求めながら買い物をし、金銭の大切さや必要性について気付くことができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技）金銭の扱い方などを知ろうとしている。 (思・判・表)身近な生活の中で、教師に援助を求めながら買い物をし、金銭の大切さや必要性について気付こうとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【ク　金銭の扱い】 〇おかねはたいせつ 「おこづかいをもらったら」 〇かいもの 「れんしゅうをしてみよう」 〇なにをかおうかな 「どうやってかうのかな」 （自動販売機）	【金銭の扱い】 ・実際に金銭を支払い、金銭の価値を徐々に理解する。 ・お年玉やお小遣いなど、自分の金銭を財布や貯金箱に大切に保管することやその使い方を知る。 【買い物】 ・買い物ごっこで買い物の練習をする。 ・少しの支援で買い物をする。 【自動販売機の利用】 ・できるだけ一人で自動販売機に金銭を入れ、商品を選んでボタンを押し、品物を取り出すことで、およその使い方を知り、徐々に一人で操作できるようにする。

	7	(知及技）身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知ることができる。 (思判表力)教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技)身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知ろうとしている。 (思・判・表)教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【コ　社会の仕組みと公共施設】 「わたしのまわりのひとたち」 ・かぞくのやくわり ・あいにいこう（がっこうではたりくひとたち） 「わたしたちのまち」 「いってみよう」	【家族・親戚・近所の人】 ・家族がそれぞれ役割をもっていることに気付くことや、身近な地域で働く人などに対して関心を広げる。 【学校】 ・学校にある教室の名称や主な用途が分かる。 ・学校で働く様々な人に関心をもつことができる。 【いろいろな店】 ・教師と一緒に買い物に行き、いろいろな種類の店やそこで販売している商品に関心をもつ 【社会の様子】 ・自分の住む町の公共施設やいろいろな商店、河川や山、公園などの様子に関心をもつ。
	22	(知及技）身近な生命や自然について知ることができる。 (思判表力)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技)身近な生命や自然について知ろうとしている。 (思・判・表)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【サ　生命・自然】 〇みつけにいこう！はる・なつ・あき・ふゆ 〇いきものとなかよし 「どうぶつにあいにいこう」 〇そらとてんき 「きょうのてんき・あしたのてんき」 「ひる・よる」	【自然との触れ合い】 ・季節によって自然が変化することに気づく。 【動物の飼育・植物の栽培】 ・動物園等（子どもの国等）で動物に触れたり、餌やりをしたりし興味関心をもつ。 ・植物を栽培し育てる。（キャベツ、あさがお等） 【季節の変化と生活】 ・天候の変化に関心をもつ。（晴れ、くもり、雨） ・昼と夜の違いに気づく。（昼は太陽、明るい、影ができる。夜は月、星、暗いなど）
2学期	5	（知及技）簡単なきまりのある遊びについて知ることができる。 (思判表力)身近な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びをしたり、遊びを工夫しようとしたりすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	（知・技)簡単なきまりのある遊びについて知ろうとしている。 (思･判･表)身近な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びをしたり、遊びを工夫しようとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【エ　遊び】 〇いっしょにあそぼう ・みんなでゆうぐあそび ・みんなでおにごっこ ・かたづけできるかな ・もっとあそびたいな （せいかつ☆☆）	【いろいろな遊び】 ・友達や教師と一緒にいろいろな遊具で遊ぶ。 （エアートランポリン、雲梯棒、滑り台、ブランコ、ジャングルジムなど） ・友達や教師と一緒に簡単なルールのある遊びをする。 （おにごっこ、椅子取りゲーム、かくれんぼ、じゃんけん列車、おもちゃ遊びなど） 【遊具の片付け】 ・友達と協力して、使った道具を元の場所に片付ける。
	5	(知及技）金銭の扱い方などを知ることができる。 (思判表力)身近な生活の中で、教師に援助を求めながら買い物をし、金銭の大切さや必要性について気付くことができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技）金銭の扱い方などを知ろうとしている。 (思・判・表)身近な生活の中で、教師に援助を求めながら買い物をし、金銭の大切さや必要性について気付こうとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。 【評価資料】買い物学習などでの活動の様子で評価する	【ク　金銭の扱い】 〇おかねはたいせつ 「おこづかいをもらったら」 〇かいもの 「れんしゅうをしてみよう」 〇なにをかおうかな 「どうやってかうのかな」 （自動販売機）	【金銭の扱い】 ・実際に金銭を支払い、金銭の価値を徐々に理解する。 ・お年玉やお小遣いなど、自分の金銭を財布や貯金箱に大切に保管することやその使い方を知る。 【買い物】 ・買い物ごっこで買い物の練習をする。 ・少しの支援で買い物をする。 【自動販売機の利用】 ・できるだけ一人で自動販売機に金銭を入れ、商品を選んでボタンを押し、品物を取り出すことで、およその使い方を知り、徐々に一人で操作できるようにする。
	7	(知及技）身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知ることができる。 (思判表力)教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技)身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知ろうとしている。 (思・判・表)教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【コ　社会の仕組みと公共施設】 「わたしのまわりのひとたち」 「わたしたちのまち」 「いってみよう」 「のってみよう」 「せいかつのきまり」 「わたしのまわりのひとたち」	【いろいろな店】 ・教師と一緒に買い物に行き、いろいろな種類の店やそこで販売している商品に関心をもつ 【社会の様子】 ・自分の住む町の公共施設やいろいろな商店、河川や山、公園などの様子に関心をもつ。 【公共施設の利用】 ・図書館、体育館、児童館などの身近な公共施設を適切に利用し、そのおよその働きが分かる。 【交通機関の利用】 ・電車やバスなどを利用し、切符を購入したり料金を支払ったりすることに慣れるとともに、いろいろな交通機関があることを知る。
	12	(知及技）身近な生命や自然について知ることができる。 (思判表力)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとすることができる。（ (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技)身近な生命や自然について知ろうとしている。 (思・判・表)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。 【評価資料】栽培学習などの活動の様子で評価する	【サ　生命・自然】 〇みつけにいこう！はる・なつ・あき・ふゆ 〇いきものとなかよし 「どうぶつにあいにいこう」 〇そらとてんき 「きょうのてんき・あしたのてんき」 「ひる・よる」	【自然との触れ合い】 ・季節によって自然が変化することに気づく。 【動物の飼育・植物の栽培】 ・動物園等（子どもの国等）で動物に触れたり、餌やりをしたりし興味関心をもつ。 ・植物を栽培し育てる。（キャベツ、あさがお等） 【季節の変化と生活】 ・天候の変化に関心をもつ。（晴れ、くもり、雨） ・昼と夜の違いに気づく。（昼は太陽、明るい、影ができる。夜は月、星、暗いなど）

	10	(知及技）安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力)身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技）安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表)身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【イ　安全】 〇あんぜんにつかおう 「つくろう」 「あそぼう」 〇きをつけて　あるこう 「おうだんほどう」 〇さいがいや　じこから　じぶんをまもろう 「じしんがきたら」 「かじになったら」 「わたしたちをまもってくれるところ」	【危険防止】 ・身近な生活にある遊具・器具（はさみ、穴開けパンチ等）の安全な使い方を知る。 【交通安全】 ・歩行者用信号機の意味を知る。 ・安全な歩行の仕方（横断歩道、歩道、手を上げる）が分かる。 【避難訓練】 ・避難について知る。 ・災害（地震、火事）時の適切な行動について知り、教師と一緒に安全に避難する。 【防災】 ・自分たちの生活を見守り、事件や事故から自分たちを守ってくれる人や場所（交番、消防署、こども110番、地域パトロール等）があることを知る。
3学期	5	(知及技）簡単なきまりのある遊びについて知ることができる。 (思判表力)身近な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びをしたり、遊びを工夫しようとしたりすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技）簡単なきまりのある遊びについて知ろうとしている。 (思・判・表)身近な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びをしたり、遊びを工夫しようとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【エ　遊び】 「いっしょにあそぼう」	【いろいろな遊び】 ・遊びの場や遊具を友達と共有したり、簡単なルールのある遊びを一緒にしたりすることにより、関わりを広げていく。（教師や友達と、鬼ごっこなどの簡単なルールのある遊び、大きく身体活動ができる遊具を活用した遊びなど） 【遊具の後片付け】 （自分で使った遊具を片付ける、友達と一緒に大きな物を協力しながら運び収納するなど）
	7	(知及技）身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知ることができる。 (思判表力)教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技)身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知ろうとしている。 (思・判・表)教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【コ　社会の仕組みと公共施設】 「わたしのまわりのひとたち」③ 「わたしたちのまち」 「いってみよう」 「のってみよう」 「せいかつのきまり」 「わたしのまわりのひとたち」	【家族・親戚・近所の人】 ・家族がそれぞれ役割をもっていることに気付くことや、身近な地域で働く人などに対して関心を広げる。 【学校】 ・学校にある教室の名称や主な用途が分かる。 ・学校で働く様々な人に関心をもつことができる。
	5	(知及技）金銭の扱い方などを知ることができる。（小２段階） (思判表力)身近な生活の中で、教師に援助を求めながら買い物をし、金銭の大切さや必要性について気付くことができる。（小２段階） (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技）金銭の扱い方などを知ろうとしている。 (思・判・表)身近な生活の中で、教師に援助を求めながら買い物をし、金銭の大切さや必要性について気付こうとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【ク　金銭の取り扱い】 「おかねはたいせつ」③ 「かいもの」③ 「なにをかおうかな」③	【金銭の扱い】 ・実際に金銭を支払い、金銭の価値を徐々に理解する。 ・お年玉やお小遣いなど、自分の金銭を財布や貯金箱に大切に保管することやその使い方を知る。 【買い物】 ・できるだけ自分で買い物をし、「これ、ください」など、買い物に必要な言葉を使うこと、決まった額の買い物をすること、商店などで品物を選んで買うことができる。 【自動販売機の利用】 ・できるだけ一人で自動販売機に金銭を入れ、商品を選んでボタンを押し、品物を取り出すことで、およその使い方を知り、徐々に一人で操作できるようにする。
	10	(知及技）身近な生命や自然について知ることができる。 (思判表力)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技)身近な生命や自然について知ろうとしている。 (思・判・表)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。 【	【サ　生命・自然】 〇みつけにいこう！はる・なつ・あき・ふゆ 〇いきものとなかよし 「どうぶつにあいにいこう」 〇そらとてんき 「きょうのてんき・あしたのてんき」 「ひる・よる」	【自然との触れ合い】 ・季節によって自然が変化することに気づく。 【動物の飼育・植物の栽培】 ・動物園等（子どもの国等）で動物に触れたり、餌やりをしたりし興味関心をもつ。 ・植物を栽培し育てる。（キャベツ、あさがお等） 【季節の変化と生活】 ・天候の変化に関心をもつ。（晴れ、くもり、雨） ・昼と夜の違いに気づく。（昼は太陽、明るい、影ができる。夜は月、星、暗いなど）
	16	(知及技）身近にあるものの仕組みや働きについて知ることができる。 (思判表力)身近にあるものの仕組みや働きが分かり、それらを表現しようとすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技）身近にあるものの仕組みや働きについて知ろうとしている。 (思・判・表)身近にあるものの仕組みや働きが分かり、それらを表現しようとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	〇もののおもさ 「おもさくらべ（もつ）」 〇かぜやゴムのちから 「かぜのちから」 「かぜでうごかそう」	【物と重さ】 ・物には重い物と軽い物があることに気付く。 ・身近にある物を実際に持って比べる。（例：水の入ったバケツ、厚さの違う本、机と椅子、量の違うビー玉等） 【風やゴムの力の働き】 ・風の力は、物を動かすことができることに気付く。 ・風車、風鈴、凧、おもちゃのヨット等
留意点 引継ぎ等					

令和８年度 小学部３年（Ⅱ課程Ｂ）　国語科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	３学年	手登根　真実子	こくご☆

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 日常生活に必要な身近な言葉を身に付けるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができるようにする。 (思判表力)言葉が表す事柄を想起したり受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。 (学･人)言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	35	(知及技)身近な人からの話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じることができる。 (思判表力)絵や写真、簡単な記号などが表す意味を感覚的に識別し、選択したり、行動したりすることができる。 (学・人)自分なりの表現で、意思を伝えようとする意欲を高めることができる。	(知・技)身近な人からの話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じようとしている。 (思・判・表)絵や写真、簡単な記号などが表す意味を感覚的に識別し、選択したり、行動したりしようとしている。 (主学)自分なりの表現で、意思を伝えようとしたりする意欲を高めようとしている。	「学校のことを話そう」 （A　聞くこと・話すこと） 学校生活、朝の会、係、自己紹介 (C　読むこと) 「しるし」 「あなたはだあれ」	・身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じること。【ア-（ア）】 ・身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすること。【A-イ】 ・絵や矢印などの記号で表された意味に応じ、行動すること。【C-ウ】
2学期	40	(知及技)昔話などについて、読み聞かせを聞くなどして親しむことができる。 (思判表力)絵本などを見て、次の場面を楽しみにしたり、登場人物の動きなどを模倣したりすることができる。 (学・人)声や言葉を使った遊びや関わりを通して、言葉の響きやリズムを体感したり楽しんだりすることができる。	(知・技)具体物を使って身近な事物の名前や動作を繰り返すことで、遊びの中で言葉と事物を一致させようとしている。 (思・判・表)絵本などを見て、次の場面を楽しみにしたり、登場人物の動きなどを模倣したりしようとしている。 (学・人)声や言葉を使った遊びや関わりを通して、言葉の響きやリズムを体感したり楽しんだりしようとしている。	「言葉で遊ぼう　何が出てくるかな」 (A　聞くこと・話すこと) (C　読むこと) 「ほっとけーき」 「まほうのはこ」 「くまさんくまさん」	・身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じること。【ア-（ア）】 ・遊びを通して、言葉のもつ楽しさに触れること。【イ-（イ）】 ・絵本などを見て、次の場面を楽しみにしたり、登場人物の動きなどを模倣したりすること。【C-エ】
3学期	30	(知及技)具体物を使って身近な事物の名前や動作を繰り返すことで、遊びの中で言葉と事物を一致させることができる。 (思判表力)伝えたいことを思い浮かべ、身振りや表情、音声などで表すことができる。 (学・人)気持ちを身振りや表情、音声で表現したり伝えたりすることができる。	(知・技)具体物を使って身近な事物の名前や動作を繰り返すことで、遊びの中で言葉と事物を一致させようとしている。 (思・判・表)伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表そうとしている。 (主学)気持ちを身振りや音声、言葉で表現したり伝えたりしようとしている。	「言葉で遊ぼう　何が出てくるかな」 (A　聞くこと・話すこと) (C　読むこと) 「はるなつあきふゆ」	・身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じること。【ア-（ア）】 ・言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすること。【ア-（イ）】 ・身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすること。【A-イ】 ・伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すこと。【A-ウ】 ・絵本などを見て、知っている事物や出来事などを指さしなどで表現すること。【C-イ】
留意点 引継ぎ等					

令和８年度 小学部３年（Ⅱ課程B）算数　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	３年生	篠原辰典	さんすう☆

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 　数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに，日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けることができる。 (思判表力) 　日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力，基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりする力を身につけることができる。 (学･人) 　数学的活動の楽しさに気付き，関心や興味をもち，学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度，算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	7	(知及技) ・ものとものとを対応させて配ることができる。 (思判表力) ・ものとものとを関連付けることに注意を向け，ものの属性に注目し，仲間であることを判断したり，表現したりすることができる。 (学･人) ・数量や図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	(知・技) ・ものとものとを対応させて配ろうとしている。 (思･判･表) ・ものとものとを関連付けることに注意を向け，ものの属性に注目し，仲間であることを判断したり，表現したりしようとしている。 (主学) ・数量や図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとしている。	A数量の基礎イ ・おなじまーくは，どれでしょう ・じぶんのまーくは，どこでしょう	【おなじまーくは，どれでしょう／じぶんのまーくは，どこでしょう】 　特別な物（自分のもの）を他と見分ける。 【みんなに くばりましょう】 　一人に一つのもの，一つのものに他の一つのものを対応する。
	7	(知及技) ・分割した絵カードを組み合わせることができる。 ・関連深い絵カードを組み合わせることができる。 (思判表力) ・ものとものとを関連付けることに注意を向け，ものの属性に注目し，仲間であることを判断したり，表現したりすることができる。 (学･人) ・数量や図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	(知・技) ・分割した絵カードを組み合わせようとしている。 ・関連深い絵カードを組み合わせようとしている。 (思･判･表) ・ものとものとを関連付けることに注意を向け，ものの属性に注目し，仲間であることを判断したり，表現したりしようとしている。 (主学) ・数量や図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとしている。	A数量の基礎イ ・あわせましょう①② ・なかまをあつめましょう	【あわせましょう①②】 　切り離した絵のそれぞれの絵カードから情報を読み取り，読み取った情報を基に，一枚の絵を完成させる。 【なかまをあつめましょう】 　身近でなじみのある食べ物を集める，動物を集めるなど，指定された属性の中で，関連深い絵カードを集める。
2学期	7	(知及技) ・目の前のものを，１個，２個，たくさんで表すことができる。 ・５までの範囲で数唱をすることができる。 ・３までの範囲で具体物を取ることができる。 ・対応させてものを配ることができる。 ・形や色，位置が変わっても，数は変わらないことに気付くことができる。 (思判表力) ・数詞とものの関係に注目し，数のまとまりや数え方に気付き，それらを学習や生活で生かすことができる。 (学･人) ・数量に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	(知・技) ・目の前のものを，１個，２個，たくさんで表そうとしている。 ・５までの範囲で数唱をしようとしている。 ・３までの範囲で具体物を取ろうとしている。 ・対応させてものを配ろうとしている。 ・形や色，位置が変わっても，数は変わらないことに気付くことができる。 (思･判･表) ・数詞とものの関係に注目し，数のまとまりや数え方に気付き，それらを学習や生活で生かそうとしている。 (主学) ・数量に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとしている。	B数と計算ア ・いち，に，たくさん ・いち，に，さん，し，ご ・とりましょう ・まーくに，あわせて，ならべましょう ・ぜんぶ「さん」	【いち，に，たくさん】 　①左右の手に一つずつ具体物を持ち，それでもまだ両手には持てないほどの具体物がある状況，自分の手では持てないほどの量があることを体感する。 　②「１個，２個，たくさん」と表現することに気付く。 【いち，に，さん，し，ご】 　５までの範囲で数を唱える。 【とりましょう】 　３までの数の具体物を取る。 【まーくに，あわせて，ならべましょう】 　ボウリングのピンを準備する場面を捉え，マークを手掛かりに，必要な数のピンを置く（配る）。 【ぜんぶ「さん」】 　様々な具体物やイラストなどを操作する，指差すなどの動きを伴う活動を通して，形や色が違う具体物でも数が変わらないこと，間隔や置き方などの位置が変わっても数が変わらないことに気付く。
	7	(知及技) ・似ている二つのものを結びつけることができる。 ・関連の深い一対のものや絵カードを組み合わせることができる。 ・同じもの同士の集合作りをすることができる。 (思判表力) ・ものの属性に着目し，様々な情報から同質なものや類似したものに気付き，日常生活の中で関心を持つことができる。 ・ものとものとの関係に注意を向け，ものの属性に気付き，関心をもって対応しながら，表現する仕方を見つけ出し，日常生活で生かすことができる。 (学･人) ・図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	(知・技) ・似ている二つのものを結びつけようとしている。 ・関連の深い一対のものや絵カードを組み合わせようとしている。 ・同じもの同士の集合を作ろうとしている。 (思･判･表) ・ものの属性に着目し，様々な情報から同質なものや類似したものに気付き，日常生活の中で関心を持とうとしている。 ・ものとものとの関係に注意を向け，ものの属性に気付き，関心をもって対応しながら，表現する仕方を見つけ出し，日常生活で生かそうとしている。 (主学) ・図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとしている。	C図形ア ・にているものを，みつけましょう ・そろえましょう ・おなじかたちを，あつめましょう	【にているものを，みつけましょう】 　①形をおおまかに捉える。 　②形が同じであるか，同じでないかを区別する。 　③似ていることを捉える。 【そろえましょう】 　①様々な刺激の中から，ものとものとを関連付けるために必要な情報として，形を取り出す。 　②仲間であることを判断する。 　③対にすることでそれを表現する。 【おなじかたちを，あつめましょう】 　①形に着目する。 　②形を捉える。 　③同じ形と認識する。 　④同じ形を選択し，一つのところに集める。

3 学 期	7	(知及技) ・大きさや長さなどを，基準に対して同じか違うかによって区別することができる。 ・ある・ない，大きい・小さい，多い・少ないなどの用語に注目して表現することができる。 (思判表力) ・大小や多少等で区別することに関心を持ち，量の大きさを表す用語に注目して表現することができる。 (学･人) ・数量や図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	(知・技) ・大きさや長さなどを，基準に対して同じか違うかによって区別しようとしている。 ・ある・ない，大きい・小さい，多い・少ないなどの用語に注目して表現しようとしている。 (思･判･表) ・大小や多少等で区別することに関心を持ち，量の大きさを表す用語に注目して表現しようとしている。 (主学) ・数量や図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとしている。	D測定ア ・おなじ，ちがう ・おおきい，ちいさい①② ・おおい，すくない①② ・ながい，みじかい	【おなじ，ちがう】 ①児童が直接働きかける具体物を観察する。 ②基準に対して，同じであるか，同じでないかを区別する。 ③「同じ」「違う」という用語を用いる。 【おおきい，ちいさい①】 ①児童が直接働きかける具体物を観察する。 ②具体物の大きさに注目して，それを「大きい」か「大きくない」か決める。 ③大きさの異なる二つの具体物を「大きい」と「小さい」に区別する。 ④「大きい」「小さい」という用語を用いる。 【おおきい，ちいさい②】 ①二つの大きさの違いに注目する。 ②二つの大きさのいずれかに働きかけて同じ大きさにする。 【おおい，すくない①】 ①児童が直接働きかける対象などを観察する。 ②かさ等に注目して，それを「多い」と「少ない」に区別する。 ③かさ等の異なる二つの量を「多い」と「少ない」に区別する。 ④「多い」「少ない」という用語を用いる。 【おおい，すくない②】 ①二つのかさに注目して，それらを「多い」と「少ない」にわける。 ②「多い」「少ない」という用語を用いる。 【ながい，みじかい】 ①具体物の長さに注目する。 ②基準に対して，同じであるか，同じでないかを区別する。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 小学部３年（Ⅱ課程Ｂ）　音楽科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	Ⅱ課程Bの児童	荷川取　優	音楽動画・音声教材

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)音や音楽に注意を向けて気づくとともに、関心を向け、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりにつながる技能を身に付けるようにする。（小１段階） (思判表力)音楽的な表現を楽しむことや、音や音楽に気づきながら関心や興味をもって聴くことができるようにする。（小１段階） (学･人)音や音楽に気づいて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとする態度を養う。（小１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	（知及技） ・音や音楽に気づき、音を感じながら、表情や発声、身体の動きで表現することができる。 （思判表力） ･色々な楽器に興味･関心をもち、手を伸ばしたり、音を出したりして楽器に親しむことができる。 （学・人） ･教師や友だちと一緒に音楽活動をする楽しさを感じることができる。	（知･技） ・音や音楽に気付き、音を感じながら、表情や発声、身体の動きで表現しようとしている。 （思･判･表） ･色々な楽器に興味･関心をもち、手を伸ばしたり、音を出したりして楽器に親しもうとしている。 （主学） ･教師や友だちと一緒に音楽活動をする楽しさを感じようとしている。	「どんなうたがあるかな」(音) ・おへんじうた ・こいのぼり ・ウォークアンドストップ	・おへんじうたに合わせて、名前が呼ばれたら、タンバリン等を打って応じる。 ・教師と一緒に身体を揺らして３拍子を感じたり、音楽を通してこいのぼりに関心をもつ。 ・「どんぐりころころ」「ピンクパンサーのテーマ曲」の曲の雰囲気、テンポの変化に合わせて、歩いたり止まったりする。
				「どんなうたがあるかな」(音) ・こいのぼり ・おべんとうばこのうた ･校歌ダンス 「ならしてみよう」 ・がっきをならそう ・おおきなたいこ 「楽器の音をきいてみよう」(鑑) ・ドラムかんアンサンブル	・前月同様 ・教師の手本やパネルシアターなどの視覚教材を見聞きする。 ・校歌に合わせて旗を振る練習をする。 ・「楽器をならそう」という呼びかけに答えて簡単な打楽器を鳴らす。 ・大太鼓「どーんどーん」、小太鼓「とんとんとん」の歌詞に合わせて演奏する。
				「うたおう」(音) ・ばすにのって ・白保と八特の子ども ・月桃 「ならしてみよう」 ・たなばたさま ･がっきをならそう ・おおきなたいこ 「みてきいて」(鑑) ・あめふりくまのこ ・ハンガリー舞曲第５	・曲に合わせて、友達、教師と共に身体を動かす。 ・白保小との交流会に向けて、曲を知る。 ・PPを見ながら、八重山の自然を感じ、平和の素晴らしさを感じる。 ・星空の映像を見ながら、ツリーチャイムを鳴らしたり、鈴をならしたりして、季節の音楽を楽しむ。 ・パネルシアターを楽しむ。 ・曲に合わせて、新聞紙をビリビリしたり、投げたりする。
				「うたおう」(音) ・うみ ・たなばたさま 「ならしてみよう」 ･がっきをならそう ・おおきなたいこ 「みてきいて」(鑑) ・プロジェクションマッピング	・小豆や砂を使って、海の波の音を作る。 ・前月同様

2学期	30	（知及技） ・拍や曲の特徴的なリズムを感じながら、表情や発声、身体の動きで表現することができる。 （思判表力） ・教師と一緒に曲に合わせて楽器の音を奏でたり、音色を楽しんだりすることができる。 （学・人） ･教師や友だちと一緒に音楽活動をする楽しさを表現することができる。	（知・技） ・拍や曲の特徴的なリズムを感じながら、表情や発声、身体の動きで表現しようとしている。 （思・判・表） ・教師と一緒に曲に合わせて楽器の音を奏でたり、音色を楽しんだりしようろしている。 （主学） ･教師や友だちと一緒に音楽活動をする楽しさを表現しようとしている。	「からだを動かそう」（音） ・とんぼのめがね ・あたま・かた・ひざ・ぽん ・校歌ダンス 「一緒に音を楽しもう」（鑑） ・３びきのやぎのがらがらどん	･セロファンでとんぼの色眼鏡を作って、曲に合わせてとんぼになりきる。 ・身体の部位の名称に合わせて触れる。 ・曲に合わせてペープサートを視聴し、登場人物になったつもりで声を発したり、身体を揺らしたりする。
				「からだを動かそう」（音） ・おばけなんてないさ ・おやつたーべよ ・バスごっこ 「一緒に音を楽しもう」（鑑） ・おもちゃのへいたい	・曲に合わせて、手足を動かしたり、身体を揺らしたり、繰り返し出てくる「さ」の部分で声を出したり、ジャンプしたりする。 ・教師の歌いかけに応じて、一人ずつ順番に動作したり、楽器をならしたり、声を出したりする。 ・段ボールで作ったバスに乗ったり、曲に合わせて友達に切符を渡したりして楽しむ。 ・曲に合わせて、パネルシアターを楽しむ。
				「楽器をならそう」（音） ・きらきらぼし 「むかいあってたのしくあそぼう」（音） ・とんとんとんとん ・むすんでひらいて 「うたやリズムを楽しもう」（鑑） ・おどるねこ	・曲に合わせて、友達と交代しながら楽器を演奏する。 ・友達や先生と向かい合って、曲に合わせて手遊びをする。
				「楽器をならそう」（音） ・赤鼻のトナカイ 「うたやリズムを楽しもう」（鑑） ・あわてんぼうのサンタクロース	･季節の曲を楽しむ。 ･曲に合わせて、パネルシアターを楽しむ。 ・クリスマス会の練習
3学期	14	（知及技） ・音楽遊びを通して、身の回りの音や音の面白さに気付くことができる。 （思判表力） ･身近な人の演奏に触れ、好きな音色や楽器の音を見付けたり、身体表現したりしながら聴くことができる。 （学・人） ･様々な音楽作品を鑑賞し、音楽に親しみ興味関心を深めることができる。	（知･技） ・音楽遊びを通して、身の回りの音や音の面白さに気付くことができる。 （思･判･表） ･身近な人の演奏に触れ、好きな音色や楽器の音を見付けたり、身体表現したりしながら聴くことができる。 （主学） ･様々な音楽作品を鑑賞し、音楽に親しみ興味関心を深めることができる。	「手遊びしよう」 「どうぶつになって」（音） ・のねずみ ・くまさんくまさん 「わらべうたであそぼう」（音）（鑑） ・なべなべそこぬけ ・はないちもんめ	・児童と向かい合ってくすぐりなどで触れ合って遊ぶ。 ・歌詞に合わせた動作で踊る。 ・曲に合わせて、昔遊びを楽しむ。
				「げんきなこえでうたおう」（音） ・まめまき ・おにのパンツ 「卒業式に向けて」（音）・卒業式の歌 「音や音楽をきいて、自分なりの楽しさをみつけよう」（鑑） ・はらぺこあおむし	・季節の歌を楽しむ。 ・曲に合わせて踊る。 ・パネルシアターを楽しむ。

				「歌って踊って」(音) ・ちぇっちぇっこり 「卒業式に向けて」 (音)・卒業式の歌 「音や音楽をきいて、自分なりの楽しさをみつけよう」(鑑) ・思い出のアルバム	・曲の速さを変えながら、身体を揺らして楽しくダンスをする。また、曲に合わせて自分の好きな楽器を鳴らす。 ・みんなの1年間を振り返るPPを作り、曲に合わせて１年間でがんばったこと成長したことを振り返る。
留意点 引継ぎ等					

令和８年度 小学部３年（Ⅱ課程B）　図画工作科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	３学年	篠原　辰典 手登根　真実子 譜久嶺　明香	自作教材、絵本等

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 形や色などの違いに気付き、表したいことを基に材料や用具を使い、表し方を工夫してつくるようにする。（小２段階） (思判表力)表したいことを思い付いたり、作品などの面白さや楽しさを感じ取ったりすることができるようにする。（小２段階） (学･人)進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。（小２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	26	(知及技) 形の面白さや色の違いに気づき、身近な材料や用具を使ってかいたり、形をつくったりすることができる。 (思判表力) 材料や感じたこと、想像したこと、みたことから表したいことを思いつき、表現することができる。 (学・人) 表現や鑑賞の活動を通して、つくりだす楽しさや喜びに気づき、興味関心をもって学習に取り組むことができる。	(知・技) 形の面白さや色の違いに気づき、身近な材料や用具を使ってかいたり、形をつくったりすることができる。 (思・判・表) 材料や感じたこと、想像したこと、みたことから表したいことを思いつき、表現することができる。 (主学) 表現や鑑賞の活動を通して、つくりだす楽しさや喜びに気づき、興味関心をもって学習に取り組むことができる。	「かいてみよう」 ・お父さん・お母さんの絵 ・遠足の思い出 ・音楽に合わせて心の線を描こう 「やってみよう」 ・色で遊ぼう ・スタンプ 「つくってみよう」 ・季節の製作 ・粘土 「みてみよう」 ・鑑賞	・材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付くこと。【A一ア（ア）】 ・身近にあるものなどの形や色の面白さについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げること。【B一ア（ア）】 ・形や色などを基に、自分のイメージをもつこと。【共通事項（イ）】
2学期	30	(知及技) 形の面白さや色の違いに気づき、身近な材料や用具を使ってかいたり、形をつくったりすることができる。 (思判表力) 材料や感じたこと、想像したこと、みたことから表したいことを思いつき、表現することができる。 (学・人) 表現や鑑賞の活動を通して、つくりだす楽しさや喜びに気づき、興味関心をもって学習に取り組むことができる。	(知・技) 形の面白さや色の違いに気づき、身近な材料や用具を使ってかいたり、形をつくったりすることができる。 (思・判・表) 材料や感じたこと、想像したこと、みたことから表したいことを思いつき、表現することができる。 (主学) 表現や鑑賞の活動を通して、つくりだす楽しさや喜びに気づき、興味関心をもって学習に取り組むことができる。	「かいてみよう」 ・読書感想画 「やってみよう」 ・切ってつなげて ・粘土 「つくってみよう」 ・季節の製作 ・紙版画 ・勤労感謝の日プレゼント 「みてみよう」 ・夏休み作品展 ・鑑賞	・材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付くこと。【A一ア（ア）】 ・身近にあるものなどの形や色の面白さについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げること。【B一ア（ア）】 ・自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などの違いに気付くこと。【共通事項（ア）】
3学期	14	(知及技) 形の面白さや色の違いに気づき、身近な材料や用具を使ってかいたり、形をつくったりすることができる。 (思判表力) 材料や感じたこと、想像したこと、みたことから表したいことを思いつき、表現することができる。 (学・人) 表現や鑑賞の活動を通して、つくりだす楽しさや喜びに気づき、興味関心をもって学習に取り組むことができる。	(知・技) 形の面白さや色の違いに気づき、身近な材料や用具を使ってかいたり、形をつくったりすることができる。 (思・判・表) 材料や感じたこと、想像したこと、みたことから表したいことを思いつき、表現することができる。 (主学) 表現や鑑賞の活動を通して、つくりだす楽しさや喜びに気づき、興味関心をもって学習に取り組むことができる。	「やってみよう」 ・並べて並べて 「つくってみよう」 ・季節の製作 ・卒業式壁面・プレゼント ・作品集 「みてみよう」 ・1年間の活動の振り返り ・鑑賞	・材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付くこと。【A一ア（ア）】 ・身近にあるものなどの形や色の面白さについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げること。【B一ア（ア）】 ・形や色などを基に、自分のイメージをもつこと。【共通事項（イ）】

令和8年度　小学部3年（Ⅱ課程Ｂ）　体育科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	Ⅱ課程Bの児童	重森　誠仁	

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）遊びや運動に必要な基本的な動きを身に付け、楽しく活動に取り組むことができる。（小１段階） (思判表力)健康な生活に必要な事柄を身に付け、取り組むことができる。（小１段階） (学･人)遊びや運動の喜びや楽しさを感じ、進んで活動に取り組むことができる。（小１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	26	【知及技】 教師と一緒に歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりすることができる。 【思判表力】 体を動かすことの楽しさや心地よさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行うことができる。	【知・技】 教師と一緒に歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりしようとしている。 【思・判・表】 体を動かすことの楽しさや心地よさを自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行おうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「みんなで楽しく」 A体つくり運動遊び	・ラジオ体操 ・簡単なゲーム 台風の目 大玉転がし 玉入れ 風船バレー しっぽ取りゲーム かけっこ サーキット 等
		【知及技】 教師と一緒に歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりすることができる。 【思判表力】 体を動かすことの楽しさや心地よさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行うことができる。	【知・技】 教師と一緒に歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりしようとしている。 【思・判・表】 体を動かすことの楽しさや心地よさを自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行おうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「みんなで楽しく」 A体つくり運動遊び	・ラジオ体操 ・簡単なゲーム 台風の目 大玉転がし 玉入れ 風船バレー しっぽ取りゲーム かけっこ サーキット 等
		【知及技】 水に親しみ、手足を動かしたり、水の温度や感触、浮いた感覚を味わったりすることができる。 【思判表力】 水に慣れ、自分の好きな動きや遊びを見つけることができる。 【学・人】 教師と一緒にプールでの決まりを守り、楽しく遊ぶことができる。	【知・技】 水に親しみ、手足を動かしたり、水の温度や感触、浮いた感覚を味わおうとしている。 【思・判・表】 水に慣れ、自分の好きな動きや遊びを見つけようとしている。 【主学】 教師と一緒にプールでの決まりを守り、楽しく遊ぼうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「水遊び」「プール学習」 D水あそび	・水遊び（じょうろ、ホース、シャワー、水鉄砲、バケツ、ペットボトル、しゃぼん玉遊び等） ・手足バタバタ、水に慣れよう ・体の力を抜いて、浮いてみよう！ ・ふりこ（スイング、ドルフィン） ・水中歩き ・宝さがし

		【知及技】 水に親しみ、手足を動かしたり、水の温度や感触、浮いた感覚を味わったりすることができる。 【思判表力】 水に慣れ、自分の好きな動きや遊びを見つけることができる。 【学・人】 教師と一緒にプールでの決まりを守り、楽しく遊ぶことができる。	【知・技】 水に親しみ、手足を動かしたり、水の温度や感触、浮いた感覚を味わおうとしている。 【思・判・表】 水に慣れ、自分の好きな動きや遊びを見つけようとしている。 【主学】 教師と一緒にプールでの決まりを守り、楽しく遊ぼうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「水遊び」「プール学習」 D水あそび	・水遊び（じょうろ、ホース、シャワー、水鉄砲、バケツ、ペットボトル、しゃぼん玉遊び等） ・手足バタバタ、水に慣れよう ・体の力を抜いて、浮いてみよう！ ・ふりこ（スイング、ドルフィン） ・水中歩き ・宝さがし
2学期	30	【知及技】 教師と一緒に、器械・器具を使って、楽しく体を動かすことができる。 【思判表力】 器械・器具を使って揺れを楽しみ、その楽しさや心地よさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使って楽しく遊ぶことができる。	【知・技】 教師と一緒に、器械・器具を使って、楽しく体を動かそうとしている。 【思・判・表】 器械・器具を使って揺れを楽しみ、その楽しさや心地よさを自分なりに表現しようとしている。 【主学】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使って楽しく遊ぼうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「粗大運動」 B器械・器具を使っての遊び	・三輪車 ・平均台（渡り歩き、跳び下り等） ・跳び箱（よじ登り、跳び下り、またぎ乗り、またぎ下り等） ・マット運動（横転がり、ゆりかご、前転がり、後ろ転がり等） ・トランポリン ・かんぽっくり ・フラフープ ・バランスボール ・竹馬 ・滑り台 ・ミニハードル ・風船キープ（バギー・車イスの児童） ・ミュージックマット（バギー・車イスの児童） ・ガタガタ道（バギー・車イスの児童）
		【知及技】 教師と一緒に、器械・器具を使って、楽しく体を動かすことができる。 【思判表力】 器械・器具を使って揺れを楽しみ、その楽しさや心地よさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使って楽しく遊ぶことができる。	【知・技】 教師と一緒に、器械・器具を使って、楽しく体を動かそうとしている。 【思・判・表】 器械・器具を使って揺れを楽しみ、その楽しさや心地よさを自分なりに表現しようとしている。 【主学】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使って楽しく遊ぼうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「粗大運動」 B器械・器具を使っての遊び	・三輪車 ・平均台（渡り歩き、跳び下り等） ・跳び箱（よじ登り、跳び下り、またぎ乗り、またぎ下り等） ・マット運動（横転がり、ゆりかご、前転がり、後ろ転がり等） ・トランポリン ・かんぽっくり ・フラフープ ・バランスボール ・竹馬 ・滑り台 ・ミニハードル ・風船キープ（バギー・車イスの児童） ・ミュージックマット（バギー・車イスの児童） ・ガタガタ道（バギー・車イスの児童）
		【知及技】 教師と一緒に、もしくは教師の援助を受けて、走る楽しさを味わうことができる。 【思判表力】 教師の援助を受けて、決められた距離を自分なりの方法で、歩いたり、走ったりすることができる。 【学・人】 最後まであきらめずにゴールに向かうことができる。	【知・技】 教師と一緒に、もしくは教師の援助を受けて、楽しみながら走ろうとしている。 【思・判・表】 教師の援助を受けて、決められた距離を自分なりの方法で、歩いたり、走ったりしようとしている。 【主学】 最後まで、あきらめずにゴールに向かおうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「持久走」 C走・跳の運動遊び	・目標決め ・かけっこ ・ミニハードル ・持久走 ※12月上旬の持久走チャレンジ会に向けての練習となる。

		【知及技】 教師と一緒に、もしくは教師の援助を受けて、走る楽しさを味わうことができる。 【思判表力】 教師の援助を受けて、決められた距離を自分なりの方法で、歩いたり、走ったりすることができる。 【学・人】 最後まであきらめずにゴールに向かうことができる。	【知・技】 教師と一緒に、もしくは教師の援助を受けて、楽しみながら走ろうとしている。 【思・判・表】 教師の援助を受けて、決められた距離を自分なりの方法で、歩いたり、走ったりしようとしている。 【主学】 最後まで、あきらめずにゴールに向かおうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「持久走」 C走・跳の運動遊び	・目標決め ・かけっこ ・ミニハードル ・持久走 ※12月上旬の持久走チャレンジ会に向けての練習となる。
3学期	14	【知及技】 模倣や簡単な表現活動を通して自己表現を行ったり、いろいろな表現方法について知ることができる。 【思判表力】 音楽やリズムに合わせて体を動かす楽しさを味わい、自分なりの方法で表現することができる。 【学・人】 友だちや教師と一緒に動きを合わせる経験をすることができる。	【知・技】 模倣や簡単な表現活動を通して自己表現を行ったり、いろいろな表現方法について知ろうとしている。 【思・判・表】 音楽やリズムに合わせて体を動かす楽しさを味わい、自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 友だちや教師と一緒に動きを合わせようとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「題材と動き」 「リズムと動き」 （F 表現遊び）	（題材と動き） ・鳥、昆虫、恐竜、動物園の動物、飛行機、遊園地の乗り物、おもちゃなど特徴が捉えやすい動きを多く含む物の真似をすること （リズムと動き） ・軽快なリズムの曲や児童が日常的に親しんでいる曲にのって、弾む、回る、ねじるなど自由に踊ること ・音楽やリズムに合わせて歩く、走る、弾む、回る、ねじるなどの運動をする
		【知及技】 教師と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かすことができる。 【思判表力】 ボールを投げたり、転がしたり、蹴ったり、捕ったりする楽しさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 簡単な合図や指示に従って、ボール遊びを行うことができる。	【知・技】 教師と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かそうとしている。 【思・判・表】 ボールを投げたり、転がしたり、蹴ったり、捕ったりする楽しさを自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 簡単な合図や指示に従って、ボール遊びをしようとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「ボールで遊ぼう」 Eボール遊び	・転がす、投げる、蹴る、捕る ・的当てゲーム ・ボウリング ・ボッチャ ・ボール運びゲーム ・ティーベースボール ・大玉ドッチボール ・シュートゲーム等
		【知及技】 教師と一緒に感染症予防について学び、うがいやマスク、手洗い等、基本的な対策を行うことができる。 【思判表力】 体調が悪いときや怪我をして痛いときには教師に知らせたり、手が汚れているときには、その状態を見て、手洗いを行ったりすることができる。 【学・人】 身体計測による体重や身長の変化に興味、関心を持つことができる。	【知・技】 感染症予防として、うがいやマスク、手洗い等を行おうとしている。 【思・判・表】 体調が悪いときや怪我をして痛いときには教師に知らせようとしたり、手が汚れているときには、その状態を見て、手を洗おうとすることができる。 【主学】 昨年と比べて、体重や身長が変化していることを知り、自分の成長を感じることができる。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「健康な生活」 （G 保健）	・大切な体 ・手洗い、うがい、水分補給、着替え ・身体測定 ・感染症予防対策 ・プライベートゾーン ・命の授業（赤ちゃんの誕生）

留意点 引継ぎ等	・（A 体つくり運動遊び）ウォーミングアップ、集合・整列は、年間を通して指導する。 ・（F 表現運動）ラジオ体操、ダンスは、年間を通して指導する。 ・（G 保健）健康な生活は、年間を通して指導する ・単元は、児童の興味・関心、実態に応じて精選、入れ替え、変更等、柔軟性を持って取り扱う。

令和８年度 小学部３年（Ⅱ課程B）　道徳科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	３ 年生	手登根　真実子	自作教材・絵本
年間目標	・自分でできることは、 自ら取り組み、 よいこと悪いことをよく考えて行動する態度を養う。 ・友達と仲良くし、助けあう心を育てるとともに、あいさつや動作などの礼儀を身につける。 ・約束やきまりを守り、集団生活における自分の役割が分かり、最後までがんばる意欲を育てる。 ・身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接する態度を育てる。		

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	13	・教師や友達、他学年の友達に親しみ、学校生活を楽しもうとする心情を育てる。 ・身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接しようとする心情を育てる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C　よりよい学校生活、集団生活の充実】 ・学校は楽しいね 【D　自然愛護】 ・自然の中で	・学級開き ・新転入生を迎える会 ・草花の栽培、観察
		・挨拶の大切さに気づき、場に応じた言葉づかいや気持ちのよい挨拶をしようとする。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【B　礼儀】 ・挨拶の相手 ・挨拶の仕方	・場に応じた挨拶 ・母の日、父の日 ・お手伝い
		・家族の愛情や家族の一員としての役割について家族に対する愛情をいっそう深め、積極的に家族と関わり、生活しようとすることができる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C　家族愛、家庭生活の充実】 ・家族の一員として ・家族のために 【B　感謝】 ・周囲への感謝 ・家族への感謝	・母の日、父の日 ・お手伝い
		・仲間はずれをしないことの大切さを理解し、誰に対しても公正、公平に接しようとすることができる。 ・戦争や平和について関心をもち、自分や友達の命を大切にしようとする気持ちを育てる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C　公正、公平、社会正義】 ・分け隔てなく	・公正、公平な態度 ・慰霊の日
[illegible]	15	・友達と仲良くし助け合うことの大切さがわかり、よりよい友達関係を築こうとする。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【B　友情、信頼】 ・友達の気持ちになって ・友達の立場になって	・人との関わり ・どんなきもち
		・物事のよいことと悪いことについて考え、よいと思うことをすすんで行おうとすることができる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【A　個性の伸長】 ・よさを伸ばす 【A　善悪の判断、自律、自由と責任】 ・よいことをすすんで ・心の強さ	・良いこと、悪いこと

2学期		・相手から喜ばれたり感謝されたりすることが働く喜びにつながることに気づき、すすんでみんなの役に立とうとする心情や実践意欲と態度を育てる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C　勤労、公共の精神】 ・働く喜び ・みんなの役に立ちたい	・色々な職業
		・約束やきまりの大切さに気づき、きまりを守って生活しようとすることができる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C　規則の尊重】 ・きまりを守って ・みんなのものを大切に	・公共施設でのマナー ・約束
3学期	7	・自分の生命が多くの人によって大切にされ、支えられていることに気付き、生命を大切にして生活しようとすることができる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【D　生命の尊さ】 ・私たちの命 ・命を見つめる 【D　自然愛護】 ・自然に親しむ ・自然とふれ合う	・自分の成長を振り返る ・家族への感謝
		・地域のよさについて考え、国や郷土に親しもうとすることができる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C　伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】 ・国やふるさとのよさ 【C　国際理解、国際親善】 ・世界の国々	・校外学習 ・地域の人々 ・世界の文化、人々の暮らし
		・言葉の大切さを理解し、相手が笑顔になるような言葉を使おうとする実践意欲と態度を育てる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C　公正、公平、社会正義】 ・うれしくなる言葉	・お父さんお母さんへ、卒業生へ、先生へ
年間を通して		・草花や野菜のお世話をしたり、観察をしたりして成長を見る。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【D　自然愛護】 ②草花や野菜を育てよう	・キャリアパスポート ・草花の栽培
留意点 引継ぎ等					

令和8年度　小学部３年（Ⅱ課程B）　外国語　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	Ⅱ課程Bの児童	重森　誠仁	音楽動画・音声教材

年間目標	
	(1)　外国語を用いた体験的な活動を通して，日本語と外国語の音声の違いなどに気付き，外国語の音声に慣れ親しむようにする。 (2)　身近で簡単な事柄について，外国語に触れ，自分の気持ちを伝え合う力の素地を養う。 (3)　外国語を通して，外国の文化などに触れながら，言語への関心を高め，進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	13	（知及技） 教師と一緒に、英語の歌や日常になじみのある英語などを聞き、音声やリズムに親しむことができる。 （思判表力） 教師と一緒に、英語を真似て話そうとしたり、相手の質問や要求に英語で応じたりできる。 （学・人） 教師と一緒に、英語やジェスチャーや手話などで、コミュニケーションをとることができる。	（知及技） 教師と一緒に、英語の歌や日常になじみのある英語などを聞き、音声やリズムに親しもうとしている。 （思判表力） 教師と一緒に、英語を真似て話そうとしたり、相手の質問や要求に英語で応じたりしようとしている。 （学・人） 教師と一緒に、英語やジェスチャーや手話などで、コミュニケーションをとろうとしている。	「挨拶をしよう」 「色々な英語を知ろう」 「色々な英語の歌を歌おう」 「外国の文化を知ろう」 「英語でゲームをしよう」	・既に知っている活動や場面で、英語の挨拶や語などを聞き取る活動【(3)ア】 Good morning Hello Goodbye Thank you Good　　など ・英語の歌や日常生活になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しむこと。【(1)イ(ｱ)】 head shoulders knees and toes Sunday, Monday, Tuesday/Days of the Week Song Ten little indian boy　など ・外国の生活や行事などに触れ、日本と外国の生活や違いを知ること。【(1)イ(ｲ)】 Halloween Christmas valentine's day　など ・既に知っている物や事柄に関する語などを聞き、それが表す内容を実物や写真などと結び付ける活動。【(3)①ア(ｲ)】 色 曜日 月 数字 動物 果物 野菜　など ・歌やダンス、ゲームで、簡単な語や身振りなどを使って表現する活動。【(3)①イ(ｲ)】 Color tag（色鬼）　など ・言語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさを知ること。【(1)ア】
				「挨拶をしよう」 「色々な英語を知ろう」 「色々な英語の歌を歌おう」 「外国の文化を知ろう」 「英語でゲームをしよう」	
				「挨拶をしよう」 「色々な英語を知ろう」 「色々な英語の歌を歌おう」 「外国の文化を知ろう」 「英語でゲームをしよう」	
				「挨拶をしよう」 「色々な英語を知ろう」 「色々な英語の歌を歌おう」 「外国の文化を知ろう」 「英語でゲームをしよう」	
2学期	15			「挨拶をしよう」 「色々な英語を知ろう」 「色々な英語の歌を歌おう」 「外国の文化を知ろう」 「英語でゲームをしよう」	
				「挨拶をしよう」 「色々な英語を知ろう」 「色々な英語の歌を歌おう」 「外国の文化を知ろう」 「英語でゲームをしよう」	
				「挨拶をしよう」 「色々な英語を知ろう」 「色々な英語の歌を歌おう」 「外国の文化を知ろう」 「英語でゲームをしよう」	

3 学 期	7			「挨拶をしよう」 「色々な英語を知ろう」 「色々な英語の歌を歌おう」 「外国の文化を知ろう」 「英語でゲームをしよう」	
				「挨拶をしよう」 「色々な英語を知ろう」 「色々な英語の歌を歌おう」 「外国の文化を知ろう」 「英語でゲームをしよう」	
				「一年間のまとめをしよう」	
留意点 引継ぎ等					

令和８年度　小学部　３年（Ⅱ課程B）　特別活動　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	３学年	手登根真実子	自作教材・イラスト・写真

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解する。 (思判表力)集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができる。 (学･人)自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	13	･学級で目標を決める大切さを知り、意見を出し合って学級目標を作ることができる。（知及技） ･自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。（学･人） ･自分の好きなことや将来について考えることができる。（思判表力） ･同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。（学･人） ･一学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。（思判表力） ･夏休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。（知及技）	･学級で目標を決める大切さを知り、意見を出し合って学級目標を作ろうとしている。（知・技） ･自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。（主学） ･自分の好きなことや将来について考えようとしている。（思･判･表） ･同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。（主学） ･一学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。（思･判･表） ･夏休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいか自分で考えようとしている。（知・技）	･学年、学級開き ･一学期頑張ろう会 ･学級目標作り ･係活動を決めよう ･キャリアパスポート作り ･一学期の目標 ･学校間交流（･居住地校交流） ･キャリアパスポートの活用 ･一学期頑張った会 ･夏休みに向けて	・新しい学級の友達や先生を知る。 ・一学期頑張ろう会に参加する。 ・一学期の行事の確認 ・学級目標を決めて、書いて教室に貼る。 ・一学期の係活動を決める。 ・一学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、選んだりして発表する。 ・交流会の日時を知る。 ・異学年や他校の友達と歌を歌ったり、簡単なゲームしたりして交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・一学期頑張った会に参加する。 ・夏休みの過ごし方を考えたり話し合ったりする。
2学期	15	･２学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知及技） ･自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。（学･人） ･自分の好きなことや将来について考えることができる。（思判表力） ･集団で活動するよさを知り、集団での活動に参加することができる。（知及技） ･同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。（学･人） ･二学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。（思判表力） ･冬休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。（知及技）	･２学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知・技） ･自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。（主学） ･自分の好きなことや将来について考えようとしている。（思･判･表） ･集団で活動するよさを知り、集団での活動に参加することができる。（知・技） ･同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。（主学） ･二学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。（思･判･表） ･冬休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいか答えることができる。（知・技）	･二学期頑張ろう会 ･キャリアパスポート作り ･二学期の目標 ･係活動を決めよう ･学校間交流（･居住地校交流） ･キャリアパスポートの活用 ･二学期頑張った会 ･冬休みに向けて	・二学期頑張ろう会に参加する。 ・二学期の行事の確認 ・二学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、イラスト等を貼ったりする。 ・二学期の係活動を決める。 ・児童集会に参加する。 ・学校や住んでいる地域では体験できないことを学習し、見聞を広げる。 ・異学年や他校の友達と歌を歌ったり、簡単なゲームしたりして交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・二学期頑張った会に参加する。 ・冬休みの過ごし方を考えたり話し合ったりする。

3学期	7	・3学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知及技） ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。（学・人） ・自分の好きなことや将来について考えることができる。（思判表力） ・集団での活動に参加することができる。（学・人） ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。（学・人） ・一年間を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。（思判表力） ・進級する学年・学部が現在と違いがあることを知り、今後の行事や学習について希望を持つ。（知及技）	・3学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知・技） ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。（主学） ・自分の好きなことや将来について考えようとしている。（思・判・表） ・集団での活動に参加しようとしている。（主学） ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。（主学） ・一年間を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。（思・判・表） ・進級する学年・学部が現在と違いがあることを知り、今後の行事や学習について希望を持ち、伝えようとしている。（知・技）	・三学期頑張ろう会 ・キャリアパスポート作り ・三学期の目標 ・係活動を決めよう ・学校間交流（・居住地校交流） ・キャリアパスポートの活用 ・三学期頑張った会 ・進級学年・学部について	・三学期頑張ろう会に参加する。 ・三学期の行事の確認 ・三学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、イラスト等を貼ったりする。 ・三学期の係活動を決める。 ・あおぞら集会に参加する。 ・他学年の児童と交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・三学期頑張った会に参加する。 ・次の学年や学部について考える。
留意点 引継ぎ等					

あおぞら会（幼児児童生徒会）

学期	時数	活動の目標	活動・単元名	指導・活動内容
1学期	2	異年齢の生徒同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営をすることに自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標（特別活動全体の目標）に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	・第1回あおぞら集会 ・第2回あおぞら集会	・新役員紹介 ・年間活動計画 ・令和8年度幼児児童生徒総会
2学期	1		・第3回あおぞら集会 ・特体連報告放送	・特体連選手激励会 ・特体連激励放送 ・特体連報告放送
3学期	3		・第4回あおぞら集会 ・第5回あおぞら集会 ・第6回あおぞら集会	・あおぞら役員選挙告示（選挙の内容の説明） ・立会演説会 ・体育館で投票 ・新役員の任命式及び引き継ぎ式 ・当選セレモニー ・当選証書授与

※あおぞら（幼児児童生徒）集会のある週の水曜日にあおぞら（幼児児童生徒）役員会を設定する（役員のみ）。

なお、各学部と調整して柔軟に日程は変更する。

※あおぞら会と学級活動の時数を合わせて、1学期13回、2学期15回、3学期7回の時数となる。

学校行事

学期	時数	活動の目標	活動・単元名	指導・活動内容
1学期	10	全校又は学年の児童で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、第1の目標（特別活動全体の目標）に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	・1学期　始業式、終業式 ・身体測定 ・地震津波避難訓練 ・内科検診、歯科検診、心電図	・先生の話を聞く。 ・自分の成長を知る。 ・安全に気をつけて行動することができる。 ・検査に落ち着いて受けることができる。 ・月ごとの振り返り
2学期	13		・2学期始業式、終業式 ・火災避難訓練 ・全校作業	・先生の話を聞く。 ・安全に気をつけて行動することができる。 ・月ごとの振り返り ・各行事の準備などの取り組み
3学期	5		・3学期始業式、修了式 ・全校作業 ・卒業式準備	・先生の話を聞く。 ・行事に意欲的に参加できる。 ・月ごとの振り返り ・各行事の準備などの取り組み

令和８年度 小学部　４年（Ⅱ課程Ａ）　生活科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
350	４年	久高　麻子	自作教材・絵本・動画教材等

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考・判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）活動や体験の課程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴や変化に気付くとともに、身近な生活において必要な習慣や技能を身に付けるようにする。 (思判表力)自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて気付き、感じたことを表現しようとする。 (学･人)自分のことに取り組もうとしたり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけようとしたり、意欲や自信をもって学んだり、生活に生かそうとしたりする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	130	(知及技) ・簡単なきまりやマナーについて知ることができる。 (思判表力) ・身近で簡単なきまりやマナーに気付くことができる。 (学・人) ・身近で簡単なきまりを守って行動しようとすることができる。	(知・技) ・簡単なきまりやマナーについて知ることができた。 (思・判・表) ・身近で簡単なきまりやマナーに気付くことができた。 (主学) ・身近で簡単なきまりを守って行動しようとすることができた。	・「マナーを守って行動しよう」 （ケ　きまり）	・１学期始業式 ・学部集会 ・新転入生を迎える会 ・春の遠足
		(知及技) ・身近な生命や自然の特徴や変化が分かる。 (思判表力) ・身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、表現することができる。 (学・人) ・身近な生命や自然について、関心を持つことができる。	(知・技) ・身近な生命や自然の特徴や変化が分かった。 (思・判・表) ・身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、表現することができた。 (主学) ・身近な生命や自然について、関心を持つことができた。	・「植物を育てよう」 （サ　生命・自然）	・地震火災津波避難訓練 ・植物栽培（アサガオ、ひまわり、ゴーヤーなど）
		(知及技) ・簡単な手伝いや仕事について知ることができる。 (思判表力) ・自分にできる手伝いを考え、見つけることができる。 (学・人) ・教師の援助を求めながら身近で簡単な手伝いや仕事をしようとすることができる。	(知・技) ・簡単な手伝いや仕事について知ることができた。 (思・判・表) ・自分にできる手伝いを考え、見つけることができた。 (主・学) ・教師の援助を求めながら身近で簡単な手伝いや仕事をしようとすることができた。	・「準備や片付けをして一緒に楽しもう」 （キ　手伝い・仕事）	・白保小学校交流会 ・不審者対策避難訓練 ・買い物学習
		(知及技) ・安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・安全や防災に関わる基本的な知識や技能を身につけ、表現することができる。 (学・人) ・日常生活の安全や防災に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとすることができる。	(知・技) ・安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けることができた。 (思・判・表) ・安全や防災に関わる基本的な知識や技能を身につけ、表現することができた。 (主学) ・日常生活の安全や防災に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとすることができた。	・「安全について考えてみよう」 （イ　安全）	・交通安全教室 ・１学期終わりの学部集会 ・1学期終業式

2学期	150	（知及技） ・簡単なきまりのある遊びについて知ることができる。 （思判表力） ・身近な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びを工夫して行うことができる。 （学・人） ・身近な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びをしようとすることができる。	（知・技） ・簡単なきまりのある遊びについて知ることができた。 （思・判・表） ・身近な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びを工夫して行うことができた。 （主学） ・身近な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びをしようとすることができた。	・「ルールを考えて一緒に遊ぼう」 （エ　遊び）	・火災避難訓練 ・色々な遊び
		（知及技） ・身近な人との接し方などについて知ることができる。 （思判表力） ・身近な人を知り、教師の援助を求めながら挨拶や話などをすることができる。 （学・人） ・身近な人を知り、教師の援助を求めながら挨拶や話などをしようとすることができる。	（知・技） ・身近な人との接し方などについて知ることができた。 （思・判・表） ・身近な人を知り、教師の援助を求めながら挨拶や話などをすることができた。 （主学） ・身近な人を知り、教師の援助を求めながら挨拶や話などをしようとすることができた。	・「気持ちを伝えよう」 （オ　人との関わり）	・勤労感謝に向けて ・宮良小学校交流会
		（知及技） ・自分の住んでいる地域の仕組みや公共施設などの使い方などを知ることができる。 （思判表力） ・自分の住んでいる地域の仕組みや公共施設などについて、絵で表したり言葉で伝えたりすることができる。 （学・人） ・自分の住んでいる地域の仕組みや公共施設などについて、自ら調べようとすることができる。	（知・技） ・自分の住んでいる地域の仕組みや公共施設などの使い方などを知ることができた。 （思・判・表） ・自分の住んでいる地域の仕組みや公共施設などについて、絵で表したり言葉で伝えたりすることができた。 （主学） ・自分の住んでいる地域の仕組みや公共施設などについて、自ら調べようとすることができた。	・「公共施設を知ろう」 （コ　社会の仕組みと公共施設）	・校外学習 ・クリスマス集会 ・２学期終業式

3学期	70	（知及技） ・簡単な係活動などの役割について知ることができる。 （思判表力） ・自分にできる簡単な係活動について考えることができる。 （学・人） ・身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとすることができる。	（知・技） ・簡単な係活動などの役割について知ることができた。 （思・判・表） ・自分にできる簡単な係活動について考えることができた。 （主学） ・身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとすることができた。	・「友達と一緒にやってみよう」 （カ　役割）	・八特祭
		（知及技） ・事前学習や買い物学習などを通して、金銭の扱い方などを知ることができる。 （思判表力） ・事前学習や買い物学習などを通して、金銭の大切さや必要性について気付くことができる。 （学・人） ・買い物学習をする時に、自ら教師に援助を求めることができる。	（知・技） ・事前学習や買い物学習などを通して、金銭の扱い方などを知ることができた。 （思・判・表） ・事前学習や買い物学習などを通して、金銭の大切さや必要性について気付くことができた。 （主学） ・買い物学習をする時に、自ら教師に援助を求めることができた。	・「お金の大切さを考えよう」 （ク　金銭の扱い）	・買い物学習 ・あおぞら会役員選挙
		（知及技） ・身近な生活に必要な身辺処理に関する基礎的な知識や技能を身に付けることできる。 （思判表力） ・必要な身辺処理を、学校生活において習慣化することができる。 （学・人） ・必要な身辺処理が分かり、身近な生活に役立てようとすることができる。	（知・技） ・身近な生活に必要な身辺処理に関する基礎的な知識や技能を身に付けることできた。 （思・判・表） ・必要な身辺処理を、学校生活において習慣化することができた。 （主学） ・必要な身辺処理が分かり、身近な生活に役立てようとすることができた。	・「身の回りを整理しよう」 （ア　基本的生活習慣）	・教室や身の回りの整理整頓
年間を通して	－	（知及技） ・身近な日課・予定について知ることができる。 ・身近にあるものの仕組みや働きについて知ることができる。 （思判表力） ・絵や写真カードを手掛かりに、次に何を行うのか確認し、見通しを持って行動することができる。 ・実験などを通して、身近にあるものの仕組みや働きが分かる。 （学・人） ・身近な日課・予定が分かり、日課に沿って行動しようとすることができる。 ・身近にあるものの仕組みや働きを表現しようとすることができる。	（知・技） ・身近な日課・予定について知ることができた。 ・身近にあるものの仕組みや働きについて知ることができた。 （思・判・表） ・絵や写真カードを手掛かりに、次に何を行うのか確認し、見通しを持って行動することができた。 ・実験などを通して、身近にあるものの仕組みや働きが分かった。 （主学） ・身近な日課・予定が分かり、日課に沿って行動しようとすることができた。 ・身近にあるものの仕組みや働きを表現しようとすることができた。	・「見通しのある毎日の生活」 （ウ　日課・予定） ・「見えないもののしくみを知ろう」 （シ　ものの仕組みと働き）	・朝の会 ・物の不思議
留意点 引継ぎ等					

令和８年度 小学部　４年（Ⅱ課程Ａ）　国語科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
175	４年	久高　麻子	ゆっくり学ぶ子のための「こくご」入門編２(改訂版)(ひらがなの読み書き)

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 日常生活に必要な身近な言葉を身に付けるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができるようにする。 (思判表力)言葉が表す事柄を想起したり受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。 (学･人)言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	65	(知及技)場面にあった挨拶について知り、適切な挨拶をすることができる。 (思判表力)事柄と語句を結びつけたり、語句から事柄を思い浮かべたりすることができる。 (学・人) 学習したやりとりを実際の生活場面で表現することができる。	(知・技)場面にあった挨拶について知り、適切な挨拶をしようとしている。 (思・判・表)事柄と語句を結びつけたり、語句から事柄を思い浮かべたりしようとしている。 (主学)学習したやりとりを実際の生活場面で表現しようとしている。	「学校のことを話そう」 （A　聞くこと・話すこと） 学校生活、朝の会、係	・身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉が、気持ちや要求を表していることを感じること。【ア-（ア）】 ・身近な人の話に慣れ、簡単な事柄と語句などを結び付けたり、語句などから事柄を思い浮かべたりすること。【A-（ア）】
		(知及技)身近な物に名前があることを知り、多くの物の名称を学ぶことができる。 (思判表力)絵本などを見て、登場する物や動作などを思い浮かべ、自分なりに表現することができる。 (学・人)文字に親しみを持ち、絵本や身の回りの文字に興味を持つことができる。	(知・技)身近な物に名前があることを知り、多くの物の名称を学ぼうとしている。 (思・判・表)絵本などを見て、登場する物や動作などを思い浮かべ、自分なりに表現しようとしている。 (主学)文字に親しみを持ち、絵本や身の回りの文字に興味を持とうとしている。	「ものの名前を学ぶ」 （C　読むこと） なまえなあんだ 自分の名前、友達の名前、動物、乗り物、野菜、顔、体、影絵 「標識をさがそう」 （C　読むこと） しるしをみつけよう	・日常生活でよく使われている平仮名を読むこと。【ア-（イ）】 ・教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべること。【C-ア】 ・教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべること。【イ-（エ）】 ・日常生活でよく使われている表示などの特徴に気付き、読もうとしたり、表された意味に応じた行動をしたりすること。【C-ウ】
		(知及技)様々な状況や気持ちを表す言葉に触れ、気持ちと表情の関連について気付くことができる。 (思判表力)思ったことや感じたことなどを、自分なりに表現することができる。 (学・人)相手と思いを共有する喜びを感じ、思いを伝え合うことができる。	(知・技)様々な状況や気持ちを表す言葉に触れ、気持ちと表情の関連について気付こうとしている。 (思・判・表)思ったことや感じたことなどを、自分なりに表現しようとしている。 (主学)相手と思いを共有する喜びを感じ、思いを伝え合おうとしている。	「相手の気持ちを考えよう」 （A　聞くこと・話すこと） どんな気持ちかな ・プレゼント ・ころんだ ・日常生活の中で	・身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉が、気持ちや要求を表していることを感じること。【ア-（ア）】 ・体験したことなどについて、伝えたいことを考えること。【A-ウ】

		(知及技)いろいろな線をなぞったり、真似たりしながら線や形を書くことができる。 (思判表力)経験したことのうち身近なことについて、写真などを手掛かりにして、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすることができる。 (学・人)書いて表現することの良さを感じ、意欲的に学習に参加することができる。	(知・技)いろいろな線をなぞったり、真似たりしながら線や形を書こうとしている。 (思・判・表)経験しことのうち身近なことについて、写真などを手掛かりにして、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりしようとしている。 (主学)書いて表現することの良さを感じ、意欲的に学習に参加しようとしている。	「正しい姿勢、いろいろな線の運筆に親しむ」 （B　書くこと） かいてみよう 「なかま集め」 （A　聞くこと・話すこと）（B　書くこと） あつめてみよう	・いろいろな筆記用具を用いて、書くことに親しむこと。【イ-（ウ）㋐】 ・筆記用具の正しい持ち方や書くときの正しい姿勢を理解して、写し書きやなぞり書きなど、書写の基本を身に付けること。【イ-（ウ）㋑】 ・自分の名前や物の名前を文字で表すことができることを知り、簡単な平仮名をなぞったり、書いたりすること。【B-イ】 ・身近な人との会話を通して、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れること。【ア-（ウ）】 ・体験したことなどについて、伝えたいことを考えること。【A-ウ】
2学期	75	(知及技)登場人物や時間の流れによる話の展開に意識して、話を見たり聞いたりすることができる。 (思判表力)好きな台詞や場面を見つけたり、自分なりの方法で表したりすることができる。 (学・人)言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。	(知・技)登場人物や時間の流れによる話の展開に意識して、話を見たり聞いたりしようとしている。 (思・判・表)好きな台詞や場面を見つけたり、自分なりの方法で表したりしようとしている。 (主学)言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	「絵から想像して話してみよう」 （A聞くこと･話すこと） 「本に親しもう」 （A聞くこと･話すこと） （C　読むこと） 「お話を演じてみよう」 （A聞くこと･話すこと） （C　読むこと） お話集会に向けて	・身近な人との会話を通して、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れること。【ア-（ウ）】 ・簡単な指示や説明を聞き、その指示等に応じた行動をすること。【A-（イ）】 ・昔話や童謡の歌詞などの読み聞かせを聞いたり、真似したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと。【イ-（ア）】 ・遊びややり取りを通して、言葉による表現に親しむこと。【イ-（イ）】 ・挨拶をしたり、簡単な台詞などを表現したりすること。【A-エ】
		(知及技)動詞や形容詞などに触れ、言葉の意味を学ぶことができる。 (思判表力)事柄と語句を結びつけたり、語句から事柄を思い浮かべたりすることができる (学・人)詳しく表現することで相手に伝わる楽しさを感じ、表現してみようとすることができる。	(知・技)動詞や形容詞などに触れ、言葉の意味を学ぼうとしている。 (思・判・表)事柄と語句を結びつけたり、語句から事柄を思い浮かべたりしようとしている。 (主学)詳しく表現することで相手に伝わる楽しさを感じ、表現してみようとしている。	「文の構成」 （A　聞くこと・話すこと） （B　書くこと） くわしくはなそう ・色、反対言葉、だれのなに、なにをするのかな	・身近な人との会話を通して、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れること。【ア-（ウ）】 ・身近な人の話に慣れ、簡単な事柄と語句などを結び付けたり、語句などから事柄を思い浮かべたりすること。【A-（ア）】
		(知及技)文字で伝える良さに気付き、日常生活でよく使われている平仮名を読んだり書いたりすることができる。 (思判表力)経験したことのうち身近なことについて、写真などを手掛かりにして、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすることができる。 (学・人)自分の気持ちをなぞり書きや書くことなどにより、表現したり相手に伝えたりしてみようとしている。	(知・技)文字で伝える良さに気付き、日常生活でよく使われている平仮名を読んだり書いたりしようとしている。 (思・判・表)経験したことのうち身近なことについて、写真などを手掛かりにして、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりしようとしている。 (主学)自分の気持ちをなぞり書きや書くことなどにより、表現したり相手に伝えたりしてみようとしている。	「日常生活の言葉」 （B　書くこと） （C　読むこと） 平仮名を読んでみよう ・ごじゅうおん、てんてん、にているもじ ・年賀状	・日常生活でよく使われている平仮名を読むこと。【ア-（イ）】 ・教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべること。【C-ア】
		（知及技）登場人物や時間の流れによる話の展開に意識して、話を見たり聞いたりすることができる。 （思判表力）物語の展開を思い出したり想像したりしながら、自分の考えたことを発表することができる。 （学・人）役になりきって台詞を読んだり言ったりして、友達と掛け合いをすることができる。	(知・技)登場人物や時間の流れによる話の展開に意識して、話を見たり聞いたりしようとしている。 (思・判・表)物語の展開を思い出したり想像したりしながら、自分の考えたことを発表しようとしている。 (主学）役になりきって台詞を読んだり言ったりして、友達と掛け合いをしようとしている。	「お話をしてみよう」 （A　聞くこと・話すこと） （C　読むこと） 絵本、劇 一年の抱負	・昔話や童謡の歌詞などの読み聞かせを聞いたり、真似したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと。【イ-（ア）】 ・教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべること。【イ-（エ）】 ・教師と一緒に絵本などを見て、時間の経過などの大体を捉えること。【C-イ】 ・絵本などを見て、好きな場面を伝えたり、言葉などを模倣したりすること。【C一エ】

3 学 期	35	(知及技)文字で伝える良さに気付き、日常生活でよく使われている平仮名を読んだり書いたりすることができる。 (思判表力)経験したことのうち身近なことについて、写真などを手掛かりにして、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすることができる。 (学・人)自分の気持ちをなぞり書きや書くことなどにより、表現したり相手に伝えたりしてみようとしている。	(知・技)文字で伝える良さに気付き、日常生活でよく使われている平仮名を読んだり書いたりしようとしている。 (思・判・表)経験したことのうち身近なことについて、写真などを手掛かりにして、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりしようとしている。 (主学)自分の気持ちをなぞり書きや書くことなどにより、表現したり相手に伝えたりしてみようとしている。	「日常生活の言葉」 （B　書くこと） （C　読むこと） 平仮名を読んでみよう ・縦書き、横書き ・カード、手紙 「てがみをかこう」 （B　書くこと） （C　読むこと） 先生へ、友達へ、家族へ	・日常生活でよく使われている平仮名を読むこと。【ア-（イ）】 ・教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべること。【C-ア】 ・筆記用具の正しい持ち方や書くときの正しい姿勢を理解して、写し書きやなぞり書きなど、書写の基本を身に付けること。【イ-（ウ）㋑】 ・経験したことのうち身近なことについて、写真などを手掛かりにして、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすること。【B-ア】
留意点 引継ぎ等					

令和８年度 小学部　４年（Ⅱ課程Ａ）　算数科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
105	４年	久高　麻子	算数☆・算数☆☆・自作教材

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 数量や図形などについて基礎的・基本的な概念や性質に気付き、身の回りの数量や図形について着目する技能を身に付ける。 (思判表力)身の回りの数量や図形について直感的に捉える力や基礎的・基本的な性質などに気付き、感じ取る力など、数学的な表現を用いて事象表現する力を養う。 (学･人)数学的活動の楽しさに関心や興味をもって学習したことを結びつけ、問題を解決しようとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
4 5 6	39	Ａ　数と計算 （知及技） 10までの数の概念や表し方が分かる。 （思判表力） 日常生活の事象について、具体物や図などを用いながら数の数え方を考え、表現する。 （学・人） 数量に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じる。	（知・技） 10までの数の概念や表し方が分かろうとする。 （思・判・表） 日常生活の事象について、具体物や図などを用いながら数の数え方を考え、表現しようとする。 （主・学） 数量に関心をもち、算数で学んだことの楽しさや良さを感じようとする。	「かぞえよう・くらべよう」 （A　数と計算） １０までの数の数え方や表し方、構成 「なんばんめ」 （A　数と計算） 順序、位置 「あわせていくつ」 （A　数と計算） 10までの数の合成・分解	ア　10までの数の数え方や表し方、構成 （ア）次のような知識及び技能を身に付けること。 ㋐　ものとものとを対応させることによって，ものの個数を比べ，同等・多少が分かること。 ㋑　ものの集まりと対応して，数詞が分かること。 ㋒　ものの集まりや数詞と対応して数字が分かること。 ㋓　個数を正しく数えたり書き表したりすること。 ㋔　二つの数を比べて数の大小が分かること。 ㋕　数の系列が分かり，順序や位置を表すのに数を用いること。 ㋖　０の意味について分かること。 ㋗　一つの数を二つの数に分けたり，二つの数を一つの数にまとめたりして表すこと。 ㋘　具体的な事物を加えたり，減らしたりしながら，集合数を一つの数と他の数と関係付けてみること。 ㋙　10 の補数が分かること。 （イ）次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。 ㋐数詞と数字，ものとの関係に着目し，数の数え方や数の大きさの比べ方，表し方について考え，それらを学習や生活で興味をもって生かすこと。
7 9 10	45	Ｂ　図形 （知及技） 身の回りのものの形に着目し、集めたり、分類したりする。 （思判表力） 身の回りのものの形に関心をもち、分類したり、集めたりして、形の性質に気付く。 （学・人） 図形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じる。	（知・技） 身の回りのものの形に着目し、集めたり、分類したりしようとする。 （思・判・表） 身の回りのものの形に関心をもち、分類したり、集めたりして、形の性質に気付こうとする。 （主・学） 図形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じようとする	「なかまわけをしよう」 （B　図形） たべるもの、着るものなど 「まる・さんかく・しかく」 （B　図形） 身の回りにあるものの形 「形をつくろう」 （B　図形） 見本通りに	ア　ものの分類 （ア）次のような知識及び技能を身に付けること。 ㋐　色や形，大きさに着目して分類すること。 ㋑　身近なものを目的，用途及び機能に着目して分類すること。 （イ）次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。 ㋐ものを色や形，大きさ，目的，用途及び機能に着目し，共通点や相違点について考えて，分類する方法を日常生活で生かすこと。 イ　身の回りにあるものの形 （ア）次のような知識及び技能を身に付けること。 ㋐　身の回りにあるものの形に関心をもち，丸や三角，四角という名称を知ること。 ㋑　縦や横の線，十字，△や□をかくこと。 ㋒　大きさや色など属性の異なるものであっても形の属性に着目して，分類したり， 集めたりすること。 （イ）次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。 ㋐身の回りにあるものの形に関心を向け，丸や三角，四角を考えながら分けたり，集めたりすること。

11 12		C　測定 （知及技） 身の回りにある具体物の量の大きさに着目し、量の大きさや違いが分かる。 （思判表力） 量に着目し、二つの量を比べる方法が分かる。 （学・人） 数量や図形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じる。	（知・技） 身の回りにある具体物の量の大きさに着目し、量の大きさや違いが分かろうとする。 （思・判・表） 量に着目し、二つの量を比べる方法が分かろうとする。 （主・学） 数量や図形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じようとする。	「くらべてみよう」 （C　測定） 長短、軽重、高低、広狭 「長い順・大きい順」 （C　測定） くらべる、ならべる	ア　二つの量の大きさ （ア）次のような知識及び技能を身に付けること。 ㋐　長さ，重さ，高さ及び広さなどの量の大きさが分かること。 ㋑　二つの量の大きさについて，一方を基準にして相対的に比べること。 ㋒　長い・短い，重い・軽い，高い・低い及び広い・狭いなどの用語が分かること。 （イ）次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。 ㋐長さ，重さ，高さ及び広さなどの量を，一方を基準にして比べることに関心をもったり，量の大きさを用語を用いて表現したりすること。
1 2 3	21	D　データの活用 （知及技） ものとものとを対応させることで、ものの同等や多少が分かる。 （思判表力） 個数に着目し、表をみて多少を読み取って表現する。 （学・人） 数量や図形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じる。	（知・技） ものとものとを対応させることで、ものの同等や多少を分かろうとする。 （思・判・表） 個数に着目し、表をみて多少を読み取って表現しようとする。 （主・学） 数量や図形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じるようとする。	「組になるもの」 （D　データの活用） 仲間同士の対応 「ゲーム・得点を数えよう」 （D　データの活用） 同等、多少 「ゲームをしよう～得点表～」 （D　データの活用） ○と×を用いた表	ア　ものの分類 （ア）次のような知識及び技能を身に付けること。 ㋐　身近なものを目的，用途，機能に着目して分類すること。 （イ）次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。 ㋐身近なものの色や形，大きさ，目的及び用途等に関心を向け，共通点や相違点を考えながら，興味をもって分類すること。 イ　同等と多少 （ア）次のような知識及び技能を身に付けること。 ㋐　ものとものとを対応させることによって，ものの同等や多少が分かること。 （イ）次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。 ㋐　身の回りにあるものの個数に着目して絵グラフなどに表し，多少を読み取って表現すること。 ウ　○×を用いた表 （ア）次のような知識及び技能を身に付けること。 ㋐　身の回りの出来事から○×を用いた簡単な表を作成すること。 ㋑　簡単な表で使用する○×の記号の意味が分かること。 （イ）次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。 ㋐　身の回りの出来事を捉え，○×を用いた簡単な表で表現すること。
留意点 引継ぎ等					

令和８年度 小学部　４年（Ⅱ課程Ａ）　音楽科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	４年	重森　誠仁	おんがく☆・おんがく☆☆

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）曲名や曲想と簡単な音楽のつくりについて気付くとともに、感じたことを音楽表現するために必要な技能を身に付けることができる。（小２段階） (思判表力)感じたことを表現することや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら、音や音楽の楽しさを味わって聴くことができる。（小２段階） (学･人)音や音楽に楽しく関わり、教師や友達と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、身の回りの様々な音楽に親しんだり、豊かな情操を育んだりすることができる。（小２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	26	(知及技) 音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かすことができる。 (思判表力) 好きな歌や旋律の一部分を自分なりに歌いたいと思うことができる。 (学･人) 音楽活動に興味を持ち、楽しみながら学習に取り組むことができる。	(知・技) 音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かしている。 (思･判･表) 好きな歌や旋律の一部分を自分なりに歌おうとしている。 (主学) 音楽活動に興味を持ち、楽しみながら学習に取り組もうとしている。	「春を感じよう」 「歌で仲良しになろう」 「音を出してみよう」 「からだを動かそう」	【歌唱・共通事項】 ・校歌 ・はるがきた 【器楽・共通事項】 ・どんぐりさんのおうち ・パンパン 【音楽づくり・共通事項】 ・お返事しよう 【身体表現・共通事項】 ・ドラえもん ・口笛吹きと子犬 【鑑賞・共通事項】 ・こいのぼり
		(知及技）器 拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。 (思判表力)鑑 身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴くことができる。 (学･人) 拍に合わせて楽器を鳴らし、いろいろなリズムに興味を持つことができる。	(知・技) 拍や曲の特徴的なリズムに気付こうとしている。 (思･判･表) 身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴いている。 (主学) 拍に合わせて楽器を鳴らし、いろいろなリズムに興味を持とうとしている。	「声を合わせて」 「打楽器にちょうせん」 「まねてみよう」 「耳をすませて」	【歌唱・共通事項】 ・かえるの合唱 ・ともだちになるために 【器楽・共通事項】 ・とけいのうた ・ぶんぶんぶん 【音楽づくり・共通事項】 ・かえるの音あそび 【身体表現・共通事項】 ・手をつなぎましょう ・まねっこどうぶつ 【鑑賞・共通事項】 ・いろんな音 ・おばけこわこ
		(知及技）歌 教師や友達と一緒に歌うことができる。 (思判表力)音 声や身の回りの様々なものを用いて、音を出そうとすることができる。 (学･人) 教師をよく見て、合図に合わせて発声したり、部分的に歌ったりすることができる。	(知・技) 教師や友達と一緒に歌おうとしている。 (思･判･表) 声や身の回りの様々なものを用いて、音を出そうとしている。 (主学) 教師をよく見て、合図に合わせて発声したり、部分的に歌おうとしている。	「交流会に向けて」 「音の高さを感じて」 「リズムにのって」 「ようすをおもいうかべて」	【歌唱・共通事項】 ・シャボン玉 ・白保と八特の子どもたち 【器楽・共通事項】 ・かえるの合唱 【音楽づくり・共通事項】 ・ペットボトルでメロディーづくり 【身体表現・共通事項】 ・はしの上で 【鑑賞・共通事項】 ・月桃 ・海の歌を歌おう

		(知及技) 音 音のつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さに気付くことができる。 (思判表力)身 簡単なリズムの特徴を感じ取り、身体を動かそうとすることができる。 (学･人) 教師や友達とのやりとりを楽しみながら、身体表現や音楽づくりに取り組むことができる。	(知・技) 音のつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さに気付いている。 (思･判･表) 簡単なリズムの特徴を感じ取り、身体を動かそうとしている。 (主学) 教師や友達とのやりとりを楽しみながら、身体表現や音楽づくりに取り組もうとしている。	「夏を感じよう」 「音の高さを感じて」 「声をききあおう」 「歌に合わせて身体を動かそう」	【歌唱・共通事項】 ・南の島のはめはめは大王 【器楽・共通事項】 ・きらきらぼし 【音楽づくり・共通事項】 ・なまえあそび 【身体表現・共通事項】 ・エビカニックス 【鑑賞・共通事項】 ・ほしにねがいを ・ヤッホッホ夏休み
2学期	30	(知及技) 歌 範唱を聴いて、曲の一部を模唱することができる。 (思判表力)器 身近な打楽器に親しみ、音を出そうとすることができる。 (学･人) 郷土の音楽や楽器に親しみを持ち、進んで身体表現したり、歌ったりすることができ	(知・技) 範唱を聴いて、曲の一部を模唱しようとしている。 (思･判･表) 身近な打楽器に親しみ、音を出そうとしている。 (主学) 郷土の音楽や楽器に親しみを持ち、進んで身体表現したり、歌ったりしようとしてい	「秋を感じよう」 「まつりを楽しもう」 「声を聞き合おう」 「拍を感じて」	【歌唱・共通事項】 ・やまびこごっこ ・ゆうやけこやけ 【器楽・共通事項】 ・エイサー ・マミードーマ、唐船ドーイ 【音楽づくり・共通事項】 ・やまびこあそび 【身体表現・共通事項】 ・たぬきのたいこ 【鑑賞・共通事項】 ・つき
		(知及技) 器 楽器の音色の違いに気付くことができる。 (思判表力)音 音遊びを通して、音の面白さに気付くことができる。 (学･人) 好きな歌詞や登場人物を見つけ、役割を分担しながら、教師や友達と一緒に歌唱や身体表現に取り組むことができる。	(知・技) 楽器の音色の違いに気付いている。 (思･判･表) 音遊びを通して、音の面白さに気付いている。 (主学) 好きな歌詞や登場人物を見つけ、役割を分担しながら、教師や友達と一緒に歌唱や身体表現に取り組もうとしている。	「歌のまねっこで遊ぼう」 「ひびきあいを楽しもう」 「拍を感じて」 「音楽に合わせて身体を動かそう」 「物語の音楽を楽しもう」	【歌唱・共通事項】 ・カレーライス 【器楽・共通事項】 ・虫のこえ 【音楽づくり・共通事項】 ・音あてあそび 【身体表現・共通事項】 ・きのこ 【鑑賞・共通事項】 ・おおきなかぶ ・シンコペーテッドクロック
		(知及技) 身 曲に合わせて教師や友達と一緒に体を動かすことができる。 (思判表力)歌 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌の一部分を自分なりに歌おうとすることができる。 (学･人) テンポや音量の違いを感じ、工夫して歌ったり、身体全体を動かしたりすることができる。	(知・技) 曲に合わせて教師や友達と一緒に体を動かそうとしている。 (思･判･表) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌の一部分を自分なりに歌おうとしている。 (主学) テンポや音量の違いを感じ、工夫して歌ったり、身体全体を動かそうとしている。	「みぶりをつけてみんなで歌おう」 「リズムで遊ぼう」 「拍を感じて」 「みんなでつながろう」 「耳をすまそう」	【歌唱・共通事項】 ・ふしぎなポケット 【器楽・共通事項】 ・おもちゃのチャチャチャ 【音楽づくり・共通事項】 ・口でいろんな音を出そう 【身体表現・共通事項】 ・かもつれっしゃ 【鑑賞・共通事項】 ・おもちゃの兵隊 ・ぼうがいっぱんあったとさ
		(知及技) 歌 自分の歌声に注意を向けて歌うことができる。 (思判表力)器 身近な打楽器などに親しみ、自ら音を出そうとすることができる。 (学･人) 身近な打楽器を用いて、曲の簡単なリズムやパターンの特徴の面白さなどに気付くことができる。	(知・技) 自分の歌声に注意を向けて、歌おうとしている。 (思･判･表) 身近な打楽器などに親しみ、自ら音を出そうとしている。 (主学) 身近な打楽器を用いて、曲の簡単なリズムやパターンの特徴の面白さなどに気付こうとしている。	「様子を思いうかべながら歌おう」 「リズムにのって音を出してみよう」 「音を当てよう」 「楽しくダンス」 「季節の雰囲気を感じよう」	【歌唱・共通事項】 ・やぎさんゆうびん 【器楽・共通事項】 ・あわてんぼうのサンタクロース 【音楽づくり・共通事項】 ・音の出し方いろいろ 【身体表現・共通事項】 ・ハッピークリスマス ・こいぬのビンゴ 【鑑賞・共通事項】 ・サンタが町にやってくる

3学期		(知及技) 鑑 身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見つけることができる。 (思判表力)音 音遊びを通して音の面白さに気付き、自ら音や音楽で表現しようとすることができる。 (学･人) わらべうたの良さや面白さを感じとり、教師や友達と一緒に身体を動かしたり、歌ったりする学習に親しみ、他のわらべうたにも関心を持ったりすることができる。	(知・技) 身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見つけようとしている。 (思･判･表) 音遊びを通して音の面白さに気付き、自ら音や音楽で表現しようとしている。 (主学) わらべうたの良さや面白さを感じとり、教師や友達と一緒に身体を動かしたり、歌ったりする学習に親しみ、他のわらべうたにも関心を持とうとしている。	「冬を感じよう」 「音を合わせて楽しもう」 「日本のしらべにのって」 「耳をすまして」	【歌唱・共通事項】 ・北風小僧の寒太郎 ・とんくるりんぱんくるりん 【器楽・共通事項】 ・ゆきのおどり 【音楽づくり・共通事項】 ・らくらく打楽器メロディ 【身体表現・共通事項】 ・はないちもんめ ・おちゃらかほい 【鑑賞・共通事項】 ・スケーターズワルツ
	14	(知及技) 歌 曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉に気付くことができる。 (思判表力)身 簡単なリズムの特徴を感じ取り、自ら体を動かそうとすることができる。 (学･人) 歌声や楽器の音色に気をつけながら、曲想にあった表現を工夫したり、歌声と楽器の音を合わせて演奏する楽しさに気付いたりすることができる。	(知・技) 曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉に気付いている。 (思･判･表) 簡単なリズムの特徴を感じ取り、自ら体を動かそうとしている。 (主学) 歌声や楽器の音色に気をつけながら、曲想にあった表現を工夫したり、歌声と楽器の音を合わせて演奏する楽しさに気付こうとしている。	「卒業式に向けて」 「音を合わせて楽しもう」 「いろんな音を見つけよう」 「曲に合わせて身体を動かそう」 「季節の雰囲気を感じよう」	【歌唱・共通事項】 ・てのひらをたいように ・卒業式の歌 【器楽・共通事項】 ・とんくるりんぱんくるりん 【音楽づくり・共通事項】 ・ことばでリズム 【身体表現・共通事項】 ・おにのパンツ ・双頭の鷲の旗の下で 【鑑賞・共通事項】 ・白鳥 ・うれしいひなまつり
		(知及技) 音 教師や友達と一緒に簡単な音や音楽を作ることができる。 (思判表力)鑑 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴くことができる。 (学･人) 一年間を振り返り、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱や身体表現、音楽づくりや器楽、鑑賞などの活動に取り組むことができる。	(知・技) 教師や友達と一緒に簡単な音や音楽を作ろうとしている。 (思･判･表) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴いている。 (主学) 一年間を振り返り、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱や身体表現、音楽づくりや器楽、鑑賞などの活動に取り組もうとしている。	「卒業式に向けて」 「音を合わせて楽しもう」 「いろんな音を見つけよう」 「曲に合わせて身体を動かそう」 「一年間を振り返ろう」	【歌唱・共通事項】 ・卒業式の歌 【器楽・共通事項】 ・とんくるりんぱんくるりん 【音楽づくり・共通事項】 ・ことばでリズム 【身体表現・共通事項】 ・双頭の鷲の旗の下で 【鑑賞・共通事項】 ・思い出のアルバム
留意点 引継ぎ等					

令和８年度 小学部　４年（Ⅱ課程Ａ）　図画工作科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	４年	久高　麻子	あそびのおうさまＢＯＯＫ　はって

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 形や色などの違いに気付き、表したいことを基に材料や用具を使い、表し方を工夫してつくるようにする。（小２段階） (思判表力)表したいことを思い付いたり、作品などの面白さや楽しさを感じ取ったりすることができるようにする。（小２段階） (学･人)進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。（小２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	26	（知及技） 形の面白さや色の違いに気づき、身近な材料や用具を使ってかいたり、形をつくったりすることができる。 （思判表力） 材料や感じたこと、想像したこと、みたことから表したいことを思いつき、表現することができる。 （学・人） 表現や鑑賞の活動を通して、つくりだす楽しさや喜びに気づき、興味関心をもって学習に取り組むことができる。	（知・技） 形の面白さや色の違いに気づき、身近な材料や用具を使ってかいたり、形をつくったりすることができる。 （思・判・表） 材料や感じたこと、想像したこと、みたことから表したいことを思いつき、表現することができる。 （主学） 表現や鑑賞の活動を通して、つくりだす楽しさや喜びに気づき、興味関心をもって学習に取り組むことができる。	「かいてみよう」 ・お父さん・お母さんの絵 ・遠足の思い出 ・読書感想画 「やってみよう」 ・色で遊ぼう ・スタンプ 「つくってみよう」 ・季節の製作 ・母の日・父の日プレゼント 「みてみよう」 ・鑑賞	・材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付くこと。【Aーア（ア）】 ・身近にあるものなどの形や色の面白さについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げること。【Bーア（ア）】 ・形や色などを基に、自分のイメージをもつこと。【共通事項（イ）】
2学期	30	（知及技） 形の面白さや色の違いに気づき、身近な材料や用具を使ってかいたり、形をつくったりすることができる。 （思判表力） 材料や感じたこと、想像したこと、みたことから表したいことを思いつき、表現することができる。 （学・人） 表現や鑑賞の活動を通して、つくりだす楽しさや喜びに気づき、興味関心をもって学習に取り組むことができる。	（知・技） 形の面白さや色の違いに気づき、身近な材料や用具を使ってかいたり、形をつくったりすることができる。 （思・判・表） 材料や感じたこと、想像したこと、みたことから表したいことを思いつき、表現することができる。 （主学） 表現や鑑賞の活動を通して、つくりだす楽しさや喜びに気づき、興味関心をもって学習に取り組むことができる。	「かいてみよう」 ・読書感想画 「やってみよう」 ・切ってつなげて ・粘土 「つくってみよう」 ・季節の製作 ・紙版画 ・勤労感謝の日プレゼント 「みてみよう」 ・夏休み作品展 ・鑑賞	・材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付くこと。【Aーア（ア）】 ・身近にあるものなどの形や色の面白さについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げること。【Bーア（ア）】 ・自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などの違いに気付くこと。【共通事項（ア）】
3学期	14	（知及技） 形の面白さや色の違いに気づき、身近な材料や用具を使ってかいたり、形をつくったりすることができる。 （思判表力） 材料や感じたこと、想像したこと、みたことから表したいことを思いつき、表現することができる。 （学・人） 表現や鑑賞の活動を通して、つくりだす楽しさや喜びに気づき、興味関心をもって学習に取り組むことができる。	（知・技） 形の面白さや色の違いに気づき、身近な材料や用具を使ってかいたり、形をつくったりすることができる。 （思・判・表） 材料や感じたこと、想像したこと、みたことから表したいことを思いつき、表現することができる。 （主学） 表現や鑑賞の活動を通して、つくりだす楽しさや喜びに気づき、興味関心をもって学習に取り組むことができる。	「やってみよう」 ・並べて並べて 「つくってみよう」 ・季節の製作 ・卒業式壁面・プレゼント ・作品集 「みてみよう」 ・1年間の活動の振り返り ・鑑賞	・材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付くこと。【Aーア（ア）】 ・身近にあるものなどの形や色の面白さについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げること。【Bーア（ア）】 ・形や色などを基に、自分のイメージをもつこと。【共通事項（イ）】

令和８年度 小学部４年（Ⅱ課程Ａ）　体育科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	４年	重森　誠仁	

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）遊びや基本的な運動の行い方及び身近な生活における健康について知るとともに、基本的な動きや健康な生活に必要な事柄を身に付ける。（小２段階） (思判表力)遊びや基本的な運動及び健康についての自分の課題に気付き、その解決に向けて自ら考え行動し、他者に伝える力を身に付ける。（小２段階） (学･人)遊びや基本的な運動に親しむことや健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営むことができる。（小２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
４月	26	【知及技】 教師の支援を受けて歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりすることができる。 【思判表力】 体を動かすことの楽しさや心地よさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 教師の支援を受けて簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行うことができる。	【知・技】 教師の支援を受けて歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりしようとしている。 【思・判・表】 体を動かすことの楽しさや心地よさを自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 教師の支援を受けて簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行おうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「みんなで楽しく」 A体つくり運動遊び	・ラジオ体操 ・簡単なゲーム 台風の目 大玉転がし 玉入れ 風船バレー しっぽ取りゲーム かけっこ サーキット 等
５月		【知及技】 教師の支援を受けて歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりすることができる。 【思判表力】 体を動かすことの楽しさや心地よさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 教師の支援を受けて簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行うことができる。	【知・技】 教師の支援を受けて歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりしようとしている。 【思・判・表】 体を動かすことの楽しさや心地よさを自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 教師の支援を受けて簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行おうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「みんなで楽しく」 A体つくり運動遊び	・ラジオ体操 ・簡単なゲーム 台風の目 大玉転がし 玉入れ 風船バレー しっぽ取りゲーム かけっこ サーキット 等
６月		(知及技) 教師の支援を受けて、顔や頭を水面につけたり、水中に入れたりすることができる。 (思判表力) 水の抵抗を感じながら、歩いたり走ったりしながら遊ぶことができる。 (学･人) 簡単な決まりを守り、友達や教師の支援を受けて安全に楽しく遊ぶことができる。	(知・技) 教師の支援を受けて、顔や頭を水面につけようとしたり、水中に入れようとすることができる。 (思･判･表) 水の中で歩いたり走ったりしながら遊ぼうとしている。 (主学) 簡単な決まりを守り、友達や教師の支援を受けて安全に楽しく遊ぼうとしている。	「水遊び・プール学習」 (D 水あそび)	・水遊び（じょうろ、ホース、シャワー、水鉄砲、バケツ、ペットボトル、しゃぼん玉遊び等） ・手足バタバタ★水に慣れよう ・ふりこ（スイング、ドルフィン） ・水中歩き、ワニ歩き ・宝さがし、輪くぐり、汽車ポッポ ・バブリング、ボビング、息継ぎ ・伏し浮き、け伸び、バタ足 ・体の力を抜いて、浮いてみよう！ ・平泳ぎ、クロール
７月				「水遊び・プール学習」 (D 水あそび)	

9月 10月	30	(知及技) 教師の支援を受けて、楽しく器械・器具を使って基本的な運動を行うことができる。 (思判表力) 器械・器具を使っての基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを自分なりの方法で表現することができる。 (学･人) 簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく安全に、器械・器具を使って運動を行うことができる。	(知・技) 教師の支援を受けて、楽しく器械・器具を使って基本的な運動を行おうとしている。 (思･判･表) 器械・器具を使っての基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを自分なりの方法で表現しようとしている。 (主学) 簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく安全に、器械・器具を使って運動を行おうとしている。	「レッツ！サーキット」 (B 器械・器具を使っての運動遊び) (C 走・跳の運動遊び) 「レッツ！サーキット」 (B 器械・器具を使っての運動遊び) (C 走・跳の運動遊び)	・三輪車 ・平均台（渡り歩き、跳び下り等） ・跳び箱（よじ登り、跳び下り、またぎ乗り、またぎ下り等） ・マット運動（横転がり、ゆりかご、前転がり、後ろ転がり等） ・ブランコ、トランポリン ・かけっこ、折り返しリレー ・幅跳び遊び ・ケンパー跳び遊び ・ゴム跳び遊び ※9月は、上記活動よりも、運動会で行う活動の練習が中心となる。
11月 12月		(知及技) 教師の支援を受けて、楽しく走ったり、低いハードルをまたいだり、跳んだりすることができる。 (思判表力) 教師の支援を受けて、決められた距離を自分なりの方法で、最後まで歩いたり、走ったりすることができる。 (学･人) 簡単なきまりを守り、友達と一緒に楽しく走ったり、跳んだりすることができる。	(知・技) 教師の支援を受けて、楽しく走ったり、低いハードルをまたいだり、跳ぼうとしたりしている。 (思･判･表) 教師の支援を受けて、決められた距離を自分なりの方法で、最後まで歩いたり、走ろうとしている。 (主学) 簡単なきまりを守り、友達と一緒に楽しく走ったり、跳ぼうとしたりしている。	「かけっこ・持久走」 (C 走・跳の運動遊び) 「かけっこ・持久走」 (C 走・跳の運動遊び)	・目標決め ・かけっこ ・ミニハードル ・持久走
1月	14	【知及技】 教師の支援を受けて歩いたり、座位姿勢を保持したり、手足を伸ばしたりしながらゲームを楽しむことができる。 【思判表力】 ゲームの中で、友だちや教師の支援を受けて体を動かすことの楽しさや心地よさを、視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 友だちや教師と協力しながら、様々な伝承遊びを楽しむことができる。	【知・技】 教師の支援を受けて歩いたり、座位姿勢を保持したり、手足を伸ばしたりしようとしている。 【思・判・表】 ゲームの中で、友だちや教師の支援を受けて体を動かすことの楽しさや心地よさを、自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 友だちや教師と協力しながら、様々な伝承遊びを楽しもうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「伝承遊び」 A体つくり運動遊び	・相撲 ・羽根つき（風船） ・綱引き ・はないちもんめ
2月		(知及技) 教師の支援を受けて、ボールを使った基本的な運動やゲームを楽しく行うことができる。 (思判表力) ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさや感じたことを自分なりの方法で表現することができる。 (学･人) 簡単なきまりを守り、友達と一緒に安全に、ボールを使って運動やゲームを行うことができる。	(知・技) 教師の支援を受けて、ボールを使った基本的な運動やゲームを楽しく行おうとしている。 (思･判･表) ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさや感じたことを自分なりの方法で表現しようとしている。 (主学) 簡単なきまりを守り、友達と一緒に安全に、ボールを使って運動やゲームを行おうとしている。	「ボールで遊ぼう」 (E ボール遊び)	・転がす、投げる、蹴る、捕る ・的当てゲーム ・ボウリング ・ボッチャ ・ボール運びゲーム ・ティーベースボール ・大玉ドッチボール ・シュートゲーム等

３月		【知及技】 教師の支援を受けて感染症予防について学び、うがいやマスク、手洗い等、基本的な対策を行うことができる。 【思判表力】 体調が悪いときや怪我をして痛いときには教師に知らせたり、手が汚れているときには、その状態を見て、手洗いを行ったりすることができる。 【学・人】 身体計測による体重や身長の変化に興味、関心を持つことができる。	【知・技】 感染症予防として、うがいやマスク、手洗い等を行おうとしている。 【思・判・表】 体調が悪いときや怪我をして痛いときには教師に知らせようとしたり、手が汚れているときには、その状態を見て、手を洗おうとすることができる。 【主学】 昨年と比べて、体重や身長が変化していることを知り、自分の成長を感じることができる。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「健康な生活」 （G 保健）	・大切な体 ・手洗い、うがい、水分補給、着替え ・身体測定 ・感染症予防対策 ・プライベートゾーン
年間を通して		(知及技）教師の支援を受けて、ウォーミングアップやラジオ体操を行うことができる。 (思判表力)集合・整列では、自分の学年に並ぶことができる。 (学･人)教師の言葉かけや簡単な指示で、準備や後片付けを行うことができる。	(知・技）教師の支援を受けて、ウォーミングアップやラジオ体操を行おうとしている。 (思･判･表)集合・整列では、自分の学年に並ぼうとしている。 (主学)教師の言葉かけや簡単な指示で、準備や後片付けを行おうとしている。	「はじまるよ」 （A 体つくり運動遊び）	・ウォーミングアップ ・集合、整列 ・ラジオ体操 ・準備、後片付け
留意点 引継ぎ等		・（A 体つくり運動遊び）ウォーミングアップ、集合・整列は、年間を通して指導する。 ・（F 表現運動）ラジオ体操、ダンスは、年間を通して指導する。 ・（G 保健）健康な生活は、年間を通して指導する ・単元は、児童の興味・関心、実態に応じて精選、入れ替え、変更等、柔軟性を持って取り扱う。			

令和８年度 小学部４年（Ⅱ課程Ａ）　道徳科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	４年	久高　麻子	絵本・動画教材等

年間目標	・自分でできることは、 自ら取り組み、 よいこと悪いことをよく考えて行動する態度を養う。 ・友達と仲良くし、助けあう心を育てるとともに、あいさつや動作などの礼儀を身につける。 ・約束やきまりを守り、集団生活における自分の役割が分かり、最後までがんばる意欲を育てる。 ・身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接する態度を育てる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	13	・教師や友達、他学年の友達に親しみ、学校生活を楽しもうとする心情を育てる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【Ｃ　よりよい学校生活、集団生活の充実】 ・学校は楽しいね	・学級開き ・新転入生を迎える会
		・気持ちのよいあいさつ、言葉遣いを心掛け、明るく接しようとする心情を育てる。 ・父母を敬愛し、進んで家族の役に立とうとする態度を養う。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【Ｂ　礼儀】 ・いろいろな挨拶 【Ｃ家庭生活の充実】 ・家族	・場に応じた挨拶 ・母の日、父の日 ・お手伝い
		・物を大切にし、身の回りを整え、気持ちよく生活をしようとする態度を養う。 ・日頃お世話になっている人々に感謝しようとする心情を育てる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【Ａ　節度、節制】 ・わがままをしない 【Ｂ感謝】 ・日頃お世話になっている人	・自分の持ち物 ・整理整頓 ・清掃
		・うそをついたりごまかしをしたりしないで、素直に伸び伸び生活しようとする態度を養う。 ・自分がやらなければならない勉強や仕事は、しっかりと行おうとする態度を養う。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【Ａ　正直、誠実】 ・いつも素直に 【Ａ希望と勇気、努力と強い意志】 ・自分の仕事	・自分のことは自分で
-	15	・友達の気持ちを考え、だれとでも仲よく助け合っていこうとする心情を育てる。 ・時間を守り、みんなが使う物を大切にしようとする態度を養う。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【Ｂ　友情、信頼】 ・友達と仲よく 【Ｃ規則の尊重】 ・きまりを守って	・人との関わり ・どんなきもち ・物を大切に
		・生命がもつたくましさやすばらしさに気づき、かけがえのない生命を大切にしようとする。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【Ｄ　生命の尊さ】 ・生命がもつ力	・けがをしたとき ・防災について

2学期		・身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接しようとする心情を育てる。 ・働くことのよさを感じて、みんなのために働こうとする心情を育てる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【D　自然愛護】 ・自然の中で 【C　公共の尊重】 ・働くことのよさ	・草花の栽培、観察 ・当番の役割 ・色々な職業
		・よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行おうとする態度を養う。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【A　善悪の判断、自律、自由と責任】 ・よいと思うことをすすんで 【B親切、思いやり】 ・温かい心で親切に	・良いこと、悪いこと
3学期	7	・友達や自分に対する理解を深め、自分のよさを実感し、自分の長所を伸ばそうとする心情や実践意欲と態度を育てる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【A　個性の伸長】 ・よいところをみつけよう ・すきなものを見つけよう	・自分の成長を振り返る ・家族への感謝
		・自ら働くことのよさや楽しさについて考え、すすんでみんなのために働こうとする。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C　勤労・公共の精神】 ・楽しく働く	・自分の役割
		・言葉の大切さを理解し、相手が笑顔になるような言葉を使おうとする実践意欲と態度を育てる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C　公正、公平、社会正義】 ・うれしくなる言葉	・お父さんお母さんへ、卒業生へ、先生へ
年間を通して		・自分の成長に気付いたり、友達の成長を祝う気持ちを持つ。 ・草花や野菜のお世話をしたり、観察をしたりして成長を見る。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【D　生命の尊さ】 ①誕生日を祝おう 【D　自然愛護】 ②草花や野菜を育てよう	・誕生会 ・キャリアパスポート ・草花の栽培
留意点 引継ぎ等					

令和８年度 小学部４年（Ⅱ課程Ａ）　外国語活動　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35時間	4年生		

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	(知及技) 外国語を用いた体験的な活動を通して、日本語と外国語の音声の違いなどに気付き、外国語の音声に慣れ親しむようにする。 (思判表力)身近で簡単な事柄について、外国語に触れ、自分の気持ちを伝え合う力の素地を養う。 (学･人)外国語を通して、外国の文化などに触れながら、言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	13	(知及技) 英語の歌や日常になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しむ。 (思判表力) 映像や音声に興味や関心を持って見たり聞いたりする。 (学・人) 意欲的に活動に参加する。	(知及技) 英語の歌や日常になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しもうとしている。 (思判表力) 映像や音声に興味や関心を持って見たり聞いたりしようとしている。 (学・人) 意欲的に活動に参加しようとしている。	「自己紹介をしよう」 「挨拶をしよう」 「What color?」 ・色 「いろいろな英語を知ろう」 ・曜日、天気 「what do you like」 ・好きな色 ・好きな野菜 「いろいろな英語を知ろう」 ・好きな果物	・言語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさを知ること。【(1)ア】 ・既に知っている活動や場面で、英語の挨拶や語などを聞き取る活動【(3)ア】 ・歌やダンス、ゲームで、簡単な語や身振りなどを使って表現する活動。【(3)①イ(ｲ)】
2学期	15	(知及技) 日常生活の中で触れる機会の多い語のうち、簡単な英語で表すことができるものの音声表現を知る。 (思判表力) 英語を用いた映像や音声に興味や関心を持って見たり聞いたりする。 (学・人) 授業中や学校生活の中で、英語や外国の文化に気付くことができる。	(知及技) 日常生活の中で触れる機会の多い語のうち、簡単な英語で表すことができるものの音声表現を知ろうとしている。 (思判表力) 英語を用いた映像や音声に興味や関心を持って見たり聞いたりしようとしている。 (学・人) 授業中や学校生活の中で、英語や外国の文化に気付こうとしている。	「アルファベットを探そう」 「外国の文化についてしろう」 ・ハロウィン 「ゲームをしよう」 「外国の文化についてしろう」 ・クリスマス	・英語の歌や日常生活になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しむこと。【(1)イ(ｱ)】 ・外国の生活や行事などに触れ、日本と外国の生活や違いを知ること。【(1)イ(ｲ)】 ・歌やダンス、ゲームで、簡単な語や身振りなどを使って表現する活動。【(3)①イ(ｲ)】
3学期	7	(知及技) 言語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさを知る。 (思判表力) 英語を真似て話そうとしたり、相手の質問や要求に応じる。 (学・人) 言葉やジェスチャー、指さしなどで、進んでコミュニケーションをとろうとする。	(知及技) 言語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさを知る。 (思判表力) 英語を真似て話そうとしたり、相手の質問や要求に応じる。 (学・人) 言葉やジェスチャー、指さしなどで、進んでコミュニケーションをとろうとする。	「新年の過ごし方」 「お店ごっこをしよう」 「一年間のまとめをしよう」	・既に知っている物や事柄に関する語などを聞き、それが表す内容を実物や写真などと結び付ける活動。【(3)①ア(ｲ)】 ・言語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさを知ること。【(1)ア】 ・歌やダンス、ゲームで、簡単な語や身振りなどを使って表現する活動。【(3)①イ(ｲ)】

留意点引継ぎ等	

令和８年度 小学部　４年　（Ⅱ課程A）　特別活動　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	４年	久高　麻子	自作教材・イラスト・写真等

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解する。 (思判表力)集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができる。 (学･人)自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	13	･学級で目標を決める大切さを知り、意見を出し合って学級目標を作ることができる。（知及技） ･自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。（学･人） ･自分の好きなことや将来について考えることができる。（思判表力） ･同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。（学･人） ･一学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。（思判表力） ･夏休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。（知及技）	･学級で目標を決める大切さを知り、意見を出し合って学級目標を作ろうとしている。（知・技） ･自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。（主学） ･自分の好きなことや将来について考えようとしている。（思･判･表） ･同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。（主学） ･一学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。（思･判･表） ･夏休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいか自分で考えようとしている。（知・技）	･学年、学級開き ･一学期頑張ろう会 ･学級目標作り ･係活動を決めよう ･キャリアパスポート作り ･一学期の目標 ･学校間交流 （･居住地校交流） ･キャリアパスポートの活用 ･一学期頑張った会 ･夏休みに向けて	・新しい学級の友達や先生を知る。 ・一学期頑張ろう会に参加する。 ・一学期の行事の確認 ・学級目標を決めて、書いて教室に貼る。 ・一学期の係活動を決める。 ・一学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、選んだりして発表する。 ・交流会の日時を知る。 ・異学年や他校の友達と歌を歌ったり、簡単なゲームしたりして交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・一学期頑張った会に参加する。 ・夏休みの過ごし方を考えたり話し合ったりする。

2学期	15	・２学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知及技） ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。（学・人） ・自分の好きなことや将来について考えることができる。（思判表力） ・集団で活動するよさを知り、集団での活動に参加することができる。（知及技） ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。（学・人） ・二学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。（思判表力） ・冬休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。（知及技）	・２学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知・技） ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。（主学） ・自分の好きなことや将来について考えようとしている。（思・判・表） ・集団で活動するよさを知り、集団での活動に参加することができる。（知・技） ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。（主学） ・二学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。（思・判・表） ・冬休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。（知及技）	・二学期頑張ろう会 ・キャリアパスポート作り ・二学期の目標 ・係活動を決めよう ・学校間交流（・居住地校交流） ・キャリアパスポートの活用 ・二学期頑張った会 ・冬休みに向けて	・二学期頑張ろう会に参加する。 ・二学期の行事の確認 ・二学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、イラスト等を貼ったりする。 ・二学期の係活動を決める。 ・児童集会に参加する。 ・異学年や他校の友達と歌を歌ったり、簡単なゲームしたりして交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・二学期頑張った会に参加する。 ・冬休みの過ごし方を考えたり話し合ったりする。
3学期	7	・３学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知及技） ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。（学・人） ・自分の好きなことや将来について考えることができる。（思判表力） ・集団での活動に参加することができる。（学・人） ・生年者のこれまでの成長の記録を見聞きし、自分自身のことについて振り返ることができる。（学・人） ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。（学・人） ・一年間を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。（思判表力） ・進級する学年・学部が現在と違いがあることを知り、今後の行事や学習について希望を持つ。（知及技）	・３学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知・技） ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。（主学） ・自分の好きなことや将来について考えようとしている。（思・判・表） ・集団での活動に参加しようとしている。（主学） ・生年者のこれまでの成長の記録を見聞きし、自分自身のことについて振り返ろうとしている。（主学） ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。（主学） ・一年間を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。（思・判・表） ・進級する学年・学部が現在と違いがあることを知り、今後の行事や学習について希望を持ち、伝えようとしている。（知・技）	・三学期頑張ろう会 ・キャリアパスポート作り ・三学期の目標 ・係活動を決めよう ・生年祝い ・学校間交流（・居住地校交流） ・キャリアパスポートの活用 ・三学期頑張った会 ・進級学年・学部について	・三学期頑張ろう会に参加する。 ・三学期の行事の確認 ・三学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、イラスト等を貼ったりする。 ・三学期の係活動を決める。 ・あおぞら集会に参加する。 ・生年祝いの運営 ・生年祝いに参加し、生年者とともに成長の喜びを感じる。 ・他学年の児童と交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・三学期頑張った会に参加する。 ・次の学年や学部について考える。

留意点 引継ぎ等	

あおぞら会（幼児児童生徒会）

学期	時数	活動の目標	活動・単元名	指導・活動内容
1学期	2	異年齢の生徒同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営をすることに自主的、実践的に取り組むことを通して、第１の目標（特別活動全体の目標）に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	･第１回あおぞら集会 ･第２回あおぞら集会	・新役員紹介 ・年間活動計画 ・令和８年度幼児児童生徒総会
2学期	2		･第３回あおぞら集会 ･特体連報告放送	・特体連選手激励会 ・特体連激励放送 ・特体連報告放送
3学期	3		･第４回あおぞら集会 ･第５回あおぞら集会 ･第６回あおぞら集会	・あおぞら役員選挙告示（選挙の内容の説明） ・立会演説会 ・体育館で投票 ・新役員の任命式及び引き継ぎ式 ・当選セレモニー ・当選証書授与

※あおぞら（幼児児童生徒）集会のある週の水曜日にあおぞら（幼児児童生徒）役員会を設定する（役員のみ）。
　なお、各学部と調整して柔軟に日程は変更する。
※あおぞら会と学級活動の時数を合わせて、１学期１３回、２学期１５回、３学期７回の時数となる。

学校行事

学期	時数	活動の目標	活動・単元名	指導・活動内容
1学期	10	全校又は学年の児童で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、第１の目標（特別活動全体の目標）に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	･１学期始業式、終業式 ･身体測定 ･地震火災津波避難訓練 ･内科検診、歯科検診、心電図	・先生の話を聞く。 ・自分の成長を知る。 ・安全に気をつけて行動することができる。 ・検査を落ち着いて受けることができる。 ・月ごとの振り返り
2学期	13		･２学期始業式、終業式 ･火災避難訓練 ･全校作業	・先生の話を聞く。 ・安全に気をつけて行動することができる。 ・月ごとの振り返り ・各行事の準備などの取り組み
3学期	5		･３学期始業式、修了式 ･全校作業 ･卒業式準備	・先生の話を聞く。 ・行事に意欲的に参加できる。 ・月ごとの振り返り ・各行事の準備などの取り組み

令和８年度　小学部４年（Ⅱ課程Ｂ）　生活科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
210	４年	田港　義剛	絵本・教育動画等

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）具体的な活動や体験を通して、生活に必要な習慣や技能を身に付けるようにする。 (思判表力)自分自身や身の回りの生活のことなどについて、考えたり表現したりすることができる (学･人)自分のことに取り組んだり、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりする態度を養う

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	65	（知及技）生活習慣に関わる初歩的な知識や技能を身に付けることができる。 （思判表力）簡単な身辺処理に気付き、教師と一緒に行おうとすることができる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技）生活習慣に関わる初歩的な知識や技能を身に付けようとしている。 （思・判・表）簡単な身辺処理に気付き、教師と一緒に行おうとする。 （主学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「やってみよう」 （ア基本的生活習慣） 「どんな一日？」 （カ日課・予定）	・簡単な身辺処理を教師と一緒に行う。 ・朝の会等で教師と一緒に日課を確認したり、日課に沿って行動したりする。
		（知及技）身の回りの遊びや自然の中から自分の好きな遊びを見つけたり、生命や自然に触れたりすることができる。 （思判表力）身の回りにある生命や自然、遊びに気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとすることができる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技）身の回りの遊びや自然の中から自分の好きな遊びを見つけたり、生命や自然に触れたりしようとする。 （思・判・表）身の回りにある生命や自然、遊びに気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとする。 （主学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「いろいろな遊び」 （エ遊び） 「自然に触れよう」 （サ生命・自然）	・教師と一緒に遊んだり、自分の好きな遊びを見つけたりする。 ・遠足や校外学習で、身の回りにある自然や生き物に触れる。
		（知及技）学校生活で関わる教室や先生たちを知ることができる。 （思判表力）自分に身近な先生が分かり、挨拶をしたり気持ちを安定させて学習することができる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技）学校生活で関わる教室や先生たちを知ろうとする。 （思・判・表）自分に身近な先生が分かり、挨拶をしたり気持ちを安定させて学習しようとする。 （主学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「学校ってどんなところ？」 （ケきまり）	・学校探検などで、身の回りにある教室や先生たちを知り、徐々に学校生活に慣れる。
		（知及技）状況に応じて安全な行動を教師と一緒に取るための知識・技能を身に付けることができる。 （思判表力）身の回りの安全に気付き、教師と一緒に安全な生活に取り組もうとすることができる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技）状況に応じて安全な行動を教師と一緒に取るための知識・技能を身に付けようとする。 （思・判・表）身の回りの安全に気付き、教師と一緒に安全な生活に取り組もうとする。 （主学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「きまりを知ろう」	・交通安全教室や学校周辺の散歩を通して、横断歩道を安全に渡る経験をする ・教師と一緒に避難場所まで安全に避難する（避難訓練）。

2学期	75	（知及技）様々な集団の中で活動することに慣れたり、その中で教師と一緒に簡単な役割を果たすことができる。 （思判表力）身の回りの集団や役割に気付き、一緒にやろうとしたり関心をもったりすることができる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技）様々な集団の中で活動することに慣れたり、その中で教師と一緒に簡単な役割を果たそうとする。 （思・判・表）身の回りの集団や役割に気付き、一緒にやろうとしたり関心をもったりしようとする。 （主学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「一緒にやってみよう」 （カ役割）	・友達と一緒に活動したり、簡単な役割を教師と一緒に行ったりする。
		（知及技）身近な公共施設があることを知り、教師と一緒に安全に利用することができる。 （思判表力）公共施設には、働く人がいることや利用者がいることなど、学校との雰囲気の違いに気付き、表現することができる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知及技）身近な公共施設があることを知り、教師と一緒に安全に利用しようとしている。 （思判表力）公共施設には、働く人がいることや利用者がいることなど、学校との雰囲気の違いに気付き、表現しようとしている。 （主学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「いろいろな場所を知ろう」 （コ社会の仕組みと公共施設）	・校外学習や社会科見学を通して、利用のきまりやマナーがあることを知ったり、教師と一緒に利用したりする。
		（知及技）自分の通う学校の近くには、いくつかの小学校があり、同年齢の子どもたちが学んでいることを知ることができる。 （思判表力）他校の子どもたちとの交流学習で一緒に活動し、同じ時間を共有する楽しさを表現することができる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技）自分の通う学校の近くには、いくつかの小学校があり、同年齢の子どもたちが学んでいることを知ろうとしている。 （思・判・表）他校との交流学習で一緒に活動し、同じ時間を共有する楽しさを感じて表現しようとしている。 （主学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「いろいろな場所を知ろう」 （コ社会の仕組みと公共施設）	校外学習や社会科見学を通して、利用のきまりやマナーがあることを知ったり、教師と一緒に利用したりする。
		（知及技）教師と一緒に自動販売機を使ったり、簡単な買い物ができる。 （思判表力）お金を入れようとしたり、お店の人にお金を渡したりトレイに置くことができる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知及技）教師と一緒に自動販売機を使ったり、簡単な買い物をしようとする。 （思判表力）お金を入れようとしたり、お店の人にお金を渡したりトレイに置いたりしようとする。 自動販売機から品物が出ることに気付こうとする。 （主学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「買い物をしよう」 （ク金銭の扱い）	・教師と一緒に学校周辺の自動販売機を使ったり、知念商会で簡単な買い物をしたりする経験をする。
3学期	35	（知及技）友達やいろいろな教師と関わり合いながら、季節の遊びや遊具を使った遊びをすることができる。 （思判表力）人と関わり合いながら遊ぶことの楽しさに気付き、自ら周りに働きかけることができる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技）友達やいろいろな教師と関わり合いながら、季節の遊びや遊具を使った遊びをしようとする。 （思・判・表）人と関わり合いながら遊ぶことの楽しさに気付き、自ら周りに働きかけようとする。 （主・学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「いろいろな遊び」 （エ遊び）	・季節の遊びをしたり、遊具で遊んだりするなど、教師や友達がいる場所で遊んだり、一緒に遊んだりする。
		（知及技）教師と一緒に散歩し、自分の通う学校周辺の様子を知ることができる。 （思判表力）学校周辺にあるお気に入りの場所を見つけ、友達や先生に教えたり一緒に行ったりすることができる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技）教師と一緒に散歩し、自分の通う学校周辺の様子を知ろうとしている。 （思・判・表）学校周辺にあるお気に入りの場所を見つけ、友達や先生に教えたり一緒に行ったりしようとしている。 （主学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「いろいろな場所を知ろう」 （コ社会の仕組みと公共施設）	・学校周辺を教師と一緒に散歩し、晴れや雨などの天候の違いに気付いたり，地域の行事や四季の移り変わりを感じたりする。

		（知及技）気持ちを伝える言葉や挨拶があることを知ったり聞いたりできる。 （思判表力）気持ちを表す言葉や挨拶をしたり、自分なりに気持ちを表現したりできる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技）気持ちを伝える言葉や挨拶があることを知ったり聞いたりできる。 （思・判・表）気持ちを表す言葉や挨拶をしたり、自分なりに気持ちを表現したりできる。 （主学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「気持ちを伝えよう」 （オ人との関わり）	気持ちを伝える言葉や挨拶があることを知ったり聞いたりして、自分なりに気持ちを表す経験をする。
年間を通して		（知及技）生活習慣に関わる初歩的な知識や技能を身に付けることができる。 （思判表力）簡単な身辺処理に気付き、教師と一緒に行おうとすることができる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技）生活習慣に関わる初歩的な知識や技能を身に付けようとしている。 （思・判・表）簡単な身辺処理に気付き、教師と一緒に行おうとする。 （主学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「やってみよう」 （ア基本的生活習慣）	・できる力を活かしながら、簡単な身辺処理を教師と一緒に行ったり、少しずつ支援を減らしてできるようにしたりする。
年間を通して		（知及技）教師の言葉かけを聞いたり、手をとってもらったりしなが一緒に行動することにより、簡単な日課に気付くことができる。 （思判表力）教師からの言葉かけや誘いを聞き、自ら活動に向かったり、教師と一緒に参加したりすることができる。 （学・人）身の回りの簡単な日課に関心や見通しをもって、行動しようとすることができる。	（知・技）・教師の言葉かけを聞いたり、手をとってもらったりしなが一緒に行動することにより、簡単な日課に気付こうとしている。 （思・判・表）教師からの言葉かけや誘いを聞き、自ら活動に向かったり、教師と一緒に参加したりしようとしている。 （主学）身の回りの簡単な日課に関心や見通しをもって、行動しようとしている。	「どんな一日？」 （カ日課・予定）	・朝の会等で教師と一緒に日課を確認したり、日課に沿って行動したりする。
年間を通して		（知及技） 身近な植物（野菜や花など）の世話をしたり、身近な自然を知ったりすることができる。 （思判表力） 身近な植物の成長や変化に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えることができる。 （学・人） 身の回りの生命や自然に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技） 身近な植物（野菜や花など）の世話をしたり、身近な自然を知ったりしようとしている。 （思・判・表） ・身近な植物の成長や変化に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 （主・学） 身の回りの生命や自然に興味や関心をもって学習しようとしている。	「自然に触れよう」 （サ生命・自然）	・季節の変化に合わせた、簡単な植物の栽培や収穫を教師と一緒にし、生長に伴う変化を触ったり嗅いだりして知る。
年間を通して		（知及技）身の回りの遊びに気付き、教師や友達と一緒に遊んだり、遊具を使って遊ぶことができる。 （思判表力）教師の働きかけを受け入れ、いろいろな遊びをしたり、自分の好きな遊びを選んだりすることができる。 （学・人）周囲に好奇心をもったり身の回りの遊びなどに関心をもったりすることができる。	（知・技）身の回りの遊びに気付き、教師や友達と一緒に遊んだり、遊具を使って遊ぼうとしたりしている。 （思・判・表）教師の働きかけを受け入れ、いろいろな遊びをしたり、自分の好きな遊びを選んだりしようとしている。 （主・学）周囲に好奇心をもったり身の回りの遊びなどに関心をもったりしようとしている。	「いろいろな遊び」 （エ遊び）	・自分の好きな遊び ・教師とごっこ遊び ・遊具を使った遊び ・後片付け
留意点 引継ぎ等					

令和８年度　小学部４年（Ⅱ課程Ｂ）　国語科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
105	４年	田港　義剛	絵本・パネルシアター等

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 身近な事象や物などに名前があることに気づくことができる。（小１段階） (思判表力)言葉による人との関わりを受け入れたり、自分の思いを持ったりする。（小１段階） (学･人)言葉の響きや関わることの良さに気づき、自分なりに応えようとする。（小１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
１学期	26	(知及技) 呼名や読み聞かせなどに気づき、言葉の持つ音やリズムに興味を持つことができる。(ア言葉の特徴（イ）)(イ我が国の言語文化（ア）（エ）) (思判表力) 身近な人の言葉かけや学校生活に関する事物の話に気づき、自分なりに応じることができる。(A　聞くこと・話すこと　アイ)(C　読むことイ) (学・人) 言葉の響きや関わることの良さに気づき、自分なりに応えようとする。（小１段階）	(知・技) 教師の言葉に注目し、自分と友達の名前の違い、具体物に特定の音のリズムがあることなどに気づいているか。 (思・判・表) 身近な人の話しかけに注目したり、応じたりしようとしているか。 （主学）学校生活に関する言葉や挨拶などに関心を持ち、受け入れたり、働きかけようとしているか。 (評価資料) 活動の様子の観察で評価する。（目線、表情、動作、発声、発語など）	「学校だいすき」 (A聞くこと・話すこと) 「いろいろな言葉」 (A聞くこと・話すこと)	・呼名された時に、発声や身振り手振りなどで応える。（知及技に関する活動） ・絵本の読み聞かせやパネルシアターなどを通して、様々な言葉を聞いたり、リズムや抑揚などを感じたりする。（知及び技に関する活動） ・校内を散策、関心のある人や遊具などがある場所で過ごしながら、教師の言葉に耳を傾ける。（思判表力に関する活動）
２学期	30	(知及技)遊びを通して、言葉の持つ楽しさに気づくことができる(イ我が国の言語文化（イ）) いろいろな筆記用具に触れ、書くことに気づいたり、興味を持ったりする。(イ　我が国の言語文化（ウ）) (思判表力)活動を通して出てくる、身近な事物に気づき、興味を持つことができる。（A　聞くこと・話すこと　ア）（C　読むこと　アウエ） (学・人)言葉の響きや関わることの良さに気づき、自分なりに応えようとする。（小１段階）	(知・技)遊びや教師の言葉に注目し、具体物や出来事に対し、言葉が結びついているか。 (思・判・表)活動に対し、期待感を持っていたり、また期待感を持っていることを伝えようとしたりしているか。 (主学)学校生活に関する言葉や挨拶などに関心を持ち、受け入れたり、働きかけようとしているか。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。（目線、表情、動作、発声、発語など）	「やりとりを楽しもう」 (A聞くこと・話すこと　C読むこと) 「言葉で遊ぼう」 (A聞くこと・話すこと)	・応答遊びや声まね遊びなどを通して、言葉に応じることに関心をもつ（知及技に関する活動） ・感触遊びを通して、擬音語や擬態語などの言葉の響きに触れる。（知及技に関する活動） ・絵本の読み聞かせやパネルシアターに注目したり、教師の言葉に対して、表情や身振り手振りなどで応えたりする。（思判表力に関する活動）
３学期	14	(知及技)読み聞かせなどの活動を通して、言葉が物事を表していることを感じることができる。（ア　言葉の特徴（ア）） (思判表力)自分にとって心地よいまたは苦手な活動や言葉かけに気づき、それを表情や身振り手振りで伝えることができる。（A　聞くこと・話すこと　ウ） 身近な人との関わりや出来事について伝えたり、好きなことを選んだりすることができる。（B　書くことアイ） (学・人)言葉の響きや関わることの良さに気づき、自分なりに応えようとする。（小１段階）	(知・技)遊びや教師の言葉に注目し、活動に対する見通しを持っているか。出来事と言葉が結びついている様子が見られるか。 (思・判・表)自分の好きな活動、苦手な活動を、自分なりに伝えようとしているか。 (主学)学校生活に関する言葉や挨拶などに関心を持ち、受け入れたり、働きかけようとしているか。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。（目線、表情、動作、発声、発語など）	「つたえよう」 (A聞くこと・話すこと) 「絵本だいすき」 (A聞くこと・話すこと)	・読み聞かせや体験的活動などと言葉を結びつける経験を重ねる。（知及技に関する活動） ・学習活動の中で、自身が好きな活動もしくは苦手な活動を表情や身振り手振りなどで伝える。（思・判・表） ・振り返りの中で、提示された具体物や絵カードなどから自身が好きな活動を選ぶことができる。（思・判・表）
留意点 引継ぎ等					

令和８年度　小学部４年（Ⅱ課程Ｂ）　算数科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
105	４年	田港　義剛	絵本・パズル・具体物等

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けるようにする。 (思判表力)日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・明確に表したり柔軟に表したりする力を養う。 (学･人)数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結びつけてよりよく問題を理解しようとする態度、算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	26	(知及技) ・具体物に気付いて指を差したり、つかもうとしたり、目で追ったりすることができる。 ・教師と一緒にものとものとを対応させて配ることができる。 (思判表力) ・対象物に注意を向け、対象物の存在に注目し、諸感覚を協応させながら捉えることができる。 ・ものとものとを関連付けることに興味を向け、ものの属性に注目し、仲間であることを判断したり表現したりすることができる。 (学・人) ・数学的活動の楽しさに気付き、興味関心を持って学習することができる。	(知・技) ・具体物に気付いて指を差したり、つかもうとしたり、目で追ったりしている。 ・教師と一緒にものとものとを対応させて配ろうとしている。 (思・判・表) ・対象物に注意を向け、対象物の存在に注目し、諸感覚を協応させながらとらえようとしている。 ・ものとものとを関連付けることに興味を向け、ものの属性に注目し、仲間であることを判断したり表現しようとしている。 (主学) ・数学的活動の楽しさに気付き、興味関心を持って学習しようとしている。	「さわってみよう・さがしてみよう」 A数量の基礎 ア具体物の有無 「一つずつあわせてみよう」 イものとものとの対応	具体物に触れたり、目で追ったりする。 目の前で隠されたものを探したり、身近にあるものや人の名を聞いて指を差したりする。 ・身の回りのものに気付き、対応させたり、組み合わせたりする。 ・1対1対応しながら配布 ・荷物や食器を定位置に片付ける ・指さし、追視、つかむ、探す ・絵本の読み聞かせ、音絵本、パネルシアター ・プットイン教材 ・ソフト積み木
2学期	30	(知及技) ・教師と一緒に５までの範囲を数唱することができる。 (思判表力) ・数詞とものの関係に着目し、数のまとまりや数え方に気付き、学習や生活に生かすことができる。 (学・人) ・数学的活動の楽しさに気付き、興味関心を持って学習することができる。	(知・技) ・教師と一緒に５までの範囲を数唱しようとしている。 (思・判・表) ・数詞とものの関係に着目し、数のまとまりや数え方に気付き、学習や生活に生かそうとしている。 (主学) ・数学的活動の楽しさに気付き、興味関心を持って学習しようとしている。	「かぞえてみよう」 B数と計算 イ数えることの基礎	教師と一緒に、身の回りのものを数えたり、数唱したりして生活に生かす経験をする。 ・友だちの数、おやつの数 ・交代で遊具遊びをする ・絵本の読み聞かせ ・パネルシアター
3学期	14	(知及技) ・教師と一緒に似ているもの二つを結びつけることができる。 (思判表力) ・ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付き、日常生活の中で関心をもつことができる。 (学・人) ・数学的活動の楽しさに気付き、興味関心を持って学習することができる。	(知・技) ・教師と一緒に似ているもの二つを結びつけようとしている。 (思・判・表) ・ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付き、日常生活の中で関心をもとうとしている。 (主学) ・数学的活動の楽しさに気付き、興味関心を持って学習しようとしている。	「おなじものをさがそう」C図形 ア分類・整理	形の違いに気付く。 明確に異なる2種類の具体物から同じものを見つける。 ・食器や道具のを定位置に片付ける ・絵本の読み聞かせ、音絵本 ・パネルシアター ・ソフト積み木 ・型はめパズル
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 小学部４年（Ⅱ課程Ｂ）　音楽科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	Ⅱ課程Bの児童	荷川取　優	音楽動画・音声教材

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)音や音楽に注意を向けて気づくとともに、関心を向け、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりにつながる技能を身に付けるようにする。（小１段階） (思判表力)音楽的な表現を楽しむことや、音や音楽に気づきながら関心や興味をもって聴くことができるようにする。（小１段階） (学･人)音や音楽に気づいて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとする態度を養う。（小１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	（知及技） ・音や音楽に気づき、音を感じながら、表情や発声、身体の動きで表現することができる。 （思判表力） ･色々な楽器に興味･関心をもち、手を伸ばしたり、音を出したりして楽器に親しむことができる。 （学・人） ･教師や友だちと一緒に音楽活動をする楽しさを感じることができる。	（知･技） ・音や音楽に気付き、音を感じながら、表情や発声、身体の動きで表現しようとしている。 （思･判･表） ･色々な楽器に興味･関心をもち、手を伸ばしたり、音を出したりして楽器に親しもうとしている。 （主学） ･教師や友だちと一緒に音楽活動をする楽しさを感じようとしている。	「どんなうたがあるかな」(音) ・おへんじうた ・こいのぼり ・ウォークアンドストップ	・おへんじうたに合わせて、名前が呼ばれたら、タンバリン等を打って応じる。 ・教師と一緒に身体を揺らして３拍子を感じたり、音楽を通してこいのぼりに関心をもつ。 ・「どんぐりころころ」「ピンクパンサーのテーマ曲」の曲の雰囲気、テンポの変化に合わせて、歩いたり止まったりする。
				「どんなうたがあるかな」(音) ・こいのぼり ・おべんとうばこのうた ･校歌ダンス 「ならしてみよう」 ・がっきをならそう ・おおきなたいこ 「楽器の音をきいてみよう」(鑑) ・ドラムかんアンサンブル	・前月同様 ・教師の手本やパネルシアターなどの視覚教材を見聞きする。 ・校歌に合わせて旗を振る練習をする。 ・「楽器をならそう」という呼びかけに答えて簡単な打楽器を鳴らす。 ・大太鼓「どーんどーん」、小太鼓「とんとんとん」の歌詞に合わせて演奏する。
				「うたおう」(音) ・ばすにのって ・白保と八特の子ども ・月桃 「ならしてみよう」 ・たなばたさま ･がっきをならそう ・おおきなたいこ 「みてきいて」(鑑) ・あめふりくまのこ ・ハンガリー舞曲第５	・曲に合わせて、友達、教師と共に身体を動かす。 ・白保小との交流会に向けて、曲を知る。 ・PPを見ながら、八重山の自然を感じ、平和の素晴らしさを感じる。 ・星空の映像を見ながら、ツリーチャイムを鳴らしたり、鈴をならしたりして、季節の音楽を楽しむ。 ・パネルシアターを楽しむ。 ・曲に合わせて、新聞紙をビリビリしたり、投げたりする。
				「うたおう」(音) ・うみ ・たなばたさま 「ならしてみよう」 ･がっきをならそう ・おおきなたいこ 「みてきいて」(鑑) ・プロジェクションマッピング	・小豆や砂を使って、海の波の音を作る。 ・前月同様

2学期	30	（知及技） ・拍や曲の特徴的なリズムを感じながら、表情や発声、身体の動きで表現することができる。 （思判表力） ・教師と一緒に曲に合わせて楽器の音を奏でたり、音色を楽しんだりすることができる。 （学・人） ･教師や友だちと一緒に音楽活動をする楽しさを表現することができる。	（知・技） ・拍や曲の特徴的なリズムを感じながら、表情や発声、身体の動きで表現しようとしている。 （思・判・表） ・教師と一緒に曲に合わせて楽器の音を奏でたり、音色を楽しんだりしようろしている。 （主学） ･教師や友だちと一緒に音楽活動をする楽しさを表現しようとしている。	「からだを動かそう」（音） ・とんぼのめがね ・あたま・かた・ひざ・ぽん ・校歌ダンス 「一緒に音を楽しもう」（鑑） ・３びきのやぎのがらがらどん	･セロファンでとんぼの色眼鏡を作って、曲に合わせてとんぼになりきる。 ・身体の部位の名称に合わせて触れる。 ・曲に合わせてペープサートを視聴し、登場人物になったつもりで声を発したり、身体を揺らしたりする。
				「からだを動かそう」（音） ・おばけなんてないさ ・おやつたーべよ ・バスごっこ 「一緒に音を楽しもう」（鑑） ・おもちゃのへいたい	・曲に合わせて、手足を動かしたり、身体を揺らしたり、繰り返し出てくる「さ」の部分で声を出したり、ジャンプしたりする。 ・教師の歌いかけに応じて、一人ずつ順番に動作したり、楽器をならしたり、声を出したりする。 ・段ボールで作ったバスに乗ったり、曲に合わせて友達に切符を渡したりして楽しむ。 ・曲に合わせて、パネルシアターを楽しむ。
				「楽器をならそう」（音） ・きらきらぼし 「むかいあってたのしくあそぼう」（音） ・とんとんとんとん ・むすんでひらいて 「うたやリズムを楽しもう」（鑑） ・おどるねこ	・曲に合わせて、友達と交代しながら楽器を演奏する。 ・友達や先生と向かい合って、曲に合わせて手遊びをする。
				「楽器をならそう」（音） ・赤鼻のトナカイ 「うたやリズムを楽しもう」（鑑） ・あわてんぼうのサンタクロース	･季節の曲を楽しむ。 ･曲に合わせて、パネルシアターを楽しむ。 ・クリスマス会の練習

3学期	14	（知及技） ・音楽遊びを通して、身の回りの音や音の面白さに気付くことができる。 （思判表力） ･身近な人の演奏に触れ、好きな音色や楽器の音を見付けたり、身体表現したりしながら聴くことができる。 （学・人） ･様々な音楽作品を鑑賞し、音楽に親しみ興味関心を深めることができる。	（知･技） ・音楽遊びを通して、身の回りの音や音の面白さに気付くことができる。 （思･判･表） ･身近な人の演奏に触れ、好きな音色や楽器の音を見付けたり、身体表現したりしながら聴くことができる。 （主学） ･様々な音楽作品を鑑賞し、音楽に親しみ興味関心を深めることができる。	「手遊びしよう」 「どうぶつになって」 （音） ・のねずみ ・くまさんくまさん 「わらべうたであそぼう」（音）（鑑） ・なべなべそこぬけ ・はないちもんめ	・児童と向かい合ってくすぐりなどで触れ合って遊ぶ。 ・歌詞に合わせた動作で踊る。 ・曲に合わせて、昔遊びを楽しむ。
				「げんきなこえでうたおう」（音） ・まめまき ・おにのパンツ 「卒業式に向けて」 （音）・卒業式の歌 「音や音楽をきいて、自分なりの楽しさをみつけよう」（鑑） ・はらぺこあおむし	・季節の歌を楽しむ。 ・曲に合わせて踊る。 ・パネルシアターを楽しむ。
				「歌って踊って」（音） ・ちぇっちぇっこり 「卒業式に向けて」 （音）・卒業式の歌 「音や音楽をきいて、自分なりの楽しさをみつけよう」（鑑） ・思い出のアルバム	・曲の速さを変えながら、身体を揺らして楽しくダンスをする。また、曲に合わせて自分の好きな楽器を鳴らす。 ・みんなの1年間を振り返るPPを作り、曲に合わせて１年間でがんばったこと成長したことを振り返る。
留意点 引継ぎ等					

令和８年度　小学部４年（Ⅱ課程Ｂ）　図画工作科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	４年	田港　義剛	用具（ハサミ、ペン、のり、彫刻刀など） 材料（紙、粘土、絵の具、布、小麦粉、自然物など） 説明用視覚教材　　など

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとするようにする。 (思判表力)表したいことを思い付いたり、作品を見たりできるようにする。 (学･人)表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付こうとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	26	(知及技) 教師と一緒に自然物や人工物など、身近にあるものを目で見たり、手で触れたり、力を加えて変化を楽しむことができる。 (思判表力) 手や体全体の感覚を働かせて、教師と一緒に表現しようとすることができる。 (学・人) ・表現や鑑賞の活動の楽しさや喜びに気付き、興味や関心をもって学習に取り組むことができる。	(知・技) 教師と一緒に自然物や人工物など、身近にあるものを目で見たり、手で触れたり、力を加えて変化を楽しもうとしている。 (思・判・表) 手や体全体の感覚を働かせて、教師と一緒に表現しようとしている。 (主学) ・表現や鑑賞の活動の楽しさや喜びに気付き、興味や関心をもって学習に取り組もうとしている。	「作ってみよう　～ぺたぺた～」 (A表現)	「作ってみよう　～ぺたぺた～」 (A表現)
				「クレヨンを使って描いてみよう」 (A表現)	・家族の写真や両親の写真を見て思い浮かべながら、教師と一緒に自由に描き、組み合わせてお母さんやお父さんを描く。 ・母の日 ・父の日
				「作ってみよう　～貝殻、木の実、小枝を使って～」 (A表現)	・教師と一緒に外に出て葉、木の実、小枝などを拾う。 ・素材の違いを触って確かめ、並べたり貼ったりして、いろいろな物ができることに気付く。 ・七夕飾り
				「見てみよう」（B鑑賞）	・教師と一緒に友達の作品を見合い、面白さや良さを感じる。
2学期	30	(知及技) 教師と一緒に描いたり作ったりして、手指や体の動きによって自然に出てきた形や色、素材の変化に気付くことができる。 (思判表力) 手や体全体の感覚を働かせて、教師と一緒に表現することを楽しもうとすることができる。 (学・人) ・表現や鑑賞の活動の楽しさや喜びに気付き、興味や関心をもって学習に取り組むことができる。	(知・技) 教師と一緒に描いたり作ったりして、手指や体の動きによって自然に出てきた形や色、素材の変化に気付こうとしている。 (思・判・表) 手や体全体の感覚を働かせて、教師と一緒に表現することを楽しもうとしている。 (主学) ・表現や鑑賞の活動の楽しさや喜びに気付き、興味や関心をもって学習に取り組もうとしている。	「見てみよう」（B鑑賞） 「作ってみよう　～敬老の日プレゼント～」（A表現）	・友達の夏休みの作品を見たり、触れたりして、頑張ったことを伝え合う。 ・教師と一緒にお花紙を丸めたり、くしゃくしゃにしたりして花束を作る。 ・手作り花束を添えたメッセージカード
				「描いてみよう　～楽しい気持ちを描いてみよう～」 (A表現)	・好きなお話や読み聞かせを聞いたり挿絵を見たりして、教師と一緒に思い描いたことを、自分の表現方法で描くことを楽しむ。 ・感想画
				「描いてみよう　～色水～」 (A表現)	・教師と一緒に、絵の具や花びらなどを使って、いろいろな色の水を作る。 ・作った色水を水鉄砲やじょうろ、スポンジ、霧吹きなどを使って、大きな紙に色をつける。
				「描いてみよう　～いろいろな形をぺたぺた押して～」 (A表現)	・教師と一緒に野菜スタンプなどを押す感覚を感じたり、石・葉・硬貨をこすりだし、浮き出てくる形に気付いたりする。 ・版画 ・野菜スタンプ
3学期	14	(知及技) 身近にある砂や水、紙や木などの材料に対して、手や体全体を使って自発的に働きかけたり、教師と一緒に使ったりすることができる。 (思判表力) 手や体全体の感覚を働かせ、新しいことやものを教師と一緒に表現しようとすることができる。 (学・人) ・表現や鑑賞の活動の楽しさや喜びに気付き、興味や関心をもって学習に取り組むことができる。	(知・技) 身近にある砂や水、紙や木などの材料に対して、手や体全体を使って自発的に働きかけたり、教師と一緒に使ったりしようとしている。 (思・判・表) 手や体全体の感覚を働かせ、新しいことやものを教師と一緒に表現しようとしている。 (主学) ・表現や鑑賞の活動の楽しさや喜びに気付き、興味や関心をもって学習に取り組もうとしている。	「筆で描いてみよう　～書き初め遊び～」（A表現）（B鑑賞）	・墨汁の匂いや部での感触を味わいながら、教師と一緒に筆を持って動かしたり、手や体全体を大きく使ったりして、描く。 ・描いた物を見せながら、今年の思いを発表し合う。 ・書き初め遊び
				「粘土で遊ぼう　～いろいろな粘土（油粘土・ホイップ粘土・紙粘土など）～」（A表現）	・教師と一緒に粘土を叩いたり、踏んだり、伸ばしたりしながら、粘土の感触の違いを感じる。 ・たたく、ちぎる、重ねる、ねじる、丸めるなど
				「作ってみよう　～ビリビリ・ひらひら～」 (A表現)	・教師と一緒に手や体全体を使って、新聞紙やちらしを自由にちぎったり、まるめたりする。 ・小さくちぎった紙を雪、桜、花吹雪などに見立てて遊び、春を感じる。 ・ちぎった紙で壁面画や造形物を制作する。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度　小学部４年（Ⅱ課程Ｂ）　体育科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	Ⅱ課程Bの児童	重森　誠仁	

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）遊びや運動に必要な基本的な動きを身に付け、楽しく活動に取り組むことができる。（小１段階） (思判表力)健康な生活に必要な事柄を身に付け、取り組むことができる。（小１段階） (学･人)遊びや運動の喜びや楽しさを感じ、進んで活動に取り組むことができる。（小１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	26	【知及技】 教師と一緒に歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりすることができる。 【思判表力】 体を動かすことの楽しさや心地よさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行うことができる。	【知・技】 教師と一緒に歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりしようとしている。 【思・判・表】 体を動かすことの楽しさや心地よさを自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行おうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「みんなで楽しく」 A体つくり運動遊び	・ラジオ体操 ・簡単なゲーム 台風の目 大玉転がし 玉入れ 風船バレー しっぽ取りゲーム かけっこ サーキット 等
		【知及技】 教師と一緒に歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりすることができる。 【思判表力】 体を動かすことの楽しさや心地よさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行うことができる。	【知・技】 教師と一緒に歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりしようとしている。 【思・判・表】 体を動かすことの楽しさや心地よさを自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行おうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「みんなで楽しく」 A体つくり運動遊び	・ラジオ体操 ・簡単なゲーム 台風の目 大玉転がし 玉入れ 風船バレー しっぽ取りゲーム かけっこ サーキット 等
		【知及技】 水に親しみ、手足を動かしたり、水の温度や感触、浮いた感覚を味わったりすることができる。 【思判表力】 水に慣れ、自分の好きな動きや遊びを見つけることができる。 【学・人】 教師と一緒にプールでの決まりを守り、楽しく遊ぶことができる。	【知・技】 水に親しみ、手足を動かしたり、水の温度や感触、浮いた感覚を味わおうとしている。 【思・判・表】 水に慣れ、自分の好きな動きや遊びを見つけようとしている。 【主学】 教師と一緒にプールでの決まりを守り、楽しく遊ぼうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「水遊び」「プール学習」 D水あそび	・水遊び（じょうろ、ホース、シャワー、水鉄砲、バケツ、ペットボトル、しゃぼん玉遊び等） ・手足バタバタ、水に慣れよう ・体の力を抜いて、浮いてみよう！ ・ふりこ（スイング、ドルフィン） ・水中歩き ・宝さがし
		【知及技】 水に親しみ、手足を動かしたり、水の温度や感触、浮いた感覚を味わったりすることができる。 【思判表力】 水に慣れ、自分の好きな動きや遊びを見つけることができる。 【学・人】 教師と一緒にプールでの決まりを守り、楽しく遊ぶことができる。	【知・技】 水に親しみ、手足を動かしたり、水の温度や感触、浮いた感覚を味わおうとしている。 【思・判・表】 水に慣れ、自分の好きな動きや遊びを見つけようとしている。 【主学】 教師と一緒にプールでの決まりを守り、楽しく遊ぼうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「水遊び」「プール学習」 D水あそび	・水遊び（じょうろ、ホース、シャワー、水鉄砲、バケツ、ペットボトル、しゃぼん玉遊び等） ・手足バタバタ、水に慣れよう ・体の力を抜いて、浮いてみよう！ ・ふりこ（スイング、ドルフィン） ・水中歩き ・宝さがし

2学期	30	【知及技】 教師と一緒に、器械・器具を使って、楽しく体を動かすことができる。 【思判表力】 器械・器具を使って揺れを楽しみ、その楽しさや心地よさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使って楽しく遊ぶことができる。	【知・技】 教師と一緒に、器械・器具を使って、楽しく体を動かそうとしている。 【思・判・表】 器械・器具を使って揺れを楽しみ、その楽しさや心地よさを自分なりに表現しようとしている。 【主学】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使って楽しく遊ぼうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「粗大運動」 B器械・器具を使っての遊び	・三輪車 ・平均台（渡り歩き、跳び下り等） ・跳び箱（よじ登り、跳び下り、またぎ乗り、またぎ下り等） ・マット運動（横転がり、ゆりかご、前転がり、後ろ転がり等） ・トランポリン ・かんぽっくり ・フラフープ ・バランスボール ・竹馬 ・滑り台 ・ミニハードル ・風船キープ（バギー・車イスの児童） ・ミュージックマット（バギー・車イスの児童） ・ガタガタ道（バギー・車イスの児童）
		【知及技】 教師と一緒に、器械・器具を使って、楽しく体を動かすことができる。 【思判表力】 器械・器具を使って揺れを楽しみ、その楽しさや心地よさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使って楽しく遊ぶことができる。	【知・技】 教師と一緒に、器械・器具を使って、楽しく体を動かそうとしている。 【思・判・表】 器械・器具を使って揺れを楽しみ、その楽しさや心地よさを自分なりに表現しようとしている。 【主学】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使って楽しく遊ぼうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「粗大運動」 B器械・器具を使っての遊び	・三輪車 ・平均台（渡り歩き、跳び下り等） ・跳び箱（よじ登り、跳び下り、またぎ乗り、またぎ下り等） ・マット運動（横転がり、ゆりかご、前転がり、後ろ転がり等） ・トランポリン ・かんぽっくり ・フラフープ ・バランスボール ・竹馬 ・滑り台 ・ミニハードル ・風船キープ（バギー・車イスの児童） ・ミュージックマット（バギー・車イスの児童） ・ガタガタ道（バギー・車イスの児童）
		【知及技】 教師と一緒に、もしくは教師の援助を受けて、走る楽しさを味わうことができる。 【思判表力】 教師の援助を受けて、決められた距離を自分なりの方法で、歩いたり、走ったりすることができる。 【学・人】 最後まであきらめずにゴールに向かうことができる。	【知・技】 教師と一緒に、もしくは教師の援助を受けて、楽しみながら走ろうとしている。 【思・判・表】 教師の援助を受けて、決められた距離を自分なりの方法で、歩いたり、走ったりしようとしている。 【主学】 最後まで、あきらめずにゴールに向かおうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「持久走」 C走・跳の運動遊び	・目標決め ・かけっこ ・ミニハードル ・持久走 ※12月上旬の持久走チャレンジ会に向けての練習となる。
		【知及技】 教師と一緒に、もしくは教師の援助を受けて、走る楽しさを味わうことができる。 【思判表力】 教師の援助を受けて、決められた距離を自分なりの方法で、歩いたり、走ったりすることができる。 【学・人】 最後まであきらめずにゴールに向かうことができる。	【知・技】 教師と一緒に、もしくは教師の援助を受けて、楽しみながら走ろうとしている。 【思・判・表】 教師の援助を受けて、決められた距離を自分なりの方法で、歩いたり、走ったりしようとしている。 【主学】 最後まで、あきらめずにゴールに向かおうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「持久走」 C走・跳の運動遊び	・目標決め ・かけっこ ・ミニハードル ・持久走 ※12月上旬の持久走チャレンジ会に向けての練習となる。

3学期	14	【知及技】 模倣や簡単な表現活動を通して自己表現を行ったり、いろいろな表現方法について知ることができる。 【思判表力】 音楽やリズムに合わせて体を動かす楽しさを味わい、自分なりの方法で表現することができる。 【学・人】 友だちや教師と一緒に動きを合わせる経験をすることができる。	【知・技】 模倣や簡単な表現活動を通して自己表現を行ったり、いろいろな表現方法について知ろうとしている。 【思・判・表】 音楽やリズムに合わせて体を動かす楽しさを味わい、自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 友だちや教師と一緒に動きを合わせようとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「題材と動き」 「リズムと動き」 （F 表現遊び）	（題材と動き） ・鳥、昆虫、恐竜、動物園の動物、飛行機、遊園地の乗り物、おもちゃなど特徴が捉えやすい動きを多く含む物の真似をすること （リズムと動き） ・軽快なリズムの曲や児童が日常的に親しんでいる曲にのって、弾む、回る、ねじるなど自由に踊ること ・音楽やリズムに合わせて歩く、走る、弾む、回る、ねじるなどの運動をする
		【知及技】 教師と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かすことができる。 【思判表力】 ボールを投げたり、転がしたり、蹴ったり、捕ったりする楽しさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 簡単な合図や指示に従って、ボール遊びを行うことができる。	【知・技】 教師と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かそうとしている。 【思・判・表】 ボールを投げたり、転がしたり、蹴ったり、捕ったりする楽しさを自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 簡単な合図や指示に従って、ボール遊びをしようとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「ボールで遊ぼう」 Eボール遊び	・転がす、投げる、蹴る、捕る ・的当てゲーム ・ボウリング ・ボッチャ ・ボール運びゲーム ・ティーベースボール ・大玉ドッチボール ・シュートゲーム等
		【知及技】 教師と一緒に感染症予防について学び、うがいやマスク、手洗い等、基本的な対策を行うことができる。 【思判表力】 体調が悪いときや怪我をして痛いときには教師に知らせたり、手が汚れているときには、その状態を見て、手洗いを行ったりすることができる。 【学・人】 身体計測による体重や身長の変化に興味、関心を持つことができる。	【知・技】 感染症予防として、うがいやマスク、手洗い等を行おうとしている。 【思・判・表】 体調が悪いときや怪我をして痛いときには教師に知らせようとしたり、手が汚れているときには、その状態を見て、手を洗おうとすることができる。 【主学】 昨年と比べて、体重や身長が変化していることを知り、自分の成長を感じることができる。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「健康な生活」 （G 保健）	・大切な体 ・手洗い、うがい、水分補給、着替え ・身体測定 ・感染症予防対策 ・プライベートゾーン ・命の授業（赤ちゃんの誕生）
留意点 引継ぎ等		・（A 体つくり運動遊び）ウォーミングアップ、集合・整列は、年間を通して指導する。 ・（F 表現運動）ラジオ体操、ダンスは、年間を通して指導する。 ・（G 保健）健康な生活は、年間を通して指導する ・単元は、児童の興味・関心、実態に応じて精選、入れ替え、変更等、柔軟性を持って取り扱う。			

令和８年度　小学部４年（Ⅱ課程Ｂ）　道徳　年間指導計画

単位数／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
35		４年		田港　義剛	教育動画等
年間目標		・身近な人やものとの関わりの中で、道徳的な価値を感じたり、気づいたりして、より良く関わろうとする為の心情や態度を育む。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	13	・身近な大人との関わりの中で、自分が受け入れられているという心地よさを感じて学校生活を過ごす。【主として自分自身に関すること】 ・身近な大人の存在に気づき、親しみの気持ちを表現しようとする気持ちを持つ。【主として人との関わりに関すること】 ・友達の存在に気づき、興味関心を持つ。【主として集団や社会との関わりに関すること】 ・身近な動植物に触れ、その存在に気づく。【主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること】	・活動を通して、身体の緊張や表情が和らいでいる様子が見られるか。教師からの働きかけを、抵抗感なく受け入れているかどうか。 ・身近な大人に対して笑顔を向けたり、視線を送ったり、声を出したりしている様子が見られるか。 ・友達の行動や表情などに注目している様子が見られるか。 ・身近な動植物に触れ、驚いたり喜んだり、感情が動いている様子が見られるか。	「学校、だいすき」 「いっしょってあったかいね」 「みんなでやってみよう」 「いのち探検隊」	・自己紹介 ・触れあい遊び（スキンシップ遊び） ・遊具遊び（トランポリン、ボールプール、箱車など） ・手遊び歌 ・絵本読み聞かせ「ぶう　ぶう　ぶう」「あーそーぼ」「くっついた」「あめふりあっくん」など ・植物の栽培 ・散歩（お花探し） ・動物との触れあい体験
2学期	15	・身近な大人との関わりの中で、気持ちや要望を受け入れられたり、身辺を整えてもらうことの心地よさを感じたりして、安定感を持って学校生活を過ごす。【主として自分自身に関すること】 ・身近な大人に対して、身体を動かしたり、声を出したりして、自ら関わろうとする意欲を持つ。【主として人との関わりに関すること】 ・友達の存在や集団の雰囲気に気づき、心地よさを感じながら学校生活を過ごす。【主として集団や社会との関わりに関すること】 ・身近な動植物に触れ、感触などを受け入れることができる。【主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること】	・活動を通して、身体の緊張や表情が和らいでいる様子が見られるか。教師からの働きかけを、抵抗感なく受け入れているかどうか。 ・身近な大人に対して笑顔を向けたり、視線を送ったり、声を出したりしている様子が見られるか。 ・友達と過ごしたり、集団活動に参加したりした時に、表情が和らいでいたり、落ち着いていたりしているか。 ・身近な動植物に触れ、驚いたり喜んだり、感情が動いている様子が見られるか。	・学校、だいすき ・いっしょってあったかいね ・みんなでやってみよう ・いきもの探検隊	・自己紹介 ・触れあい遊び（スキンシップ遊び） ・遊具遊び（トランポリン、ボールプール、箱車など） ・手遊び歌 ・絵本読み聞かせ
3学期	7	・身近な大人の表情や態度などから、望ましい行動、望ましくない行動があることに気づき、望ましい行動を取ろうとする。【主として自分自身に関すること】 ・身近な大人に対して、自分の気持ちを自ら伝えようとする。【主として人との関わりに関すること】 ・友達の感情や集団の雰囲気を感じ、受け止めたり寄り添ったりしようとする気持ちを持つ。【主として集団や社会との関わりに関すること】 ・身近な動植物に触れ、興味関心を持つことができる。【主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること】	・自分がとった言動に対する教師の態度や表情などの反応を見て、葛藤している様子が見られるか。 ・活動を通して感じた感情を、身近な大人に対して、視線や表情、発声などで伝えようとしているかどうか。 ・友達の感情を受け止め、一緒に泣いたり笑ったりするなどの様子が見られるか。集団の雰囲気を感じて、穏やかに過ごす、活発に応じるなどの違いが見られるか。 ・自分から動植物に触れようとしたり、注目したりする様子が見られるか。教師の促しに喜んで応じている様子が見られるか。	・学校、だいすき ・いっしょってうれしいね ・みんなでやってみよう ・いきもの探検隊	・自己紹介 ・触れあい遊び（スキンシップ遊び） ・遊具遊び（トランポリン、ボールプール、箱車など） ・手遊び歌 ・絵本読み聞かせ
留意点引継ぎ等					

令和8年度　小学部４年（Ⅱ課程B）　外国語　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	Ⅱ課程Bの児童	重森　誠仁	音楽動画・音声教材

年間目標	
	(1)　外国語を用いた体験的な活動を通して，日本語と外国語の音声の違いなどに気付き，外国語の音声に慣れ親しむようにする。 (2)　身近で簡単な事柄について，外国語に触れ，自分の気持ちを伝え合う力の素地を養う。 (3)　外国語を通して，外国の文化などに触れながら，言語への関心を高め，進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	13	（知及技） 教師と一緒に、英語の歌や日常になじみのある英語などを聞き、音声やリズムに親しむことができる。 （思判表力） 教師と一緒に、英語を真似て話そうとしたり、相手の質問や要求に英語で応じたりできる。 （学・人） 教師と一緒に、英語やジェスチャーや手話などで、コミュニケーションをとることができる。	（知及技） 教師と一緒に、英語の歌や日常になじみのある英語などを聞き、音声やリズムに親しもうとしている。 （思判表力） 教師と一緒に、英語を真似て話そうとしたり、相手の質問や要求に英語で応じたりしようとしている。 （学・人） 教師と一緒に、英語やジェスチャーや手話などで、コミュニケーションをとろうとしている。	「挨拶をしよう」 「色々な英語を知ろう」 「色々な英語の歌を歌おう」 「外国の文化を知ろう」 「英語でゲームをしよう」	・既に知っている活動や場面で、英語の挨拶や語などを聞き取る活動【(3)ア】 Good morning Hello Goodbye Thank you Good　　など ・英語の歌や日常生活になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しむこと。【(1)イ(ア)】 head shoulders knees and toes Sunday, Monday, Tuesday/Days of the Week Song Ten little indian boy　など ・外国の生活や行事などに触れ、日本と外国の生活や違いを知ること。【(1)イ(イ)】 Halloween Christmas valentine's day　など ・既に知っている物や事柄に関する語などを聞き、それが表す内容を実物や写真などと結び付ける活動。【(3)①ア(イ)】 色 曜日 月 数字 動物 果物 野菜　など ・歌やダンス、ゲームで、簡単な語や身振りなどを使って表現する活動。【(3)①イ(イ)】 Color tag（色鬼）　など ・言語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさを知ること。【(1)ア】
				「挨拶をしよう」 「色々な英語を知ろう」 「色々な英語の歌を歌おう」 「外国の文化を知ろう」 「英語でゲームをしよう」	
				「挨拶をしよう」 「色々な英語を知ろう」 「色々な英語の歌を歌おう」 「外国の文化を知ろう」 「英語でゲームをしよう」	
				「挨拶をしよう」 「色々な英語を知ろう」 「色々な英語の歌を歌おう」 「外国の文化を知ろう」 「英語でゲームをしよう」	
2学期	15			「挨拶をしよう」 「色々な英語を知ろう」 「色々な英語の歌を歌おう」 「外国の文化を知ろう」 「英語でゲームをしよう」	
				「挨拶をしよう」 「色々な英語を知ろう」 「色々な英語の歌を歌おう」 「外国の文化を知ろう」 「英語でゲームをしよう」	
				「挨拶をしよう」 「色々な英語を知ろう」 「色々な英語の歌を歌おう」 「外国の文化を知ろう」 「英語でゲームをしよう」	

3 学 期	7			「挨拶をしよう」 「色々な英語を知ろう」 「色々な英語の歌を歌おう」 「外国の文化を知ろう」 「英語でゲームをしよう」	
				「挨拶をしよう」 「色々な英語を知ろう」 「色々な英語の歌を歌おう」 「外国の文化を知ろう」 「英語でゲームをしよう」	
				「一年間のまとめをしよう」	
留意点 引継ぎ等					

令和８年度 小学部４年（Ⅱ課程Ｂ）　特別活動　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	４年	田港　義剛	自作教材・イラスト・写真等

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解する。 (思判表力)集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができる。 (学･人)自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	13	･学級で目標を決める大切さを知り、意見を出し合って学級目標を作ることができる。（知及技） ･自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。（学･人） ･自分の好きなことや将来について考えることができる。（思判表力） ･同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。（学･人） ･一学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。（思判表力） ･夏休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。（知及技）	･学級で目標を決める大切さを知り、意見を出し合って学級目標を作ろうとしている。（知・技） ･自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。（主学） ･自分の好きなことや将来について考えようとしている。（思･判･表） ･同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。（主学） ･一学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。（思･判･表） ･夏休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいか自分で考えようとしている。（知・技）	･学年、学級開き ･一学期頑張ろう会 ･学級目標作り ･係活動を決めよう ･キャリアパスポート作り ･一学期の目標 ･学校間交流（･居住地校交流） ･キャリアパスポートの活用 ･一学期頑張った会 ･夏休みに向けて	・新しい学級の友達や先生を知る。 ・一学期頑張ろう会に参加する。 ・一学期の行事の確認 ・学級目標を決めて、書いて教室に貼る。 ・一学期の係活動を決める。 ・一学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、選んだりして発表する。 ・交流会の日時を知る。 ・異学年や他校の友達と歌を歌ったり、簡単なゲームしたりして交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・一学期頑張った会に参加する。 ・夏休みの過ごし方を考えたり話し合ったりする。
2学期	15	･２学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知及技） ･自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。（学･人） ･自分の好きなことや将来について考えることができる。（思判表力） ･集団で活動するよさを知り、集団での活動に参加することができる。（知及技） ･同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。（学･人） ･二学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。（思判表力） ･冬休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。（知及技）	･２学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知・技） ･自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。（主学） ･自分の好きなことや将来について考えようとしている。（思･判･表） ･集団で活動するよさを知り、集団での活動に参加することができる。（知・技） ･同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。（主学） ･二学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。（思･判･表） ･冬休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。（知及技）	･二学期頑張ろう会 ･キャリアパスポート作り ･二学期の目標 ･係活動を決めよう ･学校間交流（･居住地校交流） ･キャリアパスポートの活用 ･二学期頑張った会 ･冬休みに向けて	・二学期頑張ろう会に参加する。 ・二学期の行事の確認 ・二学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、イラスト等を貼ったりする。 ・二学期の係活動を決める。 ・児童集会に参加する。 ・異学年や他校の友達と歌を歌ったり、簡単なゲームしたりして交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・二学期頑張った会に参加する。 ・冬休みの過ごし方を考えたり話し合ったりする。

3学期	7	・３学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知及技） ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。（学・人） ・自分の好きなことや将来について考えることができる。（思判表力） ・集団での活動に参加することができる。（学・人） ・生年者のこれまでの成長の記録を見聞きし、自分自身のことについて振り返ることができる。（学・人） ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。（学・人） ・一年間を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。（思判表力） ・進級する学年・学部が現在と違いがあることを知り、今後の行事や学習について希望を持つ。（知及技）	・３学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知・技） ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。（主学） ・自分の好きなことや将来について考えようとしている。（思・判・表） ・集団での活動に参加しようとしている。（主学） ・生年者のこれまでの成長の記録を見聞きし、自分自身のことについて振り返ろうとしている。（主学） ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。（主学） ・一年間を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。（思・判・表） ・進級する学年・学部が現在と違いがあることを知り、今後の行事や学習について希望を持ち、伝えようとしている。（知・技）	・三学期頑張ろう会 ・キャリアパスポート作り ・三学期の目標 ・係活動を決めよう ・生年祝い ・学校間交流 （・居住地校交流） ・キャリアパスポートの活用 ・三学期頑張った会 ・進級学年・学部について	・三学期頑張ろう会に参加する。 ・三学期の行事の確認 ・三学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、イラスト等を貼ったりする。 ・三学期の係活動を決める。 ・あおぞら集会に参加する。 ・生年祝いの運営 ・生年祝いに参加し、生年者とともに成長の喜びを感じる。 ・他学年の児童と交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・三学期頑張った会に参加する。 ・次の学年や学部について考える。
留意点 引継ぎ等					

あおぞら会（幼児児童生徒会）

学期	時数	活動の目標	活動・単元名	指導・活動内容
1学期	2	異年齢の生徒同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営をすることに自主的、実践的に取り組むことを通して、第１の目標（特別活動全体の目標）に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	・第１回あおぞら集会 ・第２回あおぞら集会	・新役員紹介 ・年間活動計画 ・令和８年度幼児児童生徒総会
2学期	2		・第３回あおぞら集会 ・特体連報告放送	・特体連選手激励会 ・特体連激励放送 ・特体連報告放送
3学期	3		・第４回あおぞら集会 ・第５回あおぞら集会 ・第６回あおぞら集会	・あおぞら役員選挙告示（選挙の内容の説明） ・立会演説会 ・体育館で投票 ・新役員の任命式及び引き継ぎ式 ・当選セレモニー ・当選証書授与

※あおぞら（幼児児童生徒）集会のある週の水曜日にあおぞら（幼児児童生徒）役員会を設定する（役員のみ）。
　なお、各学部と調整して柔軟に日程は変更する。
※あおぞら会と学級活動の時数を合わせて、１学期１３回、２学期１５回、３学期７回の時数となる。

学校行事

学期	時数	活動の目標	活動・単元名	指導・活動内容
1学期	10	全校又は学年の児童で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、第１の目標（特別活動全体の目標）に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	・１学期始業式、終業式 ・身体測定 ・地震火災津波避難訓練 ・内科検診、歯科検診、心電図	・先生の話を聞く。 ・自分の成長を知る。 ・安全に気をつけて行動することができる。 ・検査を落ち着いて受けることができる。 ・月ごとの振り返り
2学期	13		・２学期始業式、終業式 ・火災避難訓練 ・全校作業	・先生の話を聞く。 ・安全に気をつけて行動することができる。 ・月ごとの振り返り ・各行事の準備などの取り組み
3学期	5		・３学期始業式、修了式 ・全校作業 ・卒業式準備	・先生の話を聞く。 ・行事に意欲的に参加できる。 ・月ごとの振り返り ・各行事の準備などの取り組み

令和８年度 小学部　５年（Ⅱ課程A）　生活科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
8/280	小学部５年	篠原辰典	文部科学省著作教科書　せいかつ☆☆

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）活動や体験の過程において，自分自身，身近な人々，社会及び自然の特徴や変化に気付くとともに，身近な生活において必要な習慣や技能を身に付けるようにする。（小２段階） (思判表力）自分自身や身の回りの生活のことや，身近な人々，社会及び自然と自分との関わりについて気付き，感じたことを表現しようとする。（小２段階） (学･人）自分のことに取り組もうとしたり，身近な人々，社会及び自然に自ら働きかけようとしたり，意欲や自信をもって学んだり，生活に生かそうとしたりする態度を養う。（小２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して	10	(知及技）身近な生活に必要な身辺処理に関する基礎的な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力)必要な身辺処理が分かり、身近な生活に役立てようとすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技）身近な生活に必要な身辺処理に関する基礎的な知識や技能を身に付けようとしている。 (思･判･表)必要な身辺処理が分かり、身近な生活に役立てようとしている。 (学・人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【ア　基本的生活習慣】 「じぶんでもやってみよう」 「しょくじのマナー」	【食事】 ・食事のマナーや態度について分かるようになる。（食事中は立ち歩かない、こぼさず食べるなど） 【用便】 ・一連の流れと共に基本的な方法や態度を身に付ける。（男女の便所を区別する、鍵をかけるなど） 【寝起き】 ・規則正しい生活を意識する。（定時に寝起きする、寝床の準備や片付けをするなど） 【清潔】 ・身体各部や衣服の汚れが理解できる。（汚れた衣服を着替えるなど） 【身の回りの整理】 ・整理の仕方や収納場所や収納の方法などが分かる。（ハンガーに掛けるなど） 【身なり】 ・身なりについて自分で気付く。（衣服の前後や裏表が分かる、着脱後の簡単な確認をするなど）
	10	(知及技）身近な日課・予定について知ることができる。 (思判表力)身近な日課・予定が分かり、教師の援助を求めながら、日課に沿って行動しようとすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技）身近な日課・予定について知ろうとしている。 (思・判・表)身近な日課・予定が分かり、教師の援助を求めながら、日課に沿って行動しようとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【ウ　日課・予定】 「つぎのじゅぎょうはなにかな」	【日課・予定】 ・教師の言葉掛けを聞いたり、次の行動を絵や写真で示したカード等を見たりして、次に何をするのかが分かり、できるだけ一人で日課に沿って行動できるようにする。 ・予定については、下校後は何をするのか、また、明日の予定などを取り扱うことで、児童が身近な予定が分かり見通しを持って過ごすことができるようにする。
	15	(知及技）身近な人との接し方などについて知ることができる。 (思判表力)身近な人を知り、教師の援助を求めながら挨拶や話などをすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技）身近な人との接し方などについて知ろうとしている。 (思・判・表)身近な人を知り、教師の援助を求めながら挨拶や話などをしようとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【オ　人との関わり】 「わたしとかぞく」 「おきゃくさんだよ」 「ありがとう、ごめんなさい」 「せんせい・ともだち」	【自分自身と家族】 ・家族の名前が分かり紹介したり、家族の名前を尋ねられたときに応じたりする。 【身近な人との関わり】 ・担任教師や友達の名前を言ったり、自分から「おはようございます」、「さようなら」などの挨拶をしたりする。 ・教師等に見聞きしたことや遊んだことを話す。 【気持ちを伝える応対】 ・適切な場面で「ありがとう」や「ごめんなさい」などをできるだけ言葉で言う。
	10	(知及技）簡単な係活動などの役割について知ることができる。 (思判表力)身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技）簡単な係活動などの役割について知ろうとしている。 (思・判・表)身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【カ　集団】 「かかりのしごと」 「ちいきのぎょうじ」	【集団の参加や集団内での役割】 ・集団活動で簡単な係活動を果たす。 【地域の行事への参加】 ・地域の行事に参加し、簡単な買い物をしたり、地域の人たちと一緒に活動したりする。 【共同での作業と役割分担】 ・友達と一緒に作業に取り組む際には互いに協力して楽しく活動に取り組める。

	30	(知及技）簡単な手伝いや仕事について知ることができる。 (思判表力)教師の援助を求めながら身近で簡単な手伝いや仕事をしようとすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技）簡単な手伝いや仕事について知ろうとしている。 (思・判・表)教師の援助を求めながら身近で簡単な手伝いや仕事をしようとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【キ　手伝い・仕事】 「せんせいのおてつだいをしよう」 「そうじをしよう」	【手伝い】 ・できるだけ自分で、印刷物を配ることや教室へ教材の運搬の手伝いをする。 ・簡単な道具や器具を教師と一緒に使用して、作業の手伝いをする。 【整理整頓】 ・できるだけ自分で机やロッカーなどの中を整理することのほか、友達が使った物や学級の備品についても整理する。 【戸締まり】 ・扉や窓の開閉と同時に施錠方法を知り、どのようなときに開け、どのようなときに閉めるのかを理解する。 【掃除】 ・掃除用具の名称や使い方が分かり、できるだけ一人で、簡単な掃除をする。 【後片付け】 ・使用した道具の片付けをする。 ・友達からの言葉掛けでも片付けることができる。 ・友達と協力しながら片付ける。
	10	(知及技）簡単なきまりやマナーについて知ることができる。 (思判表力)身近で簡単なきまりやマナーに気付き、それらを守って行動しようとすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技）簡単なきまりやマナーについて知ろうとしている。 (思・判・表)身近で簡単なきまりやマナーに気付き、それらを守って行動しようとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。 【評価資料】日常生活の中での活動の様子で評価する	【ケ　きまり】 「じぶんやみんなのもの・みんなのばしょ」 「せいかつのきまり」 「がっこうのきまり」 「しょくじのマナー」	【自分の物と他人の物の区別】 ・他人の物や学校の物品を無断で持ち出さない。 【学校のきまり】 ・学校生活では、廊下の右側通行、靴を履き替える場所、登校時刻や下校時刻など様々なきまりがあることに気付くとともに、それを守る。 【日常生活のきまり】 ・信号を守って横断する、停留所や駅などでは並んで順番を待つ、順番を守って乗り物の乗降をする、決められた場所で遊ぶなど。 【マナー】 ・正しい姿勢で食事をする、食事中は席に座っている、口に食物が入っているときは話さないなど、身近な生活におけるマナーを、実際に守る。
1学期	22	(知及技）安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力)身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技）安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表)身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【イ　安全】 〇あんぜんにつかおう 「つくろう」 「あそぼう」 〇きをつけて　あるこう 「おうだんほどう」 〇さいがいや　じこからじぶんをまもろう 「じしんがきたら」 「かじになったら」 「わたしたちをまもってくれるところ」	【危険防止】 ・身近な生活にある遊具・器具（はさみ、穴開けパンチ等）の安全な使い方を知る。 【交通安全】 ・歩行者用信号機の意味を知る。 ・安全な歩行の仕方（横断歩道、歩道、手を上げる）が分かる。 【避難訓練】 ・避難について知る。 ・災害（地震、火事）時の適切な行動について知り、教師と一緒に安全に避難する。 【防災】 ・自分たちの生活を見守り、事件や事故から自分たちを守ってくれる人や場所（交番、消防署、こども110番、地域パトロール等）があることを知る。
	10	（知及技）簡単なきまりのある遊びについて知ることができる。 (思判表力)身近な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びをしたり、遊びを工夫しようとしたりすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	（知・技)簡単なきまりのある遊びについて知ろうとしている。 (思･判･表)身近な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びをしたり、遊びを工夫しようとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【エ　遊び】 〇いっしょにあそぼう ・みんなでゆうぐあそび ・みんなでおにごっこ ・かたづけできるかな ・もっとあそびたいな （せいかつ☆☆）	【いろいろな遊び】 ・友達や教師と一緒にいろいろな遊具で遊ぶ。 （エアートランポリン、雲梯棒、滑り台、ブランコ、ジャングルジムなど） ・友達や教師と一緒に簡単なルールのある遊びをする。 （おにごっこ、椅子取りゲーム、かくれんぼ、じゃんけん列車、おもちゃ遊びなど） 【遊具の片付け】 ・友達と協力して、使った道具を元の場所に片付ける。
	10	(知及技）金銭の扱い方などを知ることができる。 (思判表力)身近な生活の中で、教師に援助を求めながら買い物をし、金銭の大切さや必要性について気付くことができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技）金銭の扱い方などを知ろうとしている。 (思・判・表)身近な生活の中で、教師に援助を求めながら買い物をし、金銭の大切さや必要性について気付こうとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【ク　金銭の扱い】 〇おかねはたいせつ 「おこづかいをもらったら」 〇かいもの 「れんしゅうをしてみよう」 〇なにをかおうかな 「どうやってかうのかな」 （自動販売機）	【金銭の扱い】 ・実際に金銭を支払い、金銭の価値を徐々に理解する。 ・お年玉やお小遣いなど、自分の金銭を財布や貯金箱に大切に保管することやその使い方を知る。 【買い物】 ・買い物ごっこで買い物の練習をする。 ・少しの支援で買い物をする。 【自動販売機の利用】 ・できるだけ一人で自動販売機に金銭を入れ、商品を選んでボタンを押し、品物を取り出すことで、およその使い方を知り、徐々に一人で操作できるようにする。

	13	(知及技) 身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知ることができる。 (思判表力)教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技)身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知ろうとしている。 (思・判・表)教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【コ　社会の仕組みと公共施設】 「わたしのまわりのひとたち」 ・かぞくのやくわり ・あいにいこう（がっこうではたりくひとたち） 「わたしたちのまち」 「いってみよう」	【家族・親戚・近所の人】 ・家族がそれぞれ役割をもっていることに気付くことや、身近な地域で働く人などに対して関心を広げる。 【学校】 ・学校にある教室の名称や主な用途が分かる。 ・学校で働く様々な人に関心をもつことができる。 【いろいろな店】 ・教師と一緒に買い物に行き、いろいろな種類の店やそこで販売している商品に関心をもつ 【社会の様子】 ・自分の住む町の公共施設やいろいろな商店、河川や山、公園などの様子に関心をもつ。
	22	(知及技) 身近な生命や自然について知ることができる。 (思判表力)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技)身近な生命や自然について知ろうとしている。 (思・判・表)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【サ　生命・自然】 〇みつけにいこう！はる・なつ・あき・ふゆ 〇いきものとなかよし 「どうぶつにあいにいこう」 〇そらとてんき 「きょうのてんき・あしたのてんき」 「ひる・よる」	【自然との触れ合い】 ・季節によって自然が変化することに気づく。 【動物の飼育・植物の栽培】 ・動物園等（子どもの国等）で動物に触れたり、餌やりをしたりし興味関心をもつ。 ・植物を栽培し育てる。（キャベツ、あさがお等） 【季節の変化と生活】 ・天候の変化に関心をもつ。（晴れ、くもり、雨） ・昼と夜の違いに気づく。（昼は太陽、明るい、影ができる。夜は月、星、暗いなど）
2学期	10	（知及技）簡単なきまりのある遊びについて知ることができる。 (思判表力)身近な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びをしたり、遊びを工夫しようとしたりすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	（知・技)簡単なきまりのある遊びについて知ろうとしている。 (思･判･表)身近な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びをしたり、遊びを工夫しようとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【エ　遊び】 〇いっしょにあそぼう ・みんなでゆうぐあそび ・みんなでおにごっこ ・かたづけできるかな ・もっとあそびたいな （せいかつ☆☆）	【いろいろな遊び】 ・友達や教師と一緒にいろいろな遊具で遊ぶ。 （エアートランポリン、雲梯棒、滑り台、ブランコ、ジャングルジムなど） ・友達や教師と一緒に簡単なルールのある遊びをする。 （おにごっこ、椅子取りゲーム、かくれんぼ、じゃんけん列車、おもちゃ遊びなど） 【遊具の片付け】 ・友達と協力して、使った道具を元の場所に片付ける。
	10	(知及技) 金銭の扱い方などを知ることができる。 (思判表力)身近な生活の中で、教師に援助を求めながら買い物をし、金銭の大切さや必要性について気付くことができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技) 金銭の扱い方などを知ろうとしている。 (思・判・表)身近な生活の中で、教師に援助を求めながら買い物をし、金銭の大切さや必要性について気付こうとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【ク　金銭の扱い】 〇おかねはたいせつ 「おこづかいをもらったら」 〇かいもの 「れんしゅうをしてみよう」 〇なにをかおうかな 「どうやってかうのかな」 （自動販売機）	【金銭の扱い】 ・実際に金銭を支払い、金銭の価値を徐々に理解する。 ・お年玉やお小遣いなど、自分の金銭を財布や貯金箱に大切に保管することやその使い方を知る。 【買い物】 ・買い物ごっこで買い物の練習をする。 ・少しの支援で買い物をする。 【自動販売機の利用】 ・できるだけ一人で自動販売機に金銭を入れ、商品を選んでボタンを押し、品物を取り出すことで、およその使い方を知り、徐々に一人で操作できるようにする。
	15	(知及技) 身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知ることができる。 (思判表力)教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技)身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知ろうとしている。 (思・判・表)教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【コ　社会の仕組みと公共施設】 「わたしのまわりのひとたち」 「わたしたちのまち」 「いってみよう」 「のってみよう」 「せいかつのきまり」 「わたしのまわりのひとたち」	【いろいろな店】 ・教師と一緒に買い物に行き、いろいろな種類の店やそこで販売している商品に関心をもつ 【社会の様子】 ・自分の住む町の公共施設やいろいろな商店、河川や山、公園などの様子に関心をもつ。 【公共施設の利用】 ・図書館、体育館、児童館などの身近な公共施設を適切に利用し、そのおよその働きが分かる。 【交通機関の利用】 ・電車やバスなどを利用し、切符を購入したり料金を支払ったりすることに慣れるとともに、いろいろな交通機関があることを知る。
	12	(知及技) 身近な生命や自然について知ることができる。 (思判表力)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技)身近な生命や自然について知ろうとしている。 (思・判・表)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【サ　生命・自然】 〇みつけにいこう！はる・なつ・あき・ふゆ 〇いきものとなかよし 「どうぶつにあいにいこう」 〇そらとてんき 「きょうのてんき・あしたのてんき」 「ひる・よる」	【自然との触れ合い】 ・季節によって自然が変化することに気づく。 【動物の飼育・植物の栽培】 ・動物園等（子どもの国等）で動物に触れたり、餌やりをしたりし興味関心をもつ。 ・植物を栽培し育てる。（キャベツ、あさがお等） 【季節の変化と生活】 ・天候の変化に関心をもつ。（晴れ、くもり、雨） ・昼と夜の違いに気づく。（昼は太陽、明るい、影ができる。夜は月、星、暗いなど）

	10	(知及技）安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力)身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技）安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表)身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【イ　安全】 ○あんぜんにつかおう 「つくろう」 「あそぼう」 ○きをつけて　あるこう 「おうだんほどう」 ○さいがいや　じこから　じぶんをまもろう 「じしんがきたら」 「かじになったら」 「わたしたちをまもってくれるところ」	【危険防止】 ・身近な生活にある遊具・器具（はさみ、穴開けパンチ等）の安全な使い方を知る。 【交通安全】 ・歩行者用信号機の意味を知る。 ・安全な歩行の仕方（横断歩道、歩道、手を上げる）が分かる。 【避難訓練】 ・避難について知る。 ・災害（地震、火事）時の適切な行動について知り、教師と一緒に安全に避難する。 【防災】 ・自分たちの生活を見守り、事件や事故から自分たちを守ってくれる人や場所（交番、消防署、こども110番、地域パトロール等）があることを知る。
3学期	10	(知及技）簡単なきまりのある遊びについて知ることができる。 (思判表力)身近な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びをしたり、遊びを工夫しようとしたりすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技）簡単なきまりのある遊びについて知ろうとしている。 (思・判・表)身近な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びをしたり、遊びを工夫しようとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【エ　遊び】 「いっしょにあそぼう」	【いろいろな遊び】 ・遊びの場や遊具を友達と共有したり、簡単なルールのある遊びを一緒にしたりすることにより、関わりを広げていく。（教師や友達と、鬼ごっこなどの簡単なルールのある遊び、大きく身体活動ができる遊具を活用した遊びなど） 【遊具の後片付け】 （自分で使った遊具を片付ける、友達と一緒に大きな物を協力しながら運び収納するなど）
	15	(知及技）身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知ることができる。 (思判表力)教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技)身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知ろうとしている。 (思・判・表)教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【コ　社会の仕組みと公共施設】 「わたしのまわりのひとたち」③ 「わたしたちのまち」 「いってみよう」 「のってみよう」 「せいかつのきまり」 「わたしのまわりのひとたち」	【家族・親戚・近所の人】 ・家族がそれぞれ役割をもっていることに気付くことや、身近な地域で働く人などに対して関心を広げる。 【学校】 ・学校にある教室の名称や主な用途が分かる。 ・学校で働く様々な人に関心をもつことができる。
	10	(知及技）金銭の扱い方などを知ることができる。 (思判表力)身近な生活の中で、教師に援助を求めながら買い物をし、金銭の大切さや必要性について気付くことができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技）金銭の扱い方などを知ろうとしている。 (思・判・表)身近な生活の中で、教師に援助を求めながら買い物をし、金銭の大切さや必要性について気付こうとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【ク　金銭の取り扱い】 「おかねはたいせつ」③ 「かいもの」③ 「なにをかおうかな」③	【金銭の扱い】 ・実際に金銭を支払い、金銭の価値を徐々に理解する。 ・お年玉やお小遣いなど、自分の金銭を財布や貯金箱に大切に保管することやその使い方を知る。 【買い物】 ・できるだけ自分で買い物をし、「これ、ください」など、買い物に必要な言葉を使うこと、決まった額の買い物をすること、商店などで品物を選んで買うことができる。 【自動販売機の利用】 ・できるだけ一人で自動販売機に金銭を入れ、商品を選んでボタンを押し、品物を取り出すことで、およその使い方を知り、徐々に一人で操作できるようにする。
	10	(知及技）身近な生命や自然について知ることができる。 (思判表力)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技)身近な生命や自然について知ろうとしている。 (思・判・表)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【サ　生命・自然】 ○みつけにいこう！はる・なつ・あき・ふゆ ○いきものとなかよし 「どうぶつにあいにいこう」 ○そらとてんき 「きょうのてんき・あしたのてんき」 「ひる・よる」	【自然との触れ合い】 ・季節によって自然が変化することに気づく。 【動物の飼育・植物の栽培】 ・動物園等（子どもの国等）で動物に触れたり、餌やりをしたりし興味関心をもつ。 ・植物を栽培し育てる。（キャベツ、あさがお等） 【季節の変化と生活】 ・天候の変化に関心をもつ。（晴れ、くもり、雨） ・昼と夜の違いに気づく。（昼は太陽、明るい、影ができる。夜は月、星、暗いなど）
	16	(知及技）身近にあるものの仕組みや働きについて知ることができる。 (思判表力)身近にあるものの仕組みや働きが分かり、それらを表現しようとすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技）身近にあるものの仕組みや働きについて知ろうとしている。 (思・判・表)身近にあるものの仕組みや働きが分かり、それらを表現しようとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	○もののおもさ 「おもさくらべ（もつ）」 ○かぜやゴムのちから 「かぜのちから」 「かぜでうごかそう」	【物と重さ】 ・物には重い物と軽い物があることに気付く。 ・身近にある物を実際に持って比べる。（例：水の入ったバケツ、厚さの違う本、机と椅子、量の違うピー玉等） 【風やゴムの力の働き】 ・風の力は、物を動かすことができることに気付く。 ・風車、風鈴、凧、おもちゃのヨット等
留意点 引継ぎ等		.			

令和８年度 小学部　５年（Ⅱ課程Ａ）　国語科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
210	５学年	譜久嶺　明香	ゆっくり学ぶ子のためのこくご /自作教材、絵本、ipad等

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）日常生活に必要な国語について、その特質を理解し使うことができるようにする。 (思判表力)日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身につけ、思考力や想像力を養う。 (学･人)言葉で伝え合うよさを感じるとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしてその能力の向上を図る態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	78	（知及技）身近な人との会話を通して、言葉には物事の内容を表す働きがあることに気づくことができる。 日常生活でよく使うひらがな、カタカナの正しい読み方や書き方を知ることができる。 （思・判・表）役割に応じて話す順番などを検討し、教師の支援を受けながら相手への伝わりやすさを意識して声の大きさに気をつけて話す。 文字を横書きや縦書きで書く事に取り組むことができる。 （学・人）使う場面に即した練習を行い、意味を理解し語彙を増やすことができる。	（知及技）身近な人との会話を通して、言葉には物事の内容を表す働きがあることに気づくことができるようにする。 日常生活でよく使うひらがな、カタカナの正しい読み方や書き方を知ることができるようにする。 （思・判・表）役割に応じて話す順番などを検討し、教師の支援を受けながら相手への伝わりやすさを意識して声の大きさに気をつけて話せるようにする。 文字を横書きや縦書きで書く事に取り組むことができるようにする。 （学・人）使う場面に即した練習を行い、意味を理解し語彙を増やすことができるようにする。	・役割をもって伝えてみよう ・話し合いをしよう、話をきこう ・ひらがなを読もう、書こう ・カタカナを探してみよう。 ・カタカナを書こう。	・自己紹介 ・係り、当番活動 ・新転入生の歓迎会 ・学級活動 ・遠足 ・文字の読み書き
2学期	90	（知及技）言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりすることができる。 日常生活でよく使う漢字の正しい読み方を知ることができる。 文の中における主語と述語の関係や意味が変わることを知ることができる。 （思・判・表）登場人物の行動や場面の様子を想像して時間の経過を考え、前後関係に気づくことができる。 （学・人）次は何を調べたり書いたりしようか、友達や教師と話をして文字や文を書くことができる。	（知及技）言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりすることができるようにする。 日常生活でよく使う漢字の正しい読み方を知ることができるようにする。 文の中における主語と述語の関係や意味が変わることを知ることができるようにする。 （思・判・表）登場人物の行動や場面の様子を想像して時間の経過を考え、前後関係に気づくことができるようにする。 （学・人）次は何を調べたり書いたりしようか、友達や教師と話をして文字や文を書くことができるようにする。	・図書室に行ってみよう。 ・ひらがな、漢字を書いてみよう。 ・文を書こう。	・本を探す ・絵本の読み聞かせ ・日常生活に使われている漢字 ・年賀状作り
3学期	42	（知及技）日常生活でよく使うひらがなや漢字の正しい読み方を知り、筆を柄って文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。 物事の始めと終わりなど、情報と情報との関係について知ることができる。 （思判表力）文字を横書きや縦書きで書く事に取り組むことができる。 体験したことを振り返り、思い浮かべた事を整理して伝えたい事を考えることができる。 （学・人）言葉の意味を理解し、語彙を増やすことができる。	（知及技）日常生活でよく使うひらがなや漢字の正しい読み方を知り、筆を柄って文字の形に注意しながら丁寧に書くことができるようにする。 物事の始めと終わりなど、情報と情報との関係について知ることができるようにする。 （思判表力）文字を横書きや縦書きで書く事に取り組むことができるようにする。 体験したことを振り返り、思い浮かべた事を整理して伝えたい事を考えることができるようにする。 （学・人）言葉の意味を理解し、語彙を増やすことができるようにする。	・ひらがな、漢字を書いてみよう ・推敲して発表しよう。	・書き初め ・一年間の振り返り ・手紙

留意点 引継ぎ等	

令和８年度 小学部　５年（Ⅱ課程Ａ）　算数科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
140	５学年	譜久嶺　明香	ゆっくり学ぶ子のためのさんすう /自作教材、絵カード、ipad等

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 数量や図形などについて基礎的・基本的な概念や性質に気付き、身の回りの数量や図形について着目する技能を身に付ける。 (思判表力)身の回りの数量や図形について直感的に捉える力や基礎的・基本的な性質などに気付き、感じ取る力」など、数学的な表現を用いて事象表現する力を養う。 (学･人)数学的活動の楽しさに関心や興味をもって学習したことを結びつけ、問題を解決しようとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	52	（知及技）１０をひとまとまりにして数える良さに気付くことができる。 （思判表）１０以上の数について具体物を見ながら、多い少ないに分けて考えることが分かる。 （学・人）生活の中から多い・少ないに関心をもつことができる。	（知・技）１０をひとまとまりにして数える良さに気付こうとする。 （思・判・表）１０以上の数について具体物を見ながら、多い少ないに分けて考えようとする。 （主学）生活の中から多い・少ないに関心をもとうとする。	・１０より大きい数。（多い少ない、比べる言葉）	・数字を読んだり書いたりする。 ・次の数あて、前の数あて、逆の順で数詞を言ったり書いたりする。 ・友だちや教師の数を数えたり、学習の中で必要な数を数えたりする。 ・具体物と数詞を一対一対応する。 ・ゲームなどを通して、数比べをする。 ・生活の中から関連させ使えるようにする。
		（知及技）方向・位置に関する言葉「前後・左右・上下」を聞いて体を動かしたり、具体物を操作したりする。 （思判表）方向や位置に関する言葉を聞いて、腕や足を動かしたり、人形等を操作することができる。 （学・人）方向や位置に関する言葉と数に関連した問題に取り組むことができる。	（知・技）方向・位置に関する言葉「前後・左右・上下」を聞いて体を動かしたり、具体物を操作しようとする。 （思・判・表）方向や位置に関する言葉を聞いて、腕や足を動かしたり、人形等を操作しようとする。 （主学）方向や位置に関する言葉と数に関連した問題に取り組もうとする。	・位置を表す言葉（上と下、中と外、右と左）	・ゲームなどを通して前後、上下、左右、方向や位置の確認をする。
		（知及技）合併や増加の意味を理解し、式に表すことができる。 （思判表）１０以上の数について具体物を使い、加法の式で考えようとする。 （学・人）時刻や時間、生活と時刻のつながりに関心をもつことができる。	（知・技）合併や増加の意味を理解し、式に表そうとする。 （思・判・表）１０以上の数について具体物を使い、加法の式で考えようとする。 （主学）時刻や時間、生活と時刻のつながりに関心をもとうとする。	・足し算（１０～２０まで）	・具体物や半具体物を使い２０までの数を合わせたり分けたりする操作を繰り返し行う。 ・カレンダーや時計などと関連させながら使えるようにする
		（知及技）具体物を操作することで、残りを求めたり、式に表わしたりすることができる。 （思判表）１０以上の数について具体物を使い、減法の式で考えることができる （学・人）時刻や時間、生活と時刻のつながりに関心をもつことができる。	（知・技）具体物を操作することで、残りを求めたり、式に表わそうとする。 （思・判・表）１０以上の数について具体物を使い、減法の式で考えようとする。 （主・学）時刻や時間、生活と時刻のつながりに関心をもとうとする。	・引き算（２０まで）	・具体物や半具体物を使い２０までの数の減法の操作を繰り返し行う。 ・簡単な文章問題を読み、式に表したり計算したりする。 ・カレンダーや時計などと関連させながら使えるようにする
		（知及技）角の大きさや意味について基礎的な知識を理解することができる。 （思判表）ミニカーゲームを通して、斜面と底面の関係に気付き、具体物を操作することができる。 （学・人）坂道と角度の関係について関心をもつことができる。	（知・技）角の大きさや意味について基礎的な知識を理解しようとする。 （思・判・表）・ミニカーゲームを通して、斜面と底面の関係に気付き、具体物を操作しようとする。 （主学）坂道と角度の関係について関心をもとうとする。	・形をつくろう。（図形） ・坂道を作ろう（角を探し）	・丸、三角形、四角形等の簡単な形の学習をする。 ・積み木でいろいろな形をつくる。 ・ミニカーゲームを行う

2学期	60	（知及技）お金を数えることができる。 （思判表）具体物や図を用いながらお金について関心を持つことができる。 （学・人）欲しいものを選ぶ、必要な物の数を数える、お金を数える等の活動を進んで行うことができる。	（知・技）お金を数えようとする。 （思・判・表）具体物や図を用いながらお金について関心を持とうとする。 （主学）欲しいものを選ぶ、必要な物の数を数える、お金を数える等の活動を進んで行おうとする。	・買い物をしよう。（お金を並べる、計算）	・具体物を使って、「何を、何個買う。」等の買い物学習をする。 ・買い物に必要な金額を計算する。
		（知及技）具体物の操作や体験を通じて比べる言葉を理解する。 （思判表）かさを「コップ○杯分」等の言葉で表したりすることができる。 （主・学）生活の中から広い・狭いや遠い・近いに関心をもつことができる。	（知・技）具体物の操作や体験を通じて比べる言葉を理解しようとする。 （思・判・表）かさを「コップ○杯分」等の言葉で表そうとする。 （主学）生活の中から広い・狭いや遠い近いに関心をもとうとする。	・「かさ」をはかろう。（比べる、太さで比べる、広い狭いと遠い近い）	・かさを測る。 ・生活場面で、ものの大小、多少、長短、高低、重い軽い、広い狭い等、比較の学習をする。
		（知及技）具体物の操作や体験を通じて比べる言葉を理解する。 （思判表）身の回りにあるものの長さに関心をもち様々な方法で比べることができる。 （学・人）身の回りにあるものの長さは、いくつ分かとして捉えることができる。	（知・技）具体物の操作や体験を通じて比べる言葉を理解しようとする。 （思・判・表）身の回りにあるものの長さに関心をもち様々な方法で比べようとする。 （主学）身の回りにあるものの長さは、いくつ分かとして捉えようとする。	・くらべてみよう。（長い短い、長さ比べ、並べる、一番長いのは、うつして比べる、長さを測る、長さはいくつ分）	・いろいろな長さのペンやボールなど、身の回りにあるものを比べる。徐々に比較対象物の種類を増やす。
3学期	28	（知及技）アナログの時計を見て、簡単な時刻を読むことができる。 （思判表）日課表から、学校の生活の見通しをもつことができる。 （学・人）時刻や時間、生活と時刻のつながりに関心をもつことができる。	（知・技）アナログの時計を見て、簡単な時刻を読もうとする。 （思・判・表）日課表から、学校の生活の見通しを持とうとする。 （主学）時刻や時間、生活と時刻のつながりに関心を持とうとする。	・時計の読み方。（学校の生活、長い針、短い針、何時でしょう、午前、午後、あさ、ひる、よる、昨日、今日、明日）	・時計の仕組み、長針や短針、12までの数字の意味の学習をする。 ・調理学習を通して、タイマーを使用したり時計を利用したりする。
		（知及技）・動画を見て現象を絵に表し、個数を求めたり比べたりすることができる。 （思判表）玉入れの動画を見て事象を絵や表に表し、加法・減法を用いて個数や多少を求める。 （学・人）絵を描きながら答えを予想することができる。	（知・技）動画を見て現象を絵に表し、個数を求めたり比べようとする。 （思・判・表）玉入れの動画を見て事象を絵や表に表し、加法・減法を用いて個数や多少を求めようとする。 （主・学）絵を描きながら答えを予想しようとする。	・表や絵に表して計算しよう。（グラフ）	・玉入れやゲームの勝敗表、頑張り表やチェックカードの○×の記入をし、表の基礎の学習をする。
		（知及技）天気表に天気を記号で記入することができる。 （思判表）・週間天気予報から、天気表に晴れ、雨、曇りの記号を使い分けて記入することができる。 （学・人）天気表を見ながら「明日は雨だから、遊べない」など気づくことができる。	（知・技）天気表に天気を記号で記入しようとする。 （思・判・表）週間天気予報から、天気表に晴れ、雨、曇りの記号を使い分けて記入しようとする。 （主学）天気表を見ながら「明日は雨だから、遊べない」など気づこうとする。	・天気表を記録しよう。（天気、カレンダ、日にち、曜日、予定）	・天気表に晴、曇り、雨などの記号を分けて書いたり、文字で書いたりする。どの天気が今月多かったなど、見比べる。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 小学部５年（Ⅱ課程Ａ）　音楽科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	Ⅱ課程Ａの児童	重森　誠仁	音楽動画・音声教材

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）曲名や曲想と簡単な音楽のつくりについて気付くとともに、感じたことを音楽表現するために必要な技能を身に付けることができる。（小２段階） (思判表力)感じたことを表現することや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら、音や音楽の楽しさを味わって聴くことができる。（小２段階） (学･人)音や音楽に楽しく関わり、教師や友達と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、身の回りの様々な音楽に親しんだり、豊かな情操を育んだりすることができる。（小２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	26	(知及技）音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かすことができる。 (思判表力)好きな歌や旋律の一部分を自分なりに歌いたいと思うことができる。 (学･人)音楽活動に興味を持ち、楽しみながら学習に取り組むことができる。	(知・技）音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かしている。 (思･判･表)好きな歌や旋律の一部分を自分なりに歌おうとしている。 (主学)音楽活動に興味を持ち、楽しみながら学習に取り組もうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童が投票で選んだ楽曲で踊る） 【歌唱・共通事項】 ・4月の歌（春の小川等） 【器楽・共通事項】 ・タンブリン、カスタネット、キーボード、木琴 【鑑賞・共通事項】 ・4月に関する曲 ・クラシック、歌謡曲、民謡等
		(知及技）拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。 (思判表力)身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴くことができる。 (学･人)拍に合わせて楽器を鳴らし、いろいろなリズムに興味を持つことができる。	(知・技）拍や曲の特徴的なリズムに気付こうとしている。 (思･判･表)身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴いている。 (主学)拍に合わせて楽器を鳴らし、いろいろなリズムに興味を持とうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童が投票で選んだ楽曲で踊る） 【歌唱・共通事項】 ・5月の歌（こいのぼり等） 【器楽・共通事項】 ・タンブリン、カスタネット、キーボード、木琴 【鑑賞・共通事項】 ・5月に関する曲 ・クラシック、歌謡曲、民謡等
		(知及技）教師や友達と一緒に歌うことができる。 (思判表力)声や身の回りの様々なものを用いて、音を出そうとすることができる。 (学･人)教師をよく見て、合図に合わせて発声したり、部分的に歌ったりすることができる。	(知・技）教師や友達と一緒に歌おうとしている。 (思･判･表)声や身の回りの様々なものを用いて、音を出そうとしている。 (主学)教師をよく見て、合図に合わせて発声したり、部分的に歌おうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童が投票で選んだ楽曲で踊る） 【歌唱・共通事項】 ・6月の歌（月桃等） ・白保と八特の子どもたち 【器楽・共通事項】 ・タンブリン、カスタネット、キーボード、木琴 【鑑賞・共通事項】 ・6月に関する曲 ・クラシック、歌謡曲、民謡等
		(知及技）音のつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さに気付くことができる。 (思判表力)簡単なリズムの特徴を感じ取り、身体を動かそうとすることができる。 (学･人)教師や友達とのやりとりを楽しみながら、身体表現や音楽づくりに取り組むことができる。	(知・技）音のつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さに気付いている。 (思･判･表)簡単なリズムの特徴を感じ取り、身体を動かそうとしている。 (主学)教師や友達とのやりとりを楽しみながら、身体表現や音楽づくりに取り組もうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童が投票で選んだ楽曲で踊る） 【歌唱・共通事項】 ・7月の歌（ヤッホッホ夏休み等） ・白保と八特の子どもたち 【器楽・共通事項】 ・タンブリン、カスタネット、キーボード、木琴 【鑑賞・共通事項】 ・7月に関する曲 ・クラシック、歌謡曲、民謡等

2学期	30	(知及技) 範唱を聴いて、曲の一部を模唱することができる。 (思判表力)身近な打楽器に親しみ、音を出そうとすることができる。 (学･人)郷土の音楽や楽器に親しみを持ち、進んで身体表現したり、歌ったりすることができる。	(知・技) 範唱を聴いて、曲の一部を模唱しようとしている。 (思･判･表)身近な打楽器に親しみ、音を出そうとしている。 (主学)郷土の音楽や楽器に親しみを持ち、進んで身体表現したり、歌ったりしようとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童が投票で選んだ楽曲で踊る） 【歌唱・共通事項】 ・9月の歌（つき等） 【器楽・共通事項】 ・タンブリン、カスタネット、キーボード、木琴 【鑑賞・共通事項】 ・9月に関する曲 ・クラシック、歌謡曲、民謡等
		(知及技) 楽器の音色の違いに気付くことができる。 (思判表力)音遊びを通して、音の面白さに気付くことができる。 (学･人)好きな歌詞や登場人物を見つけ、役割を分担しながら、教師や友達と一緒に歌唱や身体表現に取り組むことができる。	(知・技) 楽器の音色の違いに気付いている。 (思･判･表)音遊びを通して、音の面白さに気付いている。 (主学)好きな歌詞や登場人物を見つけ、役割を分担しながら、教師や友達と一緒に歌唱や身体表現に取り組もうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童が投票で選んだ楽曲で踊る） 【歌唱・共通事項】 ・10月の歌（虫の声等） 【器楽・共通事項】 ・タンブリン、カスタネット、キーボード、木琴 【鑑賞・共通事項】 ・10月に関する曲 ・クラシック、歌謡曲、民謡等
		(知及技) 曲に合わせて教師や友達と一緒に体を動かすことができる。 (思判表力)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌の一部分を自分なりに歌おうとすることができる。 (学･人)テンポや音量の違いを感じ、工夫して歌ったり、身体全体を動かしたりすることができる。	(知・技) 曲に合わせて教師や友達と一緒に体を動かそうとしている。 (思･判･表)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌の一部分を自分なりに歌おうとしている。 (主学)テンポや音量の違いを感じ、工夫して歌ったり、身体全体を動かそうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童が投票で選んだ楽曲で踊る） 【歌唱・共通事項】 ・11月の歌（ゆうやけこやけ等） 【器楽・共通事項】 ・タンブリン、カスタネット、キーボード、木琴 【鑑賞・共通事項】 ・11月に関する曲 ・クラシック、歌謡曲、民謡等
		(知及技) 自分の歌声に注意を向けて歌うことができる。 (思判表力)身近な打楽器などに親しみ、自ら音を出そうとすることができる。 (学･人)身近な打楽器を用いて、曲の簡単なリズムやパターンの特徴の面白さなどに気付くことができる。	(知・技) 自分の歌声に注意を向けて、歌おうとしている。 (思･判･表)身近な打楽器などに親しみ、自ら音を出そうとしている。 (主学)身近な打楽器を用いて、曲の簡単なリズムやパターンの特徴の面白さなどに気付こうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童が投票で選んだ楽曲で踊る） 【歌唱・共通事項】 ・12月の歌（あわてんぼうのサンタクロース等） 【器楽・共通事項】 ・タンブリン、カスタネット、キーボード、木琴 【鑑賞・共通事項】 ・12月に関する曲 ・クラシック、歌謡曲、民謡等
3学期	14	(知及技) 身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見つけることができる。 (思判表力)音遊びを通して音の面白さに気付き、自ら音や音楽で表現しようとすることができる。 (学･人)わらべうたの良さや面白さを感じとり、教師や友達と一緒に身体を動かしたり、歌ったりする学習に親しみ、他のわらべうたにも関心を持ったりすることができる。	(知・技) 身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見つけようとしている。 (思･判･表)音遊びを通して音の面白さに気付き、自ら音や音楽で表現しようとしている。 (主学)わらべうたの良さや面白さを感じとり、教師や友達と一緒に身体を動かしたり、歌ったりする学習に親しみ、他のわらべうたにも関心を持とうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童が投票で選んだ楽曲で踊る） 【歌唱・共通事項】 ・1月の歌（お正月等） 【器楽・共通事項】 ・タンブリン、カスタネット、キーボード、木琴 【鑑賞・共通事項】 ・1月に関する曲 ・クラシック、歌謡曲、民謡等
		(知及技) 曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉に気付くことができる。 (思判表力)簡単なリズムの特徴を感じ取り、自ら体を動かそうとすることができる。 (学･人)歌声や楽器の音色に気をつけながら、曲想にあった表現を工夫したり、歌声と楽器の音を合わせて演奏する楽しさに気付いたりすることができる。	(知・技) 曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉に気付いている。 (思･判･表)簡単なリズムの特徴を感じ取り、自ら体を動かそうとしている。 (主学)歌声や楽器の音色に気をつけながら、曲想にあった表現を工夫したり、歌声と楽器の音を合わせて演奏する楽しさに気付こうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童が投票で選んだ楽曲で踊る） 【歌唱・共通事項】 ・2月の歌（おにのパンツ等） 【器楽・共通事項】 ・タンブリン、カスタネット、キーボード、木琴 【鑑賞・共通事項】 ・2月に関する曲 ・クラシック、歌謡曲、民謡等

		(知及技）教師や友達と一緒に簡単な音や音楽を作ることができる。 (思判表力)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴くことができる。 (学･人)一年間を振り返り、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱や身体表現、音楽づくりや器楽、鑑賞などの活動に取り組むことができる。	(知・技）教師や友達と一緒に簡単な音や音楽を作ろうとしている。 (思･判･表)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴いている。 (主学)一年間を振り返り、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱や身体表現、音楽づくりや器楽、鑑賞などの活動に取り組もうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童が投票で選んだ楽曲で踊る） 【歌唱・共通事項】 ・3月の歌（卒業式用歌唱曲等） 【器楽・共通事項】 ・タンブリン、カスタネット、キーボード、木琴 【鑑賞・共通事項】 ・3月に関する曲 ・クラシック、歌謡曲、民謡等
留意点 引継ぎ等					

令和８年度 小学部５年（Ⅱ課程Ａ）　図画工作科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	5学年	篠原　辰典 手登根　真実子 譜久嶺　明香	自作教材、絵本等

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 形や色などの違いに気付き、表したいことを基に材料や用具を使い、表し方を工夫してつくるようにする。（小２段階） (思判表力)表したいことを思い付いたり、作品などの面白さや楽しさを感じ取ったりすることができるようにする。（小２段階） (学･人)進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。（小２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
１学期	26	(知及技) 形の面白さや色の違いに気づき、身近な材料や用具を使ってかいたり、形をつくったりすることができる。 (思判表力) 材料や感じたこと、想像したこと、みたことから表したいことを思いつき、表現することができる。 (学・人) 表現や鑑賞の活動を通して、つくりだす楽しさや喜びに気づき、興味関心をもって学習に取り組むことができる。	(知・技) 形の面白さや色の違いに気づき、身近な材料や用具を使ってかいたり、形をつくったりすることができる。 (思・判・表) 材料や感じたこと、想像したこと、みたことから表したいことを思いつき、表現することができる。 (主学) 表現や鑑賞の活動を通して、つくりだす楽しさや喜びに気づき、興味関心をもって学習に取り組むことができる。	「かいてみよう」 ・お父さん・お母さんの絵 ・遠足の思い出 ・音楽に合わせて心の線を描こう 「やってみよう」 ・色で遊ぼう ・スタンプ 「つくってみよう」 ・季節の製作 ・粘土 「みてみよう」 ・鑑賞	・材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付くこと。【Aーア（ア）】 ・身近にあるものなどの形や色の面白さについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げること。【Bーア（ア）】 ・形や色などを基に、自分のイメージをもつこと。【共通事項（イ）】
２学期	30	(知及技) 形の面白さや色の違いに気づき、身近な材料や用具を使ってかいたり、形をつくったりすることができる。 (思判表力) 材料や感じたこと、想像したこと、みたことから表したいことを思いつき、表現することができる。 (学・人) 表現や鑑賞の活動を通して、つくりだす楽しさや喜びに気づき、興味関心をもって学習に取り組むことができる。	(知・技) 形の面白さや色の違いに気づき、身近な材料や用具を使ってかいたり、形をつくったりすることができる。 (思・判・表) 材料や感じたこと、想像したこと、みたことから表したいことを思いつき、表現することができる。 (主学) 表現や鑑賞の活動を通して、つくりだす楽しさや喜びに気づき、興味関心をもって学習に取り組むことができる。	「かいてみよう」 ・読書感想画 「やってみよう」 ・切ってつなげて ・粘土 「つくってみよう」 ・季節の製作 ・紙版画 ・勤労感謝の日プレゼント 「みてみよう」 ・夏休み作品展 ・鑑賞	・材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付くこと。【Aーア（ア）】 ・身近にあるものなどの形や色の面白さについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げること。【Bーア（ア）】 ・自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などの違いに気付くこと。【共通事項（ア）】
３学期	14	(知及技) 形の面白さや色の違いに気づき、身近な材料や用具を使ってかいたり、形をつくったりすることができる。 (思判表力) 材料や感じたこと、想像したこと、みたことから表したいことを思いつき、表現することができる。 (学・人) 表現や鑑賞の活動を通して、つくりだす楽しさや喜びに気づき、興味関心をもって学習に取り組むことができる。	(知・技) 形の面白さや色の違いに気づき、身近な材料や用具を使ってかいたり、形をつくったりすることができる。 (思・判・表) 材料や感じたこと、想像したこと、みたことから表したいことを思いつき、表現することができる。 (主学) 表現や鑑賞の活動を通して、つくりだす楽しさや喜びに気づき、興味関心をもって学習に取り組むことができる。	「やってみよう」 ・並べて並べて 「つくってみよう」 ・季節の製作 ・卒業式壁面・プレゼント ・作品集 「みてみよう」 ・1年間の活動の振り返り ・鑑賞	・材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付くこと。【Aーア（ア）】 ・身近にあるものなどの形や色の面白さについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げること。【Bーア（ア）】 ・形や色などを基に、自分のイメージをもつこと。【共通事項（イ）】

令和8年度 小学部５年（Ⅱ課程Ａ）　体育科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	Ⅱ課程Ａの児童	荷川取　優	

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）遊びや基本的な運動の行い方及び身近な生活における健康について知るとともに、基本的な動きや健康な生活に必要な事柄を身に付ける。（小２段階） (思判表力)遊びや基本的な運動及び健康についての自分の課題に気付き、その解決に向けて自ら考え行動し、他者に伝える力を身に付ける。（小２段階） (学･人)遊びや基本的な運動に親しむことや健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営むことができる。（小２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
４月	26時間	【知及技】 基本的な体の動き（伸ばす・曲げる・回すなど）を身につけることができる。 【思判表力】 体を動かす心地よさを感じ、進んで運動に取り組もうとする。 【学・人】 友だちや教師と関わりながら運動する楽しさを味わうことができる。	【知・技】 基本的な体の動き（伸ばす・曲げる・回すなど）を身につけようとしている。 【思・判・表】 体を動かす心地よさを感じ、進んで運動に取り組もうとしている。 【主学】 友だちや教師と関わりながら運動する楽しさを味わおうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「みんなで楽しく」 A体つくり運動遊び	・ラジオ体操 ・簡単なゲーム 台風の目 大玉転がし 玉入れ 風船バレー かけっこ 等 ※4月下旬の春の遠足で行うレクの練習としてもよい。
５月		【知及技】 基本的な体の動き（伸ばす・曲げる・回すなど）を身につけることができる。 【思判表力】 体を動かす心地よさを感じ、進んで運動に取り組もうとする。 【学・人】 友だちや教師と関わりながら運動する楽しさを味わうことができる。	【知・技】 基本的な体の動き（伸ばす・曲げる・回すなど）を身につけようとしている。 【思・判・表】 体を動かす心地よさを感じ、進んで運動に取り組もうとしている。 【主学】 友だちや教師と関わりながら運動する楽しさを味わおうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「みんなで楽しく」 A体つくり運動遊び	・ラジオ体操 ・簡単なゲーム 台風の目 大玉転がし 玉入れ 風船バレー かけっこ 等
６月		(知及技) 顔つけ・浮く・進むなどの基本的な動きを体験する。 (思判表力) 水に慣れ、水中での活動に安心して参加したり、水の抵抗	(知・技) 顔つけ・浮く・進むなどの基本的な動きを体験しようとしている (思･判･表) 水に慣れ、水中での活動に安心	「水遊び・プール学習」 （D 水あそび）	○水慣れ・水中歩行 ・じゃんけん水かけっこ（じゃんけんで勝ったら水をかけるなど、楽しみながら顔に水がかかることに慣れる） ・水中電車ごっこ、鬼ごっこ（水中を歩いたり、走ったり、止まったり、ジャンプし

7月		を感じながら、歩いたり走ったりして遊ぶことができる。 (学･人) 簡単な決まりを守り安全に気を付けながら活動することができる。	して参加したり、水の抵抗を感じながら、歩いたり走ったりして遊ぶことができる。 (主学) 簡単な決まりを守り安全に気を付けながら活動しようとしている。	「水遊び・プール学習」 (D 水あそび)	たりして抵抗を感じる) ・まねっこ遊び(カニ、ワニなどの動きを真似て水中を移動) ・フープくぐり ○潜る・浮く・呼吸 ・だるま浮き・くらげ浮き(背浮きや膝を抱えて浮く感覚を身につける) ・スーパーマン・けのび(ビート板を使って、または使わずに水中をまっすぐ進む) ・宝探し(水底に沈んだリングや碁石を拾う) ・「ぶくぶくパッ」の練習
9月 10月	30時間	(知及技) 転がる・支える・渡るなどの基礎的な動きを身につけることができる。 (思判表力) 器具を使った運動に慣れ、安全に気を付けて取り組んだり、その楽しさや感じたことを自分なりの方法で表現することができる。 (学･人) 成功体験を通して自信をもち、繰り返し挑戦しようとすることができる。	(知・技) 転がる・支える・渡るなどの基礎的な動きを身につけようとしている。 (思･判･表) 器具を使った運動に慣れ、安全に気を付けて取り組んだり、その楽しさや感じたことを自分なりの方法で表現しようとしている。 (主学) 成功体験を通して自信をもち、繰り返し挑戦しようとしている。	「レッツ！サーキット」 (B 器械・器具を使っての運動遊び) (C 走・跳の運動遊び) 「レッツ！サーキット」 (B 器械・器具を使っての運動遊び) (C 走・跳の運動遊び)	・三輪車 ・平均台(渡り歩き、跳び下り等) ・跳び箱(よじ登り、跳び下り、またぎ乗り、またぎ下り等) ・マット運動(横転がり、ゆりかご、前転がり、後ろ転がり等) ・トランポリン ・かんぱっくり ・フラフープ ・バランスボール ・竹馬 ・滑り台 ・ミニハードル ・風船キープ(バギー・車イスの児童) ・ミュージックマット(バギー・車イスの児童) ・ガタガタ道(バギー・車イスの児童)
11月 12月		(知及技) 楽しく走ったり、低いハードルをまたいだり、跳んだりすることができる。 (思判表力) 自分で決めた距離を自分なりの方法で、最後まで歩いたり走ったりすることができる。 (学･人) 簡単なきまりを守り、友達と一緒に楽しく走ったり、跳んだりすることができる。	(知・技) 楽しく走ったり、低いハードルをまたいだり、跳んだりしようとしている。 (思･判･表) 自分で決めた距離を自分なりの方法で、最後まで歩いたり走ったりすることができる。 (主学) 簡単なきまりを守り、友達と一緒に楽しく走ったり、跳ぼうとしたりしている。	「かけっこ・持久走」 (C 走・跳の運動遊び) 「かけっこ・持久走」 (C 走・跳の運動遊び)	・目標決め ・かけっこ ・ミニハードル ・持久走 ※12月上旬の持久走チャレンジ会に向けての練習となる。
1月		【知及技】 模倣や簡単な表現活動を通して自己表現を行ったり、いろいろな表現方法について知ることができる。 【思判表力】 音楽やリズムに合わせて体を動かす楽しさを味わい、自分なりの方法で表現することができる。 【学・人】 友だちや教師と一緒に動きを合わせる経験をすることができる。	【知・技】 模倣や簡単な表現活動を通して自己表現を行ったり、いろいろな表現方法について知ろうとしている。 【思・判・表】 音楽やリズムに合わせて体を動かす楽しさを味わい、自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 友だちや教師と一緒に動きを合わせようとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「題材と動き」 「リズムと動き」 (F 表現遊び)	(題材と動き) ・鳥、昆虫、恐竜、動物園の動物、飛行機、遊園地の乗り物、おもちゃなど特徴が捉えやすい動きを多く含む物の真似をすること (リズムと動き) ・軽快なリズムの曲や児童が日常的に親しんでいる曲にのって、弾む、回る、ねじるなど自由に踊ること ・音楽やリズムに合わせて歩く、走る、弾む、回る、ねじるなどの運動をする

2 月	14 時 間	(知及技) ボールを使った基本操作（投げる・取る・蹴る）や簡単なルールのあるゲームを楽しく行うことができる。 (思判表力) ボールを使った基本操作（投げる・取る・蹴る）に慣れ、その楽しさや感じたことを自分なりの方法で表現することができる。 (学･人) 簡単なルールのあるボール遊びやゲームを友達と一緒に行うことができる。	(知・技) ボールを使った基本操作（投げる・取る・蹴る）や簡単なルールのあるゲームを楽しく行おうとしている。 (思･判･表) ボールを使った基本操作（投げる・取る・蹴る）に慣れ、その楽しさや感じたことを自分なりの方法で表現しようとしている。 (主学) 簡単なルールのあるボール遊びやゲームを友達と一緒に行おうとしている。	「ボールで遊ぼう」 （E ボール遊び）	・転がす、投げる、蹴る、捕る ・的当てゲーム ・ボウリング ・ボッチャ ・ボール運びゲーム ・ティーベースボール ・大玉ドッチボール ・シュートゲーム等
3 月		【知及技】 感染症予防について学び、うがいやマスク、手洗い等、基本的な対策を行うことができる。 【思判表力】 体調が悪いときや怪我をして痛いときには教師に知らせたり、手が汚れているときには、その状態を見て、手洗いを行ったりすることができる。 【学・人】 身体計測による体重や身長の変化に興味、関心を持つことができる。	【知・技】 感染症予防について学び、うがいやマスク、手洗い等、基本的な対策を行おうとしている。 【思・判・表】 体調が悪いときや怪我をして痛いときには教師に知らせようとしたり、手が汚れているときには、その状態を見て、手を洗おうとしている。 【主学】 昨年と比べて、体重や身長が変化していることを知り、自分の成長を感じることができる。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「健康な生活」 （G 保健）	・大切な体 ・手洗い、うがい、水分補給、着替え ・身体測定 ・感染症予防対策 ・プライベートゾーン ・命の授業（赤ちゃんの誕生）
年間を通して		(知及技）教師の支援を受けて、ウォーミングアップやラジオ体操を行うことができる。 (思判表力)集合・整列では、自分の学年に並ぶことができる。 (学･人)教師の言葉かけや簡単な指示で、準備や後片付けを行うことができる。	(知・技）教師の支援を受けて、ウォーミングアップやラジオ体操を行おうとしている。 (思･判･表)集合・整列では、自分の学年に並ぼうとしている。 (主学)教師の言葉かけや簡単な指示で、準備や後片付けを行おうとしている。	「はじまるよ」 （A 体つくり運動遊び）	・ウォーミングアップ ・集合、整列 ・ラジオ体操 ・準備、後片付け
留意点 引継ぎ等		・（A 体つくり運動遊び）ウォーミングアップ、集合・整列は、年間を通して指導する。 ・（F 表現運動）ラジオ体操、ダンスは、年間を通して指導する。 ・（G 保健）健康な生活は、年間を通して指導する ・単元は、児童の興味・関心、実態に応じて精選、入れ替え、変更等、柔軟性を持って取り扱う。			

令和8年度 小学部５年（Ⅱ課程Ａ）　外国語活動　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35時間	Ⅱ課程Ａの児童	荷川取　優	音楽動画・音声教材

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標

(知及技）外国語を用いた体験的な活動を通して、日本語と外国語の音声の違いなどに気付き、外国語の音声に慣れ親しむようにする。

(思判表力)身近で簡単な事柄について、外国語に触れ、自分の気持ちを伝え合う力の素地を養う。

(学･人)外国語を通して、外国の文化などに触れながら、言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	13時間	（知及技）日本と外国の言語や文化について、英語の歌や日常生活になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しむことができる。 （思判表力）外国語を用いた動画や音声等の教材から再生される映像や音声に、興味や関心をもって見たり聞いたりすることができる。 （学・人）外国語の授業に安心して参加することができる。	（知・技）日本と外国の言語や文化について、英語の歌や日常生活になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しもうとしている。 （思・判・表）外国語を用いた動画や音声等の教材から再生される映像や音声に、興味や関心をもって見たり聞いたりしようとしている。 （主学）外国語の授業に安心して参加しようとしている。	「自己紹介をしよう」 「挨拶をしよう」 「What color?」 ・色 「いろいろな英語を知ろう」 ・曜日、天気 「what do you like?」 ・好きな色 ・好きな野菜 「いろいろな英語を知ろう」 ・好きな果物	・言語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさを知ること。【(1)ア】 ・既に知っている活動や場面で、英語の挨拶や語などを聞き取る活動【(3)ア】 ・歌やダンス、ゲームで、簡単な語や身振りなどを使って表現する活動。【(3)①イ(ｲ)】
2学期	15時間	（知及技）日本と外国の言語や文化について、外国の生活や行事などに触れ、日本と外国の生活や違いを知ることができる。 （思判表力）コミュニケーションの相手や外国語を用いた動画や音声等の教材から再生される映像や音声に、興味や関心をもって見たり聞いたりすることができる。 （学・人）授業や学校生活の中で、外国の文化に気付いたり、言語への関心を高めたりすることができる。	（知・技）日本と外国の言語や文化について、外国の生活や行事などに触れ、日本と外国の生活や違いを知ろうとしている。 （思・判・表）コミュニケーションの相手や外国語を用いた動画や音声等の教材から再生される映像や音声に、興味や関心をもって見たり聞いたりしようとしている。 （主学）授業や学校生活の中で、外国の文化に気付いたり、言語への関心を高めたりしようとしている。	「アルファベットを探そう」 「外国の文化についてしろう」 ・ハロウィン 「ゲームをしよう」 「外国の文化についてしろう」 ・クリスマス	・英語の歌や日常生活になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しむこと。【(1)イ(ｱ)】 ・外国の生活や行事などに触れ、日本と外国の生活や違いを知ること。【(1)イ(ｲ)】 ・歌やダンス、ゲームで、簡単な語や身振りなどを使って表現する活動。【(3)①イ(ｲ)】
3学期	7時間	（知及技）具体的な言語の使用場面や状況における活動を通して、言語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさを知ることができる。 （思判表力）教師や友達が話している英語を真似て話そうとしたり、相手の質問や要求に応じようとしたりすることができる。 （学・人）言葉やジェスチャー、指さしなどで、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。	（知・技）具体的な言語の使用場面や状況における活動を通して、言語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさを知ろうとしている。 （思・判・表）教師や友達が話している英語を真似て話そうとしたり、相手の質問や要求に応じようとしたりしている。 （主学）言葉やジェスチャー、指さしなどで、進んでコミュニケーションを図ろうとしている。	「新年の過ごし方」 「お店ごっこをしよう」 「一年間のまとめをしよう」	・既に知っている物や事柄に関する語などを聞き、それが表す内容を実物や写真などと結び付ける活動。【(3)①ア(ｲ)】 ・言語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさを知ること。【(1)ア】 ・歌やダンス、ゲームで、簡単な語や身振りなどを使って表現する活動。【(3)①イ(ｲ)】
留意点引継ぎ等					

令和８年度 小学部５年（Ⅱ課程Ａ）　道徳科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	５年生	手登根　真実子	自作教材・絵本

年間目標	・自分でできることは、 自ら取り組み、 よいこと悪いことをよく考えて行動する態度を養う。 ・友達と仲良くし、助けあう心を育てるとともに、あいさつや動作などの礼儀を身につける。 ・約束やきまりを守り、集団生活における自分の役割が分かり、最後までがんばる意欲を育てる。 ・身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接する態度を育てる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	13	・教師や友達、他学年の友達に親しみ、学校生活を楽しもうとする心情を育てる。 ・身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接しようとする心情を育てる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C　よりよい学校生活、集団生活の充実】 ・学校は楽しいね 【D　自然愛護】 ・自然の中で	・学級開き ・新転入生を迎える会 ・草花の栽培、観察
		・挨拶の大切さに気づき、場に応じた言葉づかいや気持ちのよい挨拶をしようとする。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【B　礼儀】 ・挨拶の相手 ・挨拶の仕方	・場に応じた挨拶 ・母の日、父の日 ・お手伝い
		・家族の愛情や家族の一員としての役割について家族に対する愛情をいっそう深め、積極的に家族と関わり、生活しようとすることができる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C　家族愛、家庭生活の充実】 ・家族の一員として ・家族のために 【B　感謝】 ・周囲への感謝 ・家族への感謝	・母の日、父の日 ・お手伝い
		・仲間はずれをしないことの大切さを理解し、誰に対しても公正、公平に接しようとすることができる。 ・戦争や平和について関心をもち、自分や友達の命を大切にしようとする気持ちを育てる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C　公正、公平、社会正義】 ・分け隔てなく	・公正、公平な態度 ・慰霊の日
[illegible]	15	・友達と仲良くし助け合うことの大切さがわかり、よりよい友達関係を築こうとする。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【B　友情、信頼】 ・友達の気持ちになって ・友達の立場になって	・人との関わり ・どんなきもち
		・物事のよいことと悪いことについて考え、よいと思うことをすすんで行おうとすることができる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【A　個性の伸長】 ・よさを伸ばす 【A　善悪の判断、自律、自由と責任】 ・よいことをすすんで ・心の強さ	・良いこと、悪いこと

2学期		・相手から喜ばれたり感謝されたりすることが働く喜びにつながることに気づき、すすんでみんなの役に立とうとする心情や実践意欲と態度を育てる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C　勤労、公共の精神】 ・働く喜び ・みんなの役に立ちたい	・色々な職業
		・約束やきまりの大切さに気づき、きまりを守って生活しようとすることができる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C　規則の尊重】 ・きまりを守って ・みんなのものを大切に	・公共施設でのマナー ・約束
3学期	7	・自分の生命が多くの人によって大切にされ、支えられていることに気付き、生命を大切にして生活しようとすることができる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【D　生命の尊さ】 ・私たちの命 ・命を見つめる 【D　自然愛護】 ・自然に親しむ ・自然とふれ合う	・自分の成長を振り返る ・家族への感謝
		・地域のよさについて考え、国や郷土に親しもうとすることができる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C　伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】 ・国やふるさとのよさ 【C　国際理解、国際親善】 ・世界の国々	・校外学習 ・地域の人々 ・世界の文化、人々の暮らし
		・言葉の大切さを理解し、相手が笑顔になるような言葉を使おうとする実践意欲と態度を育てる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C　公正、公平、社会正義】 ・うれしくなる言葉	・お父さんお母さんへ、卒業生へ、先生へ
年間を通して		・草花や野菜のお世話をしたり、観察をしたりして成長を見る。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【D　自然愛護】 ②草花や野菜を育てよう	・キャリアパスポート ・草花の栽培
留意点 引継ぎ等					

令和８年度　小学部　５年（Ⅱ課程Ａ）　特別活動　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	５学年	手登根真実子	自作教材・イラスト・写真

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解する。 (思判表力)集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができる。 (学･人)自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	13	･学級で目標を決める大切さを知り、意見を出し合って学級目標を作ることができる。（知及技） ･自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。（学･人） ･自分の好きなことや将来について考えることができる。（思判表力） ･同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。（学･人） ･一学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。（思判表力） ･夏休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。（知及技）	･学級で目標を決める大切さを知り、意見を出し合って学級目標を作ろうとしている。（知・技） ･自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。（主学） ･自分の好きなことや将来について考えようとしている。（思･判･表） ･同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。（主学） ･一学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。（思･判･表） ･夏休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいか自分で考えようとしている。（知・技）	･学年、学級開き ･一学期頑張ろう会 ･学級目標作り ･係活動を決めよう ･キャリアパスポート作り ･一学期の目標 ･学校間交流 （･居住地校交流） ･キャリアパスポートの活用 ･一学期頑張った会 ･夏休みに向けて	・新しい学級の友達や先生を知る。 ・一学期頑張ろう会に参加する。 ・一学期の行事の確認 ・学級目標を決めて、書いて教室に貼る。 ・一学期の係活動を決める。 ・一学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、選んだりして発表する。 ・交流会の日時を知る。 ・異学年や他校の友達と歌を歌ったり、簡単なゲームしたりして交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・一学期頑張った会に参加する。 ・夏休みの過ごし方を考えたり話し合ったりする。
2学期	15	･２学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知及技） ･自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。（学･人） ･自分の好きなことや将来について考えることができる。（思判表力） ･集団で活動するよさを知り、集団での活動に参加することができる。（知及技） ･同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。（学･人） ･二学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。（思判表力） ･冬休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。（知及技）	･２学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知・技） ･自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。（主学） ･自分の好きなことや将来について考えようとしている。（思･判･表） ･集団で活動するよさを知り、集団での活動に参加することができる。（知・技） ･同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。（主学） ･二学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。（思･判･表） ･冬休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいか答えることができる。（知・技）	･二学期頑張ろう会 ･キャリアパスポート作り ･二学期の目標 ･係活動を決めよう ・修学旅行 ･学校間交流 （･居住地校交流） ･キャリアパスポートの活用 ･二学期頑張った会 ･冬休みに向けて	・二学期頑張ろう会に参加する。 ・二学期の行事の確認 ・二学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、イラスト等を貼ったりする。 ・二学期の係活動を決める。 ・児童集会に参加する。 ・学校や住んでいる地域では体験できないことを学習し、見聞を広げる。 ・異学年や他校の友達と歌を歌ったり、簡単なゲームしたりして交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・二学期頑張った会に参加する。 ・冬休みの過ごし方を考えたり話し合ったりする。

3学期	7	・３学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知及技） ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。（学・人） ・自分の好きなことや将来について考えることができる。（思判表力） ・集団での活動に参加することができる。（学・人） ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。（学・人） ・一年間を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。（思判表力） ・進級する学年・学部が現在と違いがあることを知り、今後の行事や学習について希望を持つ。（知及技）	・３学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知・技） ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。（主学） ・自分の好きなことや将来について考えようとしている。（思・判・表） ・集団での活動に参加しようとしている。（主学） ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。（主学） ・一年間を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。（思・判・表） ・進級する学年・学部が現在と違いがあることを知り、今後の行事や学習について希望を持ち、伝えようとしている。（知・技）	・三学期頑張ろう会 ・キャリアパスポート作り ・三学期の目標 ・係活動を決めよう ・学校間交流（・居住地校交流） ・キャリアパスポートの活用 ・三学期頑張った会 ・進級学年・学部について	・三学期頑張ろう会に参加する。 ・三学期の行事の確認 ・三学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、イラスト等を貼ったりする。 ・三学期の係活動を決める。 ・あおぞら集会に参加する。 ・他学年の児童と交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・三学期頑張った会に参加する。 ・次の学年や学部について考える。
留意点 引継ぎ等					

あおぞら会（幼児児童生徒会）

学期	時数	活動の目標	活動・単元名	指導・活動内容
1学期	2	異年齢の生徒同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営をすることに自主的、実践的に取り組むことを通して、第１の目標（特別活動全体の目標）に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	・第１回あおぞら集会 ・第２回あおぞら集会	・新役員紹介 ・年間活動計画 ・令和８年度幼児児童生徒総会
2学期	1		・第３回あおぞら集会 ・特体連報告放送	・特体連選手激励会 ・特体連激励放送 ・特体連報告放送
3学期	3		・第４回あおぞら集会 ・第５回あおぞら集会 ・第６回あおぞら集会	・あおぞら役員選挙告示（選挙の内容の説明） ・立会演説会 ・体育館で投票 ・新役員の任命式及び引き継ぎ式 ・当選セレモニー ・当選証書授与

※あおぞら（幼児児童生徒）集会のある週の水曜日にあおぞら（幼児児童生徒）役員会を設定する（役員のみ）。

なお、各学部と調整して柔軟に日程は変更する。

※あおぞら会と学級活動の時数を合わせて、１学期１３回、２学期１５回、３学期７回の時数となる。

学校行事

学期	時数	活動の目標	活動・単元名	指導・活動内容
1学期	10	全校又は学年の児童で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、第１の目標（特別活動全体の目標）に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	・１学期　始業式、終業式 ・身体測定 ・地震津波避難訓練 ・内科検診、歯科検診、心電図	・先生の話を聞く。 ・自分の成長を知る。 ・安全に気をつけて行動することができる。 ・検査に落ち着いて受けることができる。 ・月ごとの振り返り
2学期	13		・２学期始業式、終業式 ・火災避難訓練 ・全校作業	・先生の話を聞く。 ・安全に気をつけて行動することができる。 ・月ごとの振り返り ・各行事の準備などの取り組み
3学期	5		・３学期始業式、修了式 ・全校作業 ・卒業式準備	・先生の話を聞く。 ・行事に意欲的に参加できる。 ・月ごとの振り返り ・各行事の準備などの取り組み

令和８年度 小学部　５年（Ⅱ課程B）　生活科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
7/245	小学部5年	篠原辰典	文部科学省著作教科書　せいかつ☆☆

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）活動や体験の過程において，自分自身，身近な人々，社会及び自然の特徴や変化に気付くとともに，身近な生活において必要な習慣や技能を身に付けるようにする。（小２段階） (思判表力）自分自身や身の回りの生活のことや，身近な人々，社会及び自然と自分との関わりについて気付き，感じたことを表現しようとする。（小２段階） (学･人）自分のことに取り組もうとしたり，身近な人々，社会及び自然に自ら働きかけようとしたり，意欲や自信をもって学んだり，生活に生かそうとしたりする態度を養う。（小２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して	5	(知及技）身近な生活に必要な身辺処理に関する基礎的な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力)必要な身辺処理が分かり、身近な生活に役立てようとすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技）身近な生活に必要な身辺処理に関する基礎的な知識や技能を身に付けようとしている。 (思･判･表)必要な身辺処理が分かり、身近な生活に役立てようとしている。 (学・人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【ア　基本的生活習慣】 「じぶんでもやってみよう」 「しょくじのマナー」	【食事】 ・食事のマナーや態度について分かるようになる。（食事中は立ち歩かない、こぼさず食べるなど） 【用便】 ・一連の流れと共に基本的な方法や態度を身に付ける。（男女の便所を区別する、鍵をかけるなど） 【寝起き】 ・規則正しい生活を意識する。（定時に寝起きする、寝床の準備や片付けをするなど） 【清潔】 ・身体各部や衣服の汚れが理解できる。（汚れた衣服を着替えるなど） 【身の回りの整理】 ・整理の仕方や収納場所や収納の方法などが分かる。（ハンガーに掛けるなど） 【身なり】 ・身なりについて自分で気付く。（衣服の前後や裏表が分かる、着脱後の簡単な確認をするなど）
	5	(知及技）身近な日課・予定について知ることができる。 (思判表力)身近な日課・予定が分かり、教師の援助を求めながら、日課に沿って行動しようとすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技）身近な日課・予定について知ろうとしている。 (思・判・表)身近な日課・予定が分かり、教師の援助を求めながら、日課に沿って行動しようとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【ウ　日課・予定】 「つぎのじゅぎょうはなにかな」	【日課・予定】 ・教師の言葉掛けを聞いたり、次の行動を絵や写真で示したカード等を見たりして、次に何をするのかが分かり、できるだけ一人で日課に沿って行動できるようにする。 ・予定については、下校後は何をするのか、また、明日の予定などを取り扱うことで、児童が身近な予定が分かり見通しを持って過ごすことができるようにする。
	5	(知及技）身近な人との接し方などについて知ることができる。 (思判表力)身近な人を知り、教師の援助を求めながら挨拶や話などをすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技）身近な人との接し方などについて知ろうとしている。 (思・判・表)身近な人を知り、教師の援助を求めながら挨拶や話などをしようとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【オ　人との関わり】 「わたしとかぞく」 「おきゃくさんだよ」 「ありがとう、ごめんなさい」 「せんせい・ともだち」	【自分自身と家族】 ・家族の名前が分かり紹介したり、家族の名前を尋ねられたときに応じたりする。 【身近な人との関わり】 ・担任教師や友達の名前を言ったり、自分から「おはようございます」、「さようなら」などの挨拶をしたりする。 ・教師等に見聞きしたことや遊んだことを話す。 【気持ちを伝える応対】 ・適切な場面で「ありがとう」や「ごめんなさい」などをできるだけ言葉で言う。
	14	(知及技）簡単な係活動などの役割について知ることができる。 (思判表力)身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技）簡単な係活動などの役割について知ろうとしている。 (思・判・表)身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【カ　集団】 「かかりのしごと」 「ちいきのぎょうじ」	【集団の参加や集団内での役割】 ・集団活動で簡単な係活動を果たす。 【地域の行事への参加】 ・地域の行事に参加し、簡単な買い物をしたり、地域の人たちと一緒に活動したりする。 【共同での作業と役割分担】 ・友達と一緒に作業に取り組む際には互いに協力して楽しく活動に取り組める。

	10	(知及技）簡単な手伝いや仕事について知ることができる。 (思判表力)教師の援助を求めながら身近で簡単な手伝いや仕事をしようとすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技）簡単な手伝いや仕事について知ろうとしている。 (思・判・表)教師の援助を求めながら身近で簡単な手伝いや仕事をしようとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【キ　手伝い・仕事】 「せんせいのおてつだいをしよう」 「そうじをしよう」	【手伝い】 ・できるだけ自分で、印刷物を配ることや教室へ教材の運搬の手伝いをする。 ・簡単な道具や器具を教師と一緒に使用して、作業の手伝いをする。 【整理整頓】 ・できるだけ自分で机やロッカーなどの中を整理することのほか、友達が使った物や学級の備品についても整理する。 【戸締まり】 ・扉や窓の開閉と同時に施錠方法を知り、どのようなときに開け、どのようなときに閉めるのかを理解する。 【掃除】 ・掃除用具の名称や使い方が分かり、できるだけ一人で、簡単な掃除をする。 【後片付け】 ・使用した道具の片付けをする。 ・友達からの言葉掛けでも片付けることができる。 ・友達と協力しながら片付ける。
	5	(知及技）簡単なきまりやマナーについて知ることができる。 (思判表力)身近で簡単なきまりやマナーに気付き、それらを守って行動しようとすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技）簡単なきまりやマナーについて知ろうとしている。 (思・判・表)身近で簡単なきまりやマナーに気付き、それらを守って行動しようとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【ケ　きまり】 「じぶんやみんなのもの・みんなのばしょ」 「せいかつのきまり」 「がっこうのきまり」 「しょくじのマナー」	【自分の物と他人の物の区別】 ・他人の物や学校の物品を無断で持ち出さない。 【学校のきまり】 ・学校生活では、廊下の右側通行、靴を履き替える場所、登校時刻や下校時刻など様々なきまりがあることに気付くとともに、それを守る。 【日常生活のきまり】 ・信号を守って横断する、停留所や駅などでは並んで順番を待つ、順番を守って乗り物の乗降をする、決められた場所で遊ぶなど。 【マナー】 ・正しい姿勢で食事をする、食事中は席に座っている、口に食物が入っているときは話さないなど、身近な生活におけるマナーを、実際に守る。
1学期	10	(知及技）安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力)身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技）安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表)身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【イ　安全】 〇あんぜんにつかおう 「つくろう」 「あそぼう」 〇きをつけて　あるこう 「おうだんほどう」 〇さいがいや　じこからじぶんをまもろう 「じしんがきたら」 「かじになったら」 「わたしたちをまもってくれるところ」	【危険防止】 ・身近な生活にある遊具・器具（はさみ、穴開けパンチ等）の安全な使い方を知る。 【交通安全】 ・歩行者用信号機の意味を知る。 ・安全な歩行の仕方（横断歩道、歩道、手を上げる）が分かる。 【避難訓練】 ・避難について知る。 ・災害（地震、火事）時の適切な行動について知り、教師と一緒に安全に避難する。 【防災】 ・自分たちの生活を見守り、事件や事故から自分たちを守ってくれる人や場所（交番、消防署、こども110番、地域パトロール等）があることを知る。
	5	（知及技）簡単なきまりのある遊びについて知ることができる。 (思判表力)身近な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びをしたり、遊びを工夫しようとしたりすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	（知・技)簡単なきまりのある遊びについて知ろうとしている。 (思･判･表)身近な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びをしたり、遊びを工夫しようとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【エ　遊び】 〇いっしょにあそぼう ・みんなでゆうぐあそび ・みんなでおにごっこ ・かたづけできるかな ・もっとあそびたいな （せいかつ☆☆）	【いろいろな遊び】 ・友達や教師と一緒にいろいろな遊具で遊ぶ。 （エアートランポリン、雲梯棒、滑り台、ブランコ、ジャングルジムなど） ・友達や教師と一緒に簡単なルールのある遊びをする。 （おにごっこ、椅子取りゲーム、かくれんぼ、じゃんけん列車、おもちゃ遊びなど） 【遊具の片付け】 ・友達と協力して、使った道具を元の場所に片付ける。
	5	(知及技）金銭の扱い方などを知ることができる。 (思判表力)身近な生活の中で、教師に援助を求めながら買い物をし、金銭の大切さや必要性について気付くことができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技）金銭の扱い方などを知ろうとしている。 (思・判・表)身近な生活の中で、教師に援助を求めながら買い物をし、金銭の大切さや必要性について気付こうとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。 【評価資料】買い物学習などでの活動の様子で評価する	【ク　金銭の扱い】 〇おかねはたいせつ 「おこづかいをもらったら」 〇かいもの 「れんしゅうをしてみよう」 〇なにをかおうかな 「どうやってかうのかな」 （自動販売機）	【金銭の扱い】 ・実際に金銭を支払い、金銭の価値を徐々に理解する。 ・お年玉やお小遣いなど、自分の金銭を財布や貯金箱に大切に保管することやその使い方を知る。 【買い物】 ・買い物ごっこで買い物の練習をする。 ・少しの支援で買い物をする。 【自動販売機の利用】 ・できるだけ一人で自動販売機に金銭を入れ、商品を選んでボタンを押し、品物を取り出すことで、およその使い方を知り、徐々に一人で操作できるようにする。

	7	(知及技）身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知ることができる。 (思判表力)教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技)身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知ろうとしている。 (思・判・表)教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【コ　社会の仕組みと公共施設】 「わたしのまわりのひとたち」 ・かぞくのやくわり ・あいにいこう（がっこうではたりくひとたち） 「わたしたちのまち」 「いってみよう」	【家族・親戚・近所の人】 ・家族がそれぞれ役割をもっていることに気付くことや、身近な地域で働く人などに対して関心を広げる。 【学校】 ・学校にある教室の名称や主な用途が分かる。 ・学校で働く様々な人に関心をもつことができる。 【いろいろな店】 ・教師と一緒に買い物に行き、いろいろな種類の店やそこで販売している商品に関心をもつ 【社会の様子】 ・自分の住む町の公共施設やいろいろな商店、河川や山、公園などの様子に関心をもつ。
	22	(知及技）身近な生命や自然について知ることができる。 (思判表力)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技)身近な生命や自然について知ろうとしている。 (思・判・表)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【サ　生命・自然】 〇みつけにいこう！はる・なつ・あき・ふゆ 〇いきものとなかよし 「どうぶつにあいにいこう」 〇そらとてんき 「きょうのてんき・あしたのてんき」 「ひる・よる」	【自然との触れ合い】 ・季節によって自然が変化することに気づく。 【動物の飼育・植物の栽培】 ・動物園等（子どもの国等）で動物に触れたり、餌やりをしたりし興味関心をもつ。 ・植物を栽培し育てる。（キャベツ、あさがお等） 【季節の変化と生活】 ・天候の変化に関心をもつ。（晴れ、くもり、雨） ・昼と夜の違いに気づく。（昼は太陽、明るい、影ができる。夜は月、星、暗いなど）
2学期	5	（知及技）簡単なきまりのある遊びについて知ることができる。 (思判表力)身近な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びをしたり、遊びを工夫しようとしたりすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	（知・技)簡単なきまりのある遊びについて知ろうとしている。 (思･判･表)身近な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びをしたり、遊びを工夫しようとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【エ　遊び】 〇いっしょにあそぼう ・みんなでゆうぐあそび ・みんなでおにごっこ ・かたづけできるかな ・もっとあそびたいな （せいかつ☆☆）	【いろいろな遊び】 ・友達や教師と一緒にいろいろな遊具で遊ぶ。（エアートランポリン、雲梯棒、滑り台、ブランコ、ジャングルジムなど） ・友達や教師と一緒に簡単なルールのある遊びをする。（おにごっこ、椅子取りゲーム、かくれんぼ、じゃんけん列車、おもちゃ遊びなど） 【遊具の片付け】 ・友達と協力して、使った道具を元の場所に片付ける。
	5	(知及技）金銭の扱い方などを知ることができる。 (思判表力)身近な生活の中で、教師に援助を求めながら買い物をし、金銭の大切さや必要性について気付くことができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技）金銭の扱い方などを知ろうとしている。 (思・判・表)身近な生活の中で、教師に援助を求めながら買い物をし、金銭の大切さや必要性について気付こうとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【ク　金銭の扱い】 〇おかねはたいせつ 「おこづかいをもらったら」 〇かいもの 「れんしゅうをしてみよう」 〇なにをかおうかな 「どうやってかうのかな」 （自動販売機）	【金銭の扱い】 ・実際に金銭を支払い、金銭の価値を徐々に理解する。 ・お年玉やお小遣いなど、自分の金銭を財布や貯金箱に大切に保管することやその使い方を知る。 【買い物】 ・買い物ごっこで買い物の練習をする。 ・少しの支援で買い物をする。 【自動販売機の利用】 ・できるだけ一人で自動販売機に金銭を入れ、商品を選んでボタンを押し、品物を取り出すことで、およその使い方を知り、徐々に一人で操作できるようにする。
	7	(知及技）身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知ることができる。 (思判表力)教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技)身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知ろうとしている。 (思・判・表)教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【コ　社会の仕組みと公共施設】 「わたしのまわりのひとたち」 「わたしたちのまち」 「いってみよう」 「のってみよう」 「せいかつのきまり」 「わたしのまわりのひとたち」	【いろいろな店】 ・教師と一緒に買い物に行き、いろいろな種類の店やそこで販売している商品に関心をもつ 【社会の様子】 ・自分の住む町の公共施設やいろいろな商店、河川や山、公園などの様子に関心をもつ。 【公共施設の利用】 ・図書館、体育館、児童館などの身近な公共施設を適切に利用し、そのおよその働きが分かる。 【交通機関の利用】 ・電車やバスなどを利用し、切符を購入したり料金を支払ったりすることに慣れるとともに、いろいろな交通機関があることを知る。
	12	(知及技）身近な生命や自然について知ることができる。 (思判表力)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技)身近な生命や自然について知ろうとしている。 (思・判・表)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【サ　生命・自然】 〇みつけにいこう！はる・なつ・あき・ふゆ 〇いきものとなかよし 「どうぶつにあいにいこう」 〇そらとてんき 「きょうのてんき・あしたのてんき」 「ひる・よる」	【自然との触れ合い】 ・季節によって自然が変化することに気づく。 【動物の飼育・植物の栽培】 ・動物園等（子どもの国等）で動物に触れたり、餌やりをしたりし興味関心をもつ。 ・植物を栽培し育てる。（キャベツ、あさがお等） 【季節の変化と生活】 ・天候の変化に関心をもつ。（晴れ、くもり、雨） ・昼と夜の違いに気づく。（昼は太陽、明るい、影ができる。夜は月、星、暗いなど）

	10	(知及技）安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力)身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技）安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表)身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【イ　安全】 〇あんぜんにつかおう 「つくろう」 「あそぼう」 〇きをつけて　あるこう 「おうだんほどう」 〇さいがいや　じこから　じぶんをまもろう 「じしんがきたら」 「かじになったら」 「わたしたちをまもってくれるところ」	【危険防止】 ・身近な生活にある遊具・器具（はさみ、穴開けパンチ等）の安全な使い方を知る。 【交通安全】 ・歩行者用信号機の意味を知る。 ・安全な歩行の仕方（横断歩道、歩道、手を上げる）が分かる。 【避難訓練】 ・避難について知る。 ・災害（地震、火事）時の適切な行動について知り、教師と一緒に安全に避難する。 【防災】 ・自分たちの生活を見守り、事件や事故から自分たちを守ってくれる人や場所（交番、消防署、こども110番、地域パトロール等）があることを知る。
3学期	5	(知及技）簡単なきまりのある遊びについて知ることができる。 (思判表力)身近な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びをしたり、遊びを工夫しようとしたりすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技）簡単なきまりのある遊びについて知ろうとしている。 (思・判・表)身近な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びをしたり、遊びを工夫しようとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【エ　遊び】 「いっしょにあそぼう」	【いろいろな遊び】 ・遊びの場や遊具を友達と共有したり、簡単なルールのある遊びを一緒にしたりすることにより、関わりを広げていく。（教師や友達と、鬼ごっこなどの簡単なルールのある遊び、大きく身体活動ができる遊具を活用した遊びなど） 【遊具の後片付け】 （自分で使った遊具を片付ける、友達と一緒に大きな物を協力しながら運び収納するなど）
	7	(知及技）身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知ることができる。 (思判表力)教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技)身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知ろうとしている。 (思・判・表)教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【コ　社会の仕組みと公共施設】 「わたしのまわりのひとたち」③ 「わたしたちのまち」 「いってみよう」 「のってみよう」 「せいかつのきまり」 「わたしのまわりのひとたち」	【家族・親戚・近所の人】 ・家族がそれぞれ役割をもっていることに気付くことや、身近な地域で働く人などに対して関心を広げる。 【学校】 ・学校にある教室の名称や主な用途が分かる。 ・学校で働く様々な人に関心をもつことができる。
	5	(知及技）金銭の扱い方などを知ることができる。 (思判表力)身近な生活の中で、教師に援助を求めながら買い物をし、金銭の大切さや必要性について気付くことができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技）金銭の扱い方などを知ろうとしている。 (思・判・表)身近な生活の中で、教師に援助を求めながら買い物をし、金銭の大切さや必要性について気付こうとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【ク　金銭の取り扱い】 「おかねはたいせつ」③ 「かいもの」③ 「なにをかおうかな」③	【金銭の扱い】 ・実際に金銭を支払い、金銭の価値を徐々に理解する。 ・お年玉やお小遣いなど、自分の金銭を財布や貯金箱に大切に保管することやその使い方を知る。 【買い物】 ・できるだけ自分で買い物をし、「これ、ください」など、買い物に必要な言葉を使うこと、決まった額の買い物をすること、商店などで品物を選んで買うことができる。 【自動販売機の利用】 ・できるだけ一人で自動販売機に金銭を入れ、商品を選んでボタンを押し、品物を取り出すことで、およその使い方を知り、徐々に一人で操作できるようにする。
	10	(知及技）身近な生命や自然について知ることができる。 (思判表力)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技)身近な生命や自然について知ろうとしている。 (思・判・表)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養おうとしている。	【サ　生命・自然】 〇みつけにいこう！はる・なつ・あき・ふゆ 〇いきものとなかよし 「どうぶつにあいにいこう」 〇そらとてんき 「きょうのてんき・あしたのてんき」 「ひる・よる」	【自然との触れ合い】 ・季節によって自然が変化することに気づく。 【動物の飼育・植物の栽培】 ・動物園等（子どもの国等）で動物に触れたり、餌やりをしたりし興味関心をもつ。 ・植物を栽培し育てる。（キャベツ、あさがお等） 【季節の変化と生活】 ・天候の変化に関心をもつ。（晴れ、くもり、雨） ・昼と夜の違いに気づく。（昼は太陽、明るい、影ができる。夜は月、星、暗いなど）
	16	(知及技）身近にあるものの仕組みや働きについて知ることができる。 (思判表力)身近にあるものの仕組みや働きが分かり、それらを表現しようとすることができる。 (学･人)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	(知・技）身近にあるものの仕組みや働きについて知ろうとしている。 (思・判・表)身近にあるものの仕組みや働きが分かり、それらを表現しようとしている。 (主学)身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学級活動や学習に取り組もうとしたり、生活に生かそうとする態度を養うことができる。	〇もののおもさ 「おもさくらべ（もつ）」 〇かぜやゴムのちから 「かぜのちから」 「かぜでうごかそう」	【物と重さ】 ・物には重い物と軽い物があることに気付く。 ・身近にある物を実際に持って比べる。（例：水の入ったバケツ、厚さの違う本、机と椅子、量の違うピー玉等） 【風やゴムの力の働き】 ・風の力は、物を動かすことができることに気付く。 ・風車、風鈴、凧、おもちゃのヨット等
留意点 引継ぎ等		．			

令和８年度 小学部５年（Ⅱ課程Ｂ）　国語科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	５学年	手登根　真実子	こくご☆

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 日常生活に必要な身近な言葉を身に付けるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができるようにする。 (思判表力)言葉が表す事柄を想起したり受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。 (学･人)言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
１学期	35	(知及技)身近な人からの話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じることができる。 (思判表力)絵や写真、簡単な記号などが表す意味を感覚的に識別し、選択したり、行動したりすることができる。 (学・人)自分なりの表現で、意思を伝えようとする意欲を高めることができる。	(知・技)身近な人からの話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じようとしている。 (思・判・表)絵や写真、簡単な記号などが表す意味を感覚的に識別し、選択したり、行動したりしようとしている。 (主学)自分なりの表現で、意思を伝えようとしたりする意欲を高めようとしている。	「学校のことを話そう」 （Ａ　聞くこと・話すこと） 学校生活、朝の会、係、自己紹介 (Ｃ　読むこと) 「しるし」 「あなたはだあれ」	・身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じること。【ア-（ア）】 ・身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすること。【A-イ】 ・絵や矢印などの記号で表された意味に応じ、行動すること。【C-ウ】
２学期	40	(知及技)昔話などについて、読み聞かせを聞くなどして親しむことができる。 (思判表力)絵本などを見て、次の場面を楽しみにしたり、登場人物の動きなどを模倣したりすることができる。 (学・人)声や言葉を使った遊びや関わりを通して、言葉の響きやリズムを体感したり楽しんだりすることができる。	(知・技)具体物を使って身近な事物の名前や動作を繰り返すことで、遊びの中で言葉と事物を一致させようとしている。 (思・判・表)絵本などを見て、次の場面を楽しみにしたり、登場人物の動きなどを模倣したりしようとしている。 (学・人)声や言葉を使った遊びや関わりを通して、言葉の響きやリズムを体感したり楽しんだりしようとしている。	「言葉で遊ぼう 何が出てくるかな」 (A　聞くこと・話すこと) (C　読むこと) 「ほっとけーき」 「まほうのはこ」 「くまさんくまさん」	・身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じること。【ア-（ア）】 ・遊びを通して、言葉のもつ楽しさに触れること。【イ-（イ）】 ・絵本などを見て、次の場面を楽しみにしたり、登場人物の動きなどを模倣したりすること。【C-エ】
３学期	30	(知及技)具体物を使って身近な事物の名前や動作を繰り返すことで、遊びの中で言葉と事物を一致させることができる。 (思判表力)伝えたいことを思い浮かべ、身振りや表情、音声などで表すことができる。 (学・人)気持ちを身振りや表情、音声で表現したり伝えたりすることができる。	(知・技)具体物を使って身近な事物の名前や動作を繰り返すことで、遊びの中で言葉と事物を一致させようとしている。 (思・判・表)伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表そうとしている。 (主学)気持ちを身振りや音声、言葉で表現したり伝えたりしようとしている。	「言葉で遊ぼう 何が出てくるかな」 (A　聞くこと・話すこと) (C　読むこと) 「はるなつあきふゆ」	・身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じること。【ア-（ア）】 ・言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすること。【ア-（イ）】 ・身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすること。【A-イ】 ・伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すこと。【A-ウ】 ・絵本などを見て、知っている事物や出来事などを指さしなどで表現すること。【C-イ】
留意点 引継ぎ等					

令和８年度 小学部５年（Ⅱ課程B）　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	５年生	篠原辰典	さんすう☆

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 　数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに，日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けることができる。 (思判表力) 　日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力，基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりする力を身につけることができる。 (学･人) 　数学的活動の楽しさに気付き，関心や興味をもち，学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度，算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	14	(知及技) ・ものとものとを対応させて配ることができる。 (思判表力) ・ものとものとを関連付けることに注意を向け，ものの属性に注目し，仲間であることを判断したり，表現したりすることができる。 (学･人) ・数量や図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	(知・技) ・ものとものとを対応させて配ろうとしている。 (思･判･表) ・ものとものとを関連付けることに注意を向け，ものの属性に注目し，仲間であることを判断したり，表現したりしようとしている。 (主学) ・数量や図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとしている。	A数量の基礎イ ・おなじまーくは，どれでしょう ・じぶんのまーくは，どこでしょう	【おなじまーくは，どれでしょう／じぶんのまーくは，どこでしょう】 　特別な物（自分のもの）を他と見分ける。 【みんなに くばりましょう】 　一人に一つのもの，一つのものに他の一つのものを対応する。
	14	(知及技) ・分割した絵カードを組み合わせることができる。 ・関連深い絵カードを組み合わせることができる。 (思判表力) ・ものとものとを関連付けることに注意を向け，ものの属性に注目し，仲間であることを判断したり，表現したりすることができる。 (学･人) ・数量や図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	(知・技) ・分割した絵カードを組み合わせようとしている。 ・関連深い絵カードを組み合わせようとしている。 (思･判･表) ・ものとものとを関連付けることに注意を向け，ものの属性に注目し，仲間であることを判断したり，表現したりしようとしている。 (主学) ・数量や図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとしている。	A数量の基礎イ ・あわせましょう①② ・なかまをあつめましょう	【あわせましょう①②】 　切り離した絵のそれぞれの絵カードから情報を読み取り，読み取った情報を基に，一枚の絵を完成させる。 【なかまをあつめましょう】 　身近でなじみのある食べ物を集める，動物を集めるなど，指定された属性の中で，関連深い絵カードを集める。
2学期	14	(知及技) ・目の前のものを，１個，２個，たくさんで表すことができる。 ・５までの範囲で数唱をすることができる。 ・３までの範囲で具体物を取ることができる。 ・対応させてものを配ることができる。 ・形や色，位置が変わっても，数は変わらないことに気付くことができる。 (思判表力) ・数詞とものの関係に注目し，数のまとまりや数え方に気付き，それらを学習や生活で生かすことができる。 (学･人) ・数量に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	(知・技) ・目の前のものを，１個，２個，たくさんで表そうとしている。 ・５までの範囲で数唱をしようとしている。 ・３までの範囲で具体物を取ろうとしている。 ・対応させてものを配ろうとしている。 ・形や色，位置が変わっても，数は変わらないことに気付くことができる。 (思･判･表) ・数詞とものの関係に注目し，数のまとまりや数え方に気付き，それらを学習や生活で生かそうとしている。 (主学) ・数量に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとしている。	B数と計算ア ・いち，に，たくさん ・いち，に，さん，し，ご ・とりましょう ・まーくに，あわせて，ならべましょう ・ぜんぶ「さん」	【いち，に，たくさん】 　①左右の手に一つずつ具体物を持ち，それでもまだ両手には持てないほどの具体物がある状況，自分の手では持てないほどの量があることを体感する。 　②「１個，２個，たくさん」と表現することに気付く。 【いち，に，さん，し，ご】 　５までの範囲で数を唱える。 【とりましょう】 　３までの数の具体物を取る。 【まーくに，あわせて，ならべましょう】 　ボウリングのピンを準備する場面を捉え，マークを手掛かりに，必要な数のピンを置く（配る）。 【ぜんぶ「さん」】 　様々な具体物やイラストなどを操作する，指差すなどの動きを伴う活動を通して，形や色が違う具体物でも数が変わらないこと，間隔や置き方などの位置が変わっても数が変わらないことに気付く。
	14	(知及技) ・似ている二つのものを結びつけることができる。 ・関連の深い一対のものや絵カードを組み合わせることができる。 ・同じもの同士の集合作りをすることができる。 (思判表力) ・ものの属性に着目し，様々な情報から同質なものや類似したものに気付き，日常生活の中で関心を持つことができる。 ・ものとものとの関係に注意を向け，ものの属性に気付き，関心をもって対応しながら，表現する仕方を見つけ出し，日常生活で生かすことができる。 (学･人) ・図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	(知・技) ・似ている二つのものを結びつけようとしている。 ・関連の深い一対のものや絵カードを組み合わせようとしている。 ・同じもの同士の集合を作ろうとしている。 (思･判･表) ・ものの属性に着目し，様々な情報から同質なものや類似したものに気付き，日常生活の中で関心を持とうとしている。 ・ものとものとの関係に注意を向け，ものの属性に気付き，関心をもって対応しながら，表現する仕方を見つけ出し，日常生活で生かそうとしている。 (主学) ・図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとしている。	C図形ア ・にているものを，みつけましょう ・そろえましょう ・おなじかたちを，あつめましょう	【にているものを，みつけましょう】 　①形をおおまかに捉える。 　②形が同じであるか，同じでないかを区別する。 　③似ていることを捉える。 【そろえましょう】 　①様々な刺激の中から，ものとものとを関連付けるために必要な情報として，形を取り出す。 　②仲間であることを判断する。 　③対にすることでそれを表現する。 【おなじかたちを，あつめましょう】 　①形に着目する。 　②形を捉える。 　③同じ形と認識する。 　④同じ形を選択し，一つのところに集める。

3 学 期	14	(知及技) ・大きさや長さなどを，基準に対して同じか違うかによって区別することができる。 ・ある・ない，大きい・小さい，多い・少ないなどの用語に注目して表現することができる。 (思判表力) ・大小や多少等で区別することに関心を持ち，量の大きさを表す用語に注目して表現することができる。 (学･人) ・数量や図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	(知・技) ・大きさや長さなどを，基準に対して同じか違うかによって区別しようとしている。 ・ある・ない，大きい・小さい，多い・少ないなどの用語に注目して表現しようとしている。 (思･判･表) ・大小や多少等で区別することに関心を持ち，量の大きさを表す用語に注目して表現しようとしている。 (主学) ・数量や図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとしている。	D測定ア ・おなじ，ちがう ・おおきい，ちいさい①② ・おおい，すくない①② ・ながい，みじかい	【おなじ，ちがう】 ①児童が直接働きかける具体物を観察する。 ②基準に対して，同じであるか，同じでないかを区別する。 ③「同じ」「違う」という用語を用いる。 【おおきい，ちいさい①】 ①児童が直接働きかける具体物を観察する。 ②具体物の大きさに注目して，それを「大きい」か「大きくない」か決める。 ③大きさの異なる二つの具体物を「大きい」と「小さい」に区別する。 ④「大きい」「小さい」という用語を用いる。 【おおきい，ちいさい②】 ①二つの大きさの違いに注目する。 ②二つの大きさのいずれかに働きかけて同じ大きさにする。 【おおい，すくない①】 ①児童が直接働きかける対象などを観察する。 ②かさ等に注目して，それを「多い」と「少ない」に区別する。 ③かさ等の異なる二つの量を「多い」と「少ない」に区別する。 ④「多い」「少ない」という用語を用いる。 【おおい，すくない②】 ①二つのかさに注目して，それらを「多い」と「少ない」にわける。 ②「多い」「少ない」という用語を用いる。 【ながい，みじかい】 ①具体物の長さに注目する。 ②基準に対して，同じであるか，同じでないかを区別する。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 小学部５年（Ⅱ課程Ｂ）　音楽科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	Ⅱ課程Bの児童	荷川取　優	音楽動画・音声教材

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)音や音楽に注意を向けて気づくとともに、関心を向け、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりにつながる技能を身に付けるようにする。（小１段階） (思判表力)音楽的な表現を楽しむことや、音や音楽に気づきながら関心や興味をもって聴くことができるようにする。（小１段階） (学･人)音や音楽に気づいて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとする態度を養う。（小１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	（知及技） ・音や音楽に気づき、音を感じながら、表情や発声、身体の動きで表現することができる。 （思判表力） ･色々な楽器に興味･関心をもち、手を伸ばしたり、音を出したりして楽器に親しむことができる。 （学・人） ･教師や友だちと一緒に音楽活動をする楽しさを感じることができる。	（知･技） ・音や音楽に気付き、音を感じながら、表情や発声、身体の動きで表現しようとしている。 （思･判･表） ･色々な楽器に興味･関心をもち、手を伸ばしたり、音を出したりして楽器に親しもうとしている。 （主学） ･教師や友だちと一緒に音楽活動をする楽しさを感じようとしている。	「どんなうたがあるかな」(音) ・おへんじうた ・こいのぼり ・ウォークアンドストップ	・おへんじうたに合わせて、名前が呼ばれたら、タンバリン等を打って応じる。 ・教師と一緒に身体を揺らして３拍子を感じたり、音楽を通してこいのぼりに関心をもつ。 ・「どんぐりころころ」「ピンクパンサーのテーマ曲」の曲の雰囲気、テンポの変化に合わせて、歩いたり止まったりする。
				「どんなうたがあるかな」(音) ・こいのぼり ・おべんとうばこのうた ･校歌ダンス 「ならしてみよう」 ・がっきをならそう ・おおきなたいこ 「楽器の音をきいてみよう」(鑑) ・ドラムかんアンサンブル	・前月同様 ・教師の手本やパネルシアターなどの視覚教材を見聞きする。 ・校歌に合わせて旗を振る練習をする。 ・「楽器をならそう」という呼びかけに答えて簡単な打楽器を鳴らす。 ・大太鼓「どーんどーん」、小太鼓「とんとんとん」の歌詞に合わせて演奏する。
				「うたおう」(音) ・ばすにのって ・白保と八特の子ども ・月桃 「ならしてみよう」 ・たなばたさま ･がっきをならそう ・おおきなたいこ 「みてきいて」(鑑) ・あめふりくまのこ ・ハンガリー舞曲第５	・曲に合わせて、友達、教師と共に身体を動かす。 ・白保小との交流会に向けて、曲を知る。 ・PPを見ながら、八重山の自然を感じ、平和の素晴らしさを感じる。 ・星空の映像を見ながら、ツリーチャイムを鳴らしたり、鈴をならしたりして、季節の音楽を楽しむ。 ・パネルシアターを楽しむ。 ・曲に合わせて、新聞紙をビリビリしたり、投げたりする。
				「うたおう」(音) ・うみ ・たなばたさま 「ならしてみよう」 ･がっきをならそう ・おおきなたいこ 「みてきいて」(鑑) ・プロジェクションマッピング	・小豆や砂を使って、海の波の音を作る。 ・前月同様

2学期	30	（知及技） ・拍や曲の特徴的なリズムを感じながら、表情や発声、身体の動きで表現することができる。 （思判表力） ・教師と一緒に曲に合わせて楽器の音を奏でたり、音色を楽しんだりすることができる。 （学・人） ･教師や友だちと一緒に音楽活動をする楽しさを表現することができる。	（知・技） ・拍や曲の特徴的なリズムを感じながら、表情や発声、身体の動きで表現しようとしている。 （思・判・表） ・教師と一緒に曲に合わせて楽器の音を奏でたり、音色を楽しんだりしようろしている。 （主学） ･教師や友だちと一緒に音楽活動をする楽しさを表現しようとしている。	「からだを動かそう」（音） ・とんぼのめがね ・あたま・かた・ひざ・ぽん ・校歌ダンス 「一緒に音を楽しもう」（鑑） ・３びきのやぎのがらがらどん	･セロファンでとんぼの色眼鏡を作って、曲に合わせてとんぼになりきる。 ・身体の部位の名称に合わせて触れる。 ・曲に合わせてペープサートを視聴し、登場人物になったつもりで声を発したり、身体を揺らしたりする。
				「からだを動かそう」（音） ・おばけなんてないさ ・おやつたーべよ ・バスごっこ 「一緒に音を楽しもう」（鑑） ・おもちゃのへいたい	・曲に合わせて、手足を動かしたり、身体を揺らしたり、繰り返し出てくる「さ」の部分で声を出したり、ジャンプしたりする。 ・教師の歌いかけに応じて、一人ずつ順番に動作したり、楽器をならしたり、声を出したりする。 ・段ボールで作ったバスに乗ったり、曲に合わせて友達に切符を渡したりして楽しむ。 ・曲に合わせて、パネルシアターを楽しむ。
				「楽器をならそう」（音） ・きらきらぼし 「むかいあってたのしくあそぼう」（音） ・とんとんとんとん ・むすんでひらいて 「うたやリズムを楽しもう」（鑑） ・おどるねこ	・曲に合わせて、友達と交代しながら楽器を演奏する。 ・友達や先生と向かい合って、曲に合わせて手遊びをする。
				「楽器をならそう」（音） ・赤鼻のトナカイ 「うたやリズムを楽しもう」（鑑） ・あわてんぼうのサンタクロース	･季節の曲を楽しむ。 ･曲に合わせて、パネルシアターを楽しむ。 ・クリスマス会の練習
3学期	14	（知及技） ・音楽遊びを通して、身の回りの音や音の面白さに気付くことができる。 （思判表力） ･身近な人の演奏に触れ、好きな音色や楽器の音を見付けたり、身体表現したりしながら聴くことができる。 （学・人） ･様々な音楽作品を鑑賞し、音楽に親しみ興味関心を深めることができる。	（知･技） ・音楽遊びを通して、身の回りの音や音の面白さに気付くことができる。 （思･判･表） ･身近な人の演奏に触れ、好きな音色や楽器の音を見付けたり、身体表現したりしながら聴くことができる。 （主学） ･様々な音楽作品を鑑賞し、音楽に親しみ興味関心を深めることができる。	「手遊びしよう」 「どうぶつになって」（音） ・のねずみ ・くまさんくまさん 「わらべうたであそぼう」（音)(鑑） ・なべなべそこぬけ ・はないちもんめ	・児童と向かい合ってくすぐりなどで触れ合って遊ぶ。 ・歌詞に合わせた動作で踊る。 ・曲に合わせて、昔遊びを楽しむ。
				「げんきなこえでうたおう」（音） ・まめまき ・おにのパンツ 「卒業式に向けて」（音）・卒業式の歌 「音や音楽をきいて、自分なりの楽しさをみつけよう」（鑑） ・はらぺこあおむし	・季節の歌を楽しむ。 ・曲に合わせて踊る。 ・パネルシアターを楽しむ。
				「歌って踊って」（音） ・ちぇっちぇっこり 「卒業式に向けて」（音）・卒業式の歌 「音や音楽をきいて、自分なりの楽しさをみつけよう」（鑑） ・思い出のアルバム	・曲の速さを変えながら、身体を揺らして楽しくダンスをする。また、曲に合わせて自分の好きな楽器を鳴らす。 ・みんなの1年間を振り返るPPを作り、曲に合わせて１年間でがんばったこと成長したことを振り返る。
留意点 引継ぎ等					

令和８年度 小学部５年（Ⅱ課程B）　図画工作科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	5学年	譜久嶺　明香	自作教材、絵本等

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 形や色などの違いに気付き、表したいことを基に材料や用具を使い、表し方を工夫してつくるようにする。（小２段階） (思判表力)表したいことを思い付いたり、作品などの面白さや楽しさを感じ取ったりすることができるようにする。（小２段階） (学･人)進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。（小２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	26	(知及技) 形の面白さや色の違いに気づき、身近な材料や用具を使ってかいたり、形をつくったりすることができる。 (思判表力) 材料や感じたこと、想像したこと、みたことから表したいことを思いつき、表現することができる。 (学・人) 表現や鑑賞の活動を通して、つくりだす楽しさや喜びに気づき、興味関心をもって学習に取り組むことができる。	(知・技) 形の面白さや色の違いに気づき、身近な材料や用具を使ってかいたり、形をつくったりすることができる。 (思・判・表) 材料や感じたこと、想像したこと、みたことから表したいことを思いつき、表現することができる。 (主学) 表現や鑑賞の活動を通して、つくりだす楽しさや喜びに気づき、興味関心をもって学習に取り組むことができる。	「かいてみよう」 ・お父さん・お母さんの絵 ・遠足の思い出 ・音楽に合わせて心の線を描こう 「やってみよう」 ・色で遊ぼう ・スタンプ 「つくってみよう」 ・季節の製作 ・粘土 「みてみよう」 ・鑑賞	・材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付くこと。【Aーア（ア）】 ・身近にあるものなどの形や色の面白さについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げること。【Bーア（ア）】 ・形や色などを基に、自分のイメージをもつこと。【共通事項（イ）】
2学期	30	(知及技) 形の面白さや色の違いに気づき、身近な材料や用具を使ってかいたり、形をつくったりすることができる。 (思判表力) 材料や感じたこと、想像したこと、みたことから表したいことを思いつき、表現することができる。 (学・人) 表現や鑑賞の活動を通して、つくりだす楽しさや喜びに気づき、興味関心をもって学習に取り組むことができる。	(知・技) 形の面白さや色の違いに気づき、身近な材料や用具を使ってかいたり、形をつくったりすることができる。 (思・判・表) 材料や感じたこと、想像したこと、みたことから表したいことを思いつき、表現することができる。 (主学) 表現や鑑賞の活動を通して、つくりだす楽しさや喜びに気づき、興味関心をもって学習に取り組むことができる。	「かいてみよう」 ・読書感想画 「やってみよう」 ・切ってつなげて ・粘土 「つくってみよう」 ・季節の製作 ・紙版画 ・勤労感謝の日プレゼント 「みてみよう」 ・夏休み作品展 ・鑑賞	・材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付くこと。【Aーア（ア）】 ・身近にあるものなどの形や色の面白さについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げること。【Bーア（ア）】 ・自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などの違いに気付くこと。【共通事項（ア）】
3学期	14	(知及技) 形の面白さや色の違いに気づき、身近な材料や用具を使ってかいたり、形をつくったりすることができる。 (思判表力) 材料や感じたこと、想像したこと、みたことから表したいことを思いつき、表現することができる。 (学・人) 表現や鑑賞の活動を通して、つくりだす楽しさや喜びに気づき、興味関心をもって学習に取り組むことができる。	(知・技) 形の面白さや色の違いに気づき、身近な材料や用具を使ってかいたり、形をつくったりすることができる。 (思・判・表) 材料や感じたこと、想像したこと、みたことから表したいことを思いつき、表現することができる。 (主学) 表現や鑑賞の活動を通して、つくりだす楽しさや喜びに気づき、興味関心をもって学習に取り組むことができる。	「やってみよう」 ・並べて並べて 「つくってみよう」 ・季節の製作 ・卒業式壁面・プレゼント ・作品集 「みてみよう」 ・1年間の活動の振り返り ・鑑賞	・材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付くこと。【Aーア（ア）】 ・身近にあるものなどの形や色の面白さについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げること。【Bーア（ア）】 ・形や色などを基に、自分のイメージをもつこと。【共通事項（イ）】

令和8年度　小学部5年（Ⅱ課程Ｂ）　体育科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	Ⅱ課程Bの児童	重森　誠仁	

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）遊びや運動に必要な基本的な動きを身に付け、楽しく活動に取り組むことができる。（小１段階） (思判表力)健康な生活に必要な事柄を身に付け、取り組むことができる。（小１段階） (学･人)遊びや運動の喜びや楽しさを感じ、進んで活動に取り組むことができる。（小１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	26	【知及技】 教師と一緒に歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりすることができる。 【思判表力】 体を動かすことの楽しさや心地よさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行うことができる。	【知・技】 教師と一緒に歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりしようとしている。 【思・判・表】 体を動かすことの楽しさや心地よさを自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行おうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「みんなで楽しく」 A体つくり運動遊び	・ラジオ体操 ・簡単なゲーム 台風の目 大玉転がし 玉入れ 風船バレー しっぽ取りゲーム かけっこ サーキット 等
		【知及技】 教師と一緒に歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりすることができる。 【思判表力】 体を動かすことの楽しさや心地よさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行うことができる。	【知・技】 教師と一緒に歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりしようとしている。 【思・判・表】 体を動かすことの楽しさや心地よさを自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行おうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「みんなで楽しく」 A体つくり運動遊び	・ラジオ体操 ・簡単なゲーム 台風の目 大玉転がし 玉入れ 風船バレー しっぽ取りゲーム かけっこ サーキット 等
		【知及技】 水に親しみ、手足を動かしたり、水の温度や感触、浮いた感覚を味わったりすることができる。 【思判表力】 水に慣れ、自分の好きな動きや遊びを見つけることができる。 【学・人】 教師と一緒にプールでの決まりを守り、楽しく遊ぶことができる。	【知・技】 水に親しみ、手足を動かしたり、水の温度や感触、浮いた感覚を味わおうとしている。 【思・判・表】 水に慣れ、自分の好きな動きや遊びを見つけようとしている。 【主学】 教師と一緒にプールでの決まりを守り、楽しく遊ぼうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「水遊び」「プール学習」 D水あそび	・水遊び（じょうろ、ホース、シャワー、水鉄砲、バケツ、ペットボトル、しゃぼん玉遊び等） ・手足バタバタ、水に慣れよう ・体の力を抜いて、浮いてみよう！ ・ふりこ（スイング、ドルフィン） ・水中歩き ・宝さがし

		【知及技】 水に親しみ、手足を動かしたり、水の温度や感触、浮いた感覚を味わったりすることができる。 【思判表力】 水に慣れ、自分の好きな動きや遊びを見つけることができる。 【学・人】 教師と一緒にプールでの決まりを守り、楽しく遊ぶことができる。	【知・技】 水に親しみ、手足を動かしたり、水の温度や感触、浮いた感覚を味わおうとしている。 【思・判・表】 水に慣れ、自分の好きな動きや遊びを見つけようとしている。 【主学】 教師と一緒にプールでの決まりを守り、楽しく遊ぼうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「水遊び」「プール学習」 D水あそび	・水遊び（じょうろ、ホース、シャワー、水鉄砲、バケツ、ペットボトル、しゃぼん玉遊び等） ・手足バタバタ、水に慣れよう ・体の力を抜いて、浮いてみよう！ ・ふりこ（スイング、ドルフィン） ・水中歩き ・宝さがし
2学期	30	【知及技】 教師と一緒に、器械・器具を使って、楽しく体を動かすことができる。 【思判表力】 器械・器具を使って揺れを楽しみ、その楽しさや心地よさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使って楽しく遊ぶことができる。	【知・技】 教師と一緒に、器械・器具を使って、楽しく体を動かそうとしている。 【思・判・表】 器械・器具を使って揺れを楽しみ、その楽しさや心地よさを自分なりに表現しようとしている。 【主学】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使って楽しく遊ぼうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「粗大運動」 B器械・器具を使っての遊び	・三輪車 ・平均台（渡り歩き、跳び下り等） ・跳び箱（よじ登り、跳び下り、またぎ乗り、またぎ下り等） ・マット運動（横転がり、ゆりかご、前転がり、後ろ転がり等） ・トランポリン ・かんぽっくり ・フラフープ ・バランスボール ・竹馬 ・滑り台 ・ミニハードル ・風船キープ（バギー・車イスの児童） ・ミュージックマット（バギー・車イスの児童） ・ガタガタ道（バギー・車イスの児童）
		【知及技】 教師と一緒に、器械・器具を使って、楽しく体を動かすことができる。 【思判表力】 器械・器具を使って揺れを楽しみ、その楽しさや心地よさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使って楽しく遊ぶことができる。	【知・技】 教師と一緒に、器械・器具を使って、楽しく体を動かそうとしている。 【思・判・表】 器械・器具を使って揺れを楽しみ、その楽しさや心地よさを自分なりに表現しようとしている。 【主学】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使って楽しく遊ぼうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「粗大運動」 B器械・器具を使っての遊び	・三輪車 ・平均台（渡り歩き、跳び下り等） ・跳び箱（よじ登り、跳び下り、またぎ乗り、またぎ下り等） ・マット運動（横転がり、ゆりかご、前転がり、後ろ転がり等） ・トランポリン ・かんぽっくり ・フラフープ ・バランスボール ・竹馬 ・滑り台 ・ミニハードル ・風船キープ（バギー・車イスの児童） ・ミュージックマット（バギー・車イスの児童） ・ガタガタ道（バギー・車イスの児童）
		【知及技】 教師と一緒に、もしくは教師の援助を受けて、走る楽しさを味わうことができる。 【思判表力】 教師の援助を受けて、決められた距離を自分なりの方法で、歩いたり、走ったりすることができる。 【学・人】 最後まであきらめずにゴールに向かうことができる。	【知・技】 教師と一緒に、もしくは教師の援助を受けて、楽しみながら走ろうとしている。 【思・判・表】 教師の援助を受けて、決められた距離を自分なりの方法で、歩いたり、走ったりしようとしている。 【主学】 最後まで、あきらめずにゴールに向かおうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「持久走」 C走・跳の運動遊び	・目標決め ・かけっこ ・ミニハードル ・持久走 ※12月上旬の持久走チャレンジ会に向けての練習となる。

		【知及技】 教師と一緒に、もしくは教師の援助を受けて、走る楽しさを味わうことができる。 【思判表力】 教師の援助を受けて、決められた距離を自分なりの方法で、歩いたり、走ったりすることができる。 【学・人】 最後まであきらめずにゴールに向かうことができる。	【知・技】 教師と一緒に、もしくは教師の援助を受けて、楽しみながら走ろうとしている。 【思・判・表】 教師の援助を受けて、決められた距離を自分なりの方法で、歩いたり、走ったりしようとしている。 【主学】 最後まで、あきらめずにゴールに向かおうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「持久走」 C走・跳の運動遊び	・目標決め ・かけっこ ・ミニハードル ・持久走 ※12月上旬の持久走チャレンジ会に向けての練習となる。
3学期	14	【知及技】 模倣や簡単な表現活動を通して自己表現を行ったり、いろいろな表現方法について知ることができる。 【思判表力】 音楽やリズムに合わせて体を動かす楽しさを味わい、自分なりの方法で表現することができる。 【学・人】 友だちや教師と一緒に動きを合わせる経験をすることができる。	【知・技】 模倣や簡単な表現活動を通して自己表現を行ったり、いろいろな表現方法について知ろうとしている。 【思・判・表】 音楽やリズムに合わせて体を動かす楽しさを味わい、自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 友だちや教師と一緒に動きを合わせようとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「題材と動き」 「リズムと動き」 （F 表現遊び）	（題材と動き） ・鳥、昆虫、恐竜、動物園の動物、飛行機、遊園地の乗り物、おもちゃなど特徴が捉えやすい動きを多く含む物の真似をすること （リズムと動き） ・軽快なリズムの曲や児童が日常的に親しんでいる曲にのって、弾む、回る、ねじるなど自由に踊ること ・音楽やリズムに合わせて歩く、走る、弾む、回る、ねじるなどの運動をする
		【知及技】 教師と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かすことができる。 【思判表力】 ボールを投げたり、転がしたり、蹴ったり、捕ったりする楽しさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 簡単な合図や指示に従って、ボール遊びを行うことができる。	【知・技】 教師と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かそうとしている。 【思・判・表】 ボールを投げたり、転がしたり、蹴ったり、捕ったりする楽しさを自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 簡単な合図や指示に従って、ボール遊びをしようとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「ボールで遊ぼう」 Eボール遊び	・転がす、投げる、蹴る、捕る ・的当てゲーム ・ボウリング ・ボッチャ ・ボール運びゲーム ・ティーベースボール ・大玉ドッチボール ・シュートゲーム等
		【知及技】 教師と一緒に感染症予防について学び、うがいやマスク、手洗い等、基本的な対策を行うことができる。 【思判表力】 体調が悪いときや怪我をして痛いときには教師に知らせたり、手が汚れているときには、その状態を見て、手洗いを行ったりすることができる。 【学・人】 身体計測による体重や身長の変化に興味、関心を持つことができる。	【知・技】 感染症予防として、うがいやマスク、手洗い等を行おうとしている。 【思・判・表】 体調が悪いときや怪我をして痛いときには教師に知らせようとしたり、手が汚れているときには、その状態を見て、手を洗おうとすることができる。 【主学】 昨年と比べて、体重や身長が変化していることを知り、自分の成長を感じることができる。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「健康な生活」 （G 保健）	・大切な体 ・手洗い、うがい、水分補給、着替え ・身体測定 ・感染症予防対策 ・プライベートゾーン ・命の授業（赤ちゃんの誕生）
留意点 引継ぎ等		・（A 体つくり運動遊び）ウォーミングアップ、集合・整列は、年間を通して指導する。 ・（F 表現運動）ラジオ体操、ダンスは、年間を通して指導する。 ・（G 保健）健康な生活は、年間を通して指導する ・単元は、児童の興味・関心、実態に応じて精選、入れ替え、変更等、柔軟性を持って取り扱う。			

令和8年度　小学部　全学年（Ⅱ課程B）　外国語　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	Ⅱ課程Bの児童	重森　誠仁	音楽動画・音声教材

年間目標	
	(1)　外国語を用いた体験的な活動を通して，日本語と外国語の音声の違いなどに気付き，外国語の音声に慣れ親しむようにする。 (2)　身近で簡単な事柄について，外国語に触れ，自分の気持ちを伝え合う力の素地を養う。 (3)　外国語を通して，外国の文化などに触れながら，言語への関心を高め，進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	13	（知及技） 教師と一緒に、英語の歌や日常になじみのある英語などを聞き、音声やリズムに親しむことができる。 （思判表力） 教師と一緒に、英語を真似て話そうとしたり、相手の質問や要求に英語で応じたりできる。 （学・人） 教師と一緒に、英語やジェスチャーや手話などで、コミュニケーションをとることができる。	（知及技） 教師と一緒に、英語の歌や日常になじみのある英語などを聞き、音声やリズムに親しもうとしている。 （思判表力） 教師と一緒に、英語を真似て話そうとしたり、相手の質問や要求に英語で応じたりしようとしている。 （学・人） 教師と一緒に、英語やジェスチャーや手話などで、コミュニケーションをとろうとしている。	「挨拶をしよう」 「色々な英語を知ろう」 「色々な英語の歌を歌おう」 「外国の文化を知ろう」 「英語でゲームをしよう」	・既に知っている活動や場面で、英語の挨拶や語などを聞き取る活動【(3)ア】 Good morning Hello Goodbye Thank you Good　　など
				「挨拶をしよう」 「色々な英語を知ろう」 「色々な英語の歌を歌おう」 「外国の文化を知ろう」 「英語でゲームをしよう」	・英語の歌や日常生活になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しむこと。【(1)イ(ｱ)】 head shoulders knees and toes Sunday, Monday, Tuesday/Days of the Week Song Ten little indian boy　など
				「挨拶をしよう」 「色々な英語を知ろう」 「色々な英語の歌を歌おう」 「外国の文化を知ろう」 「英語でゲームをしよう」	・外国の生活や行事などに触れ、日本と外国の生活や違いを知ること。【(1)イ(ｲ)】 Halloween Christmas valentine's day　など
				「挨拶をしよう」 「色々な英語を知ろう」 「色々な英語の歌を歌おう」 「外国の文化を知ろう」 「英語でゲームをしよう」	・既に知っている物や事柄に関する語などを聞き、それが表す内容を実物や写真などと結び付ける活動。【(3)①ア(ｲ)】 色 曜日 月 数字 動物 果物 野菜　など
2学期	15			「挨拶をしよう」 「色々な英語を知ろう」 「色々な英語の歌を歌おう」 「外国の文化を知ろう」 「英語でゲームをしよう」	・歌やダンス、ゲームで、簡単な語や身振りなどを使って表現する活動。【(3)①イ(ｲ)】 Color tag（色鬼）　など
				「挨拶をしよう」 「色々な英語を知ろう」 「色々な英語の歌を歌おう」 「外国の文化を知ろう」 「英語でゲームをしよう」	・言語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさを知ること。【(1)ア】
				「挨拶をしよう」 「色々な英語を知ろう」 「色々な英語の歌を歌おう」 「外国の文化を知ろう」 「英語でゲームをしよう」	

3 学 期	7			「挨拶をしよう」 「色々な英語を知ろう」 「色々な英語の歌を歌おう」 「外国の文化を知ろう」 「英語でゲームをしよう」	
				「挨拶をしよう」 「色々な英語を知ろう」 「色々な英語の歌を歌おう」 「外国の文化を知ろう」 「英語でゲームをしよう」	
				「一年間のまとめをしよう」	
留意点 引継ぎ等					

令和８年度 小学部５年（Ⅱ課程Ｂ）　道徳科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	５年生	手登根　真実子	自作教材・絵本

年間目標	・自分でできることは、 自ら取り組み、 よいこと悪いことをよく考えて行動する態度を養う。 ・友達と仲良くし、助けあう心を育てるとともに、あいさつや動作などの礼儀を身につける。 ・約束やきまりを守り、集団生活における自分の役割が分かり、最後までがんばる意欲を育てる。 ・身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接する態度を育てる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	13	・教師や友達、他学年の友達に親しみ、学校生活を楽しもうとする心情を育てる。 ・身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接しようとする心情を育てる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C　よりよい学校生活、集団生活の充実】 ・学校は楽しいね 【D　自然愛護】 ・自然の中で	・学級開き ・新転入生を迎える会 ・草花の栽培、観察
		・挨拶の大切さに気づき、場に応じた言葉づかいや気持ちのよい挨拶をしようとする。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【B　礼儀】 ・挨拶の相手 ・挨拶の仕方	・場に応じた挨拶 ・母の日、父の日 ・お手伝い
		・家族の愛情や家族の一員としての役割について家族に対する愛情をいっそう深め、積極的に家族と関わり、生活しようとすることができる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C　家族愛、家庭生活の充実】 ・家族の一員として ・家族のために 【B　感謝】 ・周囲への感謝 ・家族への感謝	・母の日、父の日 ・お手伝い
		・仲間はずれをしないことの大切さを理解し、誰に対しても公正、公平に接しようとすることができる。 ・戦争や平和について関心をもち、自分や友達の命を大切にしようとする気持ちを育てる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C　公正、公平、社会正義】 ・分け隔てなく	・公正、公平な態度 ・慰霊の日
[illegible]	15	・友達と仲良くし助け合うことの大切さがわかり、よりよい友達関係を築こうとする。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【B　友情、信頼】 ・友達の気持ちになって ・友達の立場になって	・人との関わり ・どんなきもち
		・物事のよいことと悪いことについて考え、よいと思うことをすすんで行おうとすることができる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【A　個性の伸長】 ・よさを伸ばす 【A　善悪の判断、自律、自由と責任】 ・よいことをすすんで ・心の強さ	・良いこと、悪いこと

2学期		・相手から喜ばれたり感謝されたりすることが働く喜びにつながることに気づき、すすんでみんなの役に立とうとする心情や実践意欲と態度を育てる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C　勤労、公共の精神】 ・働く喜び ・みんなの役に立ちたい	・色々な職業
		・約束やきまりの大切さに気づき、きまりを守って生活しようとすることができる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C　規則の尊重】 ・きまりを守って ・みんなのものを大切に	・公共施設でのマナー ・約束
3学期	7	・自分の生命が多くの人によって大切にされ、支えられていることに気付き、生命を大切にして生活しようとすることができる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【D　生命の尊さ】 ・私たちの命 ・命を見つめる 【D　自然愛護】 ・自然に親しむ ・自然とふれ合う	・自分の成長を振り返る ・家族への感謝
		・地域のよさについて考え、国や郷土に親しもうとすることができる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C　伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】 ・国やふるさとのよさ 【C　国際理解、国際親善】 ・世界の国々	・校外学習 ・地域の人々 ・世界の文化、人々の暮らし
		・言葉の大切さを理解し、相手が笑顔になるような言葉を使おうとする実践意欲と態度を育てる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C　公正、公平、社会正義】 ・うれしくなる言葉	・お父さんお母さんへ、卒業生へ、先生へ
年間を通して		・草花や野菜のお世話をしたり、観察をしたりして成長を見る。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【D　自然愛護】 ②草花や野菜を育てよう	・キャリアパスポート ・草花の栽培
留意点 引継ぎ等					

令和７年度　小学部　５年（Ⅱ課程B）　特別活動　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	５学年	手登根真実子	自作教材・イラスト・写真

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解する。 (思判表力)集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができる。 (学･人)自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	13	･学級で目標を決める大切さを知り、意見を出し合って学級目標を作ることができる。（知及技） ･自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。（学･人） ･自分の好きなことや将来について考えることができる。（思判表力） ･同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。（学･人） ･一学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。（思判表力） ･夏休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。（知及技）	･学級で目標を決める大切さを知り、意見を出し合って学級目標を作ろうとしている。（知・技） ･自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。（主学） ･自分の好きなことや将来について考えようとしている。（思･判･表） ･同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。（主学） ･一学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。（思･判･表） ･夏休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいか自分で考えようとしている。（知・技）	･学年、学級開き ･一学期頑張ろう会 ･学級目標作り ･係活動を決めよう ･キャリアパスポート作り ･一学期の目標 ･学校間交流（･居住地校交流） ･キャリアパスポートの活用 ･一学期頑張った会 ･夏休みに向けて	・新しい学級の友達や先生を知る。 ・一学期頑張ろう会に参加する。 ・一学期の行事の確認 ・学級目標を決めて、書いて教室に貼る。 ・一学期の係活動を決める。 ・一学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、選んだりして発表する。 ・交流会の日時を知る。 ・異学年や他校の友達と歌を歌ったり、簡単なゲームしたりして交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・一学期頑張った会に参加する。 ・夏休みの過ごし方を考えたり話し合ったりする。
2学期	15	･２学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知及技） ･自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。（学･人） ･自分の好きなことや将来について考えることができる。（思判表力） ･集団で活動するよさを知り、集団での活動に参加することができる。（知及技） ･同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。（学･人） ･二学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。（思判表力） ･冬休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。（知及技）	･２学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知・技） ･自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。（主学） ･自分の好きなことや将来について考えようとしている。（思･判･表） ･集団で活動するよさを知り、集団での活動に参加することができる。（知・技） ･同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。（主学） ･二学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。（思･判･表） ･冬休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいか答えることができる。（知・技）	･二学期頑張ろう会 ･キャリアパスポート作り ･二学期の目標 ･係活動を決めよう ･学校間交流（･居住地校交流） ･キャリアパスポートの活用 ･二学期頑張った会 ･冬休みに向けて	・二学期頑張ろう会に参加する。 ・二学期の行事の確認 ・二学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、イラスト等を貼ったりする。 ・二学期の係活動を決める。 ・児童集会に参加する。 ・学校や住んでいる地域では体験できないことを学習し、見聞を広げる。 ・異学年や他校の友達と歌を歌ったり、簡単なゲームしたりして交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・二学期頑張った会に参加する。 ・冬休みの過ごし方を考えたり話し合ったりする。

3学期	7	・3学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知及技） ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。（学・人） ・自分の好きなことや将来について考えることができる。（思判表力） ・集団での活動に参加することができる。（学・人） ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。（学・人） ・一年間を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。（思判表力） ・進級する学年・学部が現在と違いがあることを知り、今後の行事や学習について希望を持つ。（知及技）	・3学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知・技） ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。（主学） ・自分の好きなことや将来について考えようとしている。（思・判・表） ・集団での活動に参加しようとしている。（主学） ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。（主学） ・一年間を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。（思・判・表） ・進級する学年・学部が現在と違いがあることを知り、今後の行事や学習について希望を持ち、伝えようとしている。（知・技）	・三学期頑張ろう会 ・キャリアパスポート作り ・三学期の目標 ・係活動を決めよう ・学校間交流（・居住地校交流） ・キャリアパスポートの活用 ・三学期頑張った会 ・進級学年・学部について	・三学期頑張ろう会に参加する。 ・三学期の行事の確認 ・三学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、イラスト等を貼ったりする。 ・三学期の係活動を決める。 ・あおぞら集会に参加する。 ・他学年の児童と交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・三学期頑張った会に参加する。 ・次の学年や学部について考える。
留意点 引継ぎ等					

あおぞら会（幼児児童生徒会）

学期	時数	活動の目標	活動・単元名	指導・活動内容
1学期	2	異年齢の生徒同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営をすることに自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標（特別活動全体の目標）に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	・第1回あおぞら集会 ・第2回あおぞら集会	・新役員紹介 ・年間活動計画 ・令和8年度幼児児童生徒総会
2学期	1		・第3回あおぞら集会 ・特体連報告放送	・特体連選手激励会 ・特体連激励放送 ・特体連報告放送
3学期	3		・第4回あおぞら集会 ・第5回あおぞら集会 ・第6回あおぞら集会	・あおぞら役員選挙告示（選挙の内容の説明） ・立会演説会 ・体育館で投票 ・新役員の任命式及び引き継ぎ式 ・当選セレモニー ・当選証書授与

※あおぞら（幼児児童生徒）集会のある週の水曜日にあおぞら（幼児児童生徒）役員会を設定する（役員のみ）。

なお、各学部と調整して柔軟に日程は変更する。

※あおぞら会と学級活動の時数を合わせて、1学期13回、2学期15回、3学期7回の時数となる。

学校行事

学期	時数	活動の目標	活動・単元名	指導・活動内容
1学期	10	全校又は学年の児童で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、第1の目標（特別活動全体の目標）に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	・1学期　始業式、終業式 ・身体測定 ・地震津波避難訓練 ・内科検診、歯科検診、心電図	・先生の話を聞く。 ・自分の成長を知る。 ・安全に気をつけて行動することができる。 ・検査に落ち着いて受けることができる。 ・月ごとの振り返り
2学期	13		・2学期始業式、終業式 ・火災避難訓練 ・全校作業	・先生の話を聞く。 ・安全に気をつけて行動することができる。 ・月ごとの振り返り ・各行事の準備などの取り組み
3学期	5		・3学期始業式、修了式 ・全校作業 ・卒業式準備	・先生の話を聞く。 ・行事に意欲的に参加できる。 ・月ごとの振り返り ・各行事の準備などの取り組み

令和8年度 小学部　6年（Ⅱ課程Ａ）　生活科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
280	6学年	冨里太輔 野村まき子	自作教材・絵本・映像教材等

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活に必要な習慣や技能を身に付けるようにする。 (思判表力)自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて理解し、考えたことを表現することができるようにする。 (学･人)自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
4月	104	（知及技） 身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしようとする態度を養う。 （思判表力） 自分自身や身近な人々との関わりについて考え、表現することができる。 （学・人） 自分のことに取り組んだり、意欲や自信を持って学ぼうとする態度を養う。	（知・技） 身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしようとする。 （思・判・表） 自分自身や身近な人々との関わりについて考え、表現しようとする。 （主・学） 自分のことに取り組んだり、意欲や自信を持って学ぼうとする。	・「準備や片付けをして一緒に楽しもう」 ・「マナーを守って行動しよう」	・学部集会 ・新転入生を迎える会 ・春の遠足
5月		（知及技） 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするよう心がける。 様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとする態度を養う。 （思判表力） 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて考え、表現することができる。 （学・人） 自分のことに取り組んだり、意欲や自信を持って学ぼうとする態度を養う。	（知・技） 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするよう心がけようとする。 様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとする。 （思・判・表） 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて考え、表現しようとする。 （主・学） 自分のことに取り組んだり、意欲や自信を持って学ぼうとする。	・「安全について考えてみよう」 ・「自分から進んで係活動をしよう」	・地震津波、避難訓練 ・当番、係り、手伝い
6月		（知及技） 身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしようとする態度を養う。 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするよう心がける。 日常生活の中で、金銭の価値が分かり扱いに慣れる。 （思判表力） 自分自身や身の回りの生活、身近な人々、社会との関わりについて考え、表現することができる。 （学・人） 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする態度を養う。	（知・技） 身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしようとする。 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするよう心がけようとする。 日常生活の中で、金銭の価値が分かり扱いに慣れようとする。 （思・判・表） 自分自身や身の回りの生活、身近な人々、社会との関わりについて考え、表現しようとする。 （主・学） 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする。	・「準備や片付けをして一緒に楽しもう」 ・「安全について考えてみよう」 ・「お金の使い方を考えよう」	・不審者対策避難訓練 ・買い物学習

7月	120	（知及技） 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするよう心がける。 身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしようとする態度を養う。 （思判表力） 自分自身や身の回りの生活、身近な人々、社会との関わりについて考え、表現することができる。 （学・人） 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする態度を養う。	（知・技） 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするよう心がけようとする。 身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしようとする。 （思・判・表） 自分自身や身の回りの生活、身近な人々、社会との関わりについて考え、表しようとする。 （主・学） 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする。	・「安全について考えてみよう」 ・「いろいろな人に気持ちを伝えよう」	・交通安全教室 ・1学期終業式
9月		（知及技） 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするよう心がける。 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かる。 （思判表力） 自分自身や身の回りの生活、身近な人々、自然との関わりについて考え、表現することができるようにする。 （学・人） 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする態度を養う。	（知・技） 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするよう心がけようとする。 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化に気づく。 （思・判・表） 自分自身や身の回りの生活、身近な人々、自然との関わりについて考え、表現することができるようにする。 （主・学） 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする。	・「安全について考えてみよう」 ・「生き物や自然の特徴を知ろう」	・火災避難訓練 ・自然とのふれあい
10月		（知及技） 様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとする態度を養う。 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設、簡単なマナーやきまりが分かる。 （思判表力） 自分自身や身の回りの生活、身近な人々、自然との関わりについて考え、表現することができる。 （学・人） 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする態度を養う。	（知及技） 様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとする。 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設、簡単なマナーやきまりを分かろうとする。 （思判表力） 自分自身や身の回りの生活、身近な人々、自然との関わりについて考え、表現することができるようにする。 （学・人） 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする。	・「自分の役割に取り組もう」 ・「地域について調べよう」 ・「マナーを守って行動しよう」	・宮良小学校交流会 ・お話集会
11月		（知及技） 身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしようとする態度を養う。 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設、簡単なマナーやきまりが分かる。 （思判表力） 自分自身や身の回りの生活、身近な人々、自然について考え、表現することができる。 （学・人） 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする態度を養う。	（知・技） 身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしようとする。 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設、簡単なマナーやきまりを分かろうとする。 （思・判・表） 自分自身や身の回りの生活、身近な人々、自然について考え、表現しようとする。 （主・学） 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする。	・「いろいろな人に気持ちを伝えよう」 ・「マナーを守って行動しよう」 ・「準備や片付けをして一緒に楽しもう」	・職場見学

12月		（知及技） 身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしようとする態度を養う。 （思判表力） 自分自身や身の回りの生活、身近な人々について考え、表現することができる。 （学・人） 自分のことに取り組んだり、身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする態度を養う。	（知及技） 身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしようとする。 （思判表力） 自分自身や身の回りの生活、身近な人々について考え、表現しようとする。 （学・人） 自分のことに取り組んだり、身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする。	・準備や片付けをして一緒に楽しもう。 ・「いろいろな人に気持ちを伝えよう」	・白保小学校交流会 ・クリスマス集会 ・2学期終業式
1月	56	（知及技） 身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしようとする態度を養う。 様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとする態度を養う。 （思判表力） 自分自身や身の回りの生活、身近な人々について考え、表現することができる。 （学・人） 自分のことに取り組んだり、身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする態度を養う。	（知・技） 身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしようとする。 様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとする。 （思・判・表） 自分自身や身の回りの生活、身近な人々について考え、表現しようとする。 （主・学） 自分のことに取り組んだり、身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする。	・「いろいろな人に気持ちを伝えよう」 ・「自分の役割に取り組もう」	・3学期はじめ学部集会
2月		（知及技） 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かる。 日常生活の中で、金銭を扱い、社会の仕組みや公共施設を知る。 （思判表力） 自分自身や身の回りの生活、身近な人々、社会及び自然との関わりについて考え、表現することができるようにする。 （学・人） 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする態度を養う。	（知・技） 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かる。 日常生活の中で、金銭を扱い、社会の仕組みや公共施設を知ろうとする。 （思・判・表） 自分自身や身の回りの生活、身近な人々、社会及び自然との関わりについて考え、表現しようとする。 （主・学） 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする。	・生き物や自然の特徴を知ろう。 ・「お金の使い方を考えよう」	・植物の収穫 ・交通機関の利用
3月		（知及技） 身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしようとする態度を養う。 様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとする態度を養う。 （思判表力） 自分自身や身の回りの生活、身近な人々について考え、表現することができる。 （学・人） 自分のことに取り組んだり、身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする態度を養う。	（知・技） 身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしようとする。 様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとする。 （思・判・表） 自分自身や身の回りの生活、身近な人々について考え、表現しようとする。 （主・学） 自分のことに取り組んだり、身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする。	・「いろいろな人に気持ちを伝えよう」	・卒業式 ・修了式 ・離任式
留意点 引継ぎ等					

令和８年度 小学部　６年（Ⅱ課程Ａ）　国語科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
210	６学年	冨里太輔 野村まき子	ゆっくり学ぶ子のためのこくご /自作教材、絵本、ipad等

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）日常生活に必要な国語について、その特質を理解し使うことができるようにする。 (思判表力)日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身につけ、思考力や想像力を養う。 (学･人)言葉で伝え合うよさを感じるとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしてその能力の向上を図る態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	78	（知及技）身近な人との会話を通して、言葉には物事の内容を表す働きがあることに気づくことができる。 日常生活でよく使うひらがな、カタカナの正しい読み方や書き方を知ることができる。 （思・判・表）役割に応じて話す順番などを検討し、教師の支援を受けながら相手への伝わりやすさを意識して声の大きさに気をつけて話す。 文字を横書きや縦書きで書く事に取り組むことができる。 （学・人）使う場面に即した練習を行い、意味を理解し語彙を増やすことができる。	（知及技）身近な人との会話を通して、言葉には物事の内容を表す働きがあることに気づくことができるようにする。 日常生活でよく使うひらがな、カタカナの正しい読み方や書き方を知ることができるようにする。 （思・判・表）役割に応じて話す順番などを検討し、教師の支援を受けながら相手への伝わりやすさを意識して声の大きさに気をつけて話せるようにする。 文字を横書きや縦書きで書く事に取り組むことができるようにする。 （学・人）使う場面に即した練習を行い、意味を理解し語彙を増やすことができるようにする。	・役割をもって伝えてみよう ・話し合いをしよう ・お店の人に聞いてみよう ・ひらがなを読もう、書こう ・家の中でカタカナを探してみよう。 ・カタカナを書こう。	・自己紹介 ・係り、当番活動 ・新転入生の歓迎会 ・学級活動 ・遠足 ・買い物 ・文字の読み書き
2学期	90	（知及技）言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりすることができる。 日常生活でよく使う漢字の正しい読み方を知ることができる。 文の中における主語と述語の関係や意味が変わることを知ることができる。 （思・判・表）登場人物の行動や場面の様子を想像して時間の経過を考え、前後関係に気づくことができる。 （学・人）次は何を調べたり書いたりしようか、友達や教師と話をして文字や文を書くことができる。	（知及技）言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりすることができるようにする。 日常生活でよく使う漢字の正しい読み方を知ることができるようにする。 文の中における主語と述語の関係や意味が変わることを知ることができるようにする。 （思・判・表）登場人物の行動や場面の様子を想像して時間の経過を考え、前後関係に気づくことができるようにする。 （学・人）次は何を調べたり書いたりしようか、友達や教師と話をして文字や文を書くことができるようにする。	・図書室に行ってみよう。 ・ひらがな、漢字を書いてみよう。 ・文を書こう。	・本を探す ・絵本の読み聞かせ ・日常生活に使われている漢字 ・年賀状作り

3 学 期	42	（知及技）日常生活でよく使うひらがなや漢字の正しい読み方を知り、筆を柄って文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。 物事の始めと終わりなど、情報と情報との関係について知ることができる。 （思判表力）文字を横書きや縦書きで書く事に取り組むことができる。 体験したことを振り返り、思い浮かべた事を整理して伝えたい事を考えることができる。 （学・人）言葉の意味を理解し、語彙を増やすことができる。	（知及技）日常生活でよく使うひらがなや漢字の正しい読み方を知り、筆を柄って文字の形に注意しながら丁寧に書くことができるようにする。 物事の始めと終わりなど、情報と情報との関係について知ることができるようにする。 （思判表力）文字を横書きや縦書きで書く事に取り組むことができるようにする。 体験したことを振り返り、思い浮かべた事を整理して伝えたい事を考えることができるようにする。 （学・人）言葉の意味を理解し、語彙を増やすことができるようにする。	・ひらがな、漢字を書いてみよう ・推敲して発表しよう。	・書き初め ・一年間の振り返り ・手紙
留意点 引継ぎ等					

令和８年度 小学部　６年（Ⅱ課程Ａ）　算数科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
140	６学年	冨里太輔 野村まき子	ゆっくり学ぶ子のためのさんすう /自作教材、絵カード、ipad等

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）数量や図形などについて基礎的・基本的な概念や性質に気付き、身の回りの数量や図形について着目する技能を身に付ける。 (思判表力)身の回りの数量や図形について直感的に捉える力や基礎的・基本的な性質などに気付き、感じ取る力」など、数学的な表現を用いて事象表現する力を養う。 (学･人)数学的活動の楽しさに関心や興味をもって学習したことを結びつけ、問題を解決しようとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	52	（知及技）１０をひとまとまりにして数える良さに気付くことができる。 （思判表）１０以上の数について具体物を見ながら、多い少ないに分けて考えることが分かる。 （学・人）生活の中から多い・少ないに関心をもつことができる。	（知・技）１０をひとまとまりにして数える良さに気付こうとする。 （思・判・表）１０以上の数について具体物を見ながら、多い少ないに分けて考えようとする。 （主学）生活の中から多い・少ないに関心をもとうとする。	・１０より大きい数。（多い少ない、比べる言葉）	・数字を読んだり書いたりする。 ・次の数あて、前の数あて、逆の順で数詞を言ったり書いたりする。 ・友だちや教師の数を数えたり、学習の中で必要な数を数えたりする。 ・具体物と数詞を一対一対応する。 ・ゲームなどを通して、数比べをする。 ・生活の中から関連させ使えるようにする。
		（知及技）方向・位置に関する言葉「前後・左右・上下」を聞いて体を動かしたり、具体物を操作したりする。 （思判表）方向や位置に関する言葉を聞いて、腕や足を動かしたり、人形等を操作することができる。 （学・人）方向や位置に関する言葉と数に関連した問題に取り組むことができる。	（知・技）方向・位置に関する言葉「前後・左右・上下」を聞いて体を動かしたり、具体物を操作しようとする。 （思・判・表）方向や位置に関する言葉を聞いて、腕や足を動かしたり、人形等を操作しようとする。 （主学）方向や位置に関する言葉と数に関連した問題に取り組もうとする。	・位置を表す言葉（上と下、中と外、右と左）	・ゲームなどを通して前後、上下、左右、方向や位置の確認をする。
		（知及技）合併や増加の意味を理解し、式に表すことができる。 （思判表）１０以上の数について具体物を使い、加法の式で考えようとする。 （学・人）時刻や時間、生活と時刻のつながりに関心をもつことができる。	（知・技）合併や増加の意味を理解し、式に表そうとする。 （思・判・表）１０以上の数について具体物を使い、加法の式で考えようとする。 （主学）時刻や時間、生活と時刻のつながりに関心をもとうとする。	・足し算（１０～２０まで）	・具体物や半具体物を使い２０までの数を合わせたり分けたりする操作を繰り返し行う。 ・カレンダーや時計などと関連させながら使えるようにする
		（知及技）具体物を操作することで、残りを求めたり、式に表わしたりすることができる。 （思判表）１０以上の数について具体物を使い、減法の式で考えることができる （学・人）時刻や時間、生活と時刻のつながりに関心をもつことができる。	（知・技）具体物を操作することで、残りを求めたり、式に表わそうとする。 （思・判・表）１０以上の数について具体物を使い、減法の式で考えようとする。 （主・学）時刻や時間、生活と時刻のつながりに関心をもとうとする。	・引き算（２０まで）	・具体物や半具体物を使い２０までの数の減法の操作を繰り返し行う。 ・簡単な文章問題を読み、式に表したり計算したりする。 ・カレンダーや時計などと関連させながら使えるようにする
		（知及技）角の大きさや意味について基礎的な知識を理解することができる。 （思判表）ミニカーゲームを通して、斜面と底面の関係に気付き、具体物を操作することができる。 （学・人）坂道と角度の関係について関心をもつことができる。	（知・技）角の大きさや意味について基礎的な知識を理解しようとする。 （思・判・表）・ミニカーゲームを通して、斜面と底面の関係に気付き、具体物を操作しようとする。 （主学）坂道と角度の関係について関心をもとうとする。	・形をつくろう。（図形） ・坂道を作ろう（角を探し）	・丸、三角形、四角形等の簡単な形の学習をする。 ・積み木でいろいろな形をつくる。 ・ミニカーゲームを行う

2学期	60	（知及技）お金を数えることができる。 （思判表）具体物や図を用いながらお金について関心を持つことができる。 （学・人）欲しいものを選ぶ、必要な物の数を数える、お金を数える等の活動を進んで行うことができる。	（知・技）お金を数えようとする。 （思・判・表）具体物や図を用いながらお金について関心を持とうとする。 （主学）欲しいものを選ぶ、必要な物の数を数える、お金を数える等の活動を進んで行おうとする。	・買い物をしよう。（お金を並べる、計算）	・具体物を使って、「何を、何個買う。」等の買い物学習をする。 ・買い物に必要な金額を計算する。
		（知及技）具体物の操作や体験を通じて比べる言葉を理解する。 （思判表）かさを「コップ○杯分」等の言葉で表したりすることができる。 （主・学）生活の中から広い・狭いや遠い・近いに関心をもつことができる。	（知・技）具体物の操作や体験を通じて比べる言葉を理解しようとする。 （思・判・表）かさを「コップ○杯分」等の言葉で表そうとする。 （主学）生活の中から広い・狭いや遠い近いに関心をもとうとする。	・「かさ」をはかろう。（比べる、太さで比べる、広い狭いと遠い近い）	・かさを測る。 ・生活場面で、ものの大小、多少、長短、高低、重い軽い、広い狭い等、比較の学習をする。
		（知及技）具体物の操作や体験を通じて比べる言葉を理解する。 （思判表）身の回りにあるものの長さに関心をもち様々な方法で比べることができる。 （学・人）身の回りにあるものの長さは、いくつ分かとして捉えることができる。	（知・技）具体物の操作や体験を通じて比べる言葉を理解しようとする。 （思・判・表）身の回りにあるものの長さに関心をもち様々な方法で比べようとする。 （主学）身の回りにあるものの長さは、いくつ分かとして捉えようとする。	・くらべてみよう。（長い短い、長さ比べ、並べる、一番長いのは、うつして比べる、長さを測る、長さはいくつ分）	・いろいろな長さのペンやボールなど、身の回りにあるものを比べる。徐々に比較対象物の種類を増やす。
3学期	28	（知及技）アナログの時計を見て、簡単な時刻を読むことができる。 （思判表）日課表から、学校の生活の見通しをもつことができる。 （学・人）時刻や時間、生活と時刻のつながりに関心をもつことができる。	（知・技）アナログの時計を見て、簡単な時刻を読もうとする。 （思・判・表）日課表から、学校の生活の見通しを持とうとする。 （主学）時刻や時間、生活と時刻のつながりに関心を持とうとする。	・時計の読み方。（学校の生活、長い針、短い針、何時でしょう、午前、午後、あさ、ひる、よる、昨日、今日、明日）	・時計の仕組み、長針や短針、12までの数字の意味の学習をする。 ・調理学習を通して、タイマーを使用したり時計を利用したりする。
		（知及技）・動画を見て現象を絵に表し、個数を求めたり比べたりすることができる。 （思判表）玉入れの動画を見て事象を絵や表に表し、加法・減法を用いて個数や多少を求める。 （学・人）絵を描きながら答えを予想することができる。	（知・技）動画を見て現象を絵に表し、個数を求めたり比べようとする。 （思・判・表）玉入れの動画を見て事象を絵や表に表し、加法・減法を用いて個数や多少を求めようとする。 （主・学）絵を描きながら答えを予想しようとする。	・表や絵に表して計算しよう。（グラフ）	・玉入れやゲームの勝敗表、頑張り表やチェックカードの○×の記入をし、表の基礎の学習をする。
		（知及技）天気表に天気を記号で記入することができる。 （思判表）・週間天気予報から、天気表に晴れ、雨、曇りの記号を使い分けて記入することができる。 （学・人）天気表を見ながら「明日は雨だから、遊べない」など気づくことができる。	（知・技）天気表に天気を記号で記入しようとする。 （思・判・表）週間天気予報から、天気表に晴れ、雨、曇りの記号を使い分けて記入しようとする。 （主学）天気表を見ながら「明日は雨だから、遊べない」など気づこうとする。	・天気表を記録しよう。（天気、カレンダ、日にち、曜日、予定）	・天気表に晴、曇り、雨などの記号を分けて書いたり、文字で書いたりする。どの天気が今月多かったなど、見比べる。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 小学部６年（Ⅱ課程Ａ）　音楽科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	Ⅱ課程Ａの児童	重森　誠仁	音楽動画・音声教材

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）曲名や曲想と簡単な音楽のつくりについて気付くとともに、感じたことを音楽表現するために必要な技能を身に付けることができる。（小２段階） (思判表力)感じたことを表現することや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら、音や音楽の楽しさを味わって聴くことができる。（小２段階） (学･人)音や音楽に楽しく関わり、教師や友達と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、身の回りの様々な音楽に親しんだり、豊かな情操を育んだりすることができる。（小２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	26	(知及技）音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かすことができる。 (思判表力)好きな歌や旋律の一部分を自分なりに歌いたいと思うことができる。 (学･人)音楽活動に興味を持ち、楽しみながら学習に取り組むことができる。	(知・技）音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かしている。 (思･判･表)好きな歌や旋律の一部分を自分なりに歌おうとしている。 (主学)音楽活動に興味を持ち、楽しみながら学習に取り組もうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童が投票で選んだ楽曲で踊る） 【歌唱・共通事項】 ・4月の歌（春の小川等） 【器楽・共通事項】 ・タンブリン、カスタネット、キーボード、木琴 【鑑賞・共通事項】 ・4月に関する曲 ・クラシック、歌謡曲、民謡等
		(知及技）拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。 (思判表力)身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴くことができる。 (学･人)拍に合わせて楽器を鳴らし、いろいろなリズムに興味を持つことができる。	(知・技）拍や曲の特徴的なリズムに気付こうとしている。 (思･判･表)身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴いている。 (主学)拍に合わせて楽器を鳴らし、いろいろなリズムに興味を持とうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童が投票で選んだ楽曲で踊る） 【歌唱・共通事項】 ・5月の歌（こいのぼり等） 【器楽・共通事項】 ・タンブリン、カスタネット、キーボード、木琴 【鑑賞・共通事項】 ・5月に関する曲 ・クラシック、歌謡曲、民謡等
		(知及技）教師や友達と一緒に歌うことができる。 (思判表力)声や身の回りの様々なものを用いて、音を出そうとすることができる。 (学･人)教師をよく見て、合図に合わせて発声したり、部分的に歌ったりすることができる。	(知・技）教師や友達と一緒に歌おうとしている。 (思･判･表)声や身の回りの様々なものを用いて、音を出そうとしている。 (主学)教師をよく見て、合図に合わせて発声したり、部分的に歌おうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童が投票で選んだ楽曲で踊る） 【歌唱・共通事項】 ・6月の歌（月桃等） ・白保と八特の子どもたち 【器楽・共通事項】 ・タンブリン、カスタネット、キーボード、木琴 【鑑賞・共通事項】 ・6月に関する曲 ・クラシック、歌謡曲、民謡等
		(知及技）音のつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さに気付くことができる。 (思判表力)簡単なリズムの特徴を感じ取り、身体を動かそうとすることができる。 (学･人)教師や友達とのやりとりを楽しみながら、身体表現や音楽づくりに取り組むことができる。	(知・技）音のつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さに気付いている。 (思･判･表)簡単なリズムの特徴を感じ取り、身体を動かそうとしている。 (主学)教師や友達とのやりとりを楽しみながら、身体表現や音楽づくりに取り組もうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童が投票で選んだ楽曲で踊る） 【歌唱・共通事項】 ・7月の歌（ヤッホッホ夏休み等） ・白保と八特の子どもたち 【器楽・共通事項】 ・タンブリン、カスタネット、キーボード、木琴 【鑑賞・共通事項】 ・7月に関する曲 ・クラシック、歌謡曲、民謡等

2学期	30	(知及技) 範唱を聴いて、曲の一部を模唱することができる。 (思判表力)身近な打楽器に親しみ、音を出そうとすることができる。 (学･人)郷土の音楽や楽器に親しみを持ち、進んで身体表現したり、歌ったりすることができる。	(知・技) 範唱を聴いて、曲の一部を模唱しようとしている。 (思･判･表)身近な打楽器に親しみ、音を出そうとしている。 (主学)郷土の音楽や楽器に親しみを持ち、進んで身体表現したり、歌ったりしようとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童が投票で選んだ楽曲で踊る） 【歌唱・共通事項】 ・9月の歌（つき等） 【器楽・共通事項】 ・タンブリン、カスタネット、キーボード、木琴 【鑑賞・共通事項】 ・9月に関する曲 ・クラシック、歌謡曲、民謡等
		(知及技) 楽器の音色の違いに気付くことができる。 (思判表力)音遊びを通して、音の面白さに気付くことができる。 (学･人)好きな歌詞や登場人物を見つけ、役割を分担しながら、教師や友達と一緒に歌唱や身体表現に取り組むことができる。	(知・技) 楽器の音色の違いに気付いている。 (思･判･表)音遊びを通して、音の面白さに気付いている。 (主学)好きな歌詞や登場人物を見つけ、役割を分担しながら、教師や友達と一緒に歌唱や身体表現に取り組もうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童が投票で選んだ楽曲で踊る） 【歌唱・共通事項】 ・10月の歌（虫の声等） 【器楽・共通事項】 ・タンブリン、カスタネット、キーボード、木琴 【鑑賞・共通事項】 ・10月に関する曲 ・クラシック、歌謡曲、民謡等
		(知及技) 曲に合わせて教師や友達と一緒に体を動かすことができる。 (思判表力)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌の一部分を自分なりに歌おうとすることができる。 (学･人)テンポや音量の違いを感じ、工夫して歌ったり、身体全体を動かしたりすることができる。	(知・技) 曲に合わせて教師や友達と一緒に体を動かそうとしている。 (思･判･表)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌の一部分を自分なりに歌おうとしている。 (主学)テンポや音量の違いを感じ、工夫して歌ったり、身体全体を動かそうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童が投票で選んだ楽曲で踊る） 【歌唱・共通事項】 ・11月の歌（ゆうやけこやけ等） 【器楽・共通事項】 ・タンブリン、カスタネット、キーボード、木琴 【鑑賞・共通事項】 ・11月に関する曲 ・クラシック、歌謡曲、民謡等
		(知及技) 自分の歌声に注意を向けて歌うことができる。 (思判表力)身近な打楽器などに親しみ、自ら音を出そうとすることができる。 (学･人)身近な打楽器を用いて、曲の簡単なリズムやパターンの特徴の面白さなどに気付くことができる。	(知・技) 自分の歌声に注意を向けて、歌おうとしている。 (思･判･表)身近な打楽器などに親しみ、自ら音を出そうとしている。 (主学)身近な打楽器を用いて、曲の簡単なリズムやパターンの特徴の面白さなどに気付こうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童が投票で選んだ楽曲で踊る） 【歌唱・共通事項】 ・12月の歌（あわてんぼうのサンタクロース等） 【器楽・共通事項】 ・タンブリン、カスタネット、キーボード、木琴 【鑑賞・共通事項】 ・12月に関する曲 ・クラシック、歌謡曲、民謡等
3学期	14	(知及技) 身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見つけることができる。 (思判表力)音遊びを通して音の面白さに気付き、自ら音や音楽で表現しようとすることができる。 (学･人)わらべうたの良さや面白さを感じとり、教師や友達と一緒に身体を動かしたり、歌ったりする学習に親しみ、他のわらべうたにも関心を持ったりすることができる。	(知・技) 身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見つけようとしている。 (思･判･表)音遊びを通して音の面白さに気付き、自ら音や音楽で表現しようとしている。 (主学)わらべうたの良さや面白さを感じとり、教師や友達と一緒に身体を動かしたり、歌ったりする学習に親しみ、他のわらべうたにも関心を持とうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童が投票で選んだ楽曲で踊る） 【歌唱・共通事項】 ・1月の歌（お正月等） 【器楽・共通事項】 ・タンブリン、カスタネット、キーボード、木琴 【鑑賞・共通事項】 ・1月に関する曲 ・クラシック、歌謡曲、民謡等
		(知及技) 曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉に気付くことができる。 (思判表力)簡単なリズムの特徴を感じ取り、自ら体を動かそうとすることができる。 (学･人)歌声や楽器の音色に気をつけながら、曲想にあった表現を工夫したり、歌声と楽器の音を合わせて演奏する楽しさに気付いたりすることができる。	(知・技) 曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉に気付いている。 (思･判･表)簡単なリズムの特徴を感じ取り、自ら体を動かそうとしている。 (主学)歌声や楽器の音色に気をつけながら、曲想にあった表現を工夫したり、歌声と楽器の音を合わせて演奏する楽しさに気付こうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童が投票で選んだ楽曲で踊る） 【歌唱・共通事項】 ・2月の歌（おにのパンツ等） 【器楽・共通事項】 ・タンブリン、カスタネット、キーボード、木琴 【鑑賞・共通事項】 ・2月に関する曲 ・クラシック、歌謡曲、民謡等

		(知及技）教師や友達と一緒に簡単な音や音楽を作ることができる。 (思判表力)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴くことができる。 (学･人)一年間を振り返り、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱や身体表現、音楽づくりや器楽、鑑賞などの活動に取り組むことができる。	(知・技）教師や友達と一緒に簡単な音や音楽を作ろうとしている。 (思･判･表)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴いている。 (主学)一年間を振り返り、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱や身体表現、音楽づくりや器楽、鑑賞などの活動に取り組もうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童が投票で選んだ楽曲で踊る） 【歌唱・共通事項】 ・3月の歌（卒業式用歌唱曲等） 【器楽・共通事項】 ・タンブリン、カスタネット、キーボード、木琴 【鑑賞・共通事項】 ・3月に関する曲 ・クラシック、歌謡曲、民謡等
留意点 引継ぎ等					

令和８年度 小学部　６年（Ⅱ課程Ａ）　図画工作科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	６学年	冨里太輔 野村まき子	自作教材、絵本等

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）形や色などの違いに気付き、表したいことを基に材料や用具を使い、表し方を工夫してつくろうとする。 (思判表力)様々な材料や形、色に触れることで、表したいことを思い付いたり作品の面白さを感じたり広げたりすることができる。 (学･人)つくり出す喜びを味わうとともに、形や色などに触れあうことにより楽しく豊かな生活を想像しようとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	26	（知及技）いろいろな材料や道具を使って学級目標や誕生表を作ることができる。 （思判表）正しく用具を使い、模様を表したり、形の変化に気付いたりすることができる。 （学・人）自分の作品、友達の作品の面白さを感じることができる。	（知・技）様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり作品をつくたっりしようとしている。 （思・判・表）好きな色を選び、色の組み合わせを楽しもうとしようとしている。 （主学）自分の作品、友達の作品の面白さを感じようとしている。	・作ってみよう。 誕生表をつくろう。 学級目標をつくろう。 ・やってみよう 色で遊ぼう	「誕生表」「学級目標」 ・はさみやのり、マジック、画用紙等を使い誕生表や学級目標を作成する。 「色で遊ぼう」 ・ポスターカラーや絵の具、クレヨンなどいろいろな道具を使い色の混ぜ合わせをする。
		（知及技）いろいろな材料や道具を使って行事のプレゼントを作ることができる。 （思判表）正しく用具を使い、模様を表したり、形の変化に気付いたりすることができる。 （学・人）自分の作品、友達の作品の面白さを感じることができる。	（知・技）様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり作品をつくたっりしようとしている。 （思・判・表）好きな色を選び、色の組み合わせを楽しもうとしようとしている。 （主学）自分の作品、友達の作品の面白さを感じようとしている。	・描いてみよう。 （遠足の思い出） ・作ってみよう。 道具の使い方 工作体験 （母の日）	「母の日のプレゼント」 ・はさみやのり、マジック、画用紙等を使いプレゼントを作成する。 「遠足の思い出」 ・マジックや絵の具、画用紙等を使って作成する。 「工作体験」 ・牛乳パックやお菓子の空き箱など、いろいろな道具を使いおもちゃづくりをする。
		（知及技）いろいろな材料や道具を使って行事のプレゼントを作ることができる。 （思判表）正しく用具を使い、模様を表したり、形の変化に気付いたりすることができる。 （学・人）自分の作品、友達の作品の面白さを感じることができる。	（知・技）様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり作品をつくたっりしようとしている。 （思・判・表）好きな容器を選び、形の組み合わせを楽しもうとしようとしている。 （主学）自分の作品、友達の作品の面白さを感じようとしている。	・作ってみよう （父の日） かたつむり	「父の日」 ・はさみやのり、マジック、画用紙等を使いプレゼントを作成する。 「工作体験」 ・牛乳パックやお菓子の空き箱やヤクルトヨーグルトの容器などを使い、かたつむりを作成することができる。
		（知及技）いろいろな材料や道具を使って行事のプレゼントを作ることができる。 （思判表）正しく用具を使い、模様を表したり、形の変化に気付いたりすることができる。 （学・人）自分の作品、友達の作品の面白さを感じることができる。	（知・技）様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり作品をつくたっりしようとしている。 （思・判・表）形を組み合わせることによって、模様となったり、具体物になったりすることを知ろうとしている。 （主学）自分の作品、友達の作品の面白さを感じようとしている。	・作ってみよう。 （七夕） 丸、三角、四角でつくろう	「七夕飾り」 ・はさみやのり、マジック、画用紙等を使い七夕飾りを作成する。 「丸、三角、四角でつくろう」 ・ヤクルトの容器の裏やミルクの缶、お菓子の箱、などから形を見つけ型取りをしながら、形を楽しんで作成する。
		（知及技）いろいろな材料や道具を使って学級目標や誕生表を作ることができる。 （思判表）正しく用具を使い、模様を表したり、形の変化に気付いたりすることができる。 （学・人）自分の作品、友達の作品の面白さを感じることができる。	（知・技）様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり作品をつくたっりしようとしている。 （思・判・表）物語の好きな場面を選んで自分なりに表現しようとしている。 （主学）自分の作品、友達の作品の面白さを感じようとしている。	・作ってみよう。 （敬老の日） 描いてみよう 読書感想画	「敬老の日プレゼント」 ・はさみやのり、マジック、画用紙や季節の草花等を使いプレゼントを作成する。 「読書感想画」 ・自分のお気に入りのページを選び、クレヨンやマジックで表現する。

2学期	30	（知及技）いろいろな材料や道具を使って学級目標や誕生表を作ることができる。 （思判表）はさみを正しく使い、自分の思うように切ることができる。 （学人）自分の作品、友達の作品の面白さを感じることができる。	（知・技）様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり作品をつくたっりしようとしている。 （思・判・表）人の顔には目や口、眉毛など様々なパーツがあることに気づき、自分の顔を表現しようとしている。 （主学）自分の作品、友達の作品の面白さを感じようとしている。	・描いてみよう。 （読書感想画） つくってみよう 紙版画	「読書感想画」 自分のお気に入りのページを選び、クレヨンやマジックで表現する。 「紙版画」 目や口、眉毛などのパーツを配り、顔や体、手、足などを自分で組み立て、好きな動きに作成していく。
		（知及技）いろいろな材料や道具を使って行事のプレゼントを作ることができる。 （思判表）正しく用具を使い、模様を表したり、形の変化に気付いたりすることができる。 （学・人）自分の作品、友達の作品の面白さを感じることができる。	（知・技）様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり作品をつくたっりしようとしている。 （思・判・表）松ぼっくりや枝など、毛糸を巻く素材による印象の違いを楽しもうとしている。 （主学）自分の作品、友達の作品の面白さを感じようとしている。	・作ってみよう。 ミノムシをつくろう （勤労感謝の日）	「勤労感謝のプレゼント」 ・はさみやのり、マジック、画用紙等を使いプレゼントを作成する。 「ミノムシをつくろう」 松ぼっくりや木の枝、毛糸などいろいろな道具を使い毛糸の巻いてミノムシを作成する。
		（知及技）いろいろな材料や道具を使って行事のプレゼントを作ることができる。 （思判表）サツマイモの柔らかさを生かし、切り口を彫るなどの工夫をすることができる。。 （学・人）自分の作品、友達の作品の面白さを感じることができる。	（知・技）様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり作品をつくたっりしようとしている。 （思・判・表）好きな形を考え、形づくりを楽しもうとしている。 （主学）自分の作品、友達の作品の面白さを感じようとしている。	・作ってみよう。 （クリスマス飾り） ・イモ版画。 （年賀状作り）	「クリスマス飾り」 ・松ぼっくりや、毛糸、ハンガーなど様々な道具を使い、飾りづくりを作成する。 「イモ版画」 ・サツマイモや彫刻刀、ナイフ、型抜きなど、いろいろな道具を使い形を作成する。
3学期	14	（知及技）いろいろな材料や道具を使って行事のプレゼントを作ることができる。 （思判表）正しく用具を使い、模様を表したり、形の変化に気付いたりすることができる。 （学・人）自分の作品、友達の作品の面白さを感じることができる。	（知・技）様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり作品をつくたっりしようとしている。 （思・判・表）学習の振り返りを行い、思い出の場面を表現しようとしている。 （主学）自分の作品、友達の作品の面白さを感じようとしている。	・作ってみよう。 卒業制作	「色で遊ぼう」 ・ポスターカラーや絵の具、クレヨンなどいろいろな道具を使い色の混ぜ合わせをする。
		（知及技）いろいろな材料や道具を使ってひな祭りの人形や行事のプレゼントを作ることができる。 （思判表）正しく用具を使い、模様を表したり、形の変化に気付いたりすることができる。 （学・人）自分の作品、友達の作品の面白さを感じることができる。	（知・技）様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり作品をつくたっりしようとしている。 （思・判・表）・学習の振り返りを行い、思い出の場面を表現しようとしている。 （主学）自分の作品、友達の作品の面白さを感じようとしている。	・お面を作ろう。 （節分） 卒業式の壁画、装飾 . 作ってみよう 卒業制作	・はさみやのり、マジック、画用紙等を使い節分の鬼面を作成する。 「色で遊ぼう」 ・ポスターカラーや絵の具、クレヨンなどいろいろな道具を使い色の混ぜ合わせをする。
		（知及技）いろいろな材料や道具を使ってひな祭りの人形や行事のプレゼントを作ることができる。 （思判表）学習の振り返りを行い、思い出の場面を表現することができる。 （学・人）１年間の制作物を作品習にまとめ、鑑賞する活動を通して自分の見方や感じ方を広げることができる。	（知及技）様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり作品をつくたっりしようとしている。 （思・判・表）学習の振り返りを行い、思い出の場面を表現しようとしている。 （主学）１年間の制作物を作品習にまとめ、鑑賞する活動を通して自分の見方や感じ方を広げようとしている。	・作ってみよう。 ひな祭り 卒業式の壁画、装飾 １年間のまとめ 作品集づくり	「ひな人形」 ・はさみやのり、マジック、色紙等を使いひな人形を作成する。 「作品集づくり」 ・ポスターカラーや絵の具、クレヨンなどいろいろな道具を使い作品集を作成する。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 小学部６年（Ⅱ課程Ａ）　体育科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	Ⅱ課程Ａの児童	荷川取　優	

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）遊びや基本的な運動の行い方及び身近な生活における健康について知るとともに、基本的な動きや健康な生活に必要な事柄を身に付ける。（小２段階） (思判表力)遊びや基本的な運動及び健康についての自分の課題に気付き、その解決に向けて自ら考え行動し、他者に伝える力を身に付ける。（小２段階） (学･人)遊びや基本的な運動に親しむことや健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営むことができる。（小２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
４月	26時間	【知及技】 基本的な体の動き（伸ばす・曲げる・回すなど）を身につけることができる。 【思判表力】 体を動かす心地よさを感じ、進んで運動に取り組もうとする。 【学・人】 友だちや教師と関わりながら運動する楽しさを味わうことができる。	【知・技】 教師の支援を受けて歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりしようとしている。 【思・判・表】 体を動かすことの楽しさや心地よさを自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 教師の支援を受けて簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行おうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「みんなで楽しく」 A体つくり運動遊び	・ラジオ体操 ・簡単なゲーム 台風の目 大玉転がし 玉入れ 風船バレー かけっこ 等 ※4月下旬の春の遠足で行うレクの練習としてもよい。
５月		【知及技】 基本的な体の動き（伸ばす・曲げる・回すなど）を身につけることができる。 【思判表力】 体を動かす心地よさを感じ、進んで運動に取り組もうとする。 【学・人】 友だちや教師と関わりながら運動する楽しさを味わうことができる。	【知・技】 教師の支援を受けて歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりしようとしている。 【思・判・表】 体を動かすことの楽しさや心地よさを自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 教師の支援を受けて簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行おうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「みんなで楽しく」 A体つくり運動遊び	・ラジオ体操 ・簡単なゲーム 台風の目 大玉転がし 玉入れ 風船バレー かけっこ 等
６月		(知及技) 顔つけ・浮く・進むなどの基本的な動きを体験する。 (思判表力) 水に慣れ、水中での活動に安心して参加したり、水の抵抗	(知・技) 教師の支援を受けて、顔や頭を水面につけようとしたり、水中に入れようとすることができる。 (思･判･表)	「水遊び・プール学習」 （D 水あそび）	・水遊び（じょうろ、ホース、シャワー、水鉄砲、バケツ、ペットボトル、しゃぼん玉遊び等） ・手足バタバタ★水に慣れよう ・ふりこ（スイング、ドルフィン） ・水中歩き、ワニ歩き

7月		を感じながら、歩いたり走ったりして遊ぶことができる。 (学･人) 簡単な決まりを守り安全に気を付けながら活動することができる。	水の中で歩いたり走ったりしながら遊ぼうとしている。 (主学) 簡単な決まりを守り、友達や教師の支援を受けて安全に楽しく遊ぼうとしている。	「水遊び・プール学習」 (D 水あそび)	・宝さがし、輪くぐり、汽車ポッポ ・バブリング、ボビング、息継ぎ ・伏し浮き、け伸び、バタ足 ・体の力を抜いて、浮いてみよう！ ・平泳ぎ、クロール
9月 10月	30時間	(知及技) 転がる・支える・渡るなどの基礎的な動きを身につけることができる。 (思判表力) 器具を使った運動に慣れ、安全に気を付けて取り組んだり、その楽しさや感じたことを自分なりの方法で表現することができる。 (学･人) 成功体験を通して自信をもち、繰り返し挑戦しようとすることができる。	(知・技) 教師の支援を受けて、楽しく器械・器具を使って基本的な運動を行おうとしている。 (思･判･表) 器械・器具を使っての基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを自分なりの方法で表現しようとしている。 (主学) 簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく安全に、器械・器具を使って運動を行おうとしている。	「レッツ！サーキット」 (B 器械・器具を使っての運動遊び) (C 走・跳の運動遊び) 「レッツ！サーキット」 (B 器械・器具を使っての運動遊び) (C 走・跳の運動遊び)	・三輪車 ・平均台（渡り歩き、跳び下り等） ・跳び箱（よじ登り、跳び下り、またぎ乗り、またぎ下り等） ・マット運動（横転がり、ゆりかご、前転がり、後ろ転がり等） ・トランポリン ・かんぱっくり ・フラフープ ・バランスボール ・竹馬 ・滑り台 ・ミニハードル ・風船キープ（バギー・車イスの児童） ・ミュージックマット（バギー・車イスの児童） ・ガタガタ道（バギー・車イスの児童）
11月 12月		(知及技) 楽しく走ったり、低いハードルをまたいだり、跳んだりすることができる。 (思判表力) 自分で決めた距離を自分なりの方法で、最後まで歩いたり走ったりすることができる。 (学･人) 簡単なきまりを守り、友達と一緒に楽しく走ったり、跳んだりすることができる。	(知・技) 教師の支援を受けて、楽しく走ったり、低いハードルをまたいだり、跳ぼうとしたりしている。 (思･判･表) 教師の支援を受けて、決められた距離を自分なりの方法で、最後まで歩いたり、走ろうとしている。 (主学) 簡単なきまりを守り、友達と一緒に楽しく走ったり、跳ぼうとしたりしている。	「かけっこ・持久走」 (C 走・跳の運動遊び) 「かけっこ・持久走」 (C 走・跳の運動遊び)	・目標決め ・かけっこ ・ミニハードル ・持久走 ※12月上旬の持久走チャレンジ会に向けての練習となる。
1月		【知及技】 模倣や簡単な表現活動を通して自己表現を行ったり、いろいろな表現方法について知ることができる。 【思判表力】 音楽やリズムに合わせて体を動かす楽しさを味わい、自分なりの方法で表現することができる。 【学・人】 友だちや教師と一緒に動きを合わせる経験をすることができる。	【知・技】 模倣や簡単な表現活動を通して自己表現を行ったり、いろいろな表現方法について知ろうとしている。 【思・判・表】 音楽やリズムに合わせて体を動かす楽しさを味わい、自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 友だちや教師と一緒に動きを合わせようとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「題材と動き」 「リズムと動き」 (F 表現遊び)	（題材と動き） ・鳥、昆虫、恐竜、動物園の動物、飛行機、遊園地の乗り物、おもちゃなど特徴が捉えやすい動きを多く含む物の真似をすること （リズムと動き） ・軽快なリズムの曲や児童が日常的に親しんでいる曲にのって、弾む、回る、ねじるなど自由に踊ること ・音楽やリズムに合わせて歩く、走る、弾む、回る、ねじるなどの運動をする

2 月	14 時 間	(知及技) ボールを使った基本操作（投げる・取る・蹴る）や簡単なルールのあるゲームを楽しく行うことができる。 (思判表力) ボールを使った基本操作（投げる・取る・蹴る）に慣れ、その楽しさや感じたことを自分なりの方法で表現することができる。 (学･人) 簡単なルールのあるボール遊びやゲームを友達と一緒に行うことができる。	(知・技) 教師の支援を受けて、ボールを使った基本的な運動やゲームを楽しく行おうとしている。 (思･判･表) ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさや感じたことを自分なりの方法で表現しようとしている。 (主学) 簡単なきまりを守り、友達と一緒に安全に、ボールを使って運動やゲームを行おうとしている。	「ボールで遊ぼう」 （E ボール遊び）	・転がす、投げる、蹴る、捕る ・的当てゲーム ・ボウリング ・ボッチャ ・ボール運びゲーム ・ティーベースボール ・大玉ドッチボール ・シュートゲーム等
3 月		【知及技】 教師の支援を受けて感染症予防について学び、うがいやマスク、手洗い等、基本的な対策を行うことができる。 【思判表力】 体調が悪いときや怪我をして痛いときには教師に知らせたり、手が汚れているときには、その状態を見て、手洗いを行ったりすることができる。 【学・人】 身体計測による体重や身長の変化に興味、関心を持つことができる。	【知・技】 感染症予防として、うがいやマスク、手洗い等を行おうとしている。 【思・判・表】 体調が悪いときや怪我をして痛いときには教師に知らせようとしたり、手が汚れているときには、その状態を見て、手を洗おうとすることができる。 【主学】 昨年と比べて、体重や身長が変化していることを知り、自分の成長を感じることができる。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「健康な生活」 （G 保健）	・大切な体 ・手洗い、うがい、水分補給、着替え ・身体測定 ・感染症予防対策 ・プライベートゾーン ・命の授業（赤ちゃんの誕生）
年間を通して		(知及技）教師の支援を受けて、ウォーミングアップやラジオ体操を行うことができる。 (思判表力)集合・整列では、自分の学年に並ぶことができる。 (学･人)教師の言葉かけや簡単な指示で、準備や後片付けを行うことができる。	(知・技）教師の支援を受けて、ウォーミングアップやラジオ体操を行おうとしている。 (思･判･表)集合・整列では、自分の学年に並ぼうとしている。 (主学)教師の言葉かけや簡単な指示で、準備や後片付けを行おうとしている。	「はじまるよ」 （A 体つくり運動遊び）	・ウォーミングアップ ・集合、整列 ・ラジオ体操 ・準備、後片付け
留意点 引継ぎ等		・（A 体つくり運動遊び）ウォーミングアップ、集合・整列は、年間を通して指導する。 ・（F 表現運動）ラジオ体操、ダンスは、年間を通して指導する。 ・（G 保健）健康な生活は、年間を通して指導する ・単元は、児童の興味・関心、実態に応じて精選、入れ替え、変更等、柔軟性を持って取り扱う。			

令和8年度 小学部６年（Ⅱ課程Ａ）　外国語活動　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35時間	Ⅱ課程Ａの児童	荷川取　優	音楽動画・音声教材

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）外国語を用いた体験的な活動を通して、日本語と外国語の音声の違いなどに気付き、外国語の音声に慣れ親しむようにする。 (思判表力)身近で簡単な事柄について、外国語に触れ、自分の気持ちを伝え合う力の素地を養う。 (学･人)外国語を通して、外国の文化などに触れながら、言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	13時間	（知及技）日本と外国の言語や文化について、英語の歌や日常生活になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しむことができる。 （思判表力）外国語を用いた動画や音声等の教材から再生される映像や音声に、興味や関心をもって見たり聞いたりすることができる。 （学・人）外国語の授業に安心して参加することができる。	（知及技）日本と外国の言語や文化について、英語の歌や日常生活になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しもうとしている。 （思判表力）外国語を用いた動画や音声等の教材から再生される映像や音声に、興味や関心をもって見たり聞いたりしようとしている。 （学・人）外国語の授業に安心して参加しようとしている。	「自己紹介をしよう」 「挨拶をしよう」 「What color?」 ・色 「いろいろな英語を知ろう」 ・曜日、天気 「what do you like?」 ・好きな色 ・好きな野菜 「いろいろな英語を知ろう」 ・好きな果物	・言語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさを知ること。【(1)ア】 ・既に知っている活動や場面で、英語の挨拶や語などを聞き取る活動【(3)ア】 ・歌やダンス、ゲームで、簡単な語や身振りなどを使って表現する活動。【(3)①イ(ｲ)】
2学期	15時間	（知及技）日本と外国の言語や文化について、外国の生活や行事などに触れ、日本と外国の生活や違いを知ることができる。 （思判表力）コミュニケーションの相手や外国語を用いた動画や音声等の教材から再生される映像や音声に、興味や関心をもって見たり聞いたりすることができる。 （学・人）授業や学校生活の中で、外国の文化に気付いたり、言語への関心を高めたりすることができる。	（知及技）日本と外国の言語や文化について、外国の生活や行事などに触れ、日本と外国の生活や違いを知ろうとしている。 （思判表力）コミュニケーションの相手や外国語を用いた動画や音声等の教材から再生される映像や音声に、興味や関心をもって見たり聞いたりしようとしている。 （学・人）授業や学校生活の中で、外国の文化に気付いたり、言語への関心を高めたりしようとしている。	「アルファベットを探そう」 「外国の文化についてしろう」 ・ハロウィン 「ゲームをしよう」 「外国の文化についてしろう」 ・クリスマス	・英語の歌や日常生活になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しむこと。【(1)イ(ｱ)】 ・外国の生活や行事などに触れ、日本と外国の生活や違いを知ること。【(1)イ(ｲ)】 ・歌やダンス、ゲームで、簡単な語や身振りなどを使って表現する活動。【(3)①イ(ｲ)】
3学期	7時間	（知及技）具体的な言語の使用場面や状況における活動を通して、言語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさを知ることができる。 （思判表力）教師や友達が話している英語を真似て話そうとしたり、相手の質問や要求に応じようとしたりすることができる。 （学・人）言葉やジェスチャー、指さしなどで、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。	（知及技）具体的な言語の使用場面や状況における活動を通して、言語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさを知ろうとしている。 （思判表力）教師や友達が話している英語を真似て話そうとしたり、相手の質問や要求に応じようとしたりしている。 （学・人）言葉やジェスチャー、指さしなどで、進んでコミュニケーションを図ろうとしている。	「新年の過ごし方」 「お店ごっこをしよう」 「一年間のまとめをしよう」	・既に知っている物や事柄に関する語などを聞き、それが表す内容を実物や写真などと結び付ける活動。【(3)①ア(ｲ)】 ・言語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさを知ること。【(1)ア】 ・歌やダンス、ゲームで、簡単な語や身振りなどを使って表現する活動。【(3)①イ(ｲ)】
留意点引継ぎ等					

令和８年度 小学部　６年（Ⅱ課程Ａ）　道徳科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	６学年	野村まき子	自作教材、絵本、絵カード等

年間目標	・自分でできることは、 自ら取り組み、 よいこと悪いことをよく考えて行動する態度を養う。 ・友達と仲良くし、助けあう心を育てるとともに、あいさつや動作などの礼儀を身につける。 ・約束やきまりを守り、集団生活における自分の役割が分かり、最後までがんばる意欲を育てる。 ・身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接する態度を育てる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	13	・挨拶の大切さに気づき、場に応じた言葉づかいや気持ちのよい挨拶をしようとする。 ・挨拶の仕方について体験的に学ぶことをとおして、時と場合に応じた挨拶の仕方を理解し、日常生活のさまざまな場面で実践しようとする。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【Ｂ　礼儀】 ・挨拶の相手 ・挨拶の仕方	・学級開き ・新転入生を迎える会 ・場に応じた挨拶
		・家族の愛情や家族の一員としての役割について家族に対する愛情をいっそう深め、積極的に家族と関わり、生活しようとする。 ・家族の愛情や家族の一員としての役割について、家族に対する愛情をいっそう深め、積極的に家族と関わり、生活しようとする。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【Ｃ　家族愛、家庭生活の充実】 ・家族の一員として ・家族のために 【Ｂ　感謝】 ・周囲への感謝 ・家族への感謝	・母の日、父の日 ・お手伝い
		・仲間はずれをしないことの大切さを理解し、誰に対しても公正、公平に接しようとする。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【Ｃ　公正、公平、社会正義】 ・分け隔てなく	・公正、公平な態度
		・安全に気をつけることや、生活習慣の大切さについて理解し、自分の生活を見直しよりよく生活しようとする。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【Ａ　節度、節制】 ・生活を見直す ・物を大切に	・自分の持ち物 ・整理整頓 ・清掃 ・好き嫌い
		・自分の思いだけでなく友達の気持ちも考え、互いの気持ちを理解しながら接しようとする。 ・友達と仲良くし助け合うことの大切さがわかり、よりよい友達関係を築こうとする。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【Ｂ　友情、信頼】 ・友達の気持ちになって ・友達の立場になって	・人との関わり ・どんなきもち ・物を大切に

2学期	15	・友達や自分に対する理解を深め、自分のよさを実感し、自分の長所を伸ばそうとする心情や実践意欲と態度を育てる。 ・物事のよいことと悪いことについて考え、よいと思うことをすすんで行おうとする。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【A　個性の伸長】 ・よさを伸ばす 【A　善悪の判断、自律、自由と責任】 ・よいことをすすんで ・心の強さ	・良いこと、悪いこと
		・相手から喜ばれたり感謝されたりすることが働く喜びにつながることに気づき、すすんでみんなの役に立とうとする心情や実践意欲と態度を育てる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C　勤労、公共の精神】 ・働く喜び ・みんなの役に立ちたい	・色々な職業
		・約束やきまりの大切さに気づき、きまりを守って生活しようとする。 ・体験的に学ぶことをとおして、約束やきまりの大切さに気づき、みんなが使うものを大切にしようとする。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C　規則の尊重】 ・きまりを守って ・みんなのものを大切に	・公共施設でのマナー ・約束
3学期		・自分の生命が多くの人によって大切にされ、支えられていることに気付き、生命を大切にして生活しようとする。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【D　生命の尊さ】 ・私たちの命 ・命を見つめる 【D　自然愛護】 ・自然に親しむ ・自然とふれ合う	・自分の成長を振り返る ・家族への感謝
	7	・地域のよさについて考え、国や郷土に親しもうとする。 ・いろいろな国々の国旗や国歌にこめられた思いなどについて考えることをとおして、身近に感じ、他奥に対して理解や親しみをもとうとする。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C　伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】 ・国やふるさとのよさ 【C　国際理解、国際親善】 ・世界の国々	・校外学習 ・地域の人々 ・世界の文化、人々の暮らし
		・言葉の大切さを理解し、相手が笑顔になるような言葉を使おうとする実践意欲と態度を育てる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C公正、公平、社会正義】 ・うれしくなる言葉	・お父さんお母さんへ、在校生へ、先生へ
年間を通して		・自分の成長に気付いたり、友達の成長を祝う気持ちを持つ。 ・草花や野菜のお世話をしたり、観察をしたりして成長を見る。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【D　生命の尊さ】 ・誕生日を祝おう 【D　自然愛護】 ・草花や野菜を育てよう	・誕生会 ・キャリアパスポート ・草花の栽培
留意点 引継ぎ等					

令和８年度　小学部　６年（Ⅱ課程Ａ）　特別活動　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	６学年	冨里太輔 野村まき子	自作教材・イラスト・写真

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解する。 (思判表力)集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができる。 (学･人)自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	13	･学級で目標を決める大切さを知り、意見を出し合って学級目標を作ることができる。（知及技） ･自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。（学･人） ･自分の好きなことや将来について考えることができる。（思判表力） ･同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。（学･人） ･一学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。（思判表力） ･夏休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。（知及技）	･学級で目標を決める大切さを知り、意見を出し合って学級目標を作ろうとしている。（知・技） ･自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。（主学） ･自分の好きなことや将来について考えようとしている。（思･判･表） ･同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。（主学） ･一学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。（思･判･表） ･夏休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいか自分で考えようとしている。（知・技）	･学年、学級開き ･一学期頑張ろう会 ･学級目標作り ･係活動を決めよう ･キャリアパスポート作り ･一学期の目標 ･学校間交流 （･居住地校交流） ･キャリアパスポートの活用 ･一学期頑張った会 ･夏休みに向けて	・新しい学級の友達や先生を知る。 ・一学期頑張ろう会に参加する。 ・一学期の行事の確認 ・学級目標を決めて、書いて教室に貼る。 ・一学期の係活動を決める。 ・一学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、選んだりして発表する。 ・交流会の日時を知る。 ・異学年や他校の友達と歌を歌ったり、簡単なゲームしたりして交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・一学期頑張った会に参加する。 ・夏休みの過ごし方を考えたり話し合ったりする。
2学期	15	･２学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知及技） ･自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。（学･人） ･自分の好きなことや将来について考えることができる。（思判表力） ･集団で活動するよさを知り、集団での活動に参加することができる。（知及技） ･同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。（学･人） ･二学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。（思判表力） ･冬休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。（知及技）	･２学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知・技） ･自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。（主学） ･自分の好きなことや将来について考えようとしている。（思･判･表） ･集団で活動するよさを知り、集団での活動に参加することができる。（知・技） ･同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。（主学） ･二学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。（思･判･表） ･冬休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいか答えることができる。（知・技）	･二学期頑張ろう会 ･キャリアパスポート作り ･二学期の目標 ･係活動を決めよう ･学校間交流 （･居住地校交流） ･キャリアパスポートの活用 ･二学期頑張った会 ･冬休みに向けて	・二学期頑張ろう会に参加する。 ・二学期の行事の確認 ・二学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、イラスト等を貼ったりする。 ・二学期の係活動を決める。 ・児童集会に参加する。 ・学校や住んでいる地域では体験できないことを学習し、見聞を広げる。 ・異学年や他校の友達と歌を歌ったり、簡単なゲームしたりして交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・二学期頑張った会に参加する。 ・冬休みの過ごし方を考えたり話し合ったりする。

3学期	7	・3学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知及技） ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。（学・人） ・自分の好きなことや将来について考えることができる。（思判表力） ・集団での活動に参加することができる。（学・人） ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。（学・人） ・一年間を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。（思判表力） ・進級する学年・学部が現在と違いがあることを知り、今後の行事や学習について希望を持つ。（知及技）	・3学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知・技） ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。（主学） ・自分の好きなことや将来について考えようとしている。（思・判・表） ・集団での活動に参加しようとしている。（主学） ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。（主学） ・一年間を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。（思・判・表） ・進級する学年・学部が現在と違いがあることを知り、今後の行事や学習について希望を持ち、伝えようとしている。（知・技）	・三学期頑張ろう会 ・キャリアパスポート作り ・三学期の目標 ・係活動を決めよう ・学校間交流（・居住地校交流） ・キャリアパスポートの活用 ・三学期頑張った会 ・進級学年・学部について	・三学期頑張ろう会に参加する。 ・三学期の行事の確認 ・三学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、イラスト等を貼ったりする。 ・三学期の係活動を決める。 ・あおぞら集会に参加する。 ・他学年の児童と交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・三学期頑張った会に参加する。 ・次の学年や学部について考える。
留意点 引継ぎ等					

あおぞら会（幼児児童生徒会）

学期	時数	活動の目標	活動・単元名	指導・活動内容
1学期	2	異年齢の生徒同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営をすることに自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標（特別活動全体の目標）に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	・第1回あおぞら集会 ・第2回あおぞら集会	・新役員紹介 ・年間活動計画 ・令和8年度幼児児童生徒総会
2学期	1		・第3回あおぞら集会 ・特体連報告放送	・特体連選手激励会 ・特体連激励放送 ・特体連報告放送
3学期	3		・第4回あおぞら集会 ・第5回あおぞら集会 ・第6回あおぞら集会	・あおぞら役員選挙告示（選挙の内容の説明） ・立会演説会 ・体育館で投票 ・新役員の任命式及び引き継ぎ式 ・当選セレモニー ・当選証書授与

※あおぞら（幼児児童生徒）集会のある週の水曜日にあおぞら（幼児児童生徒）役員会を設定する（役員のみ）。

なお、各学部と調整して柔軟に日程は変更する。

※あおぞら会と学級活動の時数を合わせて、1学期13回、2学期15回、3学期7回の時数となる。

学校行事

学期	時数	活動の目標	活動・単元名	指導・活動内容
1学期	10	全校又は学年の児童で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、第1の目標（特別活動全体の目標）に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	・1学期　始業式、終業式 ・身体測定 ・地震津波避難訓練 ・内科検診、歯科検診、心電図	・先生の話を聞く。 ・自分の成長を知る。 ・安全に気をつけて行動することができる。 ・検査に落ち着いて受けることができる。 ・月ごとの振り返り
2学期	13		・2学期始業式、終業式 ・火災避難訓練 ・全校作業	・先生の話を聞く。 ・安全に気をつけて行動することができる。 ・月ごとの振り返り ・各行事の準備などの取り組み
3学期	5		・3学期始業式、修了式 ・全校作業 ・卒業式準備	・先生の話を聞く。 ・行事に意欲的に参加できる。 ・月ごとの振り返り ・各行事の準備などの取り組み

令和8年度　小学部　6年（Ⅱ課程Ｂ）　生活科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
175	6学年	冨里太輔	自作教材・絵本

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）具体的な活動や体験を通して、生活に必要な習慣や技能を身に付けるようにする。 (思判表力)自分自身や身の回りの生活のことなどについて、考えたり表現したりすることができる (学･人)自分のことに取り組んだり、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりする態度を養う

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
4月	65	（知及技）生活習慣に関わる初歩的な知識や技能を身に付けることができる。 （思判表力）簡単な身辺処理に気付き、教師と一緒に行おうとすることができる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技）生活習慣に関わる初歩的な知識や技能を身に付けようとしている。 （思・判・表）簡単な身辺処理に気付き、教師と一緒に行おうとする。 （主学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「やってみよう」 （ア基本的生活習慣） 「どんな一日？」 （カ日課・予定）	・簡単な身辺処理を教師と一緒に行う。 ・朝の会等で教師と一緒に日課を確認したり、日課に沿って行動したりする。
5月		（知及技）身の回りの遊びや自然の中から自分の好きな遊びを見つけたり、生命や自然に触れたりすることができる。 （思判表力）身の回りにある生命や自然、遊びに気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとすることができる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技）身の回りの遊びや自然の中から自分の好きな遊びを見つけたり、生命や自然に触れたりしようとする。 （思・判・表）身の回りにある生命や自然、遊びに気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとする。 （主学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「いろいろな遊び」 （エ遊び） 「自然に触れよう」 （サ生命・自然）	・教師と一緒に遊んだり、自分の好きな遊びを見つけたりする。 ・遠足や校外学習で、身の回りにある自然や生き物に触れる。
6月		（知及技）学校生活で関わる教室や先生たちを知ることができる。 （思判表力）自分に身近な先生が分かり、挨拶をしたり気持ちを安定させて学習することができる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技）学校生活で関わる教室や先生たちを知ろうとする。 （思・判・表）自分に身近な先生が分かり、挨拶をしたり気持ちを安定させて学習しようとする。 （主学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「学校ってどんなところ？」 （ケきまり）	・学校探検などで、身の回りにある教室や先生たちを知り、徐々に学校生活に慣れる。
7月		（知及技）状況に応じて安全な行動を教師と一緒に取るための知識・技能を身に付けることができる。 （思判表力）身の回りの安全に気付き、教師と一緒に安全な生活に取り組もうとすることができる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技）状況に応じて安全な行動を教師と一緒に取るための知識・技能を身に付けようとする。 （思・判・表）身の回りの安全に気付き、教師と一緒に安全な生活に取り組もうとする。 （主学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「きまりを知ろう」	・交通安全教室や学校周辺の散歩を通して、横断歩道を安全に渡る経験をする ・教師と一緒に避難場所まで安全に避難する（避難訓練）。

９月		（知及技）様々な集団の中で活動することに慣れたり、その中で教師と一緒に簡単な役割を果たすことができる。 （思判表力）身の回りの集団や役割に気付き、一緒にやろうとしたり関心をもったりすることができる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技）様々な集団の中で活動することに慣れたり、その中で教師と一緒に簡単な役割を果たそうとする。 （思・判・表）身の回りの集団や役割に気付き、一緒にやろうとしたり関心をもったりしようとする。 （主学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「一緒にやってみよう」 （カ役割）	・友達と一緒に活動したり、簡単な役割を教師と一緒に行ったりする。
１０月		（知及技）身近な公共施設があることを知り、教師と一緒に安全に利用することができる。 （思判表力）公共施設には、働く人がいることや利用者がいることなど、学校との雰囲気の違いに気付き、表現することができる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知及技）身近な公共施設があることを知り、教師と一緒に安全に利用しようとしている。 （思判表力）公共施設には、働く人がいることや利用者がいることなど、学校との雰囲気の違いに気付き、表現しようとしている。 （主学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「いろいろな場所を知ろう」 （コ社会の仕組みと公共施設）	・校外学習や社会科見学を通して、利用のきまりやマナーがあることを知ったり、教師と一緒に利用したりする。
１１月	75	（知及技）自分の通う学校の近くには、いくつかの小学校があり、同年齢の子どもたちが学んでいることを知ることができる。 （思判表力）他校の子どもたちとの交流学習で一緒に活動し、同じ時間を共有する楽しさを表現することができる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技）自分の通う学校の近くには、いくつかの小学校があり、同年齢の子どもたちが学んでいることを知ろうとしている。 （思・判・表）他校との交流学習で一緒に活動し、同じ時間を共有する楽しさを感じて表現しようとしている。 （主学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「いろいろな場所を知ろう」 （コ社会の仕組みと公共施設）	校外学習や社会科見学を通して、利用のきまりやマナーがあることを知ったり、教師と一緒に利用したりする。
１２月		（知及技）教師と一緒に自動販売機を使ったり、簡単な買い物ができる。 （思判表力）お金を入れようとしたり、お店の人にお金を渡したりトレイに置くことができる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知及技）教師と一緒に自動販売機を使ったり、簡単な買い物をしようとする。 （思判表力）お金を入れようとしたり、お店の人にお金を渡したりトレイに置いたりしようとする。 自動販売機から品物が出ることに気付こうとする。 （主学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「買い物をしよう」 （ク金銭の扱い）	・教師と一緒に学校周辺の自動販売機を使ったり、知念商会で簡単な買い物をしたりする経験をする。
１月		（知及技）友達やいろいろな教師と関わり合いながら、季節の遊びや遊具を使った遊びをすることができる。 （思判表力）人と関わり合いながら遊ぶことの楽しさに気付き、自ら周りに働きかけることができる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技）友達やいろいろな教師と関わり合いながら、季節の遊びや遊具を使った遊びをしようとする。 （思・判・表）人と関わり合いながら遊ぶことの楽しさに気付き、自ら周りに働きかけようとする。 （主・学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「いろいろな遊び」 （エ遊び）	・季節の遊びをしたり、遊具で遊んだりするなど、教師や友達がいる場所で遊んだり、一緒に遊んだりする。
２月	35	（知及技）教師と一緒に散歩し、自分の通う学校周辺の様子を知ることができる。 （思判表力）学校周辺にあるお気に入りの場所を見つけ、友達や先生に教えたり一緒に行ったりすることができる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技）教師と一緒に散歩し、自分の通う学校周辺の様子を知ろうとしている。 （思・判・表）学校周辺にあるお気に入りの場所を見つけ、友達や先生に教えたり一緒に行ったりしようとしている。 （主学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「いろいろな場所を知ろう」 （コ社会の仕組みと公共施設）	・学校周辺を教師と一緒に散歩し、晴れや雨などの天候の違いに気付いたり，地域の行事や四季の移り変わりを感じたりする。

３月		（知及技）気持ちを伝える言葉や挨拶があることを知ったり聞いたりできる。 （思判表力）気持ちを表す言葉や挨拶をしたり、自分なりに気持ちを表現したりできる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技）気持ちを伝える言葉や挨拶があることを知ったり聞いたりできる。 （思・判・表）気持ちを表す言葉や挨拶をしたり、自分なりに気持ちを表現したりできる。 （主学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「気持ちを伝えよう」 （オ人との関わり）	気持ちを伝える言葉や挨拶があることを知ったり聞いたりして、自分なりに気持ちを表す経験をする。
年間を通して		（知及技）生活習慣に関わる初歩的な知識や技能を身に付けることができる。 （思判表力）簡単な身辺処理に気付き、教師と一緒に行おうとすることができる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技）生活習慣に関わる初歩的な知識や技能を身に付けようとしている。 （思・判・表）簡単な身辺処理に気付き、教師と一緒に行おうとする。 （主学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「やってみよう」 （ア基本的生活習慣）	・できる力を活かしながら、簡単な身辺処理を教師と一緒に行ったり、少しずつ支援を減らしてできるようにしたりする。
年間を通して		（知及技）教師の言葉かけを聞いたり、手をとってもらったりしながら一緒に行動することにより、簡単な日課に気付くことができる。 （思判表力）教師からの言葉かけや誘いを聞き、自ら活動に向かったり、教師と一緒に参加したりすることができる。 （学・人）身の回りの簡単な日課に関心や見通しをもって、行動しようとすることができる。	（知・技）・教師の言葉かけを聞いたり、手をとってもらったりしながら一緒に行動することにより、簡単な日課に気付こうとしている。 （思・判・表）教師からの言葉かけや誘いを聞き、自ら活動に向かったり、教師と一緒に参加したりしようとしている。 （主学）身の回りの簡単な日課に関心や見通しをもって、行動しようとしている。	「どんな一日？」 （カ日課・予定）	・朝の会等で教師と一緒に日課を確認したり、日課に沿って行動したりする。
年間を通して		（知及技） 身近な植物（野菜や花など）の世話をしたり、身近な自然を知ったりすることができる。 （思判表力） 身近な植物の成長や変化に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えることができる。 （学・人） 身の回りの生命や自然に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技） 身近な植物（野菜や花など）の世話をしたり、身近な自然を知ったりしようとしている。 （思・判・表） ・身近な植物の成長や変化に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 （主・学） 身の回りの生命や自然に興味や関心をもって学習しようとしている。	「自然に触れよう」 （サ生命・自然）	・季節の変化に合わせた、簡単な植物の栽培や収穫を教師と一緒にし、生長に伴う変化を触ったり嗅いだりして知る。
年間を通して		（知及技）身の回りの遊びに気付き、教師や友達と一緒に遊んだり、遊具を使って遊ぶことができる。 （思判表力）教師の働きかけを受け入れ、いろいろな遊びをしたり、自分の好きな遊びを選んだりすることができる。 （学・人）周囲に好奇心をもったり身の回りの遊びなどに関心をもったりすることができる。	（知・技）身の回りの遊びに気付き、教師や友達と一緒に遊んだり、遊具を使って遊ぼうとしたりしている。 （思・判・表）教師の働きかけを受け入れ、いろいろな遊びをしたり、自分の好きな遊びを選んだりしようとしている。 （主・学）周囲に好奇心をもったり身の回りの遊びなどに関心をもったりしようとしている。	「いろいろな遊び」 （エ遊び）	・自分の好きな遊び ・教師とごっこ遊び ・遊具を使った遊び ・後片付け
留意点 引継ぎ等					

令和8年度　小学部　6年（Ⅱ課程Ｂ）　国語科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	6学年	冨里太輔	絵本・自作教材

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）身近な事象や物などに名前があることに気づくことができる。（小１段階） (思判表力)言葉による人との関わりを受け入れたり、自分の思いを持ったりする。（小１段階） (学･人)言葉の響きや関わることの良さに気づき、自分なりに応えようとする。（小１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
１学期	26	(知及技) 呼名や読み聞かせなどに気づき、言葉の持つ音やリズムに興味を持つことができる。 (ア言葉の特徴（イ）)(イ我が国の言語文化（ア）（エ）) (思判表力) 身近な人の言葉かけや学校生活に関する事物の話に気づき、自分なりに応じることができる。(A　聞くこと・話すこと　アイ)(C　読むこと　イ) (学・人) 言葉の響きや関わることの良さに気づき、自分なりに応えようとする。（小１段階）	(知・技) 教師の言葉に注目し、自分と友達の名前の違い、具体物に特定の音のリズムがあることなどに気づいているか。 (思・判・表) 身近な人の話しかけに注目したり、応じたりしようとしているか。 （主学）学校生活に関する言葉や挨拶などに関心を持ち、受け入れたり、働きかけようとしているか。 (評価資料) 活動の様子の観察で評価する。（目線、表情、動作、発声、発語など）	「学校だいすき」 （A聞くこと・話すこと） 「いろいろな言葉」 （A聞くこと・話すこと）	・呼名された時に、発声や身振り手振りなどで応える。（知及技に関する活動） ・絵本の読み聞かせやパネルシアターなどを通して、様々な言葉を聞いたり、リズムや抑揚などを感じたりする。（知及び技に関する活動） ・校内を散策、関心のある人や遊具などがある場所で過ごしながら、教師の言葉に耳を傾ける。（思判表力に関する活動）
２学期	30	(知及技)遊びを通して、言葉の持つ楽しさに気づくことができる(イ　我が国の言語文化（イ）) いろいろな筆記用具に触れ、書くことに気づいたり、興味を持ったりする。(イ　我が国の言語文化　（ウ）) (思判表力)活動を通して出てくる、身近な事物に気づき、興味を持つことができる。 （A　聞くこと・話すこと　ア）（C　読むこと　アウエ） (学・人)言葉の響きや関わることの良さに気づき、自分なりに応えようとする。（小１段階）	(知・技)遊びや教師の言葉に注目し、具体物や出来事に対し、言葉が結びついているか。 (思・判・表)活動に対し、期待感を持っていたり、また期待感を持っていることを伝えようとしたりしているか。 (主学)学校生活に関する言葉や挨拶などに関心を持ち、受け入れたり、働きかけようとしているか。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。（目線、表情、動作、発声、発語など）	「やりとりを楽しもう」 （A聞くこと・話すこと C読むこと） 「言葉で遊ぼう」 （A聞くこと・話すこと）	・応答遊びや声まね遊びなどを通して、言葉に応じることに関心をもつ（知及技に関する活動） ・感触遊びを通して、擬音語や擬態語などの言葉の響きに触れる。（知及技に関する活動） ・絵本の読み聞かせやパネルシアターに注目したり、教師の言葉に対して、表情や身振り手振りなどで応えたりする。（思判表力に関する活動）

3 学 期	14	(知及技)読み聞かせなどの活動を通して、言葉が物事を表していることを感じることができる。（ア　言葉の特徴（ア）） (思判表力)自分にとって心地よいまたは苦手な活動や言葉かけに気づき、それを表情や身振り手振りで伝えることができる。（A　聞くこと・話すこと　ウ） 身近な人との関わりや出来事について伝えたり、好きなことを選んだりすることができる。（B　書くこと　アイ） (学・人)言葉の響きや関わることの良さに気づき、自分なりに応えようとする。（小1段階）	(知・技)遊びや教師の言葉に注目し、活動に対する見通しを持っているか。出来事と言葉が結びついている様子が見られるか。 (思・判・表)自分の好きな活動、苦手な活動を、自分なりに伝えようとしているか。 (主学)学校生活に関する言葉や挨拶などに関心を持ち、受け入れたり、働きかけようとしているか。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。（目線、表情、動作、発声、発語など）	「つたえよう」 （A聞くこと・話すこと） 「絵本だいすき」 （A聞くこと・話すこと）	・読み聞かせや体験的活動などと言葉を結びつける経験を重ねる。（知及技に関する活動） ・学習活動の中で、自身が好きな活動もしくは苦手な活動を表情や身振り手振りなどで伝える。（思・判・表） ・振り返りの中で、提示された具体物や絵カードなどから自身が好きな活動を選ぶことができる。（思・判・表）
留意点 引継ぎ等					

令和8年度　小学部　6年（Ⅱ課程Ｂ）　算数科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	6学年	冨里太輔	自作教材・絵本

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 数量や図形などについて基礎的・基本的な概念や性質に気付き、身の回りの数量や図形について着目する技能を身に付ける。 (思判表力)身の回りの数量や図形について直感的に捉える力や基礎的・基本的な性質などに気付き、感じ取る力など、数学的な表現を用いて事象表現する力を養う。 (学･人)数学的活動の楽しさに関心や興味をもって学習したことを結びつけ、問題を解決しようとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	26	(知及技) ・具体物に気付いて指を差したり、つかもうとしたり、目で追ったりすることができる。 ・教師と一緒にものとものとを対応させて配ることができる。 (思判表力) ・対象物に注意を向け、対象物の存在に注目し、諸感覚を協応させながら捉えることができる。 ・ものとものとを関連付けることに興味を向け、ものの属性に注目し、仲間であることを判断したり表現したりすることができる。 (学・人) ・数学的活動の楽しさに気付き、興味関心を持って学習することができる。	(知・技) ・具体物に気付いて指を差したり、つかもうとしたり、目で追ったりしている。 ・教師と一緒にものとものとを対応させて配ろうとしている。 (思・判・表) ・対象物に注意を向け、対象物の存在に注目し、諸感覚を協応させながらとらえようとしている。 ・ものとものとを関連付けることに興味を向け、ものの属性に注目し、仲間であることを判断したり表現しようとしている。 (主学) ・数学的活動の楽しさに気付き、興味関心を持って学習しようとしている。	「さわってみよう・さがしてみよう」 A数量の基礎 ア具体物の有無 「一つずつあわせてみよう」 イものとものとの対応	具体物に触れたり、目で追ったりする。 目の前で隠されたものを探したり、身近にあるものや人の名を聞いて指を差したりする。 ・身の回りのものに気付き、対応させたり、組み合わせたりする。 ・1対1対応しながら配布 ・荷物や食器を定位置に片付ける ・指さし、追視、つかむ、探す ・絵本の読み聞かせ、音絵本、パネルシアター ・プットイン教材 ・ソフト積み木
2学期	30	(知及技) ・教師と一緒に５までの範囲を数唱することができる。 (思判表力) ・数詞とものの関係に着目し、数のまとまりや数え方に気付き、学習や生活に生かすことができる。 (学・人) ・数学的活動の楽しさに気付き、興味関心を持って学習することができる。	(知・技) ・教師と一緒に５までの範囲を数唱しようとしている。 (思・判・表) ・数詞とものの関係に着目し、数のまとまりや数え方に気付き、学習や生活に生かそうとしている。 (主学) ・数学的活動の楽しさに気付き、興味関心を持って学習しようとしている。	「かぞえてみよう」 B数と計算 イ数えることの基礎	教師と一緒に、身の回りのものを数えたり、数唱したりして生活に生かす経験をする。 ・友だちの数、おやつの数 ・交代で遊具遊びをする ・絵本の読み聞かせ ・パネルシアター
3学期	14	(知及技) ・教師と一緒に似ているもの二つを結びつけることができる。 (思判表力) ・ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付き、日常生活の中で関心をもつことができる。 (学・人) ・数学的活動の楽しさに気付き、興味関心を持って学習することができる。	(知・技) ・教師と一緒に似ているもの二つを結びつけようとしている。 (思・判・表) ・ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付き、日常生活の中で関心をもとうとしている。 (主学) ・数学的活動の楽しさに気付き、興味関心を持って学習しようとしている。	「おなじものをさがそう」C図形 ア分類・整理	形の違いに気付く。 明確に異なる2種類の具体物から同じものを見つける。 ・食器や道具のを定位置に片付ける ・絵本の読み聞かせ、音絵本 ・パネルシアター ・ソフト積み木 ・型はめパズル

留意点 引継ぎ等	

令和8年度 小学部６年（Ⅱ課程Ｂ）　音楽科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	Ⅱ課程Bの児童	荷川取　優	音楽動画・音声教材

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)音や音楽に注意を向けて気づくとともに、関心を向け、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりにつながる技能を身に付けるようにする。（小１段階） (思判表力)音楽的な表現を楽しむことや、音や音楽に気づきながら関心や興味をもって聴くことができるようにする。（小１段階） (学･人)音や音楽に気づいて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとする態度を養う。（小１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	（知及技） ・音や音楽に気づき、音を感じながら、表情や発声、身体の動きで表現することができる。 （思判表力） ･色々な楽器に興味･関心をもち、手を伸ばしたり、音を出したりして楽器に親しむことができる。 （学・人） ･教師や友だちと一緒に音楽活動をする楽しさを感じることができる。	（知･技） ・音や音楽に気付き、音を感じながら、表情や発声、身体の動きで表現しようとしている。 （思･判･表） ･色々な楽器に興味･関心をもち、手を伸ばしたり、音を出したりして楽器に親しもうとしている。 （主学） ･教師や友だちと一緒に音楽活動をする楽しさを感じようとしている。	「どんなうたがあるかな」(音) ・おへんじうた ・こいのぼり ・ウォークアンドストップ	・おへんじうたに合わせて、名前が呼ばれたら、タンバリン等を打って応じる。 ・教師と一緒に身体を揺らして３拍子を感じたり、音楽を通してこいのぼりに関心をもつ。 ・「どんぐりころころ」「ピンクパンサーのテーマ曲」の曲の雰囲気、テンポの変化に合わせて、歩いたり止まったりする。
				「どんなうたがあるかな」(音) ・こいのぼり ・おべんとうばこのうた ･校歌ダンス 「ならしてみよう」 ・がっきをならそう ・おおきなたいこ 「楽器の音をきいてみよう」(鑑) ・ドラムかんアンサンブル	・前月同様 ・教師の手本やパネルシアターなどの視覚教材を見聞きする。 ・校歌に合わせて旗を振る練習をする。 ・「楽器をならそう」という呼びかけに答えて簡単な打楽器を鳴らす。 ・大太鼓「どーんどーん」、小太鼓「とんとんとん」の歌詞に合わせて演奏する。
				「うたおう」(音) ・ばすにのって ・白保と八特の子ども ・月桃 「ならしてみよう」 ・たなばたさま ･がっきをならそう ・おおきなたいこ 「みてきいて」(鑑) ・あめふりくまのこ ・ハンガリー舞曲第５	・曲に合わせて、友達、教師と共に身体を動かす。 ・白保小との交流会に向けて、曲を知る。 ・PPを見ながら、八重山の自然を感じ、平和の素晴らしさを感じる。 ・星空の映像を見ながら、ツリーチャイムを鳴らしたり、鈴をならしたりして、季節の音楽を楽しむ。 ・パネルシアターを楽しむ。 ・曲に合わせて、新聞紙をビリビリしたり、投げたりする。
				「うたおう」(音) ・うみ ・たなばたさま 「ならしてみよう」 ･がっきをならそう ・おおきなたいこ 「みてきいて」(鑑) ・プロジェクションマッピング	・小豆や砂を使って、海の波の音を作る。 ・前月同様

2学期	30	（知及技） ・拍や曲の特徴的なリズムを感じながら、表情や発声、身体の動きで表現することができる。 （思判表力） ・教師と一緒に曲に合わせて楽器の音を奏でたり、音色を楽しんだりすることができる。 （学・人） ･教師や友だちと一緒に音楽活動をする楽しさを表現することができる。	（知・技） ・拍や曲の特徴的なリズムを感じながら、表情や発声、身体の動きで表現しようとしている。 （思・判・表） ・教師と一緒に曲に合わせて楽器の音を奏でたり、音色を楽しんだりしようろしている。 （主学） ･教師や友だちと一緒に音楽活動をする楽しさを表現しようとしている。	「からだを動かそう」（音） ・とんぼのめがね ・あたま・かた・ひざ・ぽん ・校歌ダンス 「一緒に音を楽しもう」（鑑） ・３びきのやぎのがらがらどん	･セロファンでとんぼの色眼鏡を作って、曲に合わせてとんぼになりきる。 ・身体の部位の名称に合わせて触れる。 ・曲に合わせてペープサートを視聴し、登場人物になったつもりで声を発したり、身体を揺らしたりする。
				「からだを動かそう」（音） ・おばけなんてないさ ・おやつたーべよ ・バスごっこ 「一緒に音を楽しもう」（鑑） ・おもちゃのへいたい	・曲に合わせて、手足を動かしたり、身体を揺らしたり、繰り返し出てくる「さ」の部分で声を出したり、ジャンプしたりする。 ・教師の歌いかけに応じて、一人ずつ順番に動作したり、楽器をならしたり、声を出したりする。 ・段ボールで作ったバスに乗ったり、曲に合わせて友達に切符を渡したりして楽しむ。 ・曲に合わせて、パネルシアターを楽しむ。
				「楽器をならそう」（音） ・きらきらぼし 「むかいあってたのしくあそぼう」（音） ・とんとんとんとん ・むすんでひらいて 「うたやリズムを楽しもう」（鑑） ・おどるねこ	・曲に合わせて、友達と交代しながら楽器を演奏する。 ・友達や先生と向かい合って、曲に合わせて手遊びをする。
				「楽器をならそう」（音） ・赤鼻のトナカイ 「うたやリズムを楽しもう」（鑑） ・あわてんぼうのサンタクロース	･季節の曲を楽しむ。 ･曲に合わせて、パネルシアターを楽しむ。 ・クリスマス会の練習
3学期	14	（知及技） ・音楽遊びを通して、身の回りの音や音の面白さに気付くことができる。 （思判表力） ･身近な人の演奏に触れ、好きな音色や楽器の音を見付けたり、身体表現したりしながら聴くことができる。 （学・人） ･様々な音楽作品を鑑賞し、音楽に親しみ興味関心を深めることができる。	（知･技） ・音楽遊びを通して、身の回りの音や音の面白さに気付くことができる。 （思･判･表） ･身近な人の演奏に触れ、好きな音色や楽器の音を見付けたり、身体表現したりしながら聴くことができる。 （主学） ･様々な音楽作品を鑑賞し、音楽に親しみ興味関心を深めることができる。	「手遊びしよう」 「どうぶつになって」（音） ・のねずみ ・くまさんくまさん 「わらべうたであそぼう」（音）（鑑） ・なべなべそこぬけ ・はないちもんめ	・児童と向かい合ってくすぐりなどで触れ合って遊ぶ。 ・歌詞に合わせた動作で踊る。 ・曲に合わせて、昔遊びを楽しむ。
				「げんきなこえでうたおう」（音） ・まめまき ・おにのパンツ 「卒業式に向けて」（音）・卒業式の歌 「音や音楽をきいて、自分なりの楽しさをみつけよう」（鑑） ・はらぺこあおむし	・季節の歌を楽しむ。 ・曲に合わせて踊る。 ・パネルシアターを楽しむ。

				「歌って踊って」(音) ・ちぇっちぇっこり 「卒業式に向けて」 (音)・卒業式の歌 「音や音楽をきいて、自分なりの楽しさをみつけよう」(鑑) ・思い出のアルバム	・曲の速さを変えながら、身体を揺らして楽しくダンスをする。また、曲に合わせて自分の好きな楽器を鳴らす。 ・みんなの1年間を振り返るPPを作り、曲に合わせて１年間でがんばったこと成長したことを振り返る。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度　小学部　6年（Ⅱ課程Ｂ）　図画工作科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	6学年	冨里太輔	自作教材

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとするようにする。 (思判表力)表したいことを思い付いたり、作品を見たりできるようにする。 (学･人)表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付こうとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	26	(知及技) 教師と一緒に自然物や人工物など、身近にあるものを目で見たり、手で触れたり、力を加えて変化を楽しむことができる。 (思判表力) 手や体全体の感覚を働かせて、教師と一緒に表現しようとすることができる。 (学・人) ・表現や鑑賞の活動の楽しさや喜びに気付き、興味や関心をもって学習に取り組むことができる。	(知・技) 教師と一緒に自然物や人工物など、身近にあるものを目で見たり、手で触れたり、力を加えて変化を楽しもうとしている。 (思・判・表) 手や体全体の感覚を働かせて、教師と一緒に表現しようとしている。 (主学) ・表現や鑑賞の活動の楽しさや喜びに気付き、興味や関心をもって学習に取り組もうとしている。	「作ってみよう　～ぺたぺた～」 (A表現)	「作ってみよう　～ぺたぺた～」 (A表現)
				「クレヨンを使って描いてみよう」 (A表現)	・家族の写真や両親の写真を見て思い浮かべながら、教師と一緒に自由に描き、組み合わせてお母さんやお父さんを描く。 ・母の日 ・父の日
				「作ってみよう　～貝殻、木の実、小枝を使って～」 (A表現)	・教師と一緒に外に出て葉、木の実、小枝などを拾う。 ・素材の違いを触って確かめ、並べたり貼ったりして、いろいろな物ができることに気付く。 ・七夕飾り
				「見てみよう」(B鑑賞)	・教師と一緒に友達の作品を見合い、面白さや良さを感じる。
2学期	30	(知及技) 教師と一緒に描いたり作ったりして、手指や体の動きによって自然に出てきた形や色、素材の変化に気付くことができる。 (思判表力) 手や体全体の感覚を働かせて、教師と一緒に表現することを楽しもうとすることができる。 (学・人) ・表現や鑑賞の活動の楽しさや喜びに気付き、興味や関心をもって学習に取り組むことができる。	(知・技) 教師と一緒に描いたり作ったりして、手指や体の動きによって自然に出てきた形や色、素材の変化に気付こうとしている。 (思・判・表) 手や体全体の感覚を働かせて、教師と一緒に表現することを楽しもうとしている。 (主学) ・表現や鑑賞の活動の楽しさや喜びに気付き、興味や関心をもって学習に取り組もうとしている。	「見てみよう」(B鑑賞) 「作ってみよう　～敬老の日プレゼント～」 (A表現)	・友達の夏休みの作品を見たり、触れたりして、頑張ったことを伝え合う。 ・教師と一緒にお花紙を丸めたり、くしゃくしゃにしたりして花束を作る。 ・手作り花束を添えたメッセージカード
				「描いてみよう　～楽しい気持ちを描いてみよう～」 (A表現)	・好きなお話や読み聞かせを聞いたり挿絵を見たりして、教師と一緒に思い描いたことを、自分の表現方法で描くことを楽しむ。 ・感想画
				「描いてみよう　～色水～」 (A表現)	・教師と一緒に、絵の具や花びらなどを使って、いろいろな色の水を作る。 ・作った色水を水鉄砲やじょうろ、スポンジ、霧吹きなどを使って、大きな紙に色をつける。
				「描いてみよう　～いろいろな形をぺたぺた押して～」 (A表現)	・教師と一緒に野菜スタンプなどを押す感覚を感じたり、石・葉・硬貨をこすりだし、浮き出てくる形に気付いたりする。 ・版画 ・野菜スタンプ
		(知及技) 身近にある砂や水、紙や木などの材料に対して、手や体全体を使って自発的に働きかけたり、教師と一緒に使ったりすることができる。	(知・技) 身近にある砂や水、紙や木などの材料に対して、手や体全体を使って自発的に働きかけたり、教師と一緒に使ったりしようとしている。	「描いてみよう　～今年の抱負～」(A表現) (B鑑賞)	・教師と一緒に筆を持って動かしたり、手や体全体を大きく使ったりして、自分の思いを描く。 ・描いた物を見せながら、今年の思いを発表し合う。 ・書き初め

3 学 期	14	（思判表力） 手や体全体の感覚を働かせ、新しいことやものを教師と一緒に表現しようとすることができる。 （学・人） ・表現や鑑賞の活動の楽しさや喜びに気付き、興味や関心をもって学習に取り組むことができる。	（思・判・表） 手や体全体の感覚を働かせ、新しいことやものを教師と一緒に表現しようとしている。 （主学） ・表現や鑑賞の活動の楽しさや喜びに気付き、興味や関心をもって学習に取り組もうとしている。	「粘土で遊ぼう　～いろいろな粘土（油粘土・ホイップ粘土・紙粘土など）～」（A表現）	・教師と一緒に粘土を叩いたり、踏んだり、伸ばしたりしながら、粘土の感触の違いを感じる。 ・たたく、ちぎる、重ねる、ねじる、丸めるなど
				「作ってみよう　～ビリビリ・ひらひら～」（A表現）	・教師と一緒に手や体全体を使って、新聞紙やちらしを自由にちぎったり、まるめたりする。 ・小さくちぎった紙を雪、桜、花吹雪などに見立てて遊び、春を感じる。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度　小学部６年（Ⅱ課程Ｂ）　体育科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	Ⅱ課程Bの児童	重森　誠仁	

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）遊びや運動に必要な基本的な動きを身に付け、楽しく活動に取り組むことができる。（小１段階） (思判表力)健康な生活に必要な事柄を身に付け、取り組むことができる。（小１段階） (学･人)遊びや運動の喜びや楽しさを感じ、進んで活動に取り組むことができる。（小１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	26	【知及技】 教師と一緒に歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりすることができる。 【思判表力】 体を動かすことの楽しさや心地よさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行うことができる。	【知・技】 教師と一緒に歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりしようとしている。 【思・判・表】 体を動かすことの楽しさや心地よさを自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行おうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「みんなで楽しく」 A体つくり運動遊び	・ラジオ体操 ・簡単なゲーム 台風の目 大玉転がし 玉入れ 風船バレー しっぽ取りゲーム かけっこ サーキット 等
		【知及技】 教師と一緒に歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりすることができる。 【思判表力】 体を動かすことの楽しさや心地よさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行うことができる。	【知・技】 教師と一緒に歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりしようとしている。 【思・判・表】 体を動かすことの楽しさや心地よさを自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行おうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「みんなで楽しく」 A体つくり運動遊び	・ラジオ体操 ・簡単なゲーム 台風の目 大玉転がし 玉入れ 風船バレー しっぽ取りゲーム かけっこ サーキット 等
		【知及技】 水に親しみ、手足を動かしたり、水の温度や感触、浮いた感覚を味わったりすることができる。 【思判表力】 水に慣れ、自分の好きな動きや遊びを見つけることができる。 【学・人】 教師と一緒にプールでの決まりを守り、楽しく遊ぶことができる。	【知・技】 水に親しみ、手足を動かしたり、水の温度や感触、浮いた感覚を味わおうとしている。 【思・判・表】 水に慣れ、自分の好きな動きや遊びを見つけようとしている。 【主学】 教師と一緒にプールでの決まりを守り、楽しく遊ぼうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「水遊び」「プール学習」 D水あそび	・水遊び（じょうろ、ホース、シャワー、水鉄砲、バケツ、ペットボトル、しゃぼん玉遊び等） ・手足バタバタ、水に慣れよう ・体の力を抜いて、浮いてみよう！ ・ふりこ（スイング、ドルフィン） ・水中歩き ・宝さがし

		【知及技】 水に親しみ、手足を動かしたり、水の温度や感触、浮いた感覚を味わったりすることができる。 【思判表力】 水に慣れ、自分の好きな動きや遊びを見つけることができる。 【学・人】 教師と一緒にプールでの決まりを守り、楽しく遊ぶことができる。	【知・技】 水に親しみ、手足を動かしたり、水の温度や感触、浮いた感覚を味わおうとしている。 【思・判・表】 水に慣れ、自分の好きな動きや遊びを見つけようとしている。 【主学】 教師と一緒にプールでの決まりを守り、楽しく遊ぼうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「水遊び」「プール学習」 D水あそび	・水遊び（じょうろ、ホース、シャワー、水鉄砲、バケツ、ペットボトル、しゃぼん玉遊び等） ・手足バタバタ、水に慣れよう ・体の力を抜いて、浮いてみよう！ ・ふりこ（スイング、ドルフィン） ・水中歩き ・宝さがし
2学期	30	【知及技】 教師と一緒に、器械・器具を使って、楽しく体を動かすことができる。 【思判表力】 器械・器具を使って揺れを楽しみ、その楽しさや心地よさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使って楽しく遊ぶことができる。	【知・技】 教師と一緒に、器械・器具を使って、楽しく体を動かそうとしている。 【思・判・表】 器械・器具を使って揺れを楽しみ、その楽しさや心地よさを自分なりに表現しようとしている。 【主学】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使って楽しく遊ぼうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「粗大運動」 B器械・器具を使っての遊び	・三輪車 ・平均台（渡り歩き、跳び下り等） ・跳び箱（よじ登り、跳び下り、またぎ乗り、またぎ下り等） ・マット運動（横転がり、ゆりかご、前転がり、後ろ転がり等） ・トランポリン ・かんぽっくり ・フラフープ ・バランスボール ・竹馬 ・滑り台 ・ミニハードル ・風船キープ（バギー・車イスの児童） ・ミュージックマット（バギー・車イスの児童） ・ガタガタ道（バギー・車イスの児童）
		【知及技】 教師と一緒に、器械・器具を使って、楽しく体を動かすことができる。 【思判表力】 器械・器具を使って揺れを楽しみ、その楽しさや心地よさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使って楽しく遊ぶことができる。	【知・技】 教師と一緒に、器械・器具を使って、楽しく体を動かそうとしている。 【思・判・表】 器械・器具を使って揺れを楽しみ、その楽しさや心地よさを自分なりに表現しようとしている。 【主学】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使って楽しく遊ぼうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「粗大運動」 B器械・器具を使っての遊び	・三輪車 ・平均台（渡り歩き、跳び下り等） ・跳び箱（よじ登り、跳び下り、またぎ乗り、またぎ下り等） ・マット運動（横転がり、ゆりかご、前転がり、後ろ転がり等） ・トランポリン ・かんぽっくり ・フラフープ ・バランスボール ・竹馬 ・滑り台 ・ミニハードル ・風船キープ（バギー・車イスの児童） ・ミュージックマット（バギー・車イスの児童） ・ガタガタ道（バギー・車イスの児童）
		【知及技】 教師と一緒に、もしくは教師の援助を受けて、走る楽しさを味わうことができる。 【思判表力】 教師の援助を受けて、決められた距離を自分なりの方法で、歩いたり、走ったりすることができる。 【学・人】 最後まであきらめずにゴールに向かうことができる。	【知・技】 教師と一緒に、もしくは教師の援助を受けて、楽しみながら走ろうとしている。 【思・判・表】 教師の援助を受けて、決められた距離を自分なりの方法で、歩いたり、走ったりしようとしている。 【主学】 最後まで、あきらめずにゴールに向かおうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「持久走」 C走・跳の運動遊び	・目標決め ・かけっこ ・ミニハードル ・持久走 ※12月上旬の持久走チャレンジ会に向けての練習となる。

		【知及技】 教師と一緒に、もしくは教師の援助を受けて、走る楽しさを味わうことができる。 【思判表力】 教師の援助を受けて、決められた距離を自分なりの方法で、歩いたり、走ったりすることができる。 【学・人】 最後まであきらめずにゴールに向かうことができる。	【知・技】 教師と一緒に、もしくは教師の援助を受けて、楽しみながら走ろうとしている。 【思・判・表】 教師の援助を受けて、決められた距離を自分なりの方法で、歩いたり、走ったりしようとしている。 【主学】 最後まで、あきらめずにゴールに向かおうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「持久走」 C走・跳の運動遊び	・目標決め ・かけっこ ・ミニハードル ・持久走 ※12月上旬の持久走チャレンジ会に向けての練習となる。
3学期	14	【知及技】 模倣や簡単な表現活動を通して自己表現を行ったり、いろいろな表現方法について知ることができる。 【思判表力】 音楽やリズムに合わせて体を動かす楽しさを味わい、自分なりの方法で表現することができる。 【学・人】 友だちや教師と一緒に動きを合わせる経験をすることができる。	【知・技】 模倣や簡単な表現活動を通して自己表現を行ったり、いろいろな表現方法について知ろうとしている。 【思・判・表】 音楽やリズムに合わせて体を動かす楽しさを味わい、自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 友だちや教師と一緒に動きを合わせようとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「題材と動き」 「リズムと動き」 （F 表現遊び）	（題材と動き） ・鳥、昆虫、恐竜、動物園の動物、飛行機、遊園地の乗り物、おもちゃなど特徴が捉えやすい動きを多く含む物の真似をすること （リズムと動き） ・軽快なリズムの曲や児童が日常的に親しんでいる曲にのって、弾む、回る、ねじるなど自由に踊ること ・音楽やリズムに合わせて歩く、走る、弾む、回る、ねじるなどの運動をする
		【知及技】 教師と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かすことができる。 【思判表力】 ボールを投げたり、転がしたり、蹴ったり、捕ったりする楽しさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 簡単な合図や指示に従って、ボール遊びを行うことができる。	【知・技】 教師と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かそうとしている。 【思・判・表】 ボールを投げたり、転がしたり、蹴ったり、捕ったりする楽しさを自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 簡単な合図や指示に従って、ボール遊びをしようとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「ボールで遊ぼう」 Eボール遊び	・転がす、投げる、蹴る、捕る ・的当てゲーム ・ボウリング ・ボッチャ ・ボール運びゲーム ・ティーベースボール ・大玉ドッチボール ・シュートゲーム等
		【知及技】 教師と一緒に感染症予防について学び、うがいやマスク、手洗い等、基本的な対策を行うことができる。 【思判表力】 体調が悪いときや怪我をして痛いときには教師に知らせたり、手が汚れているときには、その状態を見て、手洗いを行ったりすることができる。 【学・人】 身体計測による体重や身長の変化に興味、関心を持つことができる。	【知・技】 感染症予防として、うがいやマスク、手洗い等を行おうとしている。 【思・判・表】 体調が悪いときや怪我をして痛いときには教師に知らせようとしたり、手が汚れているときには、その状態を見て、手を洗おうとすることができる。 【主学】 昨年と比べて、体重や身長が変化していることを知り、自分の成長を感じることができる。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「健康な生活」 （G 保健）	・大切な体 ・手洗い、うがい、水分補給、着替え ・身体測定 ・感染症予防対策 ・プライベートゾーン ・命の授業（赤ちゃんの誕生）

留意点 引継ぎ等	・（A 体つくり運動遊び）ウォーミングアップ、集合・整列は、年間を通して指導する。 ・（F 表現運動）ラジオ体操、ダンスは、年間を通して指導する。 ・（G 保健）健康な生活は、年間を通して指導する ・単元は、児童の興味・関心、実態に応じて精選、入れ替え、変更等、柔軟性を持って取り扱う。

令和8年度　小学部６学年（Ⅱ課程B）　外国語　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	６学年	重森　誠仁	

年間目標	
	(1)　外国語を用いた体験的な活動を通して，日本語と外国語の音声の違いなどに気付き，外国語の音声に慣れ親しむようにする。 (2)　身近で簡単な事柄について，外国語に触れ，自分の気持ちを伝え合う力の素地を養う。 (3)　外国語を通して，外国の文化などに触れながら，言語への関心を高め，進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	13	（知及技） 教師と一緒に、英語の歌や日常になじみのある英語などを聞き、音声やリズムに親しむことができる。 （思判表力） 教師と一緒に、英語を真似て話そうとしたり、相手の質問や要求に英語で応じたりできる。 （学・人） 教師と一緒に、英語やジェスチャーや手話などで、コミュニケーションをとることができる。	（知及技） 教師と一緒に、英語の歌や日常になじみのある英語などを聞き、音声やリズムに親しもうとしている。 （思判表力） 教師と一緒に、英語を真似て話そうとしたり、相手の質問や要求に英語で応じたりしようとしている。 （学・人） 教師と一緒に、英語やジェスチャーや手話などで、コミュニケーションをとろうとしている。	「挨拶をしよう」 「色々な英語を知ろう」 「色々な英語の歌を歌おう」 「外国の文化を知ろう」 「英語でゲームをしよう」	・既に知っている活動や場面で、英語の挨拶や語などを聞き取る活動【(3)ア】 Good morning Hello Goodbye Thank you Good　　など ・英語の歌や日常生活になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しむこと。【(1)イ(ア)】 head shoulders knees and toes Sunday, Monday, Tuesday/Days of the Week Song Ten little indian boy　など ・外国の生活や行事などに触れ、日本と外国の生活や違いを知ること。【(1)イ(イ)】 Halloween Christmas valentine's day　など ・既に知っている物や事柄に関する語などを聞き、それが表す内容を実物や写真などと結び付ける活動。【(3)①ア(イ)】 色 曜日 月 数字 動物 果物 野菜　など ・歌やダンス、ゲームで、簡単な語や身振りなどを使って表現する活動。【(3)①イ(イ)】 Color tag（色鬼）　など ・言語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさを知ること。【(1)ア】
2学期	15	（知及技） 教師と一緒に、英語の歌や日常になじみのある英語などを聞き、音声やリズムに親しむことができる。 （思判表力） 教師と一緒に、英語を真似て話そうとしたり、相手の質問や要求に英語で応じたりできる。 （学・人） 教師と一緒に、英語やジェスチャーや手話などで、コミュニケーションをとることができる。	（知及技） 教師と一緒に、英語の歌や日常になじみのある英語などを聞き、音声やリズムに親しもうとしている。 （思判表力） 教師と一緒に、英語を真似て話そうとしたり、相手の質問や要求に英語で応じたりしようとしている。 （学・人） 教師と一緒に、英語やジェスチャーや手話などで、コミュニケーションをとろうとしている。	「挨拶をしよう」 「色々な英語を知ろう」 「色々な英語の歌を歌おう」 「外国の文化を知ろう」 「英語でゲームをしよう」	

3 学 期	7	（知及技） 教師と一緒に、英語の歌や日常になじみのある英語などを聞き、音声やリズムに親しむことができる。 （思判表力） 教師と一緒に、英語を真似て話そうとしたり、相手の質問や要求に英語で応じたりできる。 （学・人） 教師と一緒に、英語やジェスチャーや手話などで、コミュニケーションをとることができる。	（知及技） 教師と一緒に、英語の歌や日常になじみのある英語などを聞き、音声やリズムに親しもうとしている。 （思判表力） 教師と一緒に、英語を真似て話そうとしたり、相手の質問や要求に英語で応じたりしようとしている。 （学・人） 教師と一緒に、英語やジェスチャーや手話などで、コミュニケーションをとろうとしている。	「挨拶をしよう」 「色々な英語を知ろう」 「色々な英語の歌を歌おう」 「外国の文化を知ろう」 「英語でゲームをしよう」 「一年間のまとめをしよう」	
留意点 引継ぎ等					

令和8年度　小学部　6年（Ⅱ課程Ｂ）　道徳科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	6学年	冨里太輔	自作教材・絵本

年間目標	・身近な人やものとの関わりの中で、道徳的な価値を感じたり、気づいたりして、より良く関わろうとする為の心情や態度を育む。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	13	・身近な大人との関わりの中で、自分が受け入れられているという心地よさを感じて学校生活を過ごす。【主として自分自身に関すること】 ・身近な大人の存在に気づき、親しみの気持ちを表現しようとする気持ちを持つ。【主として人との関わりに関すること】 ・友達の存在に気づき、興味関心を持つ。【主として集団や社会との関わりに関すること】 ・身近な動植物に触れ、その存在に気づく。【主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること】	・活動を通して、身体の緊張や表情が和らいでいる様子が見られるか。教師からの働きかけを、抵抗感なく受け入れているかどうか。 ・身近な大人に対して笑顔を向けたり、視線を送ったり、声を出したりしている様子が見られるか。 ・友達の行動や表情などに注目している様子が見られるか。 ・身近な動植物に触れ、驚いたり喜んだり、感情が動いている様子が見られるか。	・学校、だいすき ・いっしょってあったかいね ・みんなでやってみよう ・いのち探検隊	・自己紹介 ・触れあい遊び（スキンシップ遊び） ・遊具遊び（トランポリン、ボールプール、箱車など） ・手遊び歌 ・絵本読み聞かせ「ぶう　ぶう　ぶう」「あーそーぼ」「くっついた」「あめふりあっくん」など ・植物の栽培 ・散歩（お花探し） ・動物との触れあい体験
2学期	15	・身近な大人との関わりの中で、気持ちや要望を受け入れられたり、身辺を整えてもらうことの心地よさを感じたりして、安定感を持って学校生活を過ごす。【主として自分自身に関すること】 ・身近な大人に対して、身体を動かしたり、声を出したりして、自ら関わろうとする意欲を持つ。【主として人との関わりに関すること】 ・友達の存在や集団の雰囲気に気づき、心地よさを感じながら学校生活を過ごす。【主として集団や社会との関わりに関すること】 ・身近な動植物に触れ、感触などを受け入れることができる。【主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること】	・活動を通して、身体の緊張や表情が和らいでいる様子が見られるか。教師からの働きかけを、抵抗感なく受け入れているかどうか。 ・身近な大人に対して笑顔を向けたり、視線を送ったり、声を出したりしている様子が見られるか。 ・友達と過ごしたり、集団活動に参加したりした時に、表情が和らいでいたり、落ち着いていたりしているか。 ・身近な動植物に触れ、驚いたり喜んだり、感情が動いている様子が見られるか。	・学校、だいすき ・いっしょってあったかいね ・みんなでやってみよう ・いきもの探検隊	・自己紹介 ・触れあい遊び（スキンシップ遊び） ・遊具遊び（トランポリン、ボールプール、箱車など） ・手遊び歌 ・絵本読み聞かせ
3学期	7	・身近な大人の表情や態度などから、望ましい行動、望ましくない行動があることに気づき、望ましい行動を取ろうとする。【主として自分自身に関すること】 ・身近な大人に対して、自分の気持ちを自ら伝えようとする。【主として人との関わりに関すること】 ・友達の感情や集団の雰囲気を感じ、受け止めたり寄り添ったりしようとする気持ちを持つ。【主として集団や社会との関わりに関すること】 ・身近な動植物に触れ、興味関心を持つことができる。【主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること】	・自分がとった言動に対する教師の態度や表情などの反応を見て、葛藤している様子が見られるか。 ・活動を通して感じた感情を、身近な大人に対して、視線や表情、発声などで伝えようとしているかどうか。 ・友達の感情を受け止め、一緒に泣いたり笑ったりするなどの様子が見られるか。集団の雰囲気を感じて、穏やかに過ごす、活発に応じるなどの違いが見られるか。 ・自分から動植物に触れようとしたり、注目したりする様子が見られるか。教師の促しに喜んで応じている様子が見られるか。	・学校、だいすき ・いっしょってうれしいね ・みんなでやってみよう ・いきもの探検隊	・自己紹介 ・触れあい遊び（スキンシップ遊び） ・遊具遊び（トランポリン、ボールプール、箱車など） ・手遊び歌 ・絵本読み聞かせ

留意点 引継ぎ等				

令和8年度　小学部　6年（Ⅱ課程B）　特別活動　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	6学年	冨里太輔	自作教材・イラスト・写真

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解する。 (思判表力)集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができる。 (学･人)自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	11	･学級で目標を決める大切さを知り、意見を出し合って学級目標を作ることができる。（知及技） ･自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。（学･人） ･自分の好きなことや将来について考えることができる。（思判表力） ･同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。（学･人） ･一学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。（思判表力） ･夏休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。（知及技）	･学級で目標を決める大切さを知り、意見を出し合って学級目標を作ろうとしている。（知・技） ･自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。（主学） ･自分の好きなことや将来について考えようとしている。（思･判･表） ･同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。（主学） ･一学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。（思･判･表） ･夏休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいか自分で考えようとしている。（知・技）	･学年、学級開き ･一学期頑張ろう会 ･学級目標作り ･係活動を決めよう ･キャリアパスポート作り ･一学期の目標 ･学校間交流 （･居住地校交流） ･キャリアパスポートの活用 ･一学期頑張った会 ･夏休みに向けて	・新しい学級の友達や先生を知る。 ・一学期頑張ろう会に参加する。 ・一学期の行事の確認 ・学級目標を決めて、書いて教室に貼る。 ・一学期の係活動を決める。 ・一学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、選んだりして発表する。 ・交流会の日時を知る。 ・異学年や他校の友達と歌を歌ったり、簡単なゲームしたりして交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・一学期頑張った会に参加する。 ・夏休みの過ごし方を考えたり話し合ったりする。
2学期	14	･２学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知及技） ･自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。（学･人） ･自分の好きなことや将来について考えることができる。（思判表力） ･集団で活動するよさを知り、集団での活動に参加することができる。（知及技） ･同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。（学･人） ･二学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。（思判表力） ･冬休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。（知及技）	･２学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知・技） ･自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。（主学） ･自分の好きなことや将来について考えようとしている。（思･判･表） ･集団で活動するよさを知り、集団での活動に参加することができる。（知・技） ･同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。（主学） ･二学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。（思･判･表） ･冬休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいか答えることができる。（知・技）	･二学期頑張ろう会 ･キャリアパスポート作り ･二学期の目標 ･係活動を決めよう ･学校間交流 （･居住地校交流） ･キャリアパスポートの活用 ･二学期頑張った会 ･冬休みに向けて	・二学期頑張ろう会に参加する。 ・二学期の行事の確認 ・二学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、イラスト等を貼ったりする。 ・二学期の係活動を決める。 ・児童集会に参加する。 ・学校や住んでいる地域では体験できないことを学習し、見聞を広げる。 ・異学年や他校の友達と歌を歌ったり、簡単なゲームしたりして交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・二学期頑張った会に参加する。 ・冬休みの過ごし方を考えたり話し合ったりする。

3学期	4	・3学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知及技） ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。（学・人） ・自分の好きなことや将来について考えることができる。（思判表力） ・集団での活動に参加することができる。（学・人） ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。（学・人） ・一年間を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。（思判表力） ・進級する学年・学部が現在と違いがあることを知り、今後の行事や学習について希望を持つ。（知及技）	・3学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知・技） ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。（主学） ・自分の好きなことや将来について考えようとしている。（思・判・表） ・集団での活動に参加しようとしている。（主学） ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。（主学） ・一年間を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。（思・判・表） ・進級する学年・学部が現在と違いがあることを知り、今後の行事や学習について希望を持ち、伝えようとしている。（知・技）	・三学期頑張ろう会 ・キャリアパスポート作り ・三学期の目標 ・係活動を決めよう ・学校間交流（・居住地校交流） ・キャリアパスポートの活用 ・三学期頑張った会 ・学部卒業に向けて	・三学期頑張ろう会に参加する。 ・三学期の行事の確認 ・三学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、イラスト等を貼ったりする。 ・三学期の係活動を決める。 ・あおぞら集会に参加する。 ・他学年の児童と交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・三学期頑張った会に参加する。 ・次の学年や学部について考える。
留意点 引継ぎ等					

あおぞら会（幼児児童生徒会）

学期	時数	活動の目標	活動・単元名	指導・活動内容
1学期	2	異年齢の生徒同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営をすることに自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標（特別活動全体の目標）に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	・第1回あおぞら集会 ・第2回あおぞら集会	・新役員紹介 ・年間活動計画 ・令和8年度幼児児童生徒総会
2学期	1		・第3回あおぞら集会 ・特体連報告放送	・特体連選手激励会 ・特体連激励放送 ・特体連報告放送
3学期	3		・第4回あおぞら集会 ・第5回あおぞら集会 ・第6回あおぞら集会	・あおぞら役員選挙告示（選挙の内容の説明） ・立会演説会 ・体育館で投票 ・新役員の任命式及び引き継ぎ式 ・当選セレモニー ・当選証書授与

※あおぞら（幼児児童生徒）集会のある週の水曜日にあおぞら（幼児児童生徒）役員会を設定する（役員のみ）。

なお、各学部と調整して柔軟に日程は変更する。

※あおぞら会と学級活動の時数を合わせて、1学期13回、2学期15回、3学期7回の時数となる。

学校行事

学期	時数	活動の目標	活動・単元名	指導・活動内容
1学期	10	全校又は学年の児童で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、第1の目標（特別活動全体の目標）に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	・1学期　始業式、終業式 ・身体測定 ・地震津波避難訓練 ・内科検診、歯科検診、心電図	・先生の話を聞く。 ・自分の成長を知る。 ・安全に気をつけて行動することができる。 ・検査に落ち着いて受けることができる。 ・月ごとの振り返り
2学期	13		・2学期始業式、終業式 ・火災避難訓練 ・全校作業	・先生の話を聞く。 ・安全に気をつけて行動することができる。 ・月ごとの振り返り ・各行事の準備などの取り組み
3学期	5		・3学期始業式、修了式 ・全校作業 ・卒業式準備	・先生の話を聞く。 ・行事に意欲的に参加できる。 ・月ごとの振り返り ・各行事の準備などの取り組み

令和８年度 小学部（Ⅱ課程Ａ）　国語科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
175	グループAの児童	荷川取　優 譜久嶺　明香 久高　麻子	こくご☆☆

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 日常生活に必要な身近な言葉を身に付けるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができるようにする。 (思判表力)言葉が表す事柄を想起したり受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。 (学･人)言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	65	(知及技)場面にあった挨拶について知り、適切な挨拶をすることができる。 (思判表力)事柄と語句を結びつけたり、語句から事柄を思い浮かべたりすることができる。 (学・人) 学習したやりとりを実際の生活場面で表現することができる。	(知・技)場面にあった挨拶について知り、適切な挨拶をしようとしている。 (思・判・表)事柄と語句を結びつけたり、語句から事柄を思い浮かべたりしようとしている。 (主学)学習したやりとりを実際の生活場面で表現しようとしている。	「学校のことを話そう」 （A　聞くこと・話すこと） 学校生活、朝の会、係	・身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉が、気持ちや要求を表していることを感じること。【ア-（ア）】 ・身近な人の話に慣れ、簡単な事柄と語句などを結び付けたり、語句などから事柄を思い浮かべたりすること。【A-（ア）】
		(知及技)身近な物に名前があることを知り、多くの物の名称を学ぶことができる。 (思判表力)絵本などを見て、登場する物や動作などを思い浮かべ、自分なりに表現することができる。 (学・人)文字に親しみを持ち、絵本や身の回りの文字に興味を持つことができる。	(知・技)身近な物に名前があることを知り、多くの物の名称を学ぼうとしている。 (思・判・表)絵本などを見て、登場する物や動作などを思い浮かべ、自分なりに表現しようとしている。 (主学)文字に親しみを持ち、絵本や身の回りの文字に興味を持とうとしている。	「ものの名前を学ぶ」 （C　読むこと） なまえなあんだ 自分の名前、友達の名前、動物、乗り物、野菜、顔、体、影絵 「標識をさがそう」 （C　読むこと） しるしをみつけよう	・日常生活でよく使われている平仮名を読むこと。【ア-（イ）】 ・教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべること。【C-ア】 ・教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべること。【イ-（エ）】 ・日常生活でよく使われている表示などの特徴に気付き、読もうとしたり、表された意味に応じた行動をしたりすること。【C-ウ】
		(知及技)様々な状況や気持ちを表す言葉に触れ、気持ちと表情の関連について気付くことができる。 (思判表力)思ったことや感じたことなどを、自分なりに表現することができる。 (学・人)相手と思いを共有する喜びを感じ、思いを伝え合うことができる。	(知・技)様々な状況や気持ちを表す言葉に触れ、気持ちと表情の関連について気付こうとしている。 (思・判・表)思ったことや感じたことなどを、自分なりに表現しようとしている。 (主学)相手と思いを共有する喜びを感じ、思いを伝え合おうとしている。	「相手の気持ちを考えよう」 （A　聞くこと・話すこと） どんな気持ちかな ・プレゼント ・ころんだ ・日常生活の中で	・身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉が、気持ちや要求を表していることを感じること。【ア-（ア）】 ・体験したことなどについて、伝えたいことを考えること。【A-ウ】
		(知及技)いろいろな線をなぞったり、真似たりしながら線や形を書くことができる。 (思判表力)経験したことのうち身近なことについて、写真などを手掛かりにして、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすることができる。 (学・人)書いて表現することの良さを感じ、意欲的に学習に参加することができる。	(知・技)いろいろな線をなぞったり、真似たりしながら線や形を書こうとしている。 (思・判・表)経験しことのうち身近なことについて、写真などを手掛かりにして、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりしようとしている。 (主学)書いて表現することの良さを感じ、意欲的に学習に参加しようとしている。	「正しい姿勢、いろいろな線の運筆に親しむ」 （B　書くこと） かいてみよう 「なかま集め」 （A　聞くこと・話すこと）（B　書くこと） あつめてみよう	・いろいろな筆記用具を用いて、書くことに親しむこと。【イ-（ウ）㋐】 ・筆記用具の正しい持ち方や書くときの正しい姿勢を理解して、写し書きやなぞり書きなど、書写の基本を身に付けること。【イ-（ウ）㋑】 ・自分の名前や物の名前を文字で表すことができることを知り、簡単な平仮名をなぞったり、書いたりすること。【B-イ】 ・身近な人との会話を通して、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れること。【ア-（ウ）】 ・体験したことなどについて、伝えたいことを考えること。【A-ウ】

2学期	75	(知及技)登場人物や時間の流れによる話の展開に意識して、話を見たり聞いたりすることができる。 (思判表力)好きな台詞や場面を見つけたり、自分なりの方法で表したりすることができる。 (学・人)言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。	(知・技)登場人物や時間の流れによる話の展開に意識して、話を見たり聞いたりしようとしている。 (思・判・表)好きな台詞や場面を見つけたり、自分なりの方法で表したりしようとしている。 (主学)言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	「絵から想像して話してみよう」 (A聞くこと･話すこと) 「本に親しもう」 (A聞くこと･話すこと) (C　読むこと) 「お話を演じてみよう」 (A聞くこと･話すこと) (C　読むこと) お話集会に向けて	・身近な人との会話を通して、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れること。【ア-(ウ)】 ・簡単な指示や説明を聞き、その指示等に応じた行動をすること。【A-(イ)】 ・昔話や童謡の歌詞などの読み聞かせを聞いたり、真似したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと。【イ-(ア)】 ・遊びややり取りを通して、言葉による表現に親しむこと。【イ-(イ)】 ・挨拶をしたり、簡単な台詞などを表現したりすること。【A-エ】
		(知及技)動詞や形容詞などに触れ、言葉の意味を学ぶことができる。 (思判表力)事柄と語句を結びつけたり、語句から事柄を思い浮かべたりすることができる (学・人)詳しく表現することで相手に伝わる楽しさを感じ、表現してみようとすることができる。	(知・技)動詞や形容詞などに触れ、言葉の意味を学ぼうとしている。 (思・判・表)事柄と語句を結びつけたり、語句から事柄を思い浮かべたりしようとしている。 (主学)詳しく表現することで相手に伝わる楽しさを感じ、表現してみようとしている。	「文の構成」 (A　聞くこと・話すこと) (B　書くこと) くわしくはなそう ・色、反対言葉、だれのなに、なにをするのかな	・身近な人との会話を通して、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れること。【ア-(ウ)】 ・身近な人の話に慣れ、簡単な事柄と語句などを結び付けたり、語句などから事柄を思い浮かべたりすること。【A-(ア)】
		(知及技)文字で伝える良さに気付き、日常生活でよく使われている平仮名を読んだり書いたりすることができる。 (思判表力)経験したことのうち身近なことについて、写真などを手掛かりにして、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすることができる。 (学・人)自分の気持ちをなぞり書きや書くことなどにより、表現したり相手に伝えたりしてみようとしている。	(知・技)文字で伝える良さに気付き、日常生活でよく使われている平仮名を読んだり書いたりしようとしている。 (思・判・表)経験したことのうち身近なことについて、写真などを手掛かりにして、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりしようとしている。 (主学)自分の気持ちをなぞり書きや書くことなどにより、表現したり相手に伝えたりしてみようとしている。	「日常生活の言葉」 (B　書くこと) (C　読むこと) 平仮名を読んでみよう ・ごじゅうおん、てんてん、にているもじ ・年賀状	・日常生活でよく使われている平仮名を読むこと。【ア-(イ)】 ・教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべること。【C-ア】
3学期	35	(知及技) 登場人物や時間の流れによる話の展開に意識して、話を見たり聞いたりすることができる。 (思判表力) 物語の展開を思い出したり想像したりしながら、自分の考えたことを発表することができる。 (学・人) 役になりきって台詞を読んだり言ったりして、友達と掛け合いをすることができる。	(知・技)登場人物や時間の流れによる話の展開に意識して、話を見たり聞いたりしようとしている。 (思・判・表)物語の展開を思い出したり想像したりしながら、自分の考えたことを発表しようとしている。 (主学) 役になりきって台詞を読んだり言ったりして、友達と掛け合いをしようとしている。	「お話をしてみよう」 (A　聞くこと・話すこと) (C　読むこと) 絵本、劇 一年の抱負	・昔話や童謡の歌詞などの読み聞かせを聞いたり、真似したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと。【イ-(ア)】 ・教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべること。【イ-(エ)】 ・教師と一緒に絵本などを見て、時間の経過などの大体を捉えること。【C-イ】 ・絵本などを見て、好きな場面を伝えたり、言葉などを模倣したりすること。【C一エ】
		(知及技)文字で伝える良さに気付き、日常生活でよく使われている平仮名を読んだり書いたりすることができる。 (思判表力)経験したことのうち身近なことについて、写真などを手掛かりにして、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすることができる。 (学・人)自分の気持ちをなぞり書きや書くことなどにより、表現したり相手に伝えたりしてみようとしている。	(知・技)文字で伝える良さに気付き、日常生活でよく使われている平仮名を読んだり書いたりしようとしている。 (思・判・表)経験したことのうち身近なことについて、写真などを手掛かりにして、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりしようとしている。 (主学)自分の気持ちをなぞり書きや書くことなどにより、表現したり相手に伝えたりしてみようとしている。	「日常生活の言葉」 (B　書くこと) (C　読むこと) 平仮名を読んでみよう ・縦書き、横書き ・カード、手紙 「てがみをかこう」 (B　書くこと) (C　読むこと) 先生へ、友達へ、家族へ	・日常生活でよく使われている平仮名を読むこと。【ア-(イ)】 ・教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべること。【C-ア】 ・筆記用具の正しい持ち方や書くときの正しい姿勢を理解して、写し書きやなぞり書きなど、書写の基本を身に付けること。【イ-(ウ)㋐】 ・経験したことのうち身近なことについて、写真などを手掛かりにして、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすること。【B-ア】
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 小学部　国語Bグループ　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	グループBの児童	祖平みの・冨里大輔 朝倉千陽美	こくご☆ 絵本・パネルシアター等

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 日常生活に必要な身近な言葉が分かり使うようになるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができるようにする。（小１段階） (思判表力)言葉をイメージしたり、言葉による関わりを受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。（小１段階） (学･人)言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。（小１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	10	(知及技)身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じることができる。 (思判表力) 身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすることができる。 (学・人)表情や身振り、音声や発語等によって、意思を伝えようとしたりすることができる。	(知・技)身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じようとしている。 (思・判・表)身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりしようとしている。 (主学)表情や身振り、音声や発語等によって、意思を伝えようとしたりしている。	「学校のことを話そう」 （A　聞くこと・話すこと） 学校生活、朝の会、係、自己紹介	・身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じること。【ア-（ア）】 ・身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすること。【A-イ】
		(知及技)挿絵を用いて日常生活に必要な挨拶や動作、感情を表す言葉を場面に応じて聞いたり、模倣したりして、言葉の関わりに意識を向けることができる。 (思判表力)身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすることができる。 (学・人)表情や身振り、音声や発語等によって、意思を伝えようとしたりすることができる。	(知・技)挿絵を用いて日常生活に必要な挨拶や動作、感情を表す言葉を場面に応じて聞いたり、模倣したりして、言葉の関わりに意識を向けようとしている。 (思・判・表)身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりしようとしている。 (主学)表情や身振り、音声や発語等によって、意思を伝えようとしたりしている。	「いろいろな言葉」 (A　聞くこと・話すこと) 学校生活、返事、あいさつ 自己紹介	・身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすること。【A-イ】 ・伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すこと。【A-ウ】
		(知及技)身近な人からの話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じることができる。 (思判表力)絵や写真、簡単な記号などが表す意味を感覚的に識別し、選択したり、行動したりすることができる。 (学・人)自分なりの表現で、話をしようとしたり、意思を伝えようとしたりする意欲を高めたりすることができる。	(知・技)身近な人からの話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じようとしている。 (思・判・表)絵や写真、簡単な記号などが表す意味を感覚的に識別し、選択したり、行動したりしようとしている。 (主学)自分なりの表現で、話をしようとしたり、意思を伝えようとしたりする意欲を高めたりしようとしている。	「しるし」 (A　聞くこと・話すこと) 絵カード (C　読むこと) 「○」「→」など簡単な記号、絵カード	・身近な人からの話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じること。【A-ア(ア)】 ・絵や矢印などの記号で表された意味に応じ、行動すること。【C-ウ】
		(知及技)身近なクレヨン、ペン、鉛筆等を使って書くことに気付き、慣れることができる。 (思判表力)文字に興味をもち、書こうとすることができる。 (学・人)書くことに親しみ、書いて表現することへの興味・関心を高めることができる。	(知・技)身近なクレヨン、ペン、鉛筆等を使って書くことに気付き、慣れようとしている。 (思・判・表)文字に興味をもち、書こうとしている。 (主学)書くことに親しみ、書いて表現することへの興味・関心を高めようとしている。	「いろいろな筆記用具を使ってみよう」 (B　書くこと) かいてみよう	・いろいろな筆記用具に触れ、書くことを知ること。 【イ-(ウ)㋐】 ・筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ること。【イ-(ウ)㋑】

2学期	14	(知及技)具体物を使って身近な事物の名前や動作を繰り返すことで、遊びの中で言葉と事物を一致させることができる。 (思判表力)絵本などを見て、次の場面を楽しみにしたり、登場人物の動きなどを模倣したりすることができる。 (学・人)声や言葉を使った遊びや関わりを通して、言葉の響きやリズムを体感したり楽しんだりすることができる。	(知・技)具体物を使って身近な事物の名前や動作を繰り返すことで、遊びの中で言葉と事物を一致させようとしている。 (思・判・表)絵本などを見て、次の場面を楽しみにしたり、登場人物の動きなどを模倣したりしようとしている。 (学・人)声や言葉を使った遊びや関わりを通して、言葉の響きやリズムを体感したり楽しんだりしようとしている。	「言葉で遊ぼう 何が出てくるかな」 (A 聞くこと・話すこと) (C 読むこと) まほうのはこ	・身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じること。【ア-(ア)】 ・遊びを通して、言葉のもつ楽しさに触れること。【イ-(イ)】 ・絵本などを見て、次の場面を楽しみにしたり、登場人物の動きなどを模倣したりすること。【C-エ】
		(知及技)昔話などについて、読み聞かせを聞くなどして親しむことができる。 (思判表力)音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりすることができる。 (学・人)物語の一場面を身振りや音声、簡単な言葉で表現したり、動作化したりして親しむことができる。	(知・技)昔話などについて、読み聞かせを聞くなどして親しもうとしている。 (思・判・表)音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりしようとしている。 (主学)物語の一場面を身振りや音声、簡単な言葉で表現したり、動作化したりして親しもうとしている。	「やり取りを楽しもう」 (A 聞くこと・話すこと) (C 読むこと) お話し集会に向けて	・身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすること。【A-イ】 ・伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すこと。【A-ウ】 ・教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目すること。【C-ア】 ・絵本などを見て、次の場面を楽しみにしたり、登場人物の動きなどを模倣したりすること。【C-エ】
		(知及技)音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりすることができる。 (思判表力)絵などを見て登場人物の動きや言葉などを模倣することができる。 (学・人)物語の一場面を身振りや音声、簡単な言葉で表現したり、動作化したりして親しむことができる。	(知・技)音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりすることができる。 (思・判・表)絵などを見て登場人物の動きや言葉などを模倣しようとしている。 (主学)物語の一場面を身振りや音声、簡単な言葉で表現したり、動作化したりして親しもうとしている。	「お話を演じてみよう」 (A 聞くこと・話すこと) (C 読むこと) お話し集会に向けて	・教師の話や読み聞かせに応じ、音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりすること。【A-ア】 ・身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすること。【A-イ】 ・伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すこと。【A-ウ】 ・絵本などを見て、次の場面を楽しみにしたり、登場人物の動きなどを模倣したりすること。【C-エ】
		(知及技)筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ることができる。 (思判表力)文字に興味をもち、書こうとすることができる。(学・人)書くことに親しみ、書いて表現することへの興味・関心を高めることができる。	(知・技)筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ることができる。 (思・判・表)文字に興味をもち、書こうとすることができる。 (主学)書くことに親しみ、書いて表現することへの興味・関心を高めることができる。	「年賀状やクリスマスカードを書こう」 「自分の名前」 (B 書くこと)	・いろいろな筆記用具に触れ、書くことを知ること。【イ-(ウ)㋐】 ・筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ること。【イ-(ウ)㋑】 ・身近な人との関わりや出来事について、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすること。【B-ア】 ・文字に興味をもち、書こうとすること。【B-イ】

3学期	11	(知及技)筆や墨を使って書くことができる。 (思判表力)文字に興味をもち､書こうとすることができる。 (学・人)書くことに親しみ、書いて表現することへの興味・関心を高めることができる。	(知・技)筆や墨を使って書くことができる。 (思・判・表)文字に興味をもち､書こうとすることができる。 (主学)書くことに親しみ、書いて表現することへの興味・関心を高めることができる。	「書き初めをしよう」 (B　書くこと) 「言葉で遊ぼう～かるたあそびをしよう～」 (A　聞くこと・話すこと)	・いろいろな筆記用具に触れ、書くことを知ること。 【イ-(ウ)㋐】 ・筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ること。【イ-(ウ)㋑】 ・言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすること。【ｱ-（ｲ）】
		(知及技)具体物や絵を見て言葉と結びつけることができる。材料集めから､でき上がりを振る舞うまでの流れの中で言葉が表す事物やイメージを実感することができる。 (思判表力)伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すことができる。 (学・人)気持ちを身振りや音声、言葉で表現したり伝えたりすることができる。	(知・技)具体物や絵を見て言葉と結びつけようとしている。材料集めから､でき上がりを振る舞うまでの流れの中で言葉が表す事物やイメージを実感しようとしている。 (思・判・表)伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表そうとしている。 (主学)気持ちを身振りや音声、言葉で表現したり伝えたりしようとしている。	「作り方をみんなで話してみよう」 (A　聞くこと・話すこと) (C　読むこと) ほっとけーき	・身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じること。 【ア-（ア）】 ・言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすること。【ア-（ｲ）】 ・身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすること。 【A-イ】 ・伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すこと。【A-ウ】 ・絵本などを見て、知っている事物や出来事などを指さしなどで表現すること。 【C-イ】
		(知及技)筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ることができる。 (思判表力)正しい書写の姿勢で文字をなぞったり、真似て書いたりして、メッセージや1年の思い出などを書くことができる。 (学・人)書くことに親しみ、書いて表現することへの興味・関心を高めることができる。	(知・技)筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ることができる。 (思・判・表)正しい書写の姿勢で文字をなぞったり、真似て書いたりして、メッセージや1年の思い出などを書くことができる。 (主学)書くことに親しみ、書いて表現することへの興味・関心を高めることができる。	「メッセージや1年の思い出を書こう」 「自分の名前」 (B　書くこと)	・いろいろな筆記用具に触れ、書くことを知ること。 【イ-(ウ)㋐】 ・筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ること。【イ-(ウ)㋑】 ・身近な人との関わりや出来事について、伝えたいことを思い浮かべたり､選んだりすること。【B-ｱ】 ・文字に興味をもち､書こうとすること。 【B-イ】
留意点 引継ぎ等					

令和８年度　小学部　国語Cグループ　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	グループCの児童	橘圭子 當山仁菜 重森誠仁	『こくご☆』 『こくご☆☆』 『だるまさんが』『ノンタン』等の絵本

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	(知及技）日常生活に必要な身近な言葉を身に付けるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができるようにする。（小2段階） (思判表力)言葉が表す事柄を想起したり受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。（小2段階） (学･人)言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。（小2段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	10	(知及技) 身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉が、気持ちや要求を表していることを感じることができる。日常生活でよく使われている平仮名を読むことができる。いろいろな筆記具に触れ、書くことを知ることができる。（小2段階） (思判表力) 身近な人の話に慣れ、簡単な事項と語句などを結びつけたり、語句などから事柄を思い浮かべたりすることができる。簡単な指示や説明を聞き、その指示等に応じた行動をすることができる。挨拶をしたり、簡単な台詞などを表現したりできる。絵本などを見て、次の場面を楽しみにしたり、登場人物の動きなどを模倣したりすることができる。文字に興味をもつことができる。（小2段階） (学・人) 授業に真剣に取り組む態度を示し、言葉がもつよさを感じ、読み聞かせや言葉でのやりとりを楽しむ。	(知・技) 始めの挨拶と終わりの挨拶を自分なりにしているか。自分と友達の名前の違いを踏まえた言動を行っているか。「あいうえお」の歌を口ずさめるか。対象の名前を把握して活動しているか。筆記用具を持ち、紙に何かを書こうとするか。絵本に注目しているか。絵本の内容に応じて言動に変化が見られるか。 (思・判・表) 教師の簡単な指示に応じて、挨拶したり、簡単な台詞を言ったりするか。場所に応じた振る舞いをしようとしているか。 （主学）授業に真剣に取り組む態度を示しているか。言葉がもつよさを感じ、読み聞かせや言葉でのやりとりや筆記用具の使用を楽しんでいるか。 (評価資料) 活動の様子を観察して評価する（児童の目線、表情、動作、発声、発語等に注目する）。	「ひらがなを　よんでみよう」 （C読むこと） 「がっこうせいかつ」 （A聞くこと・話すこと） 「いろいろなことば」 （A聞くこと・話すこと） 「かいてみよう」 （B書くこと） 「よみきかせ」 （C読むこと）	・始めの挨拶時に、姿勢を整えて「始めます」と言ったり、礼をしたり等することで、真剣に授業へ臨む態度を示す。(学・人に関する活動) ・呼名された時に、自分なりに応える（知及技に関する活動） ・五十音の歌「あいうえお」を視聴し、平仮名の読み方を覚える。（知及技に関する活動） ・様々な筆記用具を使って、線や点を書く。（知及技に関する活動） ・学校生活の様々な場面に応じた言葉を発する練習をする。（思判表力に関する活動） ・絵本の読み聞かせやパネルシアター鑑賞等を通して、様々な言葉を聞いたり、リズムや抑揚等を感じたりする。（知及技に関する活動） ・校内を散策したり、美術室等のような普段とは異なる教室で過ごしたりして、その場にふさわしい簡単な台詞を言ったり、挨拶をしたりする。（思判表力に関する活動） ・終わりの挨拶時に、姿勢を整えて「終わります」と言ったり、礼をしたり等することで、真剣に授業へ臨む態度を示す。 (学・人に関する活動)

2学期	14	(知及技) 身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉が、気持ちや要求を表していることを感じることができる。日常生活でよく使われている平仮名を読んだり、なぞって書いたりすることができる。（小2段階） (思判表力) 身近な人の話に慣れ、簡単な事項と語句などを結びつけたり、語句などから事柄を思い浮かべたりすることができる。簡単な指示や説明を聞き、その指示等に応じた行動をすることができる。挨拶をしたり、簡単な台詞などを表現したりできる。絵本などを見て、次の場面を楽しみにしたり、登場人物の動きなどを模倣したりすることができる。文字に興味をもち、なぞって書こうとすることができる。（小2段階） (学・人) 授業に真剣に取り組む態度を示し、言葉がもつよさを感じ、読み聞かせや言葉でのやりとりを楽しむ。	(知・技) 始めの挨拶と終わりの挨拶を自分なりにしているか。自分と友達の名前の違いを踏まえた言動を行っているか。「あいうえお」の歌を口ずさめるか。対象の名前を把握して活動しているか。筆記用具を持ち、平仮名をなぞって書こうとするか。絵本に注目しているか。絵本の内容に応じて言動に変化が見られるか。 (思・判・表) 教師の簡単な指示に応じて、挨拶したり、簡単な台詞を言ったりするか。場所に応じた振る舞いをしようとしているか。 （主学）授業に真剣に取り組む態度を示しているか。言葉がもつよさを感じ、読み聞かせや言葉でのやりとりや、筆記用具で字を書くことを楽しんでいるか。 (評価資料) 活動の様子を観察して評価する（児童の目線、表情、動作、発声、発語等に注目する）。	「ひらがなを　よんでみよう」 （C読むこと） 「がっこうせいかつ」 （A聞くこと・話すこと） 「いろいろなことば」 （A聞くこと・話すこと） 「ひらがなを　かいてみよう」 （B書くこと） 「よみきかせ」 （C読むこと）	・始めの挨拶時に、姿勢を整えて「始めます」と言ったり、礼をしたり等することで、真剣に授業へ臨む態度を示す。(学・人に関する活動) ・呼名された時に、自分なりに応える（知及技に関する活動） ・五十音の歌「あいうえお」を視聴し、平仮名の読み方を覚える。（知及技に関する活動） ・筆記用具を使って、平仮名をなぞって書く。（知及技に関する活動） ・学校生活の様々な場面に応じた言葉を発する練習をする。（思判表力に関する活動） ・絵本の読み聞かせやパネルシアター鑑賞等を通して、様々な言葉を聞いたり、リズムや抑揚等を感じたりする。（知及技に関する活動） ・校内を散策したり、美術室等のような普段とは異なる教室で過ごしたりして、その場にふさわしい簡単な台詞を言ったり、挨拶をしたりする。（思判表力に関する活動） ・終わりの挨拶時に、姿勢を整えて「終わります」と言ったり、礼をしたり等することで、真剣に授業へ臨む態度を示す。 (学・人に関する活動)
3学期	11	(知及技) 身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉が、気持ちや要求を表していることを感じることができる。日常生活でよく使われている平仮名を読んだり、書いたりすることができる。（小2段階） (思判表力) 身近な人の話に慣れ、簡単な事項と語句などを結びつけたり、語句などから事柄を思い浮かべたりすることができる。簡単な指示や説明を聞き、その指示等に応じた行動をすることができる。挨拶をしたり、簡単な台詞などを表現したりできる。絵本などを見て、次の場面を楽しみにしたり、登場人物の動きなどを模倣したりすることができる。文字に興味をもち、書こうとすることができる。（小2段階） (学・人) 授業に真剣に取り組む態度を示し、言葉がもつよさを感じ、読み聞かせや言葉でのやりとりを楽しむ。	(知・技) 始めの挨拶と終わりの挨拶を自分なりにしているか。自分と友達の名前の違いを踏まえた言動を行っているか。「あいうえお」の歌を口ずさめるか。対象の名前を把握して活動しているか。筆記用具を持ち、紙に平仮名を書こうとするか。絵本に注目しているか。絵本の内容に応じて言動に変化が見られるか。 (思・判・表) 教師の簡単な指示に応じて、挨拶したり、台詞を言ったりするか。場所に応じた振る舞いをしようとしているか。 （主学）授業に真剣に取り組む態度を示しているか。言葉がもつよさを感じ、読み聞かせや言葉でのやりとりや、筆記用具で字を書くことを楽しんでいるか。 (評価資料) 活動の様子を観察して評価する（児童の目線、表情、動作、発声、発語等に注目する）。	「ひらがなを　よんでみよう」 （C読むこと） 「がっこうせいかつ」 （A聞くこと・話すこと） 「いろいろなことば」 （A聞くこと・話すこと） 「ひらがなを　かいてみよう」 （B書くこと） 「よみきかせ」 （C読むこと）	・始めの挨拶時に、姿勢を整えて「始めます」と言ったり、礼をしたり等することで、真剣に授業へ臨む態度を示す。(学・人に関する活動) ・呼名された時に、自分なりに応える（知及技に関する活動） ・五十音の歌「あいうえお」を視聴し、平仮名の読み方を覚える。（知及技に関する活動） ・筆記用具を使って、平仮名を書く。（知及技に関する活動） ・学校生活の様々な場面に応じた言葉を発する練習をする。（思判表力に関する活動） ・絵本の読み聞かせやパネルシアター鑑賞等を通して、様々な言葉を聞いたり、リズムや抑揚等を感じたりする。（知及技に関する活動） ・校内を散策したり、美術室等のような普段とは異なる教室で過ごしたりして、その場にふさわしい簡単な台詞を言ったり、簡単な挨拶をしたりする。（思判表力に関する活動） ・終わりの挨拶時に、姿勢を整えて「終わります」と言ったり、礼をしたり等することで、真剣に授業へ臨む態度を示す。 (学・人に関する活動)
留意点 引継ぎ等					

令和８年度 小学部　国語Dグループ 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	グループDの児童	篠原辰典	文部科学省著作教科書 国語☆

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標

(知及技)
日常生活に必要な身近な言葉が分かり使うようになるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができるようにする。
(思判表力)
言葉をイメージしたり、言葉による関わりを受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関りの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。
(学･人)
言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	5	(知及技）遊びを通して、言葉のもつ楽しさに触れることができる。 (思判表力)絵本などを見て、次の場面を楽しみにしたり、登場人物の動きなどを模倣したりすることができる。 (学・人）言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。	(知・技）遊びを通して、言葉のもつ楽しさに触れようとしている。 (思・判・表）絵本などを見て、次の場面を楽しみにしたり、登場人物の動きなどを模倣しようとしている。 (主学）言葉で表すことやそのよさを感じながら言葉を使おうとしている。	まほうのはこ ・魔法の箱 ・りんご ・バナナ ・いろいろな果物 ・ソフトクリーム ・いろいろなお菓子	○魔法の箱：魔法の箱に向かって、魔法使いがステッキを持って掛け声を出すと、箱のふたが開いて、小さな子供が顔をのぞかせる。 ○りんご・バナナ・いろいろな果物：魔法の箱から小さな子供と共にりんごやバナナが現れる。箱の中には、次に出てくる果物の色の服を着た子供が顔をのぞかせている。 ○ソフトクリーム：魔法の箱から大きなソフトクリームが出てくる。 ○いろいろなお菓子：テーブルの上にたくさんのお菓子が乗っていて、魔法使いがソフトクリームをおいしそうに食べている。教師や友だちと一緒にお菓子を食べる模倣をしてみたり、「モグモグ」「おいしい」等と言葉で自由に表現する。自分の好きな食べ物を出してみたいと想像して表現したり伝えたりする。
	5	(知及技）言葉の持つ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすることができる。 (思判表力）教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目することができる。 (学・人）言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。	(知・技）言葉の持つ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりしようとしている。 (思・判・表）教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目しようとしている。 (主学）言葉で表すことやそのよさを感じながら言葉を使おうとしている。	はるなつあきふゆ ・はる ・なつ ・あき ・ふゆ	○春：遠くに雪の残っている山々を臨む菜の花畑を、楽しそうに駆け抜けていく子供たちを表現した風景。 ○夏：砂浜で遊んだり海で泳いだりしている子供たちなど、夏の海を表現した風景。 ○秋：紅葉で燃えるような山々、野原で枯れ葉を舞わせて遊ぶ子供たちなどを表現した風景。 ○冬：白銀の世界の中をスキーやスノーボードで滑り降りていく子供、山の麓で雪だるまを作っている子供など、冬の山を表現した風景。 ○四季をテーマにした風景の中には、遊ぶ子供たちが描かれており、教師と一緒に絵を見て、様々な言葉を聞くとともに、絵を見た上で、自らの生活経験からいろいろなことを想起したり、それらを言葉と結び付けて表現したりする。
	5	(知及技）身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じることができる。 (思判表力）絵や矢印などの記号で表された意味に応じ、行動することができる。 (学･人)言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。	(知・技）身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じとろうとしている。 (思・判・表）絵や矢印などの記号で表された意味に応じ、行動しようとしている。 (主学）言葉で表すことやそのよさを感じながら言葉を使おうとしている。	しるし	○場面の構成：廊下に貼ってある体育館の絵カードや「→」の記号を見ながら、体育館へ移動する。体育館へ到着し、遊ぶ。絵カードに従って片づける。先生が「○」で評価する。 ○登場人物を真似て教師とやりとりをする、絵カード等を選択して自分の意思を伝える等の活動へつなげていく。 ※校外学習にて体験的な活動を取り扱う。
	5	(知及技）身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じることができる。 (思判表力）伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すことができる。 ・絵本などを見て、知っている事物や出来事などを指さしなどで表現することができる。 (学･人)言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。	(知・技）身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じとろうとしている。 (思・判・表）伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表そうとしている。 ・絵本などを見て、知っている事物や出来事などを指さしなどで表現しようとしている。 (主学）言葉で表すことやそのよさを感じながら言葉を使おうとしている。	ほっとけーき	○『おいしそうに出来上がったホットケーキ』→『フライパンを用意したり、卵を割ったり、粉をかき混ぜたりしている様子』→『ホットケーキが焼きあがる様子』→『出来上がったホットケーキをテーブルに運ぶ様子』 ○絵を通して、伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表したり、知っている事物や出来事などを指さしなどで表現する。
2学期	5	(知及技）昔話などについて、読み聞かせを聞くなどして親しむことができる。 (思判表力）教師の話や読み聞かせに応じ、音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりすることができる。 (学･人)言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。	(知・技）昔話などについて、読み聞かせを聞くなどして親しもうとしている。 (思・判・表）教師の話や読み聞かせに応じ、音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりしようとしている。 (主学）言葉で表すことやそのよさを感じながら言葉を使おうとしている。	くまさんくまさん	○くまさんと子供が出会い、握手をしたり一緒に跳躍したりして遊び、「さようなら」と挨拶をしてお別れをする。 ○児童がくまさん役になり、教師からの呼びかけに応じたり、いろいろな動作を一緒にしたりすることで、話を楽しみながらその内容を大まかに把握する。

	5	(知及技) ・読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもつことができる。 (思判表力) ・教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目することができる。 (学・人) ・言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。	(知・技) ・読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもとうとしている。 (思・判・表) ・教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目しようとしている。 (主学) ・言葉で表すことやそのよさを感じながら言葉を使おうとしている。	あなたはだあれ	○男の子が野原で、犬、猫、豚、あひる、牛の順に出会い、最後に皆で並んで歩いていく。 ○シルエットの動物が何であるか、絵に注目して名称を当てる。難しければ、ヒント（鳴き声など）を提示してイメージを膨らませる。
3学期	5	(知及技) ・いろいろな筆記具に触れ、書くことを知ることができる。 ・筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ることができる。 (思判表力) ・文字に興味をもち、書こうとすることができる。 (学・人) ・言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。	(知及技) ・いろいろな筆記具に触れ、書くことを知ろうとしている。 ・筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ろうとしている。 (思判表力) ・文字に興味をもち、書こうとしている。 (学・人) ・言葉で表すことやそのよさを感じながら言葉を使おうとしている。	かいてみよう ・かいてみよう１ ・かいてみよう２ ・かいてみよう３ ・かいてみよう４	文字を書くことへの興味・関心を育てつつ、筆記具の正しい持ち方を知ったり、運筆など筆記具の扱いに慣れて、いろいろな線を書いたりすることができるようになるような活動を行う。 ・かいてみよう１：黒板にいろいろな線を書いて楽しむ。画用紙にクレヨンやフェルトペンで線を引いたり、絵を描いたりして楽しむ。 ・かいてみよう２：魚、葉っぱ、いちご、みかんにフェルトペンや色鉛筆で塗り絵をする。 ・かいてみよう３：大小の雲と、大小の傘の絵。雲と傘の間に雨が降っているのを模倣して、縦方向の線をイメージして書く。 ・かいてみよう４：蛇口につながったホースとプールの絵。ホースの先からプールに向かって、横方向の線をイメージして書く。
留意点 引継ぎ等					

令和８年度 小学部　算数Aグループ　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
105	Ａグループ児童	野村　まき子 譜久嶺　明香 久高　麻子	算数☆☆

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 数量や図形などについて基礎的・基本的な概念や性質に気付き、身の回りの数量や図形について着目する技能を身に付ける。 (思判表力)身の回りの数量や図形について直感的に捉える力や基礎的・基本的な性質などに気付き、感じ取る力など、数学的な表現を用いて事象表現する力を養う。 (学･人)数学的活動の楽しさに関心や興味をもって学習したことを結びつけ、問題を解決しようとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
4	6	Ａ　数と計算 （知及技） 10までの数の概念や表し方が分かる。 （思判表力） 日常生活の事象について、具体物や図などを用いながら数の数え方を考え、表現する。 （学・人） 数量に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じる。	（知・技） 10までの数の概念や表し方が分かろうとする。 （思・判・表） 日常生活の事象について、具体物や図などを用いながら数の数え方を考え、表現しようとする。 （主・学） 数量に関心をもち、算数で学んだことの楽しさや良さを感じようとする。	「かぞえよう・くらべよう」 （A　数と計算） １０までの数の数え方や表し方、構成	ア　10までの数の数え方や表し方、構成 （ア）次のような知識及び技能を身に付けること。 ㋐　ものとものとを対応させることによって，ものの個数を比べ，同等・多少が分かること。 ㋑　ものの集まりと対応して，数詞が分かること。 ㋒　ものの集まりや数詞と対応して数字が分かること。 ㋓　個数を正しく数えたり書き表したりすること。 ㋔　二つの数を比べて数の大小が分かること。 ㋕　数の系列が分かり，順序や位置を表すのに数を用いること。 ㋖　０の意味について分かること。 ㋗　一つの数を二つの数に分けたり，二つの数を一つの数にまとめたりして表すこと。 ㋘　具体的な事物を加えたり，減らしたりしながら，集合数を一つの数と他の数と関係付けてみること。 ㋙　10 の補数が分かること。 （イ）次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。 ㋐数詞と数字，ものとの関係に着目し，数の数え方や数の大きさの比べ方，表し方について考え，それらを学習や生活で興味をもって生かすこと。
5	15			「なんばんめ」 （A　数と計算） 順序、位置	
6	12			「あわせていくつ」 （A　数と計算） 10までの数の合成・分解	
7	6	Ｂ　図形 （知及技） 身の回りのものの形に着目し、集めたり、分類したりする。 （思判表力） 身の回りのものの形に関心をもち、分類したり、集めたりして、形の性質に気付く。 （学・人） 図形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じる。	（知・技） 身の回りのものの形に着目し、集めたり、分類したりしようとする。 （思・判・表） 身の回りのものの形に関心をもち、分類したり、集めたりして、形の性質に気付こうとする。 （主・学） 図形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じようとする	「なかまわけをしよう」 （B　図形） たべるもの、着るものなど	ア　ものの分類 （ア）次のような知識及び技能を身に付けること。 ㋐　色や形，大きさに着目して分類すること。 ㋑　身近なものを目的，用途及び機能に着目して分類すること。 （イ）次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。 ㋐ものを色や形，大きさ，目的，用途及び機能に着目し，共通点や相違点について考えて，分類する方法を日常生活で生かすこと。 イ　身の回りにあるものの形 （ア）次のような知識及び技能を身に付けること。 ㋐　身の回りにあるものの形に関心をもち，丸や三角，四角という名称を知ること。 ㋑　縦や横の線，十字，△や□をかくこと。 ㋒　大きさや色など属性の異なるものであっても形の属性に着目して，分類したり， 集めたりすること。 （イ）次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。 ㋐身の回りにあるものの形に関心を向け，丸や三角，四角を考えながら分けたり，集めたりすること。
9	12			「まる・さんかく・しかく」 （B　図形） 身の回りにあるものの形	
10	12			「形をつくろう」 （B　図形） 見本通りに	
11	12	Ｃ　測定 （知及技） 身の回りにある具体物の量の大きさに着目し、量の大きさや違いが分かる。 （思判表力） 量に着目し、二つの量を比べる方法が分かる。 （学・人）	（知・技） 身の回りにある具体物の量の大きさに着目し、量の大きさや違いが分かろうとする。 （思・判・表） 量に着目し、二つの量を比べる方法が分かろうとする。 （主・学） 数量や図形に関心をもち、算	「くらべてみよう」 （C　測定） 長短、軽重、高低、広狭	ア　二つの量の大きさ （ア）次のような知識及び技能を身に付けること。 ㋐　長さ，重さ，高さ及び広さなどの量の大きさが分かること。 ㋑　二つの量の大きさについて，一方を基準にして相対的に比べること。 ㋒　長い・短い，重い・軽い，高い・低い及び広い・狭いなどの用語が分かること。

12	9	数量や図形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じる。	数で学んだことの楽しさやよさを感じようとする。	「長い順・大きい順」 （C　測定） くらべる、ならべる	（イ）次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。 　㋐長さ，重さ，高さ及び広さなどの量を，一方を基準にして比べることに関心をもったり，量の大きさを用語を用いて表現したりすること。
1	6	D　データの活用 （知及技） ものとものとを対応させることで、ものの同等や多少が分かる。 （思判表力） 個数に着目し、表をみて多少を読み取って表現する。 （学・人） 数量や図形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じる。	（知・技） ものとものとを対応させることで、ものの同等や多少を分かろうとする。 （思・判・表） 個数に着目し、表をみて多少を読み取って表現しようとする。 （主・学） 数量や図形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じるようとする。	「組になるもの」 （D　データの活用） 仲間同士の対応	ア　ものの分類 （ア）次のような知識及び技能を身に付けること。 　㋐　身近なものを目的，用途，機能に着目して分類すること。 （イ）次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。 　㋐身近なものの色や形，大きさ，目的及び用途等に関心を向け，共通点や相違点を考えながら，興味をもって分類すること。 イ　同等と多少 （ア）次のような知識及び技能を身に付けること。 　㋐　ものとものとを対応させることによって，ものの同等や多少が分かること。 （イ）次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。 　㋐　身の回りにあるものの個数に着目して絵グラフなどに表し，多少を読み取って表現すること。 ウ　○×を用いた表 （ア）次のような知識及び技能を身に付けること。 　㋐　身の回りの出来事から○×を用いた簡単な表を作成すること。 　㋑　簡単な表で使用する○×の記号の意味が分かること。 （イ）次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。 　㋐　身の回りの出来事を捉え，○×を用いた簡単な表で表現すること。
2	9			「ゲーム・得点を数えよう」 （D　データの活用） 同等、多少	
3	6			「ゲームをしよう～得点表～」 （D　データの活用） ○と×を用いた表	
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 小学部　算数Bグループ　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	Bグループ児童	祖平みの、冨里大輔、朝倉千陽美	絵本・パズル・具体物等

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けるようにする。 (思判表力)日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・明確に表したり柔軟に表したりする力を養う。 (学･人)数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結びつけてよりよく問題を理解しようとする態度、算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	10	A 数量の基礎 (知及技) 身の回りのものに気付き、対応させたり、組み合わせたりすることなどについてわかる。 (思判表力) 身の回りにあるもの同士を対応させたり、組み合わせたりするなど、数量に関心を持つ。 (学・人) 数量や図形に気付き、算数の学習に関心を持って取り組む。	(知・技) 身の回りのものに気付き、対応させたり、組み合わせたりすることなどについてわかろうとする。 (思・判・表) 身の回りにあるもの同士を対応させたり、組み合わせたりするなど、数量に関心を持とうとする。 (主学) 数量や図形(もの)に気付き、算数の学に関心を持って取り組もうとしている。	「一つずつあわせてみよう」 (A　数量の基礎　イ　ものとものとの対応) ・自分のマークを覚えて、生活で使う物の場所を確認できるようにする。	ア　具体物に関わる数学的活動について (ア) ㋐具体物に気付いて指を指したり、つかもとしたり、目で追ったりする。 (イ) ㋐対象物に注意を向け、対象物の存在に注目し、諸感覚を協応させながら捉える。 イ　ものとものとを対応させることに関わる数学的活動にういて (イ) ㋐ものとものとを関連付けることに注意を向け、ものの属性に注目し、仲間であることを判断したり、表現したりすること。
		A 数量の基礎 (知及技) 身の回りのものに気付き、対応させたり、組み合わせたりすることなどについてわかる。 (思判表力) 身の回りにあるもの同士を対応させたり、組み合わせたりするなど、数量に関心を持つ。 (学・人) 数量や図形に気付き、算数の学習に関心を持って取り組む。	(知・技) 身の回りのものに気付き、対応させたり、組み合わせたりすることなどについてわかろうとする。 (思・判・表) 身の回りにあるもの同士を対応させたり、組み合わせたりするなど、数量に関心を持とうとする。 (主・学) 数量や図形(もの)に気付き、算数の学に関心を持って取り組もうとしている。	「パズルをやってみよう」 (A　数量の基礎　イ　ものとものとの対応) ・いろいろなパズルをやってみよう	ア　具体物に関わる数学的活動について (ア) ㋐具体物に気付いて指を指したり、つかもとしたり、目で追ったりする。 (イ) ㋐対象物に注意を向け、対象物の存在に注目し、諸感覚を協応させながら捉える。 イ　ものとものとを対応させることに関わる数学的活動にういて (ア) ㋑分割した絵カードを組み合わせること。 ㋒関連の深い絵カードを組み合わせること。
		C　図形 (知及技) 身の回りのものの上下や前後、形の違いに気付き、違いに応じて関わることについてわかる。 (思判表力) 身の回りのものの形に注目し、同じ形を捉えたり、形の違いを捉えたりする。 (学・人) 図形に気付き、算数の学習に関心を持って取り組む。	(知・技) 身の回りのものの上下や前後、形の違いに気付き、違いに応じて関わることについてわかろうとする。 (思・判・表) 身の回りのものの形に注目し、同じ形を捉えたり、形の違いを捉えようとする。 (主学) 図形に気付き、算数の学習に関心を持って取り組もうとしている。	「おなじものをあわせよう」 (C　図形　ア　) ・形、色などの具体物を通して、同じ物を集めたりする。	ア　ものの類別や分類・整理に関わることについて (ア) ㋐具体物に気付いて指を指したり、つかもとしたり、目で追ったりする。 ㋑形を観点に区別する。 ㋒形が同じものを選ぶ。 ㋓似ている二つのものを結びつける。 ㋔関連の深い一対のものや絵カードを組み合わせる。 ㋕同じもの同士の集合づくりをする。 (イ) ㋐対象物に注意を向け、対象物の存在に気付き、諸感覚を協応させながら具体物を捉える。 ㋑ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付き、日常生活の中で関心を持つ。 ㋒ものとものとの関係に注意を向け、ものの属性に気付き、関心を持って対応しながら、表現する仕方を見つけ出し、日常生活で生かす。

		B　数と計算 (知及技) ものの有無や３までの数的要素に気付き、身の回りのものの数に関心をもって関わる。 (思判表力) 身の回りのものの有無や数的要素に注目し、数を直感的に捉えたり、数を用いて表現したりする。 (学・人) 数量に気付き、算数の学習に関心をもって取り組む。	(知・技) ものの有無や３までの数的要素に気付き、身の回りのものの数に関心をもって関わろうとする。 (思・判・表) 身の回りのものの有無や数的要素に注目し、数を直感的に捉えたり、数を用いて表現しようとする。 (主学) 数量に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとする。	「かぞえてみよう」 (B　数と計算　ア　数えることの基礎) ・数字を歌や視覚的支援を通して数字のイメージを持たせる。	ア　数えることの基礎に関わる数学的活動について (ア) ㋐ものの有無に気付く。 ㋓３までの範囲で具体物を取る。 (イ) ㋐数詞とものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活に生かす。
２学期	12	B　数と計算 (知及技) ものの有無や３までの数的要素に気付き、身の回りのものの数に関心をもって関わる。 (思判表力) 身の回りのものの有無や数的要素に注目し、数を直感的に捉えたり、数を用いて表現したりする。 (学・人) 数量に気付き、算数の学習に関心をもって取り組む。	(知・技) ものの有無や３までの数的要素に気付き、身の回りのものの数に関心をもって関わろうとする。 (思・判・表) 身の回りのものの有無や数的要素に注目し、数を直感的に捉えたり、数を用いて表現しようとする。 (主・学) 数量に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとする。	「かぞえてみよう」 (B　数と計算　ア　数えることの基礎) ・１～５までの数を歌や視覚的支援を通して覚えられるようにする。	ア　数えることの基礎に関わる数学的活動について ㋐ものの有無に気付く。 ㋑目の前のものを、１個、２個、たくさんで表す。 ㋒５までの範囲で数唱をする。 ㋕形や色、位置が変わっても、数は変わらないことについて気付く。
		B　数と計算 (知及技) ものの有無や３までの数的要素に気付き、身の回りのものの数に関心をもって関わる。 (思判表力) 身の回りのものの有無や数的要素に注目し、数を直感的に捉えたり、数を用いて表現したりする。 (学・人) 数量に気付き、算数の学習に関心をもって取り組む。	(知・技) ものの有無や３までの数的要素に気付き、身の回りのものの数に関心をもって関わろうとする。 (思・判・表) 身の回りのものの有無や数的要素に注目し、数を直感的に捉えたり、数を用いて表現しようとする。 (主・学) 数量に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとする。	「すうじをよもう」 (B　数と計算　ア　数えることの基礎) ・１～３までの具体物等を通して数える。	ア　数えることの基礎に関わる数学的活動について ㋐ものの有無に気付く。 ㋑目の前のものを、１個、２個、たくさんで表す。 ㋓３までの範囲で具体物を取る。 ㋔対応させてものを配る。
		C　図形 (知及技) 身の回りのものの上下や前後、形の違いに気付き、違いに応じて関わることについてわかる。 (思判表力) 身の回りのものの形に注目し、同じ形を捉えたり、形の違いを捉えたりする。 (学・人) 図形に気付き、算数の学習に関心を持って取り組む。	(知・技) 身の回りのものの上下や前後、形の違いに気付き、違いに応じて関わることについてわかろうとする。 (思・判・表) 身の回りのものの形に注目し、同じ形を捉えたり、形の違いを捉えようとする。 (主学) 図形に気付き、算数の学習に関心を持って取り組もうとしている。	「いろいろな形をみつけよう」 (C　図形　ア　ものの種別) ・いろいろな具体物を通して形の特徴をとらえる。	ア　ものの類別や分類・整理に関わることについて (ア) ㋐具体物に気付いて指を指したり、つかもとしたり、目で追ったりする。 ㋑形を観点に区別する。 ㋒形が同じものを選ぶ。 ㋓似ている二つのものを結びつける。 ㋔関連の深い一対のものや絵カードを組み合わせる。 ㋕同じもの同士の集合づくりをする。 (イ) ㋐対象物に注意を向け、対象物の存在に気付き、諸感覚を協応させながら具体物を捉える。 ㋑ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付き、日常生活の中で関心を持つ。 ㋒ものとものとの関係に注意を向け、ものの属性に気付き、関心を持って対応しながら、表現する仕方を見つけ出し、日常生活で生かす。

		C　図形 (知及技) 身の回りのものの上下や前後、形の違いに気付き、違いに応じて関わることについてわかる。 (思判表力) 身の回りのものの形に注目し、同じ形を捉えたり、形の違いを捉えたりする。 (学・人) 図形に気付き、算数の学習に関心を持って取り組む。	(知・技) 身の回りのものの上下や前後、形の違いに気付き、違いに応じて関わることについてわかろうとする。 (思・判・表) 身の回りのものの形に注目し、同じ形を捉えたり、形の違いを捉えようとする。 (主学) 図形に気付き、算数の学習に関心を持って取り組もうとしている。	「まる、さんかく、しかく」 (B　図形　イ　身の回りにあるものの形) ・○△□の具体物を通して、形の違いに気付く。	ア　ものの類別や分類・整理に関わることについて (ア) ㋐具体物に気付いて指を指したり、つかもとしたり、目で追ったりする。 ㋑形を観点に区別する。 ㋒形が同じものを選ぶ。 ㋓似ている二つのものを結びつける。 ㋔関連の深い一対のものや絵カードを組み合わせる。 ㋕同じもの同士の集合づくりをする。 (イ) ㋐対象物に注意を向け、対象物の存在に気付き、諸感覚を協応させながら具体物を捉える。 ㋑ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付き、日常生活の中で関心を持つ。 ㋒ものとものとの関係に注意を向け、ものの属性に気付き、関心を持って対応しながら、表現する仕方を見つけ出し、日常生活で生かす。
3学期	13	D　測定 (知及技) 身の回りにあるものの量の大きさに気付き、量の違いについての感覚を養うとともに、量に関わる。 (思判表力) 身の回りにあるものの大きさや長さなどの量の違いに注目し、量の大きさにより区別する力をつける。 (学・人) 数量や図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組む。	(知・技) 身の回りにあるものの量の大きさに気付き、量の違いについての感覚を養うとともに、量に関わろうとする。 (思・判・表) 身の回りにあるものの大きさや長さなどの量の違いに注目し、量の大きさにより区別する力をつけようとする。 (主学) 数量や図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとする。	「大きさのちがうものを分けてみよう」 (D　測定　ア　身の回りにある具体物のもつ大きさ) ・「大きい」「小さい」を知り、具体物を比べて分ける。	ア　身の回りにある具体物のもつ大きさに関わる数学的活動について (ア) ㋐大きさや長さなどを、基準に対して同じか違うかによって区別する。 ㋑ある・ない、大きい・小さい、多い・少ない、などの用語に注目して表現する。
		D　測定 (知及技) 身の回りにあるものの量の大きさに気付き、量の違いについての感覚を養うとともに、量に関わる。 (思判表力) 身の回りにあるものの大きさや長さなどの量の違いに注目し、量の大きさにより区別する力をつける。 (学・人) 数量や図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組む。	(知・技) 身の回りにあるものの量の大きさに気付き、量の違いについての感覚を養うとともに、量に関わろうとする。 (思・判・表) 身の回りにあるものの大きさや長さなどの量の違いに注目し、量の大きさにより区別する力をつけようとする。 (主学) 数量や図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとする。	「見た目の大きさで分けてみよう」 (D　測定　ア　身の回りにある具体物のもつ大きさ) ・いくつかの大きいもの、小さいものをわける。	ア　身の回りにある具体物のもつ大きさに関わる数学的活動について (ア) ㋐大きさや長さなどを、基準に対して同じか違うかによって区別する。 ㋑ある・ない、大きい・小さい、多い・少ない、などの用語に注目して表現する。 (イ) ㋐大小や多少等で区別することに関心をもち、量の大きさを表す用語に注目して表現する。
		D　測定 (知及技) 身の回りにあるものの量の大きさに気付き、量の違いについての感覚を養うとともに、量に関わる。 (思判表力) 身の回りにあるものの大きさや長さなどの量の違いに注目し、量の大きさにより区別する力をつける。 (学・人) 数量や図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組む。	(知・技) 身の回りにあるものの量の大きさに気付き、量の違いについての感覚を養うとともに、量に関わろうとする。 (思・判・表) 身の回りにあるものの大きさや長さなどの量の違いに注目し、量の大きさにより区別する力をつけようとする。 (主学) 数量や図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとする。	「比べる言葉」 (D　測定　ア　身の回りにある具体物のもつ大きさ) ・「大きい」「小さい」を知り、具体物を比べて分ける。	ア　身の回りにある具体物のもつ大きさに関わる数学的活動について (ア) ㋐大きさや長さなどを、基準に対して同じか違うかによって区別する。 ㋑ある・ない、大きい・小さい、多い・少ない、などの用語に注目して表現する。 (イ) ㋐大小や多少等で区別することに関心をもち、量の大きさを表す用語に注目して表現する。
留意点 引継ぎ等					

令和８年度　小学部 算数Cグループ　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	Cグループ児童	當山仁菜 重森誠仁 荷川取優	さんすう☆ さんすう☆☆

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けるようにする。 (思判表力)日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・明確に表したり柔軟に表したりする力を養う。 (学･人)数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結びつけてよりよく問題を理解しようとする態度、算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	10	(知及技) ・身の回りのものの上下や前後、形の違いに気付き、違いに応じて関わることについての技能を身に付けることができる。 ・身の回りにあるものの形に関心をもち、丸や三角、四角という名称を知ることができる。 (思判表力) ・身の回りのものの形に注目し、同じ形を捉えたり、形の違いを捉えたりすることができる。 ・身の回りにあるものの形に関心を向け、丸や三角、四角を考えながら分けたり、集めたりすることができる。 (学・人) ・数学的活動の楽しさに気付き、興味関心を持って学習することができる。	(知・技) ・身の回りのものの上下や前後、形の違いに気付き、違いに応じて関わることについての技能を身に付けようとしている。 ・身の回りにあるものの形に関心をもち、丸や三角、四角という名称を知ろうとしている (思・判・表) ・身の回りのものの形に注目し、同じ形を捉えたり、形の違いを捉えたりしようとしている。 ・身の回りにあるものの形に関心を向け、丸や三角、四角を考えながら分けたり、集めたりしようとしている。 (主学) ・数学的活動の楽しさに気付き、興味関心を持って学習しようとしている。	・かたちを、つくりましょう（☆P48～P49） ・おなじかたちを、みつけましょう・えらびましょう（☆P54～P61） ・まる、さんかく、しかく①（☆☆P12～P13） ・まる、さんかく、しかく②③④（☆☆P14～P19）	具体物を使った活動（作る、触る、並べるなど）を通して「同じ形」「同じではない形（違う）を知る。 ・粘土を平らにして手形をとる ・粘土を平らにして型抜きをする ・粘土を丸めて立体的に同じ形を作る ・はめ板 ・ソフト積み木 ・色板教材 形の基本である丸、三角、四角の見た目の違いや周りを触ったときの感触の違いを感じ取る。 ・丸いボールのボールプール ・三角や四角のソフト積み木が入っているプール ・型はめ ・色板合わせ ・身の回りにある具体物の形分け
2学期	12	(知及技) ・教師と一緒に５までの範囲を数唱することができる。 ・３までの範囲で具体物をとることができる。 (思判表力) ・数詞とものの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活に生かすことができる。 (学・人) ・数学的活動の楽しさに気付き、興味関心を持って学習することができる。	(知・技) ・教師と一緒に５までの範囲を数唱しようとしている。 ・３までの範囲で具体物をとろうとしている。 (思・判・表) ・数詞とものの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、学習や生活に生かそうとしている。 (主学) ・数学的活動の楽しさに気付き、興味関心を持って学習しようとしている。	・いち、に、たくさん（☆P30～P31） ・いち、に、さん、し、ご（☆P32～P33） ・とりましょう（☆P34～P35）	教師と一緒に、身の回りのものを数えたり、数唱したりして生活に生かす経験をする。 ・友だちの数、おやつの数 ・給食時に使用する食器類など ・交代で遊具遊びをする ・絵本の読み聞かせ ・パネルシアター
3学期	13	(知及技) ・身の回りにあるものの量の大きさに気付き、量の違いについての感覚を養うとともに、量に関わることについての技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・身の回りにあるものの大きさや長さなどの量の違いに注目し、量の大きさにより区別	(知・技) ・身の回りにあるものの量の大きさに気付き、量の違いについての感覚を養うとともに、量に関わることについての技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) ・身の回りにあるものの大きさや長さなどの量の違いに注目し、量の大きさにより区別	・おなじ、ちがう（☆P70～P71） ・おおきい、ちいさい（☆P72～P75） ・おおい、すくない（☆P76～P79）	自分より大きなバランスボールなど、極端に大きいことが、視覚等の感覚によって判断できる経験をする。 ・大型遊具 ・大型絵本 ・絵本の読み聞かせ 日常生活においてよくある場面を想定した具体物を操作する活動で、量についての経験をする。 ・ペットボトルからコップにジュースを注ぎ量について考える活動

		ることができる。 （学・人） ・数学的活動の楽しさに気付き、興味関心を持って学習することができる。	しようとしている。 （主学） ・数学的活動の楽しさに気付き、興味関心を持って学習しようとしている。		さ量について考える活動 ・玉入れゲーム ・お楽しみ会でのお菓子の量
留意点 引継ぎ等					

令和８年度 小学部　算数Dグループ　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	Dグループ児童	篠原辰典 橘圭子 田港義剛	さんすう☆

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 　数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに，日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けることができる。 (思判表力) 　日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力，基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりする力を身につけることができる。 (学･人) 　数学的活動の楽しさに気付き，関心や興味をもち，学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度，算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	7	(知及技) ・ものとものとを対応させて配ることができる。 (思判表力) ・ものとものとを関連付けることに注意を向け，ものの属性に注目し，仲間であることを判断したり，表現したりすることができる。 (学･人) ・数量や図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	(知・技) ・ものとものとを対応させて配ろうとしている。 (思･判･表) ・ものとものとを関連付けることに注意を向け，ものの属性に注目し，仲間であることを判断したり，表現したりしようとしている。 (主学) ・数量や図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとしている。	A数量の基礎イ ・おなじまーくは，どれでしょう ・じぶんのまーくは，どこでしょう	【おなじまーくは，どれでしょう／じぶんのまーくは，どこでしょう】 　特別な物（自分のもの）を他と見分ける。 【みんなに くばりましょう】 　一人に一つのもの，一つのものに他の一つのものを対応する。
	7	(知及技) ・分割した絵カードを組み合わせることができる。 ・関連深い絵カードを組み合わせることができる。 (思判表力) ・ものとものとを関連付けることに注意を向け，ものの属性に注目し，仲間であることを判断したり，表現したりすることができる。 (学･人) ・数量や図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	(知・技) ・分割した絵カードを組み合わせようとしている。 ・関連深い絵カードを組み合わせようとしている。 (思･判･表) ・ものとものとを関連付けることに注意を向け，ものの属性に注目し，仲間であることを判断したり，表現したりしようとしている。 (主学) ・数量や図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとしている。	A数量の基礎イ ・あわせましょう①② ・なかまをあつめましょう	【あわせましょう①②】 　切り離した絵のそれぞれの絵カードから情報を読み取り，読み取った情報を基に，一枚の絵を完成させる。 【なかまをあつめましょう】 　身近でなじみのある食べ物を集める，動物を集めるなど，指定された属性の中で，関連深い絵カードを集める。
2学期	7	(知及技) ・目の前のものを，１個，２個，たくさんで表すことができる。 ・５までの範囲で数唱をすることができる。 ・３までの範囲で具体物を取ることができる。 ・対応させてものを配ることができる。 ・形や色，位置が変わっても，数は変わらないことに気付くことができる。 (思判表力) ・数詞とものの関係に注目し，数のまとまりや数え方に気付き，それらを学習や生活で生かすことができる。 (学･人) ・数量に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	(知・技) ・目の前のものを，１個，２個，たくさんで表そうとしている。 ・５までの範囲で数唱をしようとしている。 ・３までの範囲で具体物を取ろうとしている。 ・対応させてものを配ろうとしている。 ・形や色，位置が変わっても，数は変わらないことに気付くことができる。 (思･判･表) ・数詞とものの関係に注目し，数のまとまりや数え方に気付き，それらを学習や生活で生かそうとしている。 (主学) ・数量に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとしている。	B数と計算ア ・いち，に，たくさん ・いち，に，さん，し，ご ・とりましょう ・まーくに，あわせて，ならべましょう ・ぜんぶ「さん」	【いち，に，たくさん】 　①左右の手に一つずつ具体物を持ち，それでもまだ両手には持てないほどの具体物がある状況，自分の手では持てないほどの量があることを体感する。 　②「１個，２個，たくさん」と表現することに気付く。 【いち，に，さん，し，ご】 　５までの範囲で数を唱える。 【とりましょう】 　３までの数の具体物を取る。 【まーくに，あわせて，ならべましょう】 　ボウリングのピンを準備する場面を捉え，マークを手掛かりに，必要な数のピンを置く（配る）。 【ぜんぶ「さん」】 　様々な具体物やイラストなどを操作する，指差すなどの動きを伴う活動を通して，形や色が違う具体物でも数が変わらないこと，間隔や置き方などの位置が変わっても数が変わらないことに気付く。
	7	(知及技) ・似ている二つのものを結びつけることができる。 ・関連の深い一対のものや絵カードを組み合わせることができる。 ・同じもの同士の集合作りをすることができる。 (思判表力) ・ものの属性に着目し，様々な情報から同質なものや類似したものに気付き，日常生活の中で関心を持つことができる。 ・ものとものとの関係に注意を向け，ものの属性に気付き，関心をもって対応しながら，表現する仕方を見つけ出し，日常生活で生かすことができる。 (学･人) ・図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	(知・技) ・似ている二つのものを結びつけようとしている。 ・関連の深い一対のものや絵カードを組み合わせようとしている。 ・同じもの同士の集合を作ろうとしている。 (思･判･表) ・ものの属性に着目し，様々な情報から同質なものや類似したものに気付き，日常生活の中で関心を持とうとしている。 ・ものとものとの関係に注意を向け，ものの属性に気付き，関心をもって対応しながら，表現する仕方を見つけ出し，日常生活で生かそうとしている。 (主学) ・図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとしている。	C図形ア ・にているものを，みつけましょう ・そろえましょう ・おなじかたちを，あつめましょう	【にているものを，みつけましょう】 　①形をおおまかに捉える。 　②形が同じであるか，同じでないかを区別する。 　③似ていることを捉える。 【そろえましょう】 　①様々な刺激の中から，ものとものとを関連付けるために必要な情報として，形を取り出す。 　②仲間であることを判断する。 　③対にすることでそれを表現する。 【おなじかたちを，あつめましょう】 　①形に着目する。 　②形を捉える。 　③同じ形と認識する。 　④同じ形を選択し，一つのところに集める。

3 学 期	7	(知及技) ・大きさや長さなどを，基準に対して同じか違うかによって区別することができる。 ・ある・ない，大きい・小さい，多い・少ないなどの用語に注目して表現することができる。 (思判表力) ・大小や多少等で区別することに関心を持ち，量の大きさを表す用語に注目して表現することができる。 (学･人) ・数量や図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	(知・技) ・大きさや長さなどを，基準に対して同じか違うかによって区別しようとしている。 ・ある・ない，大きい・小さい，多い・少ないなどの用語に注目して表現しようとしている。 (思･判･表) ・大小や多少等で区別することに関心を持ち，量の大きさを表す用語に注目して表現しようとしている。 (主学) ・数量や図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとしている。	D測定ア ・おなじ，ちがう ・おおきい，ちいさい①② ・おおい，すくない①② ・ながい，みじかい	【おなじ，ちがう】 ①児童が直接働きかける具体物を観察する。 ②基準に対して，同じであるか，同じでないかを区別する。 ③「同じ」「違う」という用語を用いる。 【おおきい，ちいさい①】 ①児童が直接働きかける具体物を観察する。 ②具体物の大きさに注目して，それを「大きい」か「大きくない」か決める。 ③大きさの異なる二つの具体物を「大きい」と「小さい」に区別する。 ④「大きい」「小さい」という用語を用いる。 【おおきい，ちいさい②】 ①二つの大きさの違いに注目する。 ②二つの大きさのいずれかに働きかけて同じ大きさにする。 【おおい，すくない①】 ①児童が直接働きかける対象などを観察する。 ②かさ等に注目して，それを「多い」と「少ない」に区別する。 ③かさ等の異なる二つの量を「多い」と「少ない」に区別する。 ④「多い」「少ない」という用語を用いる。 【おおい，すくない②】 ①二つのかさに注目して，それらを「多い」と「少ない」にわける。 ②「多い」「少ない」という用語を用いる。 【ながい，みじかい】 ①具体物の長さに注目する。 ②基準に対して，同じであるか，同じでないかを区別する。
留意点 引継ぎ等					